

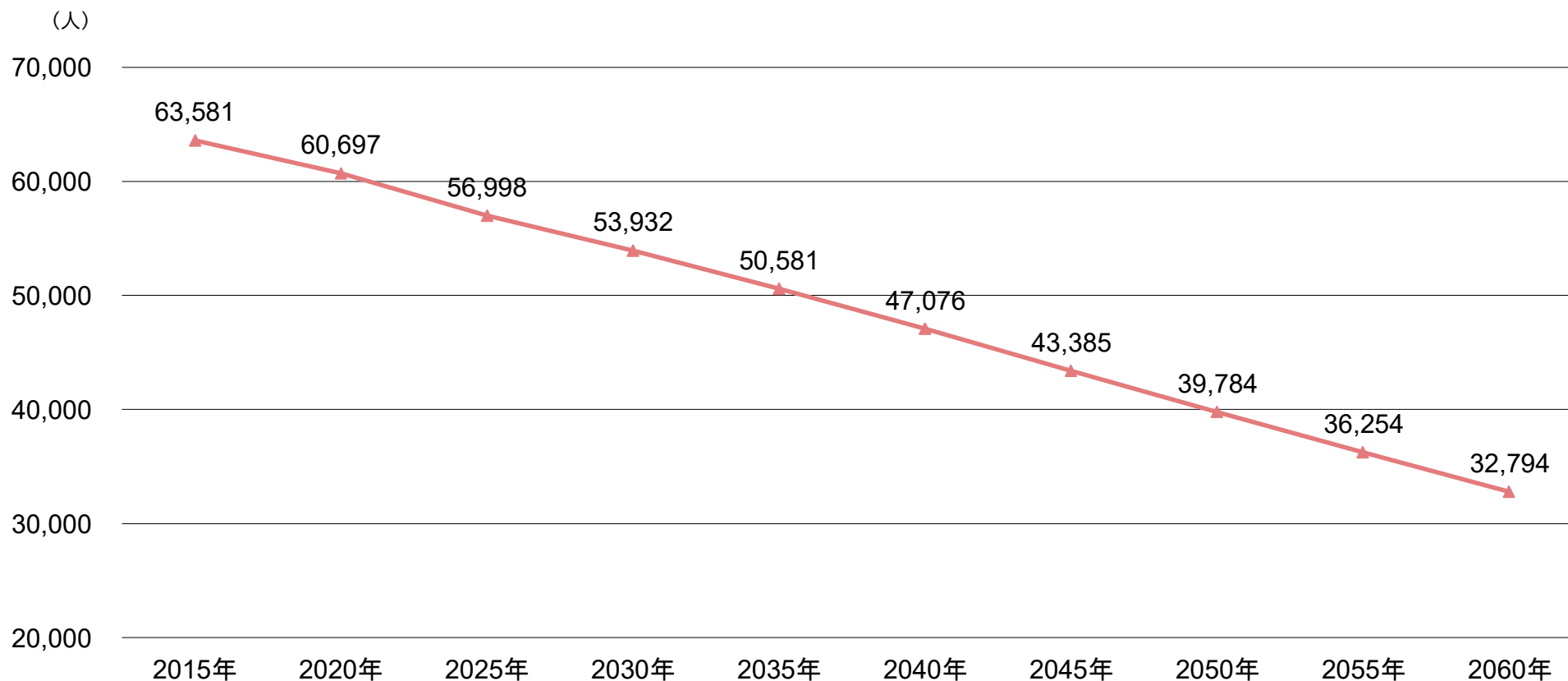
6. 人口推計

人口推計（暫定値）

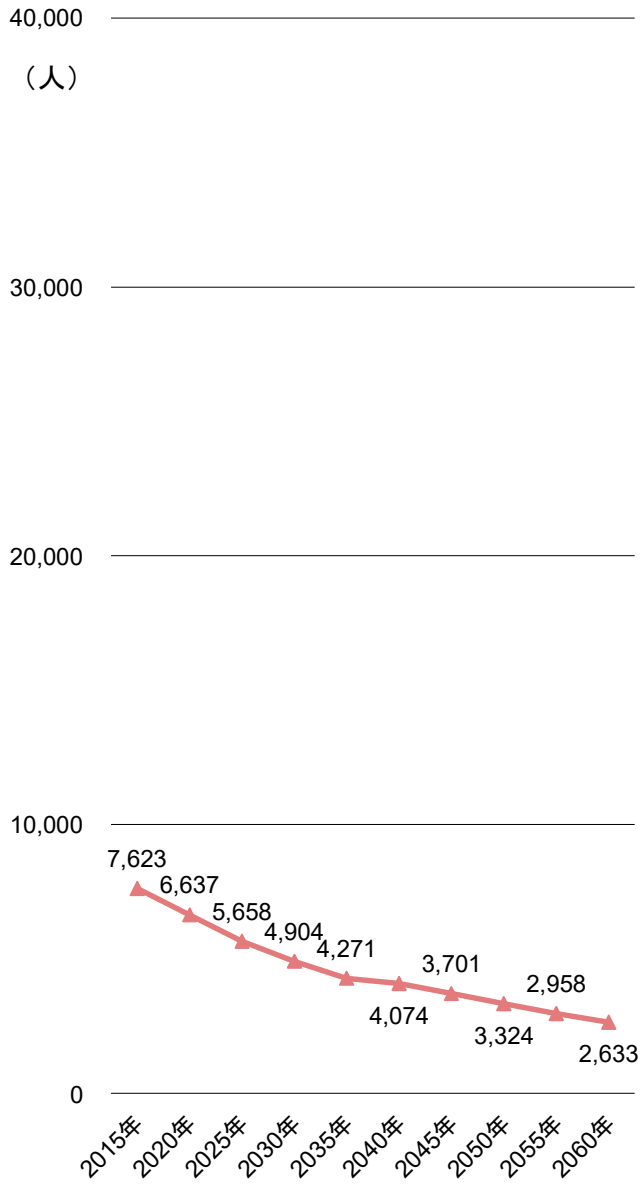
- ・ コーホート要因法に基づき、以下のパラメータを用いた推計を行った。

設定条件

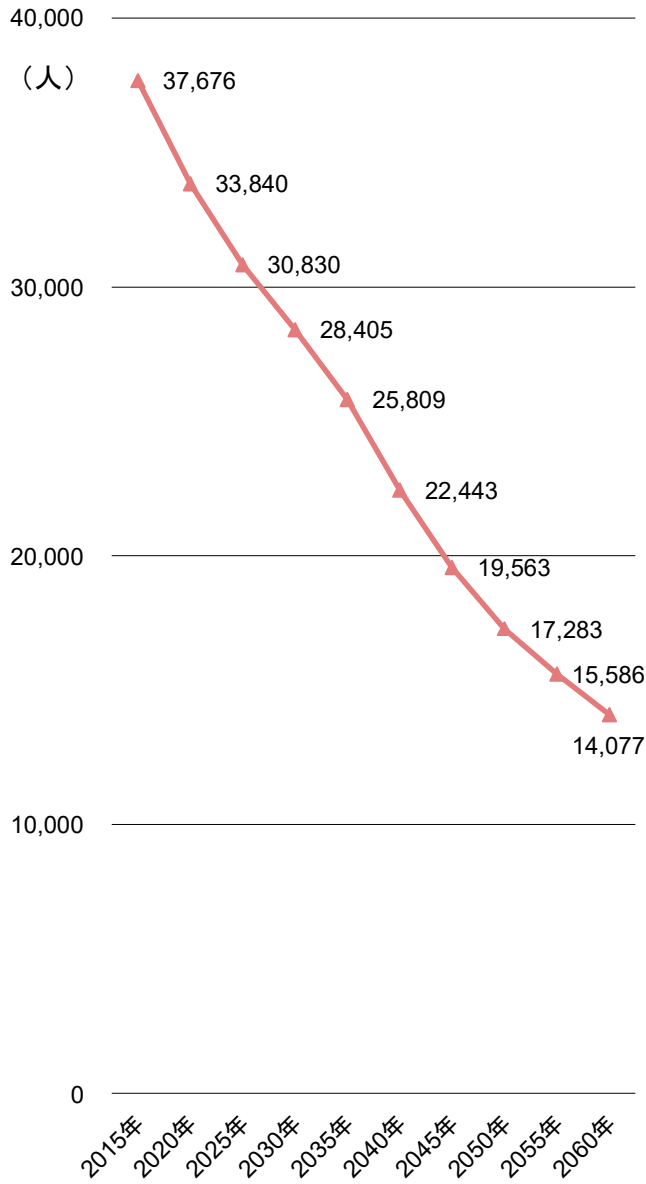
自然増減		社会移動
死亡	出生	移動率
社人研の生残率仮定値 ※2050年以降は一定	平成27年、令和2年、令和7年（直近10年） における子ども女性比の平均を社人研の仮定 値の変動に合わせて変動	社人研の移動率仮定値 ※2050年以降一定



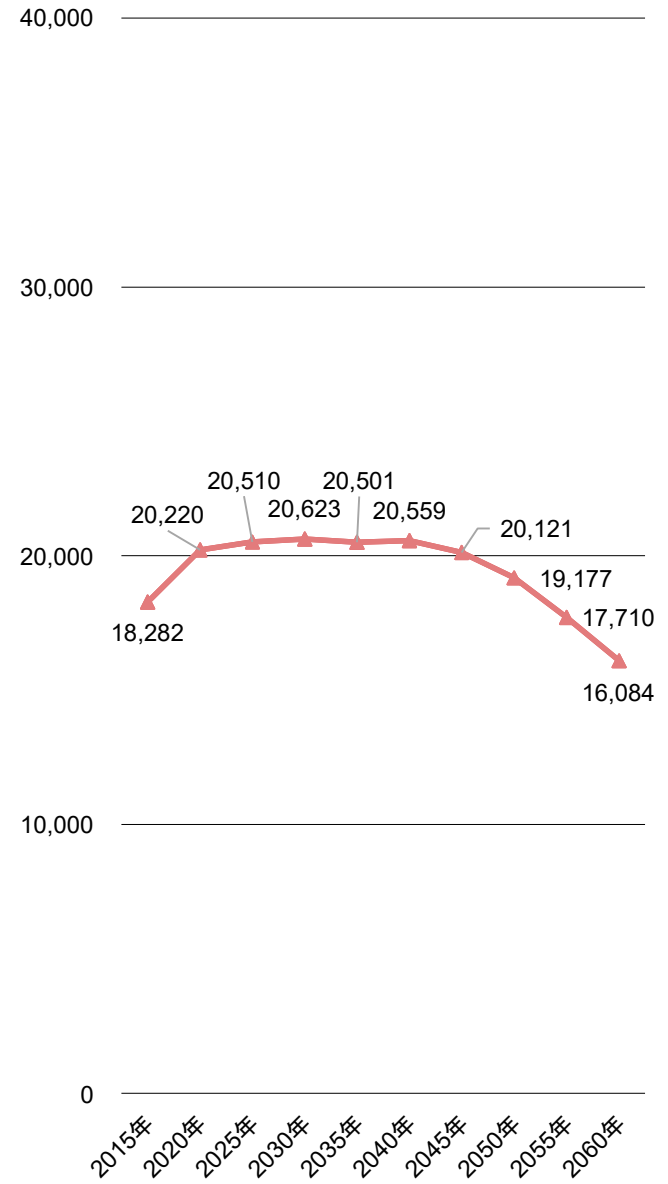
年少人口



生産年齢人口



老年人口

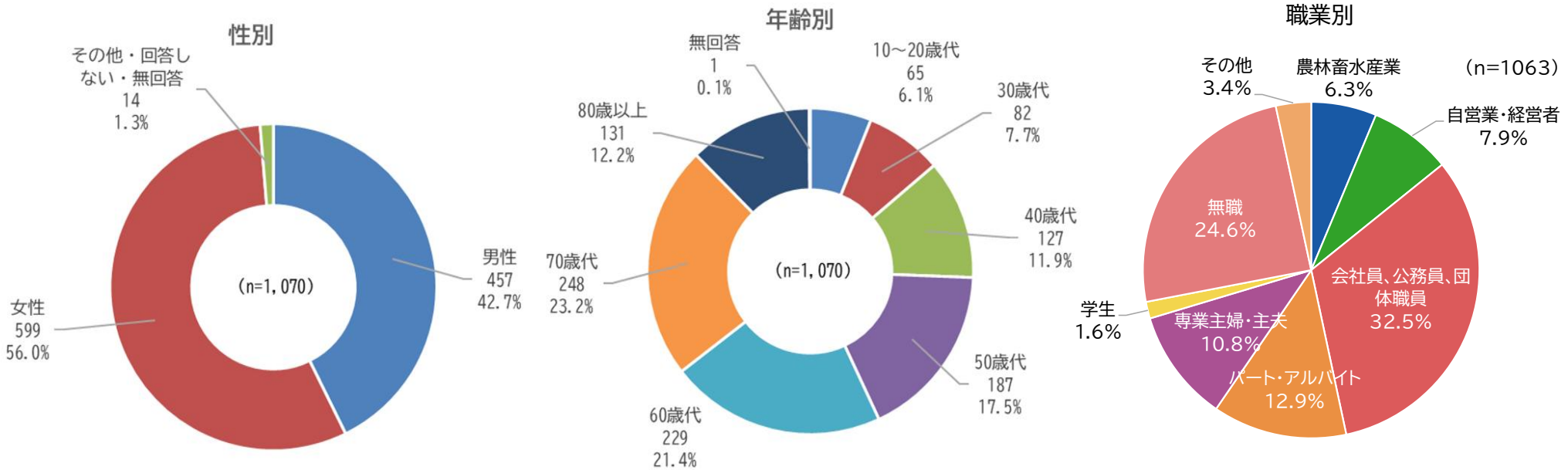


7. 市民意識調査

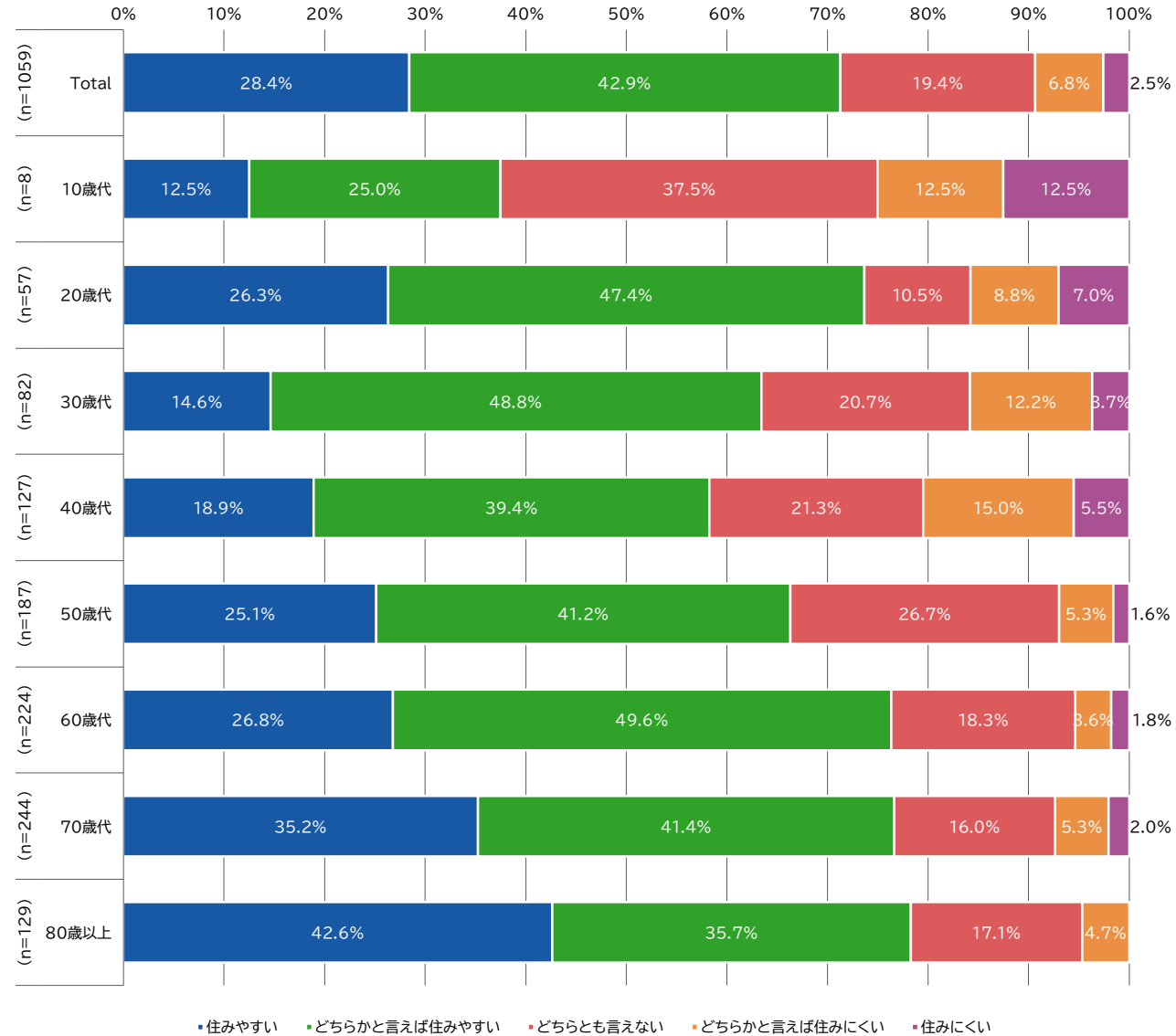
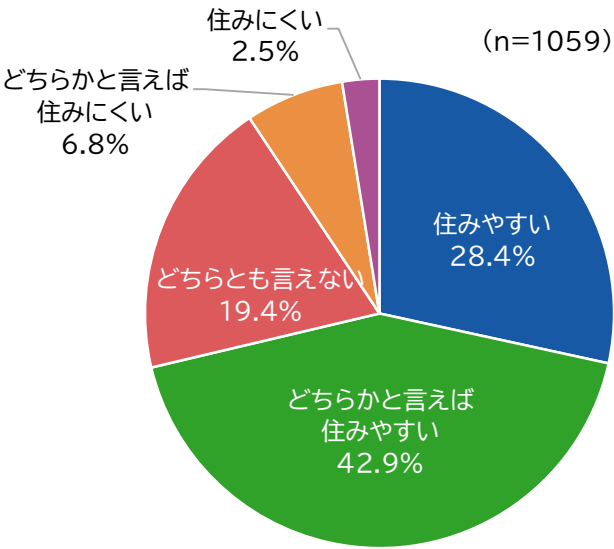
市民向けアンケート調査

調査の概要

調査目的	「第3次十和田市総合計画」の策定の参考とするため、無作為抽出にて抽出した市民にアンケートを送付し、意見を聴取する。		
調査対象・方法	市内在住の18歳以上の市民から無作為抽出にて2,700名を抽出。郵送配布・郵送回収とウェブ回答の併用		
調査期間	令和7(2025)年8月25日(月)～9月24日(水)		
回収数	配布数	有効回答数	有効回答率
	2,700件	1,070件(紙面796件・ウェブ274件)	39.6%

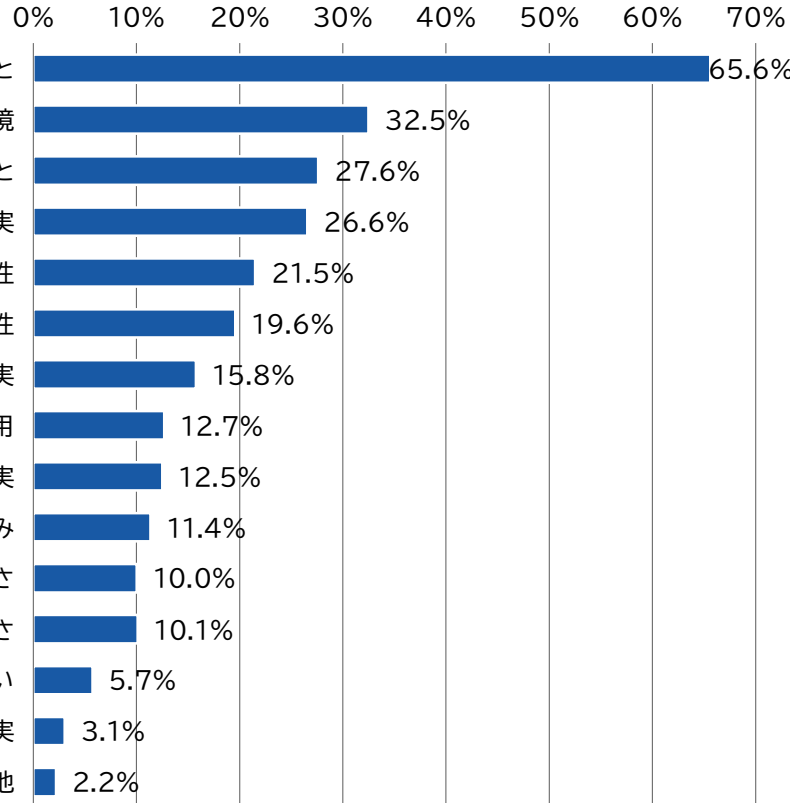


十和田市の住みやすさ



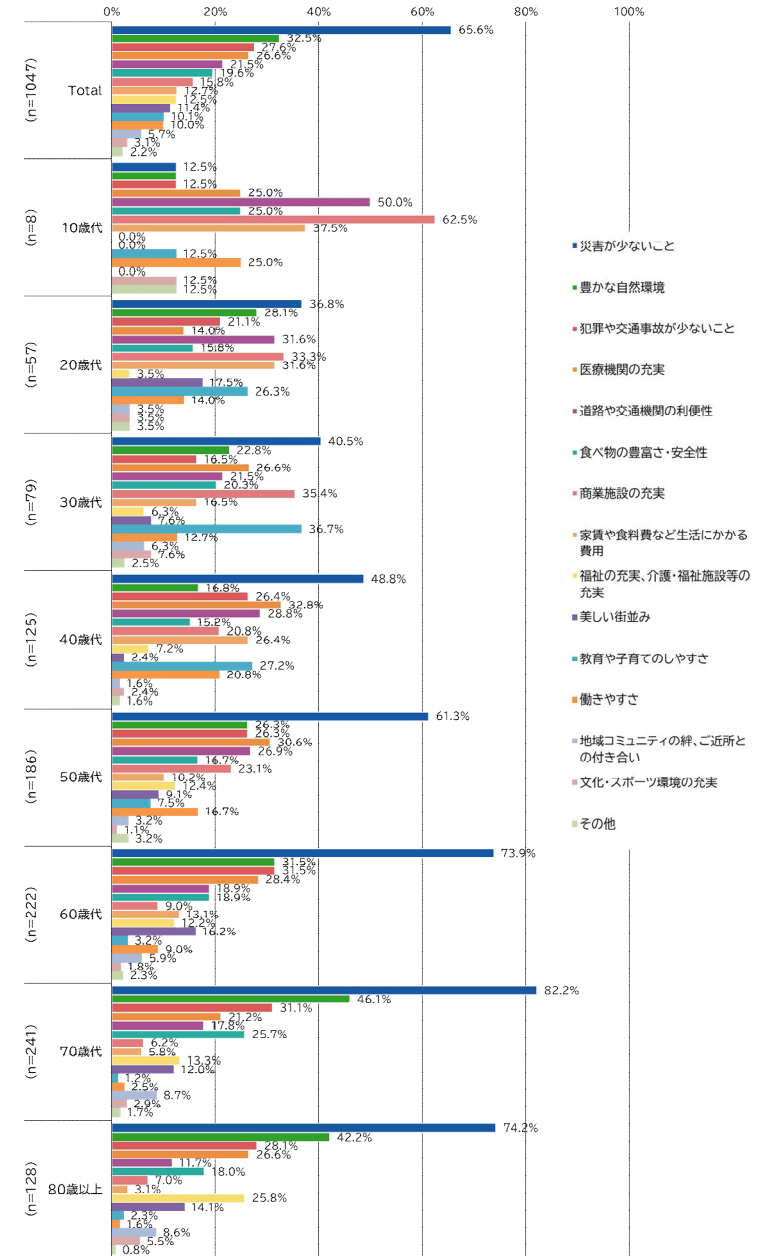
住みやすさの重要条件

(n=1047)

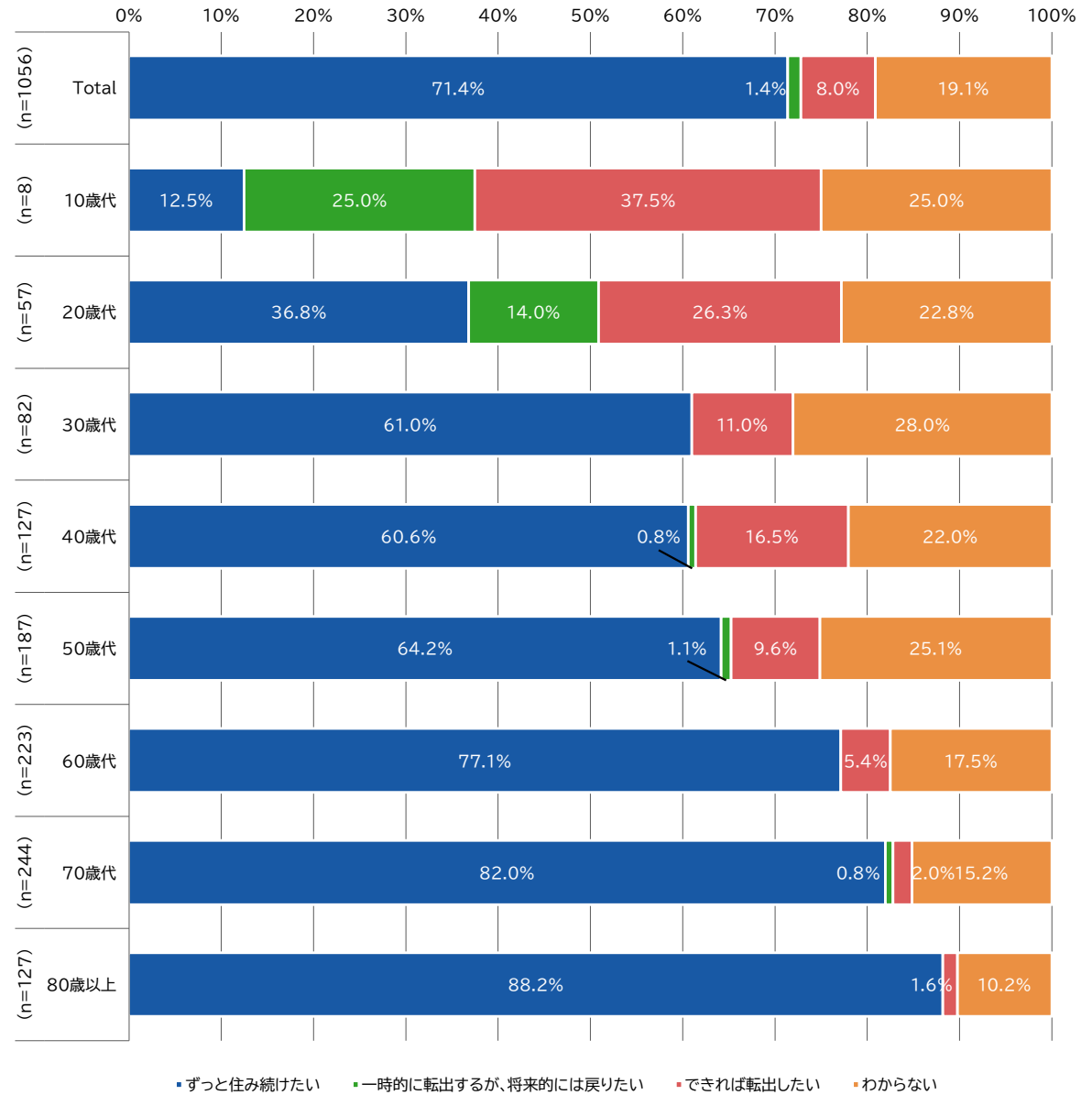
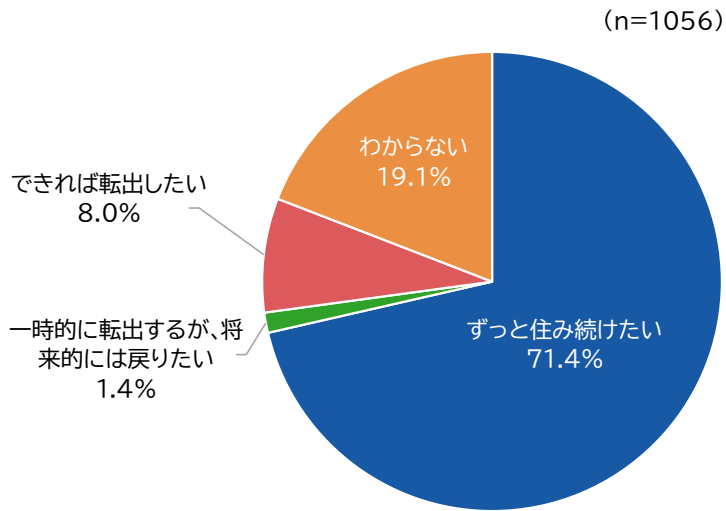


【その他の回答例】

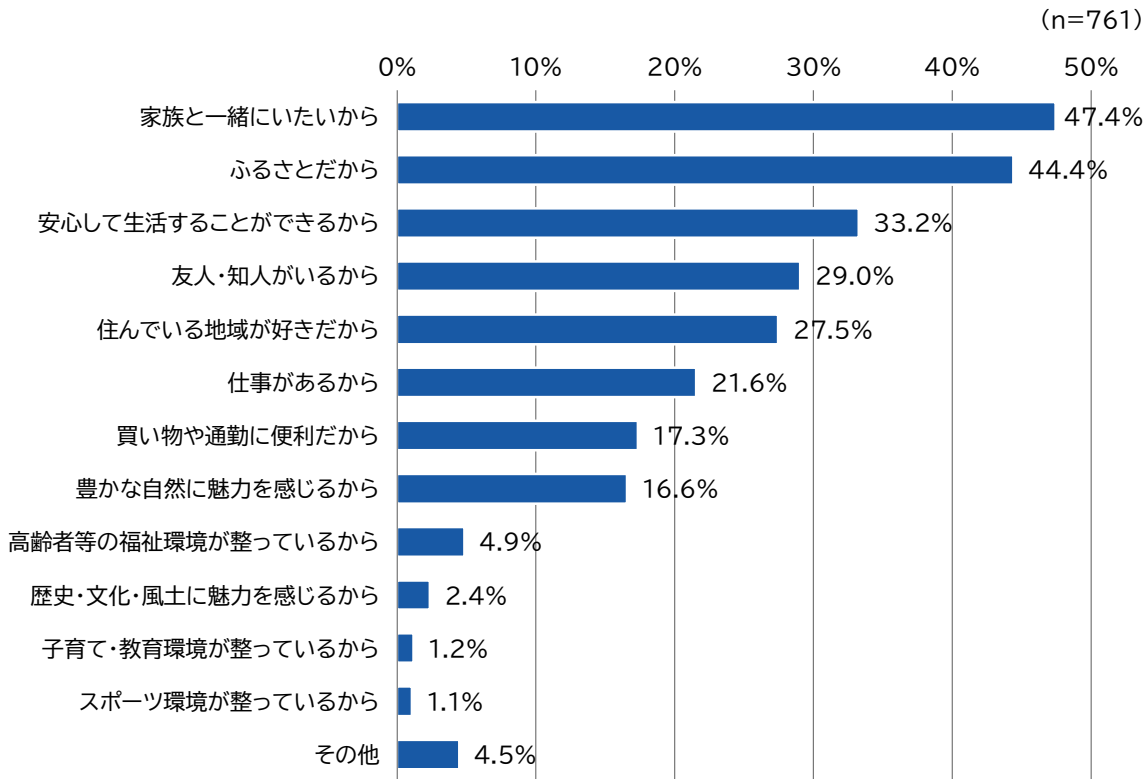
- ・ ミニマムに生活できる、広すぎない
- ・ 水がおいしい、湧水を使っているため
- ・ 長年住んでいるから。静かである。マナーが良い
- ・ 地元友人がいる



定住意向

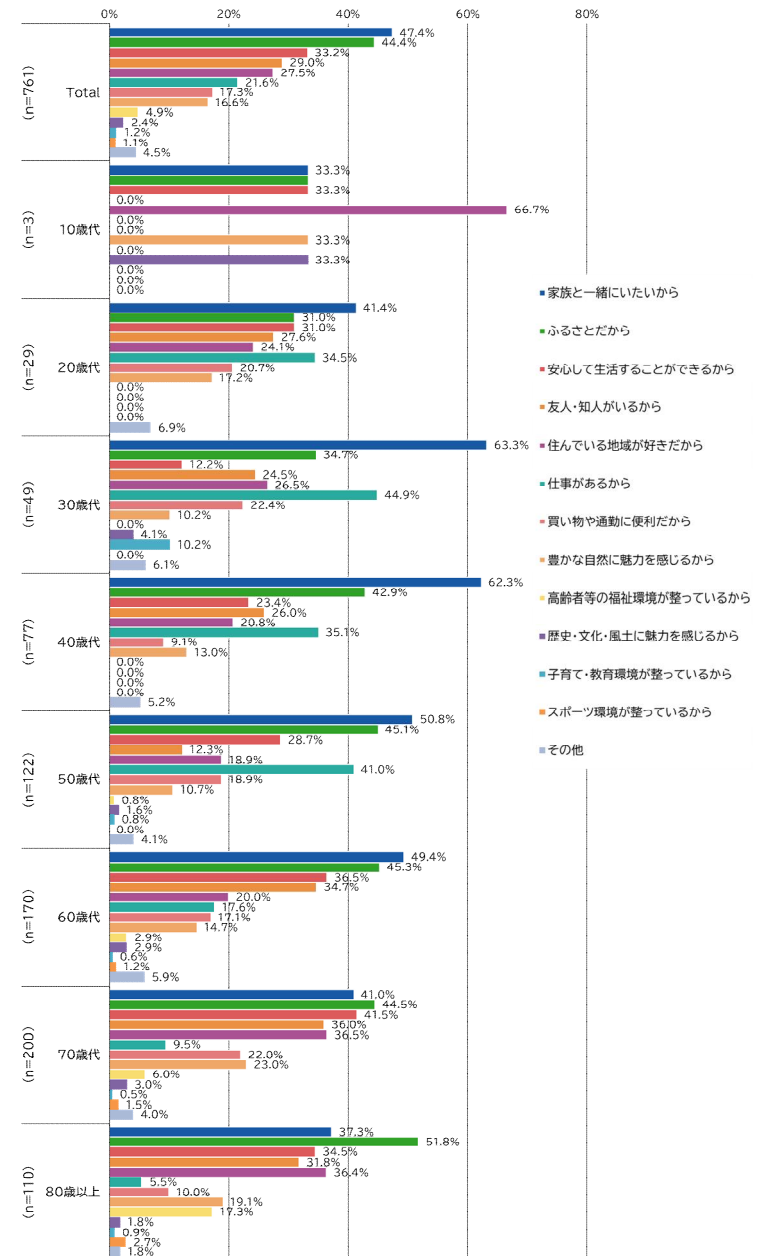


「住み続けたい」「将来的に戻りたい」理由

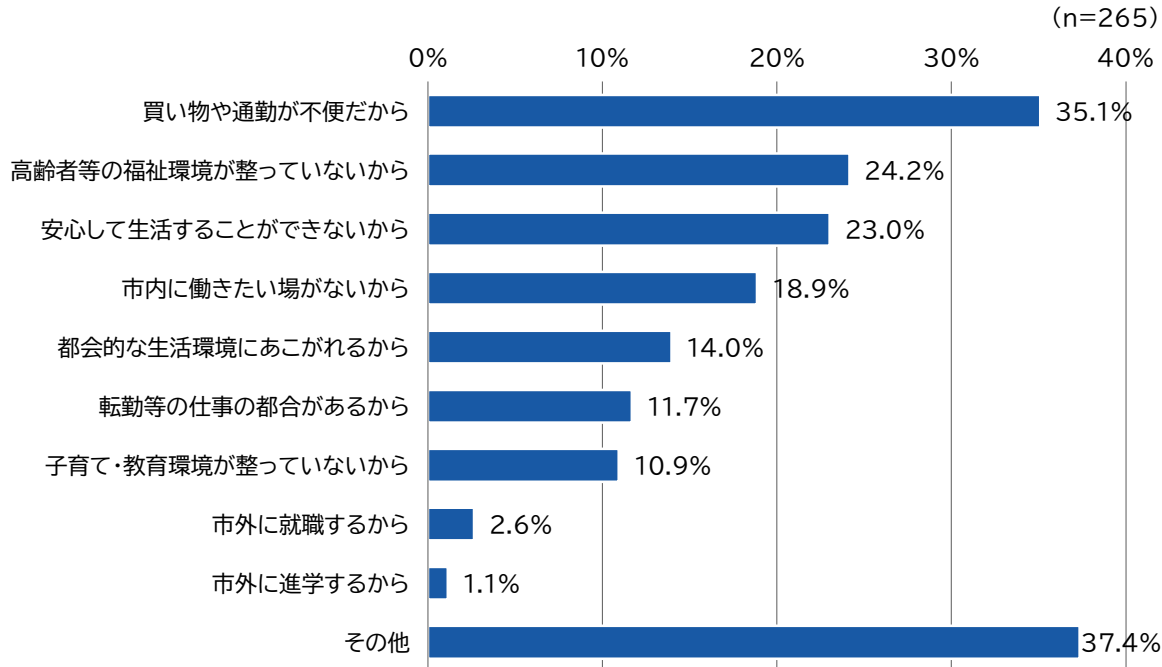


【その他の回答例】

- ・ 持ち家があるから
- ・ 転居が難しいから

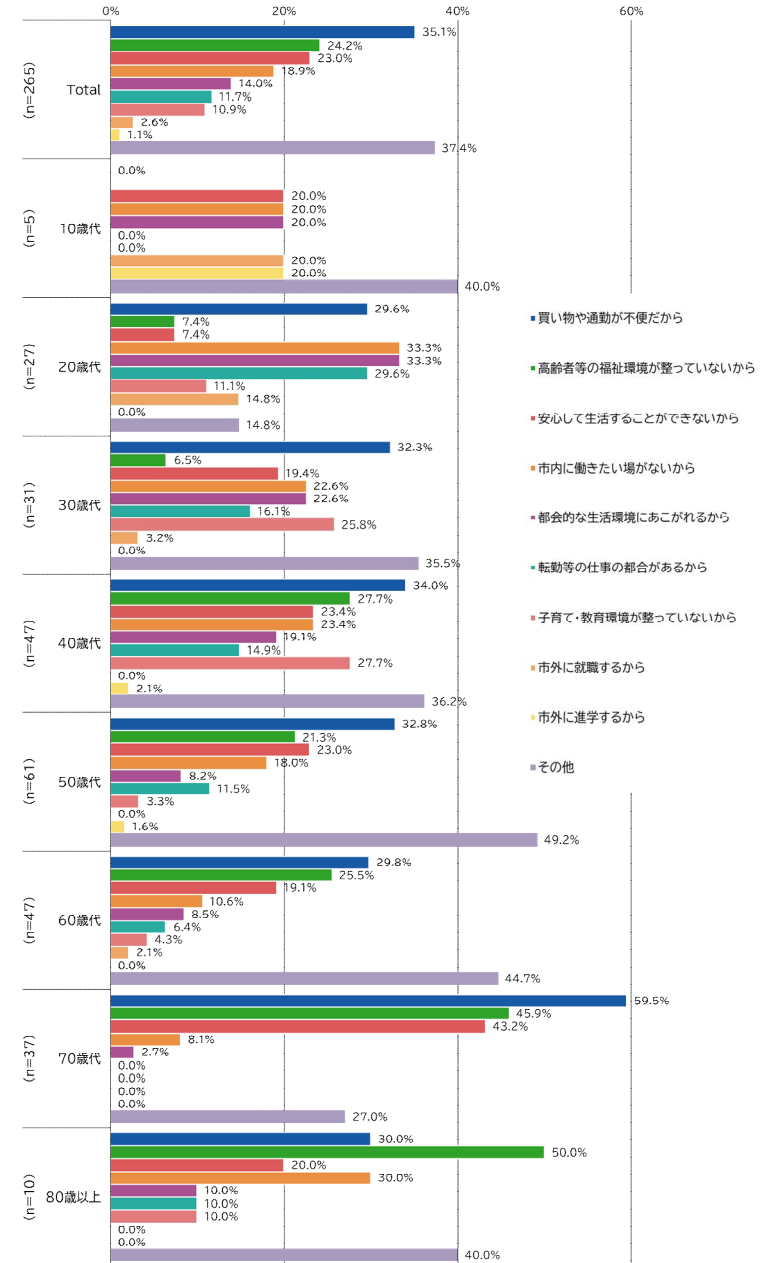


「転出したい」「わからない」理由

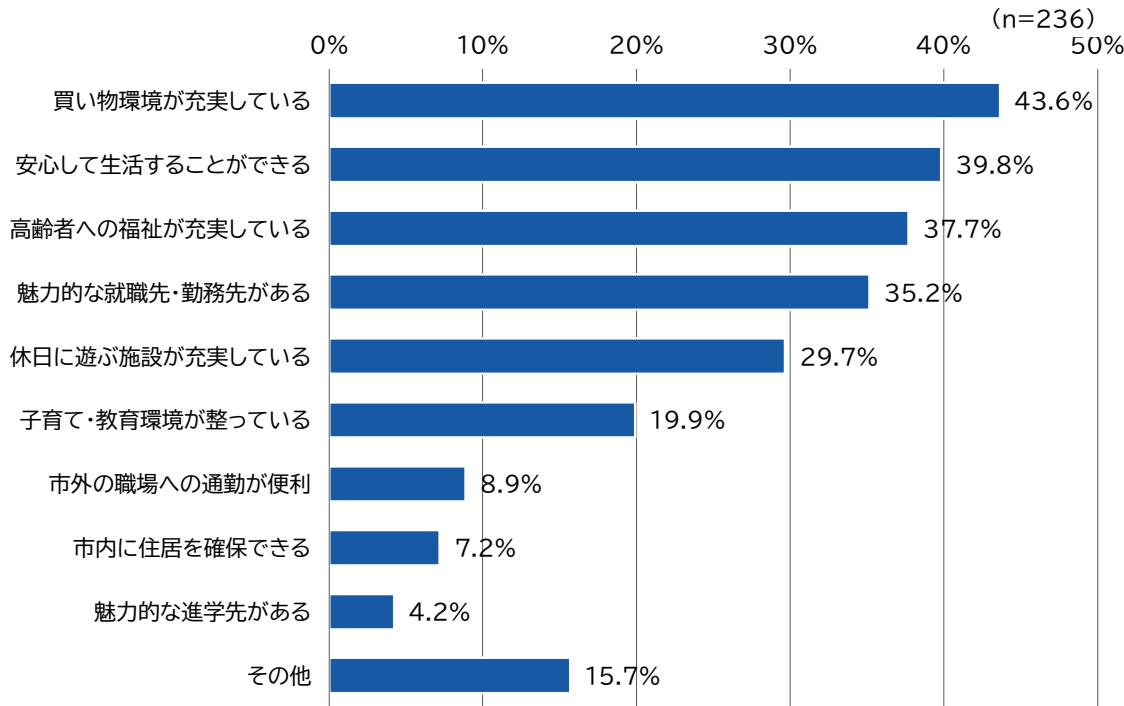


【その他の回答例】

- 交通手段に乏しいから
- 医療環境が良くないから
- 冬季の気温や除雪が負担だから
- 子ども・親が市外で暮らしているから
- 娯楽施設が少ないから

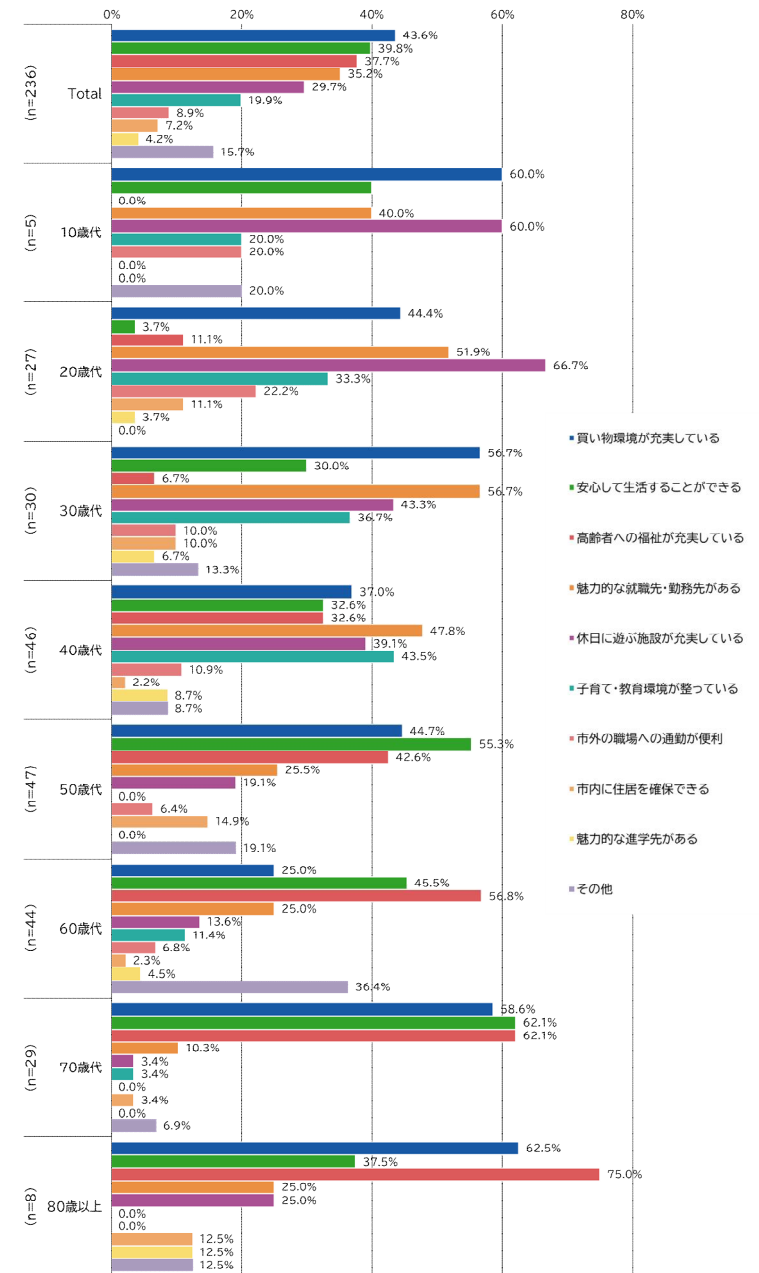


将来の十和田市に何があれば住み続けたい、戻ってきたいと思うか

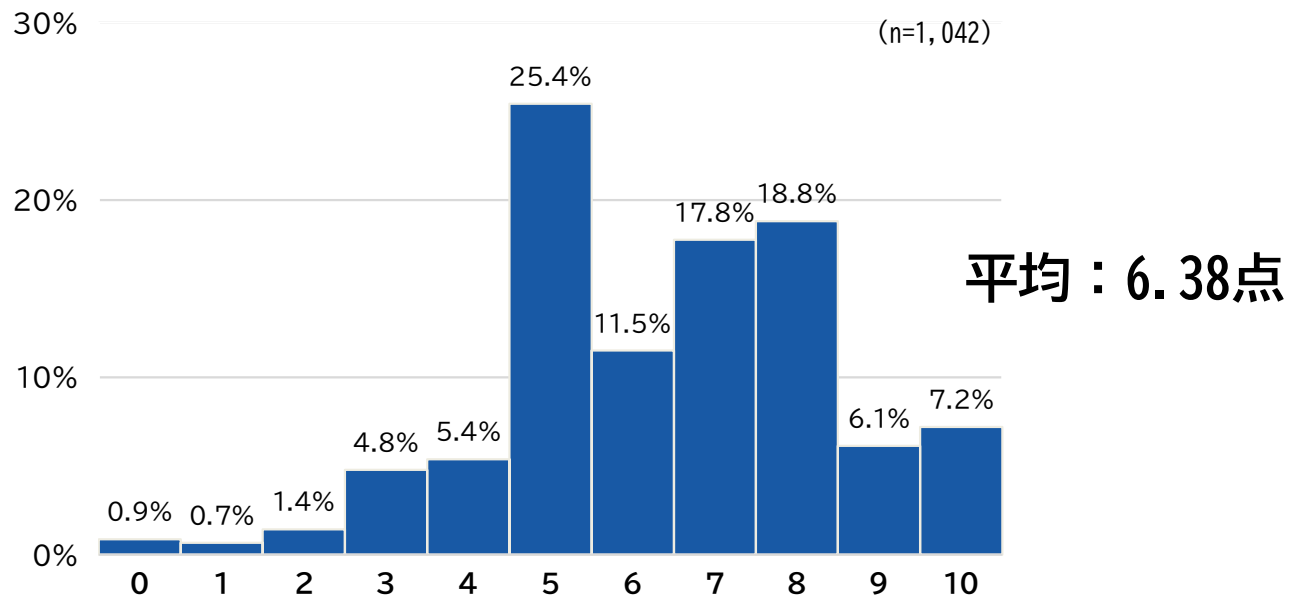


【その他の回答例】

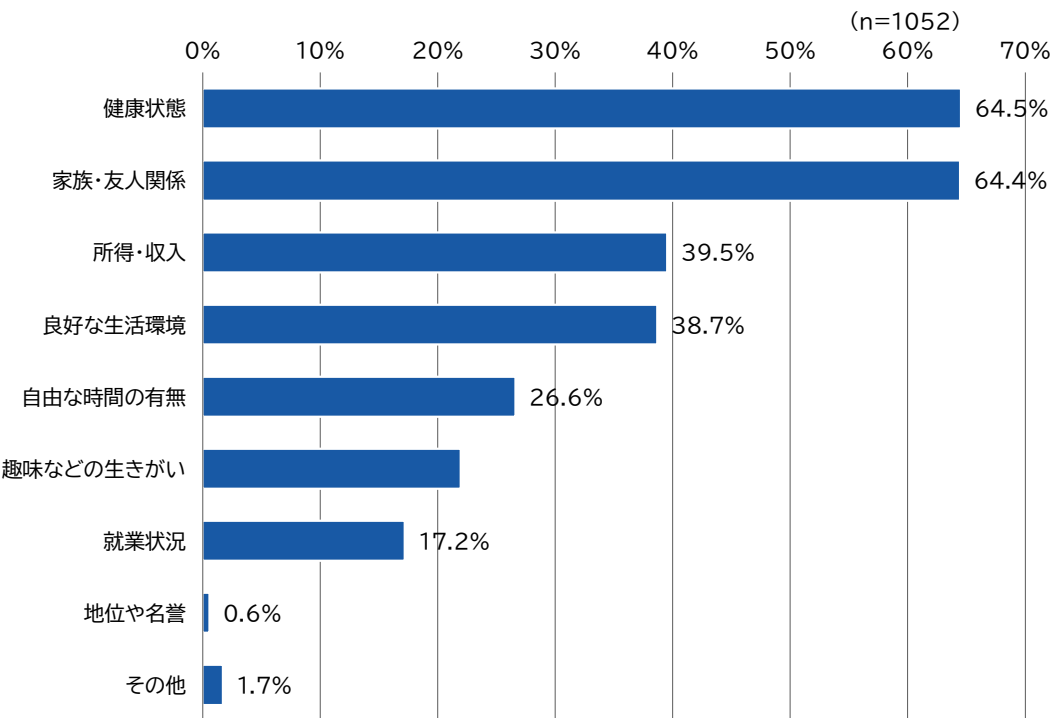
- 交通機関の充実
- 医療機関の充実



幸福度

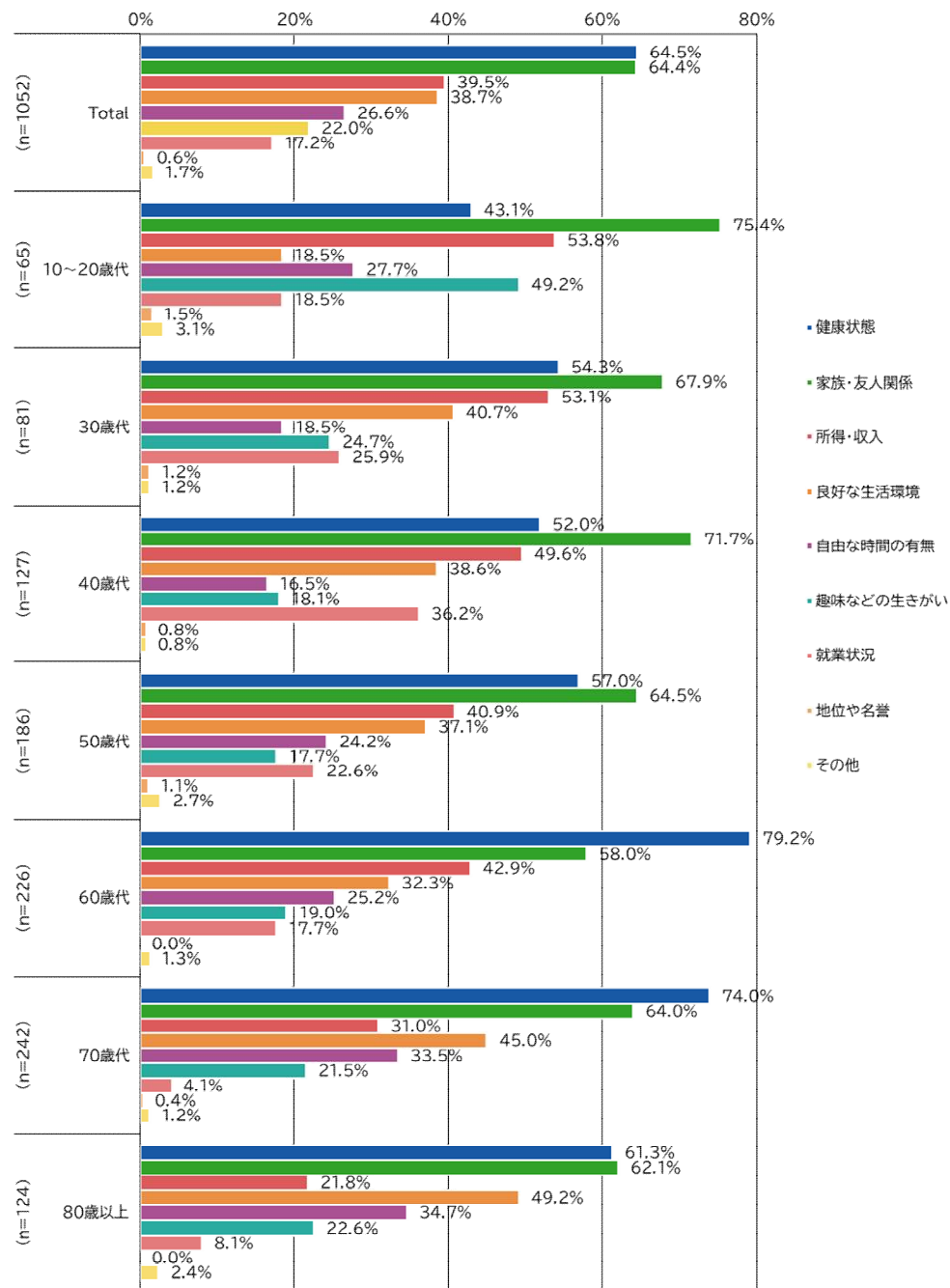


幸福の実感を判断する上で重視したこと



【その他の回答例】

- 子ども・孫に会えるから。子どもの生活が安定しているから
- 子どもが大人になっても暮らせる環境があるかないか
- 災害が少ないこと
- 主体的活動の場がある。自己研鑽・学習と仲間との実践・活動



十和田市に住んでいることで幸せを感じる事（主な意見）

■ 災害が少ない・安心して暮らせる

- 地震や台風などの自然災害が少なく、安心して生活できることに幸せを感じるという声が圧倒的に多い

■ 自然環境の豊かさ

- 奥入瀬溪流、十和田湖、八甲田山などの美しい自然や四季の変化、空気や水のおいしさ、静かな環境に癒やしや誇りを感じる
- 桜並木や街路樹、田園風景、星空など、身近な自然に触れる時に幸せを感じる

■ 家族・友人・知人とのつながり

- 家族や親戚、友人が近くに住んでいて、すぐ会える安心感や団らんの時間、交流の機会が幸せの源
- 地域の人との交流やイベント、祭りなどで人とつながることに喜びを感じる

■ 日常生活の安定・利便性

- 普通に平穏に暮らせること、健康で過ごせること、生活に必要な施設（病院、スーパー、公共施設など）が身近にあること
- 買い物や通院が便利、交通の利便性が良いと感じる人もいる

■ 趣味・余暇の充実

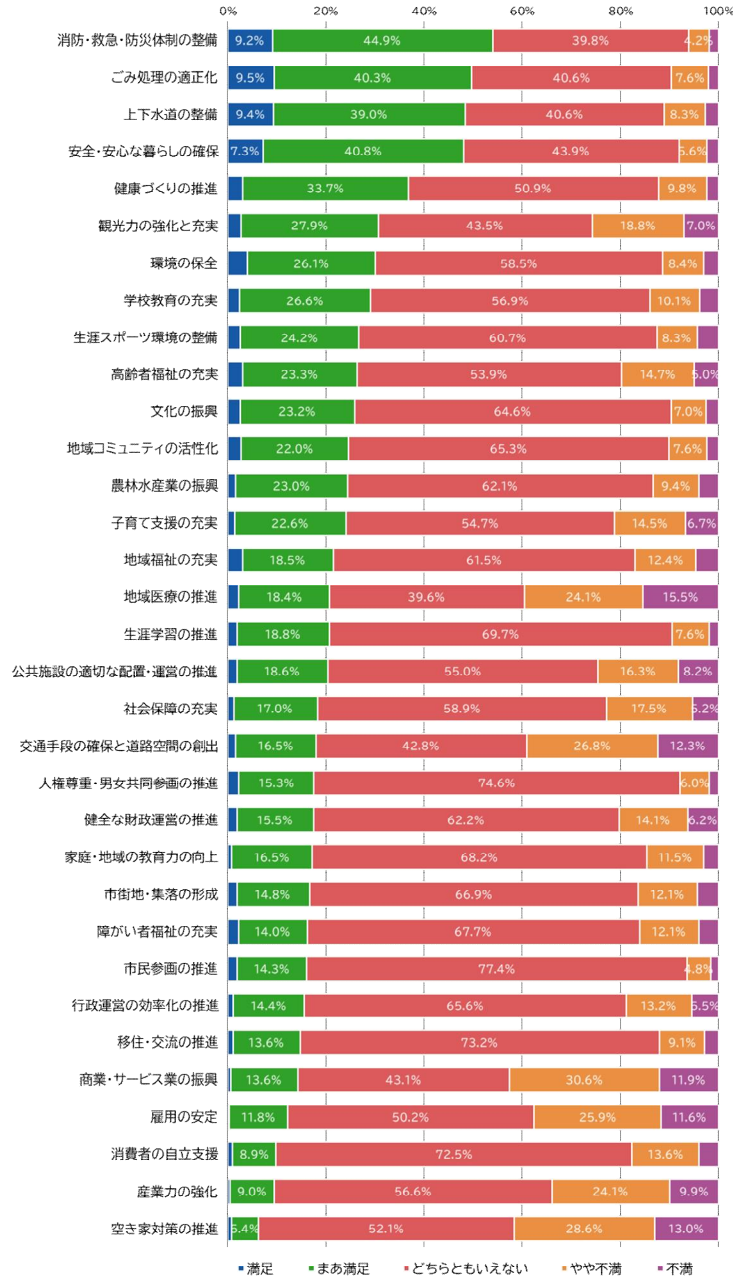
- 散歩、スポーツ、家庭菜園、温泉、釣り、カラオケなど、趣味や余暇を楽しめる環境があること

■ その他

- 十和田市の美しい街並みや文化施設（美術館、図書館など）に誇りを感じる人もいる
- 一方で「特に幸せを感じない」「何もない」「不便」といった否定的な意見も一定数あり、個人差が見られる / 等

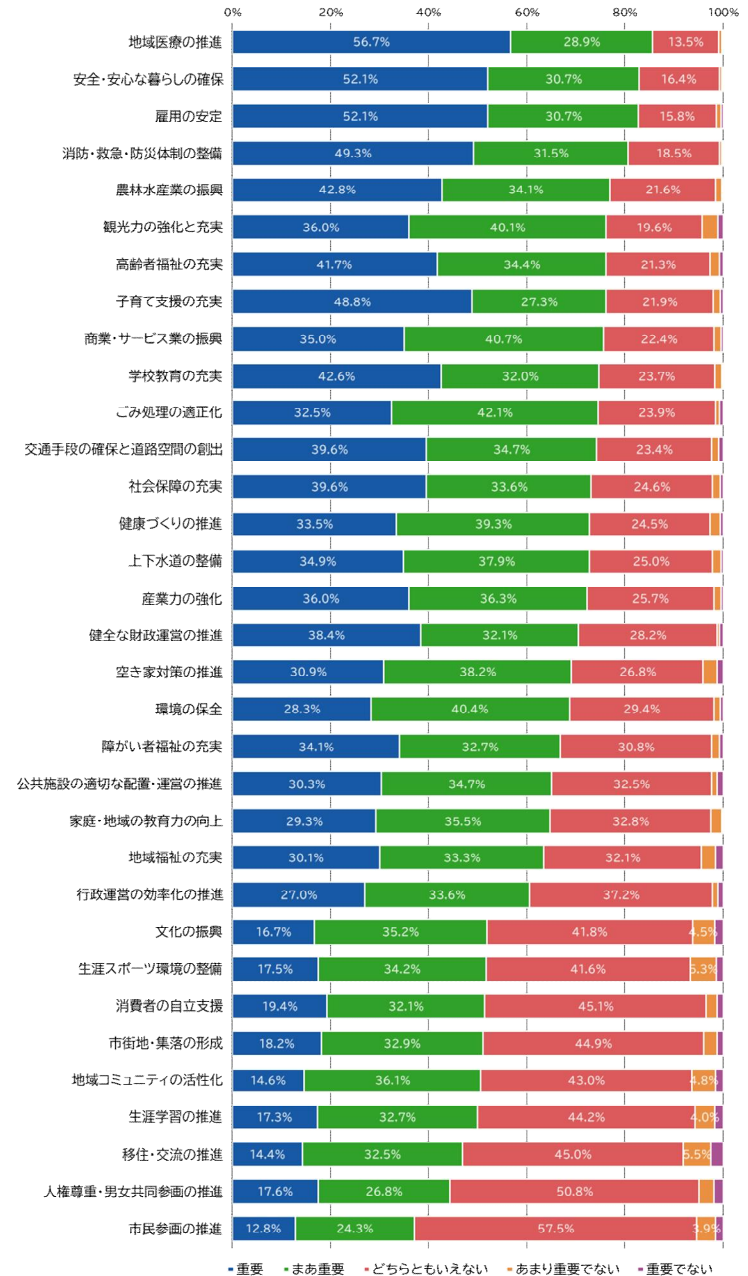
施策の満足度

(「満足」+「まあ満足」の多い順)

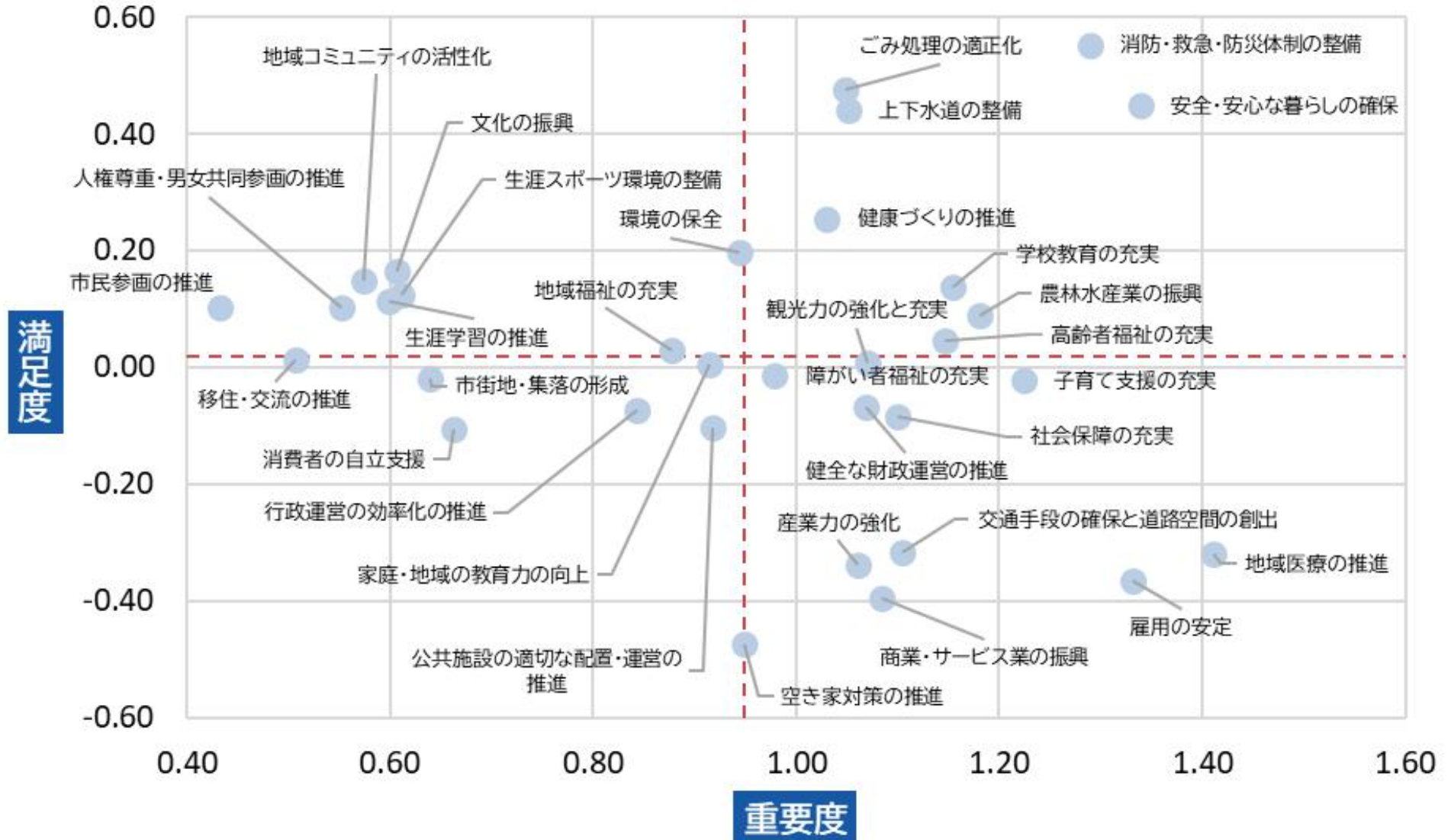


施策の重要度

(「重要」+「まあ重要」の多い順)

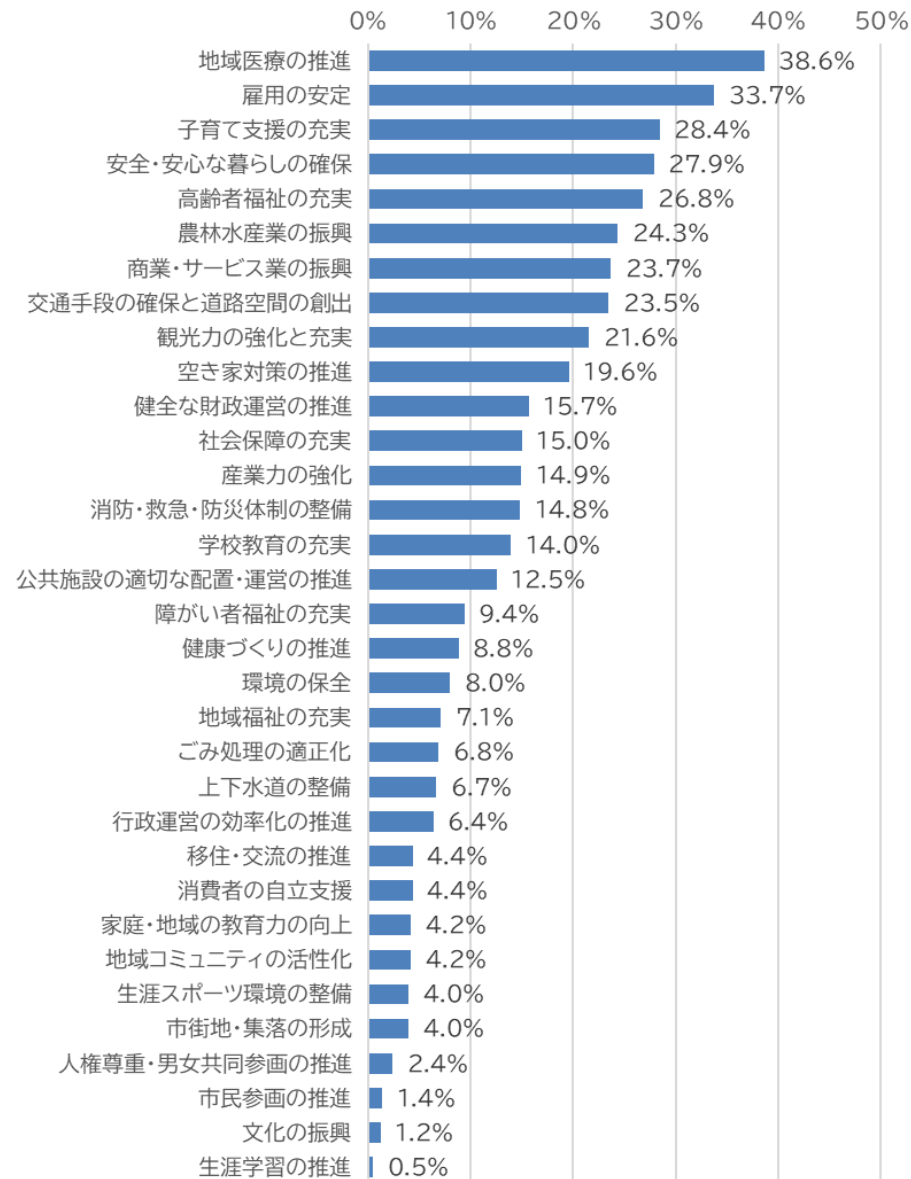


施策の満足度・重要度（関係図）

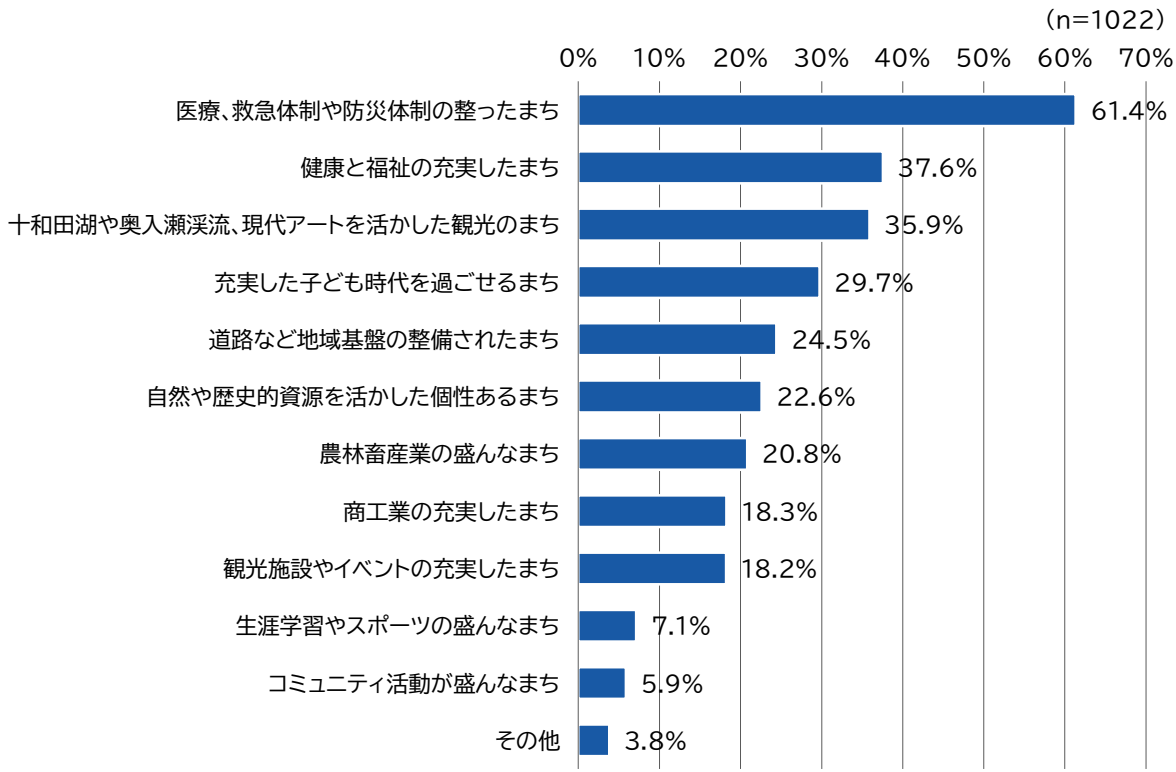


最も優先すべき施策

(n=1052)

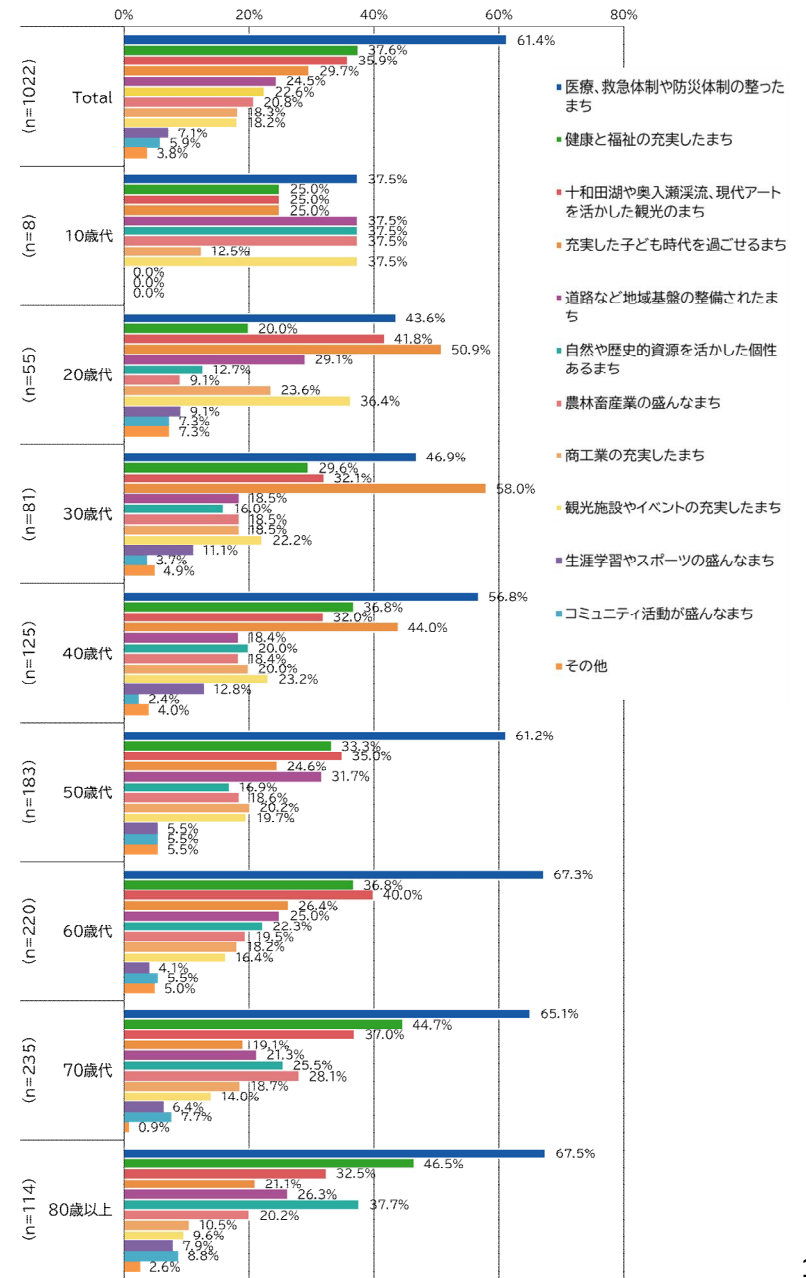


十和田市市全体がめざすべきまちの姿

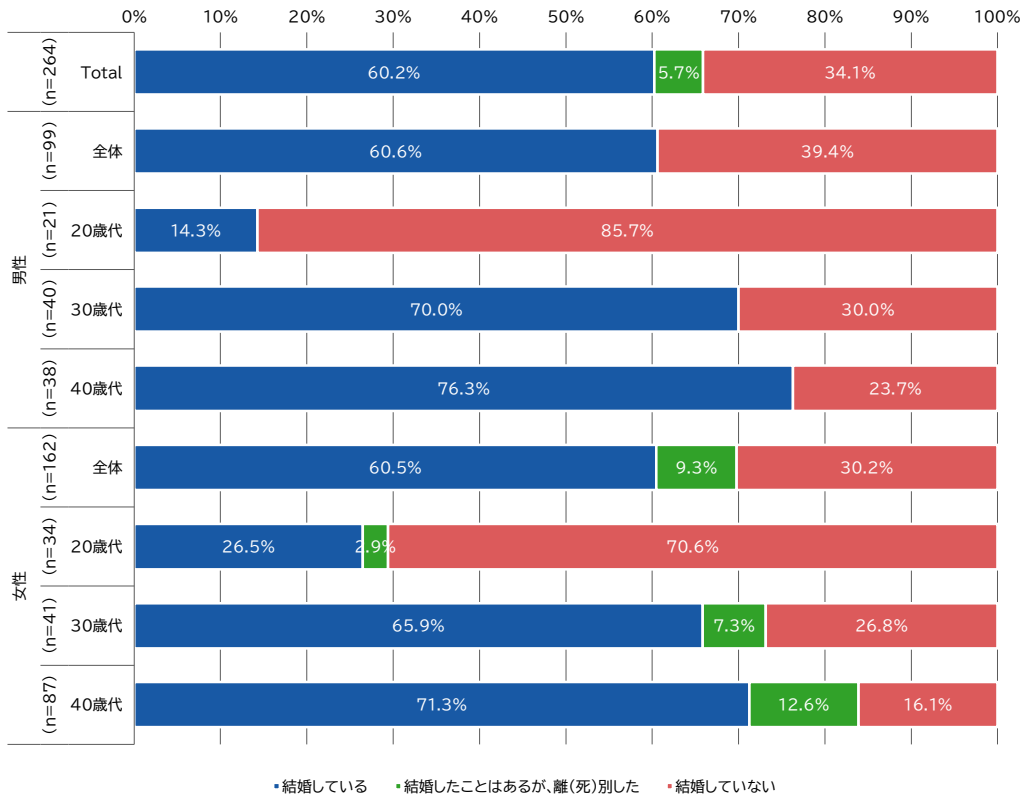


【その他の回答例】

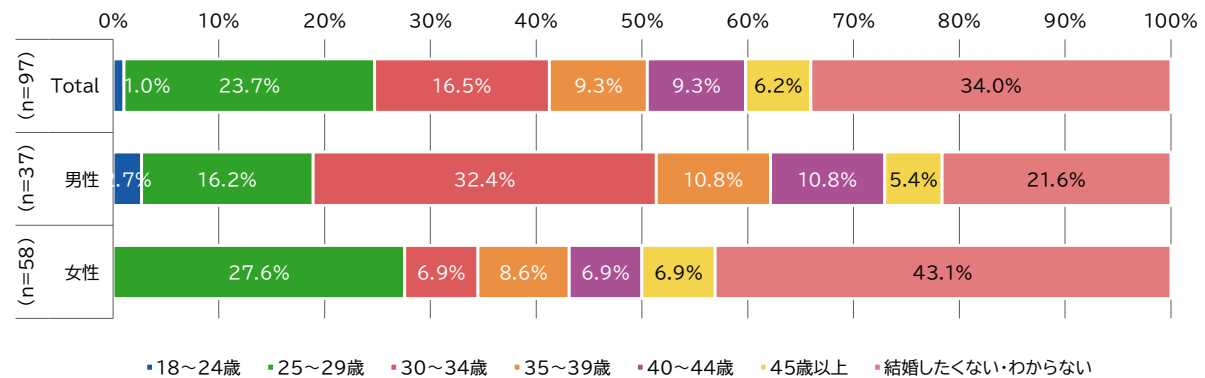
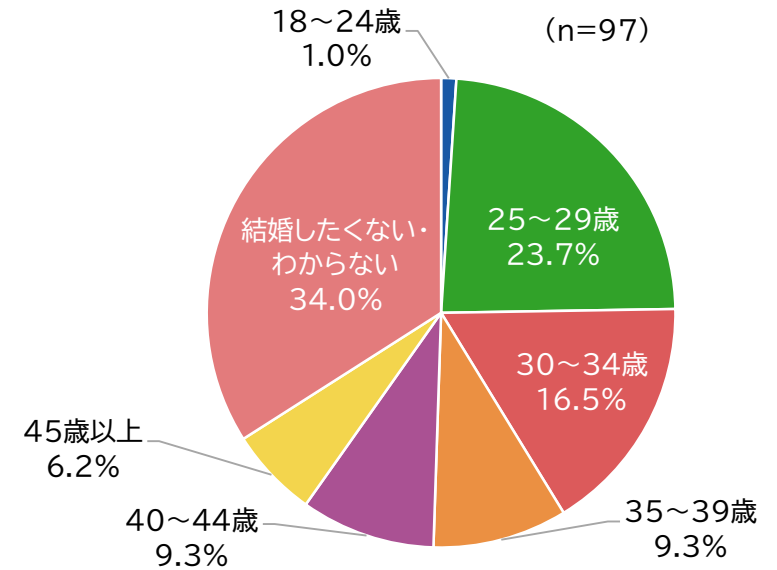
- ・ 若い人たちが希望をもって仕事に力を注げるまち作り
- ・ 市外から若者を中心に移住・転入したいと思えるまち
- ・ 子どもの居場所、子ども・若者の遊び場・娯楽が充実したまち
- ・ 誰もが子育てしやすいまち、産婦人科の設置
- ・ 人口減少対策に取り組むまち
- ・ 増加傾向にある高齢者も活躍できるまち
- ・ 外国人向けも含めた観光の発信力強化・PR
- ・ 大学・企業の誘致



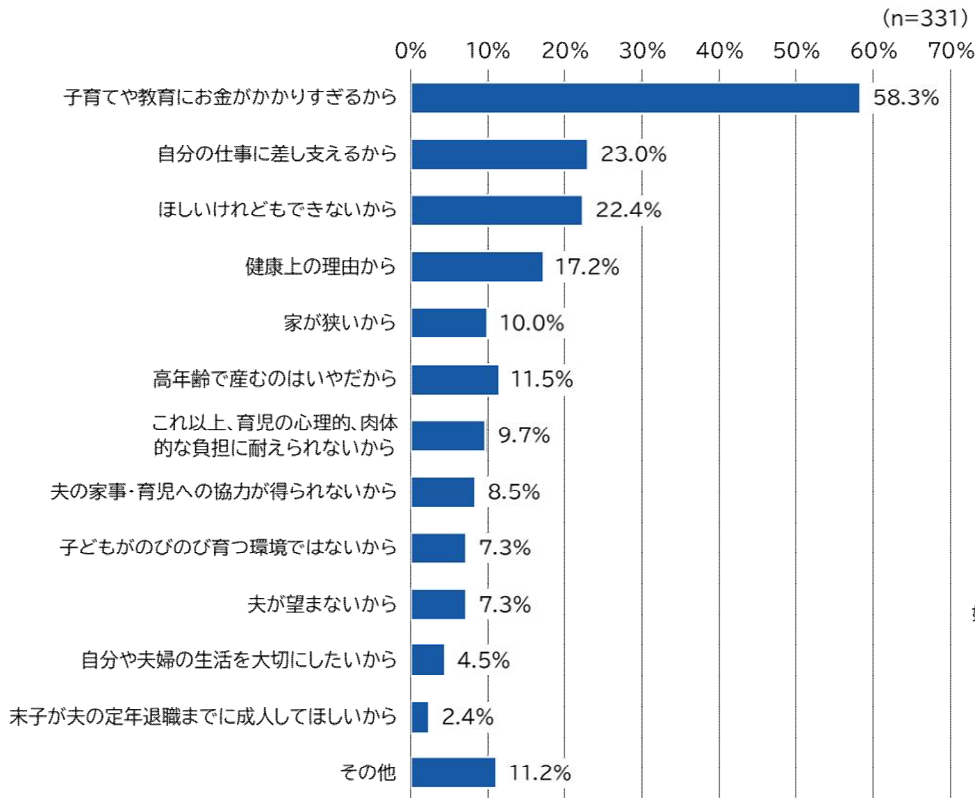
結婚の状況



結婚したいと思う年齢 (20-40歳代)



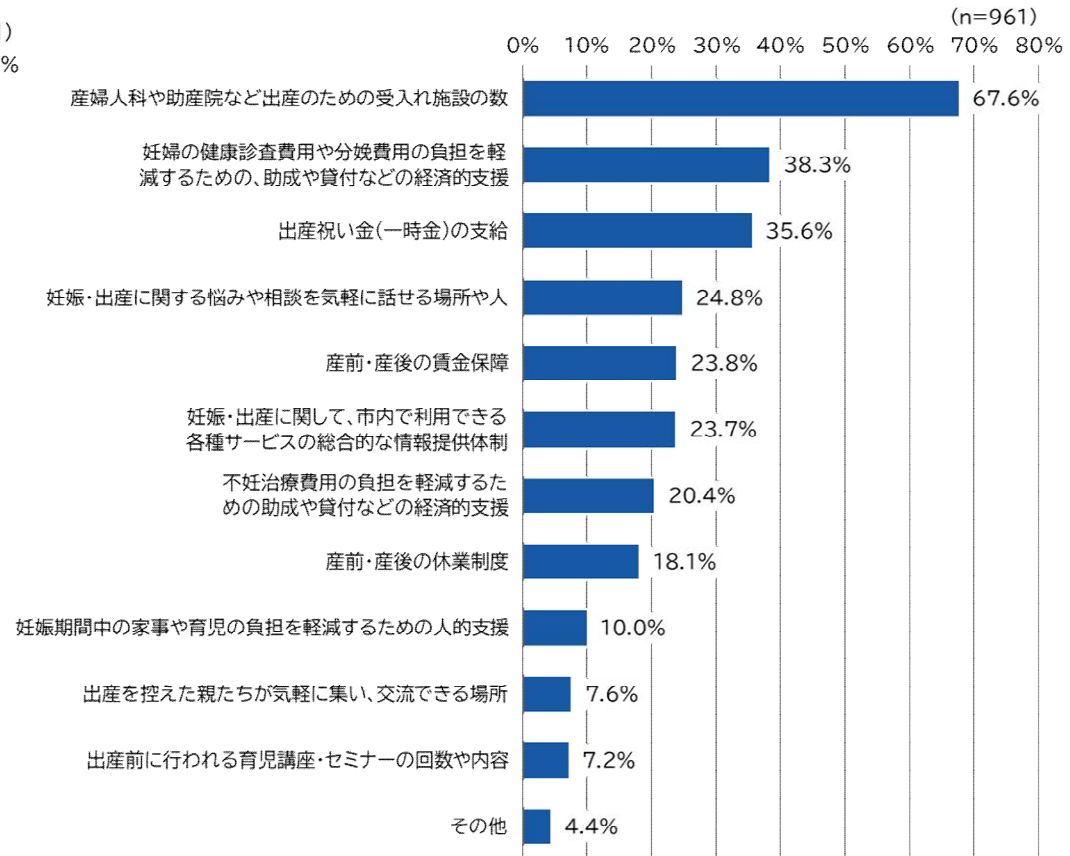
現在のこどもの人数と比べ理想の人数が少ない理由



【その他の回答例】

- ・ 夫婦共働きで、多人数の子どもの子育てができない
- ・ 今は子育てよりも仕事を優先したいから
- ・ 仕事に追われ余裕がないから
- ・ 2人育てる自信がなかったから
- ・ 結婚が遅かったので
- ・ 年子で出産して、大変しんどかったため
- ・ 育児への不安
- ・ 十和田市に産婦人科がないから

出産について行政として実施する今後の取組



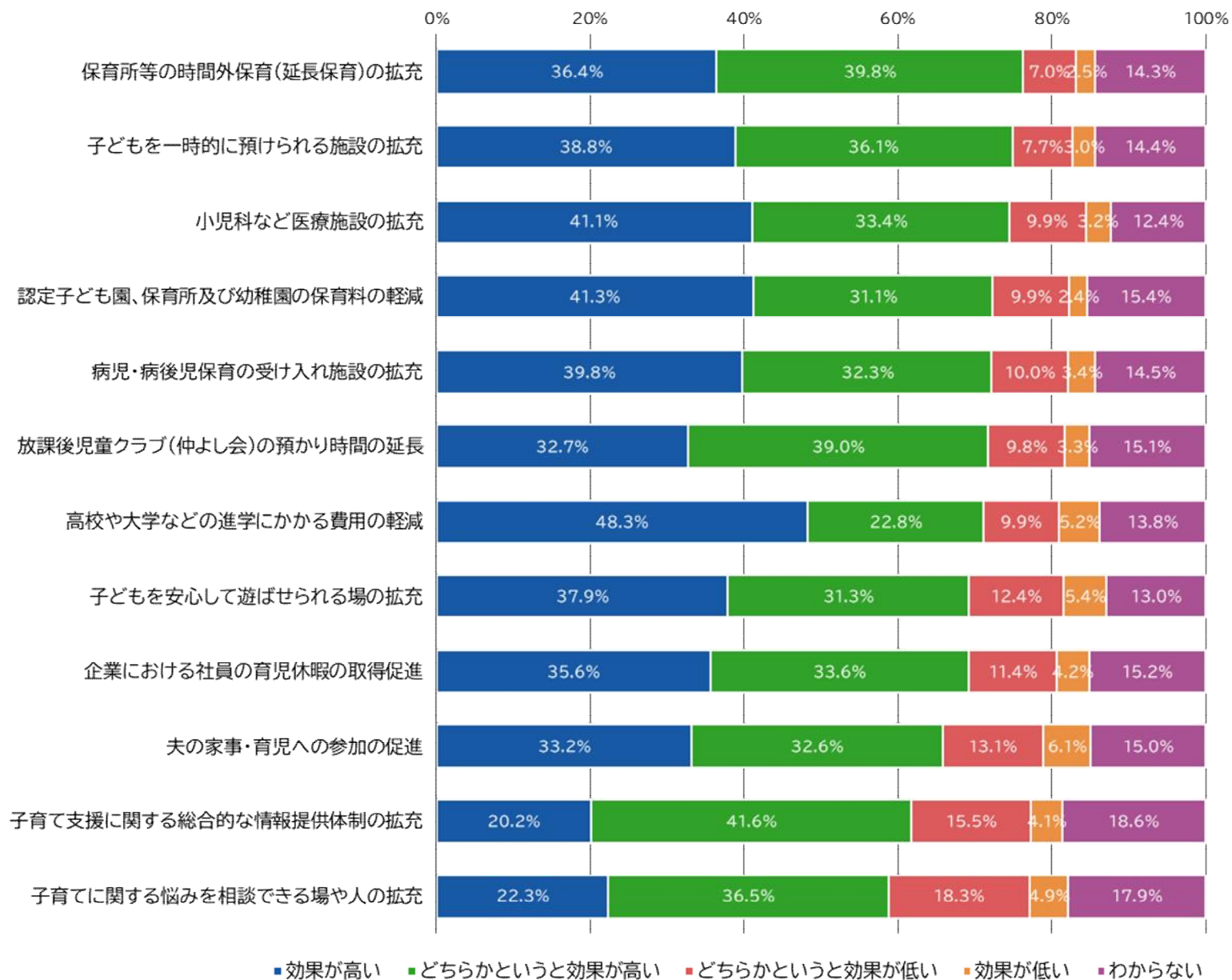
【その他の回答例】

- ・ 産婦人科が少ない問題への対応

※希望出生率：1.75

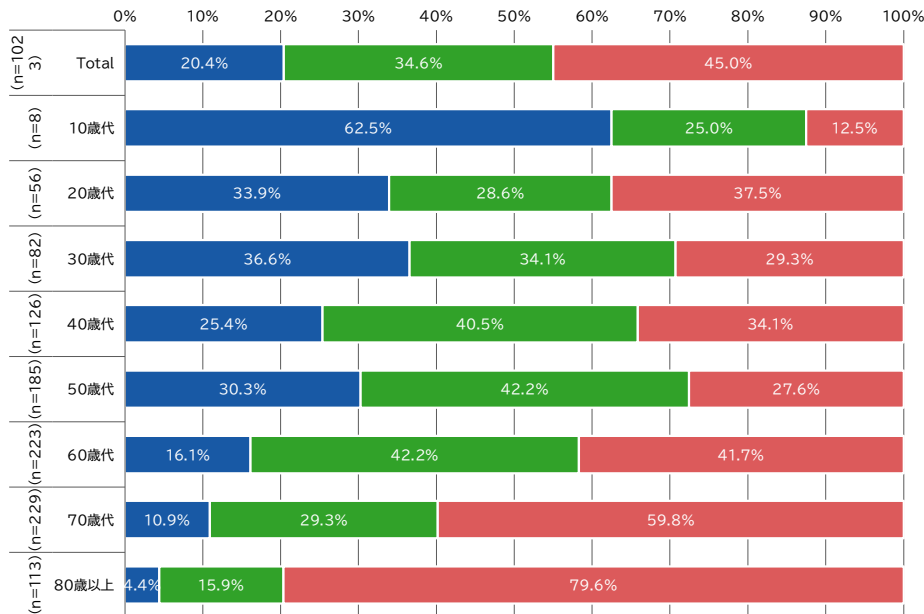
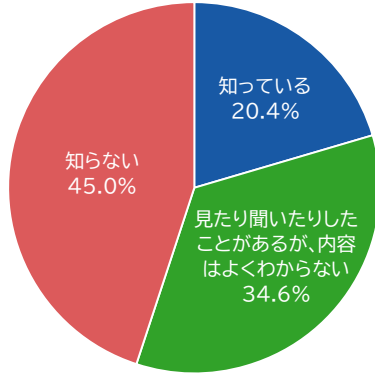
子育てに関する取組の効果

(「効果が高い+どちらかという効果が高い」が多い順)



「ダイバーシティ」という言葉の認知度

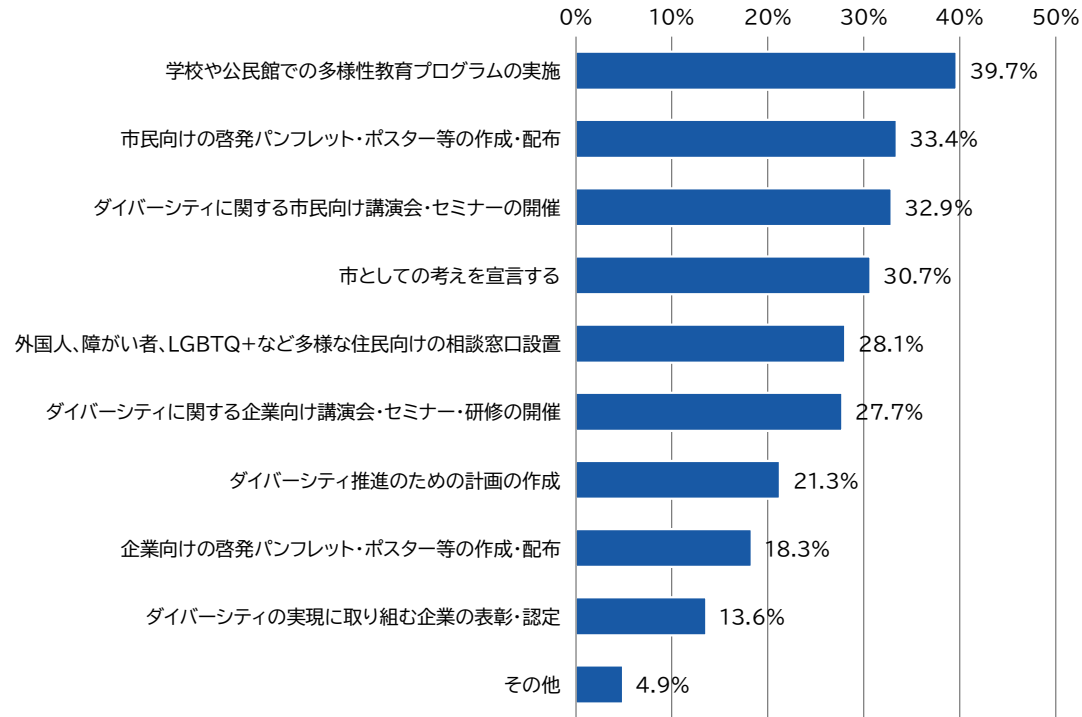
(n=1023)



● 知っている ● 見たり聞いたりしたことがあるが、内容はよくわからない ● 知らない

ダイバーシティについて行政が取り組むべきこと

(n=912)

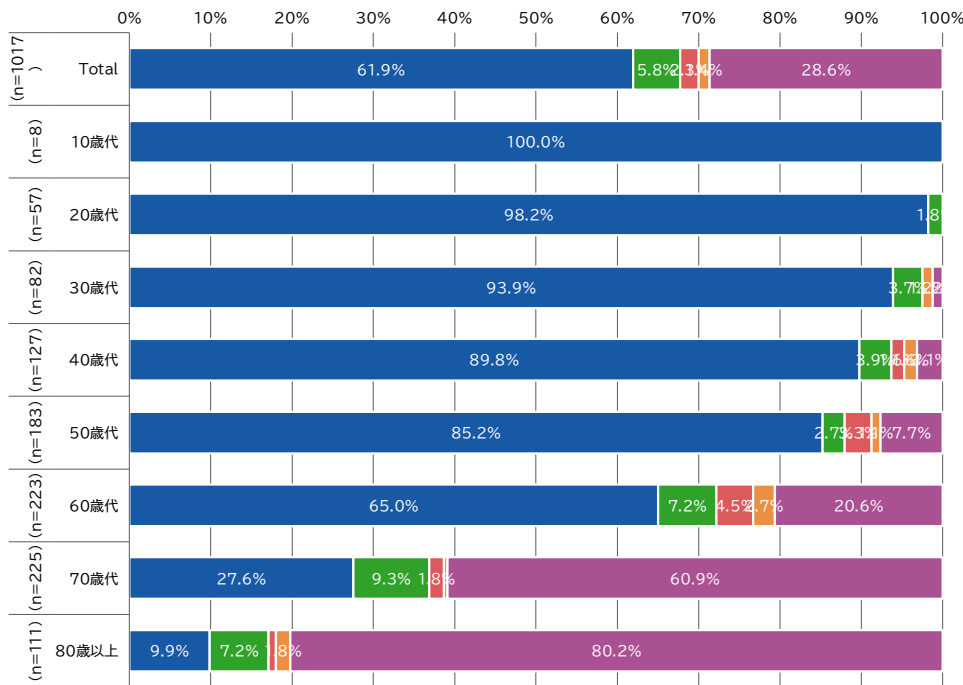
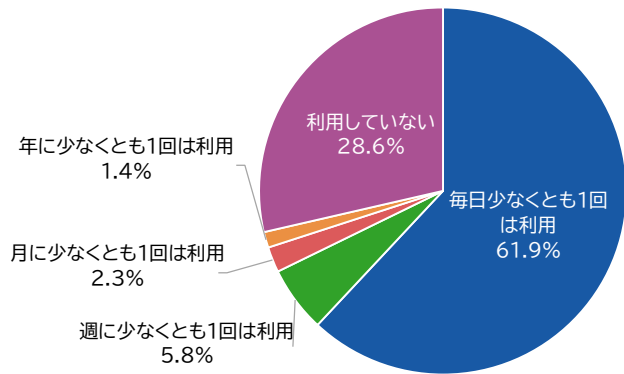


【その他の回答例】

- 行政がお手本となること
- 同性婚の受入
- 学校教育においての本当の意味での子どもを尊重して指導する在り方
- フレックス勤務や在宅勤務の拡大
- 率先してする必要性は感じない

インターネットの利用状況

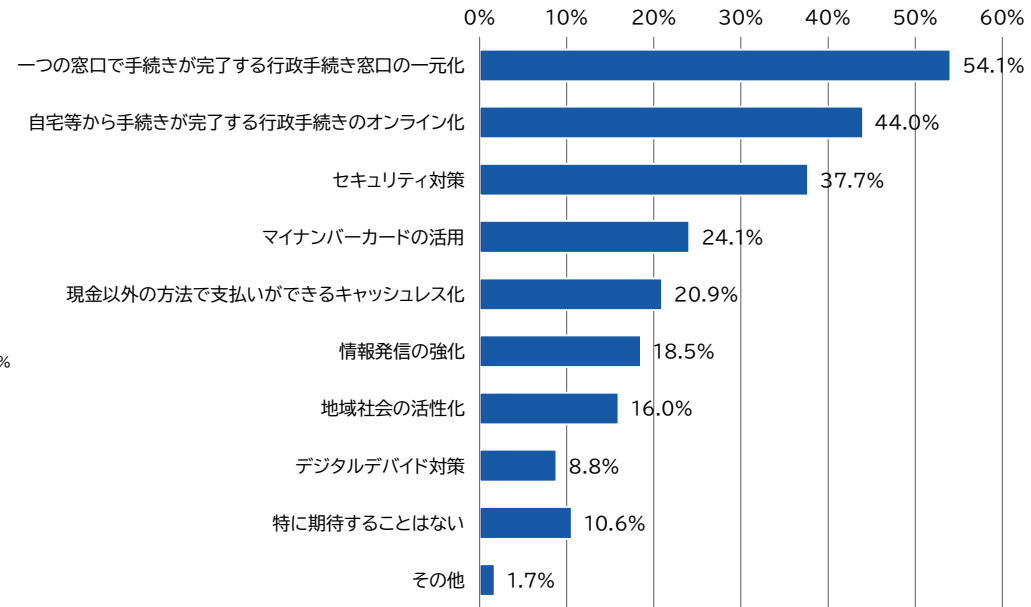
(n=1017)



●毎日少なくとも1回は利用 ●週に少なくとも1回は利用 ●月に少なくとも1回は利用 ●年に少なくとも1回は利用 ●利用していない

デジタル化が進むことによる市役所のサービスへ期待すること

(n=984)



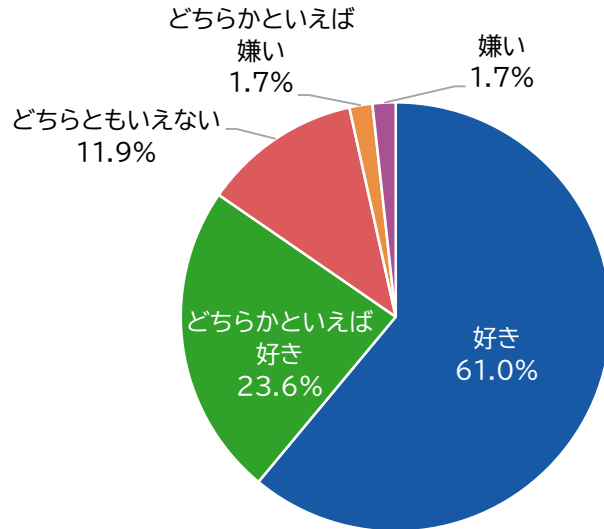
【その他の回答例】

- ・ 改めてインクルージョンも重要視してもらいたい
- ・ 多様はよいが、責任も伴うことを教える風潮が必要
- ・ ダイバーシティという言葉のもとで全てが正当化されることがあってはならない
- ・ 安全が確保されなければならない

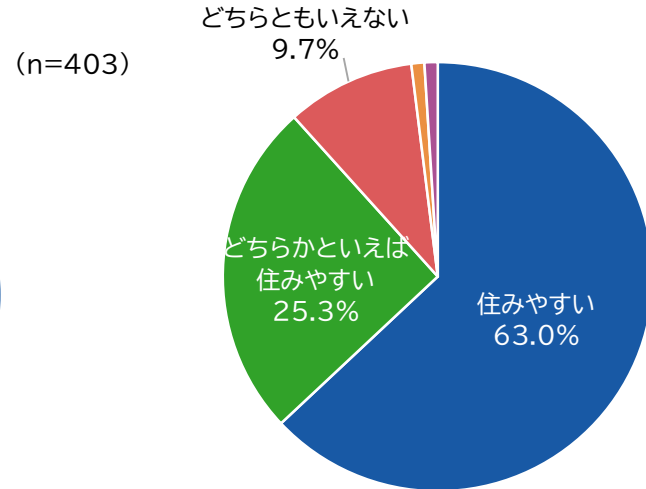
調査の概要

調査目的	「第3次十和田市総合計画」の策定の参考とするため、市内小学校の5年生の意見を聴取する。		
調査対象・方法	市内小学校の5年生全員を対象として、学校備え付けタブレットを通じて回答。		
調査期間	令和7(2025)年8月25日(月)～9月29日(月)		
回収数	対象者総数	有効回答数	有効回答率
	424件	403件	95.0%

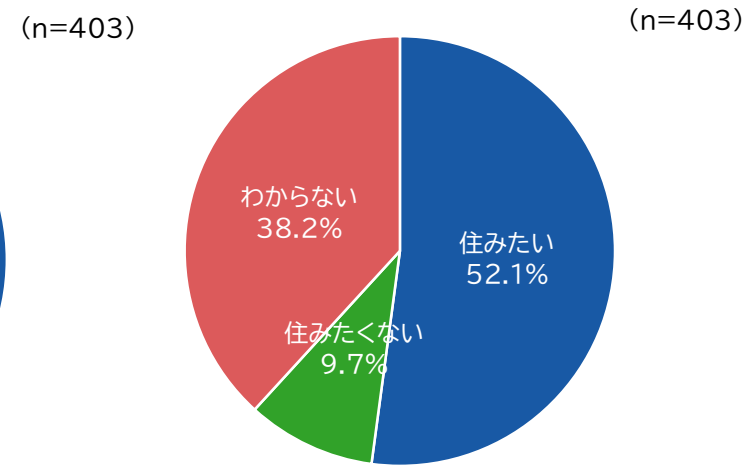
十和田市が好きか



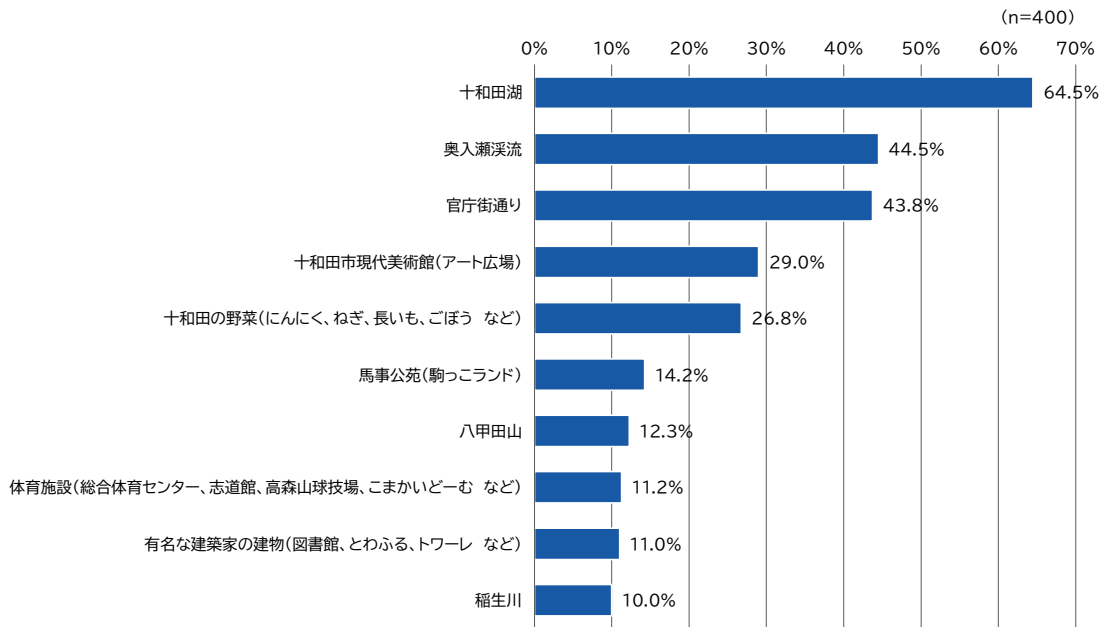
十和田市の住みやすさ



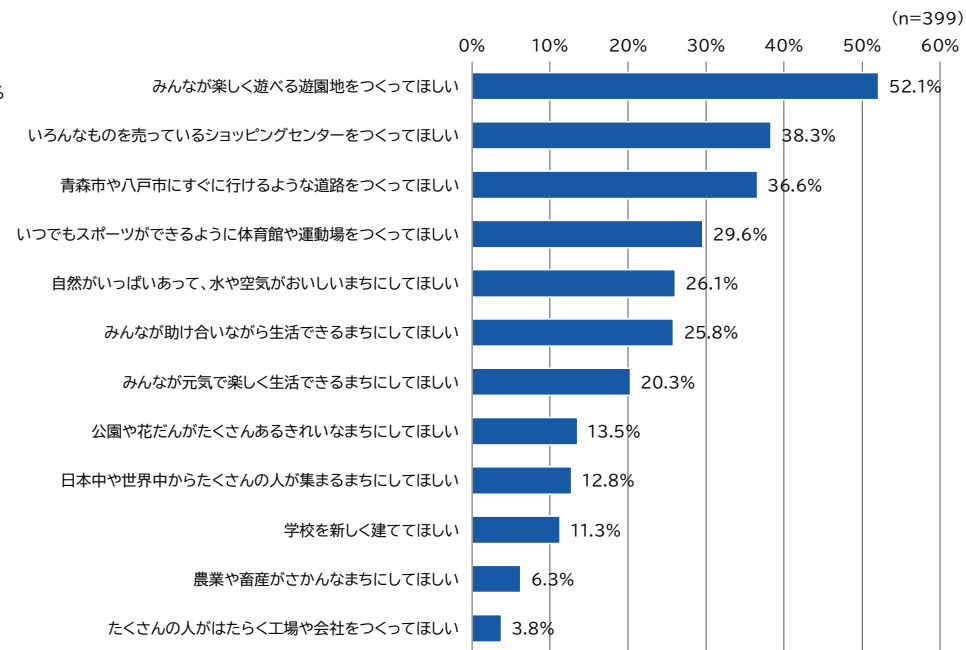
大人になっても十和田市に住みたいか



十和田市で自慢できること



十和田市にしてほしいと思っていること



十和田市のよいと思うところ（好きなところ）（主な意見）

■ 自然・環境の豊かさ

- 十和田湖、奥入瀬溪流、稲生川、八甲田山など美しい自然が多い
- 桜並木や花火大会など四季折々の景観が楽しめる
- 空気や水がきれいで、環境に優しい町
- 田畑や緑が多く、農作物（にんにく、ごぼう、長芋、りんごなど）が豊富

■ 芸術・文化・施設

- 十和田市現代美術館やアート広場、フラワーホースなど芸術作品が街にある
- 図書館、市民プール、体育館、駒っこランドなど公共施設が充実
- 官庁街通りの桜並木や街並みが美しい（日本の道100選）
- 大きなスーパーがあり、買い物がしやすい

■ 行事・地域活動

- 秋祭り、桜祭り、花火大会、流鏝馬など伝統的で楽しいイベントが多い
- 地域清掃やゴミ拾い活動など住民の協力が盛ん
- 地域交流や友好都市とのつながりがある

■ 暮らしやすさ・人の温かさ

- 治安が良く、事件が少ない
- 挨拶をしてくれる人が多く、地域の人優しい
- 車が横断歩道で譲ってくれるなど思いやりがある
- 津波など大きな災害が少なく安心して暮らせる / 等

十和田市のよくなってほしいと思うところ（きれいなところ）（主な意見）

■ ごみ・環境問題

- ポイ捨てが多い、祭りや公園にごみが残る
- ゴミ箱が少なく、道や施設にごみが散乱している
- ごみ拾いをする人が少ないため、街が汚れて見える
- 自然を守り、木や花を増やして環境を豊かにしてほしい

■ 商業・施設の不足

- 大型ショッピングモールやデパートが少ない
- ディスカウントストア・飲食店・ファストフードの人気チェーン店がない
- 映画館、ゲームセンター、遊園地、水族館など娯楽施設が不足
- 商店街がシャッター街化していて寂しい雰囲気

■ 公園・遊び場の不足

- 公園の数が少なく、遊具も不足している
- 子供や中高生が遊べる施設が少ない
- 屋内で遊べる場所やアスレチック施設が欲しい
- ドッグランや広い運動場なども求められている

■ 交通・インフラの不便さ

- 電車や新幹線がなく、移動手段が車やバスに限られる
- 道路や歩道が凸凹で狭く、整備が不十分
- 信号が多すぎたり事故が起きやすい場所がある
- 八戸や青森に行く道路をもっと便利にしてほしい

■ 学校・公共施設

- 学校の校舎が古い、体育館や家庭科室にエアコンがない
- 西小学校のプールを続けてほしいという声
- 学業に専念できる施設や図書館を増やしてほしい

■ 社会・暮らし

- 人口が少なく、若者が減っている
- 犯罪や事故、不審者がいることへの不安
- 挨拶をしない人がいる、地域の交流が少ない
- 高齢者や子育て世代が住みやすい環境を整えてほしい / 等

十和田市をよりよいまちにするために、できること・思いつくこと（主な意見）

■ 環境・ごみ対策

- ・ポイ捨てをなくす、落ちているごみを拾う
- ・ゴミ箱を増設、公園や自販機の近くに設置
- ・ごみ拾い活動やボランティアを活発にする
- ・リサイクルや分別を徹底し、きれいな街にする
- ・自然を守り、木や花を増やして環境を豊かにする

■ 商業・娯楽施設の充実

- ・大型ショッピングモール、映画館、遊園地、水族館、動物園などを建設
- ・ディスカウントストア・アニメ店など人気店の誘致
- ・公園や運動場、アスレチックなど子どもが遊べる施設を増やす
- ・若者や大人も楽しめる施設を整備

■ イベント・文化

- ・祭りやイベントを増やし、地域交流を活発にする
- ・十和田湖や奥入瀬溪流など観光資源をもっとPR
- ・全国から人が集まるような大きな祭りやコンサートを開催
- ・十和田市の魅力を伝えるCMやポスターを作る

■ 暮らしやすさ・福祉

- ・子育て支援（子どもを産んだ人への大きなメリット、子育て施設の充実）
- ・病院や医療設備を増やす
- ・高齢者や困っている人を助ける仕組みを整える
- ・不登校やいじめをなくす取り組み
- ・点字ブロックやスロープを増やし、誰でも暮らしやすい街に

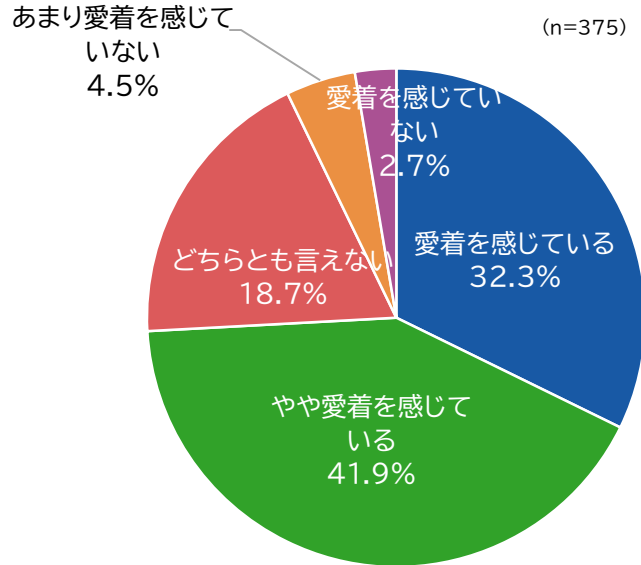
■ 交通・インフラ

- ・電車の復活、駅の新設
- ・バスの本数を増やす、道路を広く整備する
- ・安全な交通環境（信号無視や危険運転の防止）／等

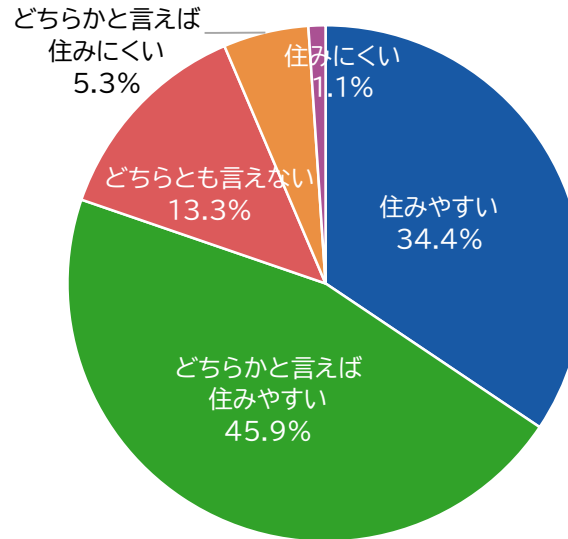
調査の概要

調査目的	「第3次十和田市総合計画」の策定の参考とするため、市内中学校の2年生の意見を聴取する。		
調査対象・方法	市内中学校の2年生全員を対象として、学校備え付けタブレットを通じて回答。		
調査期間	令和7(2025)年8月25日(月)～9月29日(月)		
回収数	対象者総数	有効回答数	有効回答率
	466件	375件	80.5%

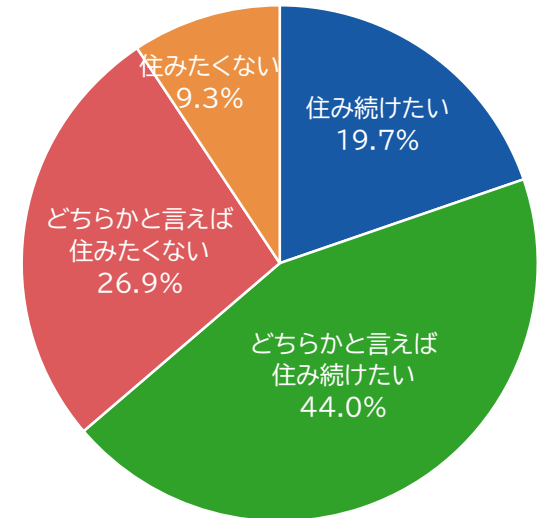
十和田市への愛着



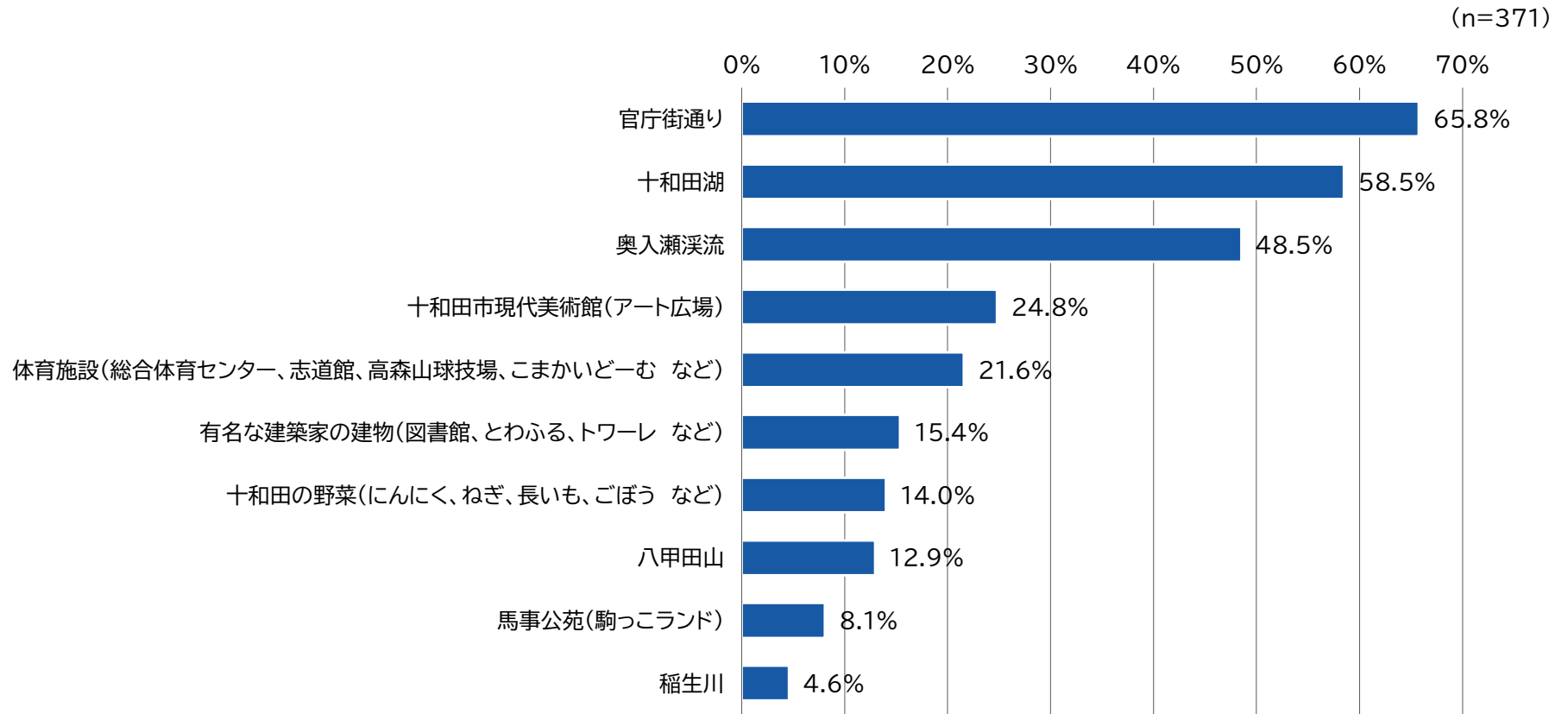
十和田市の住みやすさ



定住意向



十和田市で誇れるもの



十和田市の魅力と感ずる点（主な意見）

■ 自然・環境の豊かさ

- 十和田湖、奥入瀬溪流、八甲田山などの美しい自然景観
- 桜並木や四季折々の風景が楽しめる
- 空気や水がきれい、災害が少ない安心感
- 農産物（りんご、ごぼう、にんにく、長芋など）が豊富で美味しい

■ 芸術・文化

- 十和田市現代美術館や街中のアート作品
- 官庁街通りの美しい街並みと桜並木（日本の道100選）
- 芸術を活かしたまちづくりが魅力的

■ 行事・イベント

- 秋祭り、花火大会、流鏝馬など伝統的で迫力ある祭り
- 地域の人々が参加するイベントが多く、にぎわいを感じられる

■ 食の魅力

- バラ焼き、馬刺し、ラーメン、焼肉、餃子など美味しい料理が豊富
- 野菜や果物など地元食材の味が良い
- 源たれなど特産品が有名

■ 暮らしやすさ・人の温かさ

- 人が優しく、治安が良い
- 公園や勉強できる施設が多く、住みやすい環境
- 都会すぎず田舎すぎない「ちょうど良い」街の規模 / 等

十和田市の魅力と感じない点（主な意見）

■ 娯楽・遊び場の不足

- 遊ぶ場所が少ない（映画館、遊園地、ゲームセンター、漫画喫茶などが不足）
- 若者や子ども向けの施設が少なく、友達と気軽に集まれる場所がない
- 屋内で遊べる施設やアスレチック、スポーツ施設が不足
- イベントが少なく、街に活気がない

■ 商業・店舗の不足

- 大型ショッピングモールやデパートがない（下田や八戸まで行かないと買い物できない）
- カフェ、飲食店、ファッション店、アニメ店などの人気チェーン店がない
- 飲食店やスイーツ店が少なく、バリエーションが乏しい
- 商店街がシャッター街化していて閉店が多い

■ 交通・インフラの不便さ

- 電車がなく、バスの本数が少ない・料金が高い
- 車以外の移動手段が乏しく、郊外から市街地へのアクセスが不便
- 道路や歩道が凸凹で危険、街灯が少なく夜道が暗い

■ 景観・施設の問題

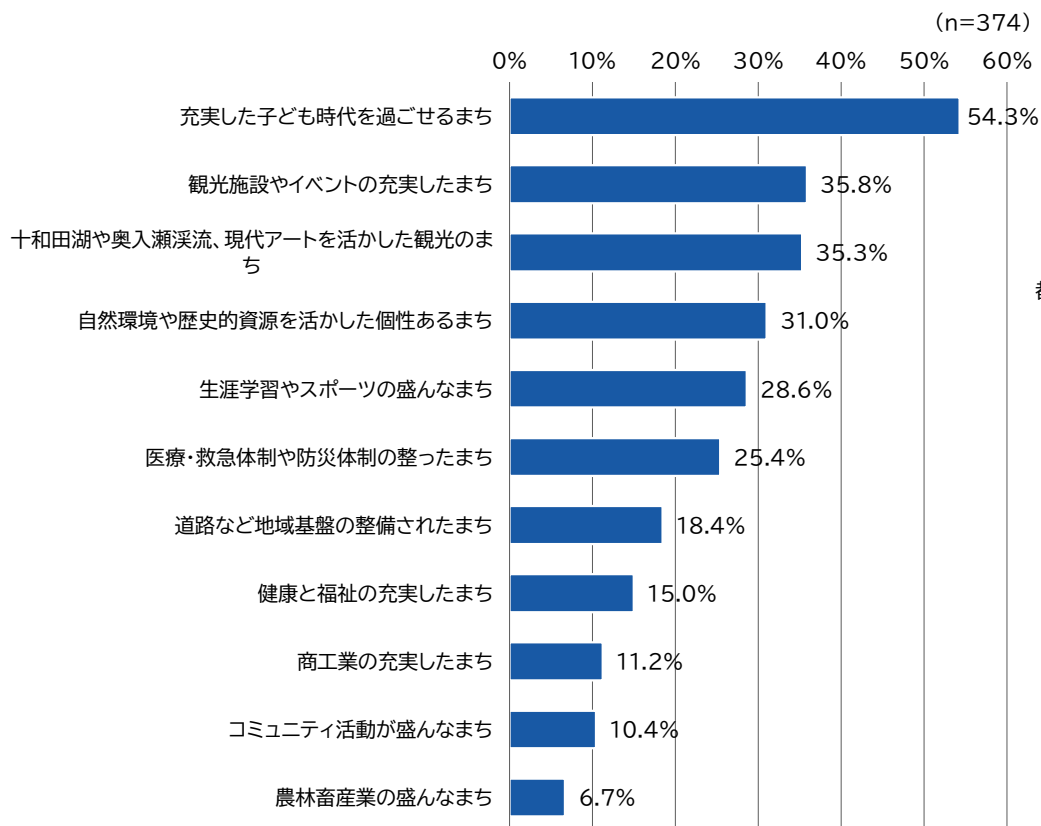
- 空き家や古い建物が多く、街並みに活気がない
- 無駄な建物や使われていない施設が多い
- 公園や遊具が少なく、整備が不十分
- トイレが汚い、ゴミ箱が少ないなど生活環境面の不満

■ 社会・暮らし

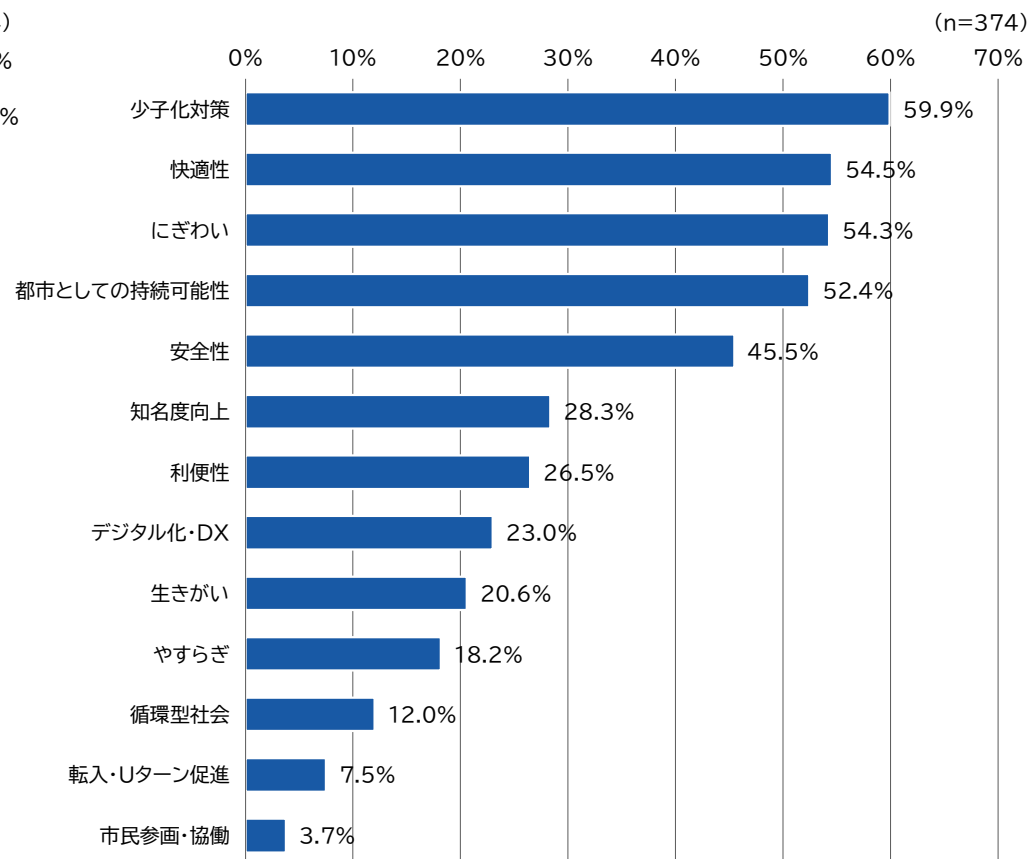
- ポイ捨てやゴミが多い、マナー違反が目立つ
- 治安が悪いと感じる場面がある、不審者の存在
- 人口減少や高齢者中心の街づくりで若者向けの施策が不足
- 「田舎すぎる」「何もない」と感じる声が多い

／等

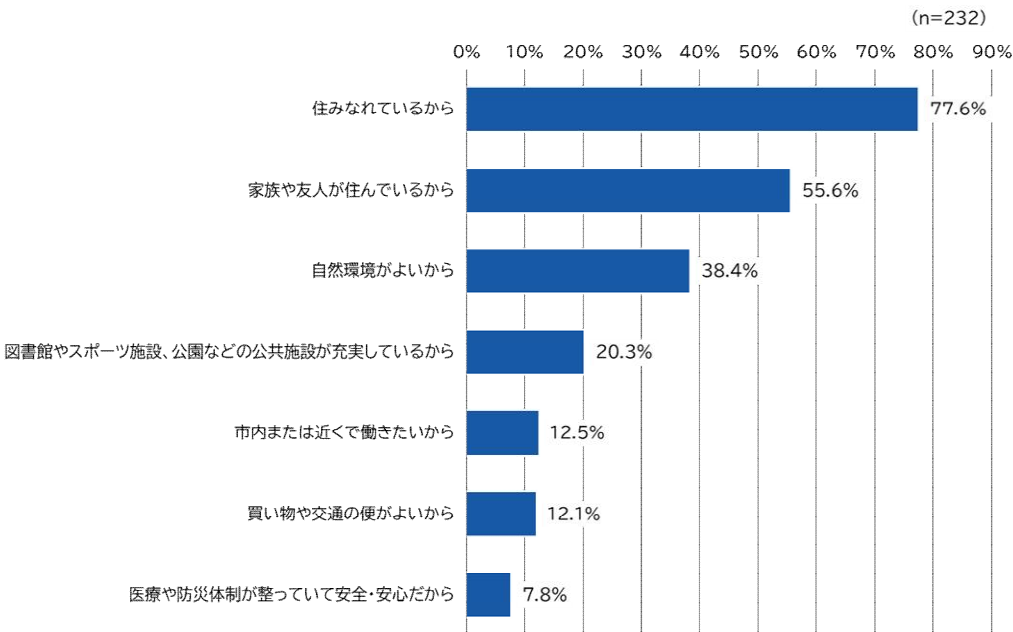
十和田市の10年後のまちの姿



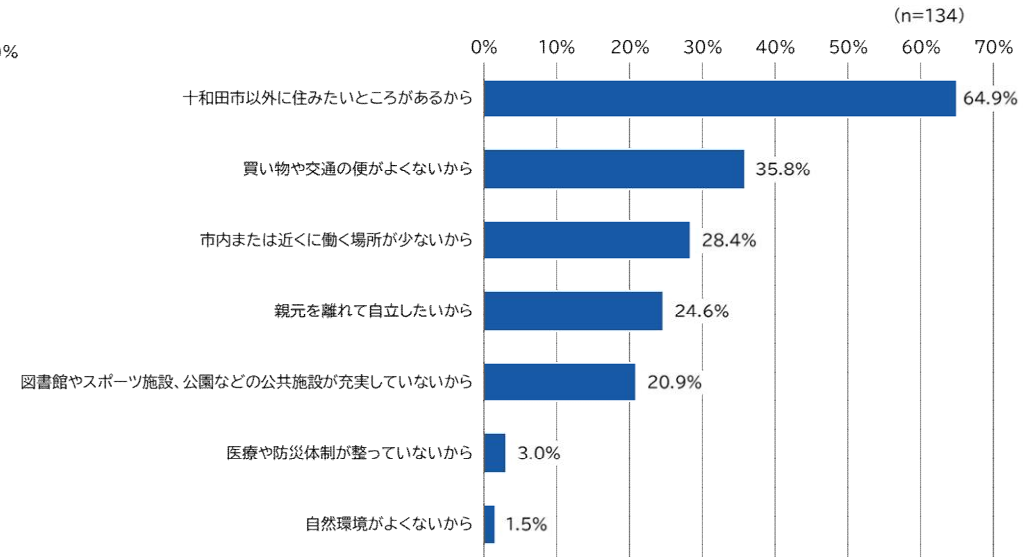
これからのまちづくりに必要な視点



住み続けたい理由



住み続けたくない理由



十和田市をよりよいまちにするために、できること・思いつくこと（主な意見）

■ 商業・娯楽施設の充実

- ・大型ショッピングモールやデパートの建設
- ・カフェ、飲食店、ファストフード、ゲームセンターなどの人気チェーン店の誘致
- ・ゲームセンター、映画館、遊園地、トランポリン施設など子どもから大人まで楽しめる施設の増設
- ・アーケード街やシャッター街の復活・有効活用

■ 交通・インフラ整備

- ・電車の復活や駅の新設
- ・バスの本数増加、料金の見直し
- ・道路や歩道の整備（舗装、街灯、信号機の設置など）
- ・郊外と市街地を結ぶ交通網の改善

■ 環境・自然保護

- ・ポイ捨て防止、ゴミ拾い活動の推進
- ・ゴミ箱の増設、リサイクルの徹底
- ・自然を守りながら魅力を発信（奥入瀬溪流や十和田湖のPR強化）
- ・緑を増やし、環境保全活動を活発化

■ イベント・文化振興

- ・夏祭り・秋祭り・花火大会などイベントの拡充
- ・十和田の歴史や文化を伝える博物館の建設
- ・「十和田のいいところポスターコンクール」など市民参加型企画
- ・国際交流の場を設け、観光客や外国人との交流を促進

■ 福祉・暮らしやすさ

- ・子育て支援（出産時の補助金、産婦人科の増設）
- ・学生や若者が勉強・交流できるスペースの整備（軽食付き学習施設など）
- ・高齢者だけでなく学生や若者も楽しめる取り組み
- ・安全性向上（不審者対策、夜道の街灯増設、治安維持）／等

調査の概要

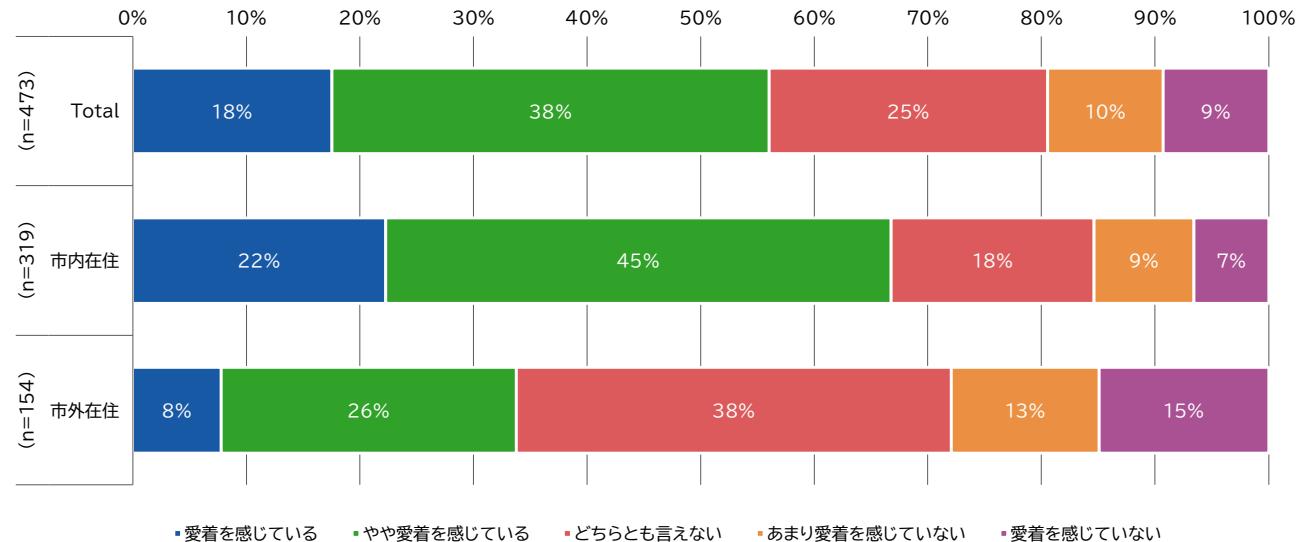
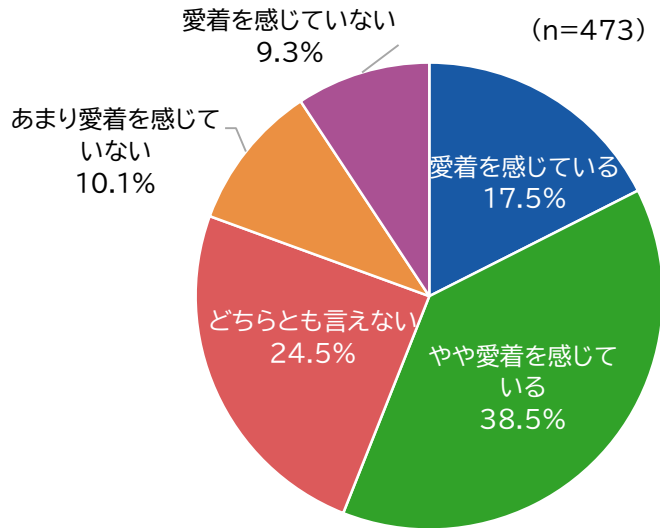
調査目的 「第3次十和田市総合計画」の策定の参考とするため、市内高校の2年生の意見を聴取する。

調査対象・方法 市内高校の2年生全員を対象として、学校備え付けタブレットを通じて回答。

調査期間 令和7(2025)年8月25日(月)～9月29日(月)

回収数	対象者総数	有効回答数	有効回答率
	518件	473件	91.3%

十和田市への愛着



十和田市の魅力と感ずる点（主な意見）

■ 自然の魅力

- 十和田湖・奥入瀬溪流・八甲田山など豊かな自然
- 桜や四季の美しい景観、空気や水がきれい
- 農産物(りんご・にんにく・野菜)が美味しい
- 災害が少なく、静かで落ち着ける環境

■ 芸術・文化

- 十和田市現代美術館や街中のアート作品
- 官庁街通りの美しい街並みと桜並木
- 流鏝馬や秋祭り、花火大会など伝統行事が盛ん
- 三本木小唄や南部切田神楽など地域文化

■ 食の魅力

- バラ焼き、源たれ、ラーメン屋など美味しい食べ物が豊富
- 古い飲食店や自営業の店に温かみがある
- ご飯や野菜・肉など地元食材が美味しい

■ 街並み・施設

- 官庁街通りの整然とした街並み、碁盤の目状の道路で迷いにくい
- 図書館や交流施設がきれいで充実
- 公園やスポーツ施設が多く、住みやすい環境
- スーパーや最低限の商業施設が揃っていて生活に困らない

■ 人・暮らし

- 人が優しく温かい、治安が良い
- 穏やかで平和な町並み
- 都会すぎず田舎すぎない「ちょうど良い」バランス / 等

十和田市の魅力と感しない点（主な意見）

■ 娯楽・遊び場の不足

- 遊ぶ場所が少ない(カラオケ・ゲームセンター・映画館・ショッピングモールなどが不足)
- 若者向けの施設やカフェが少ない
- 友達と集まれる場所が限られている
- イベントや子ども向けの遊び場も少ない

■ 商業施設・店舗の不足

- 大型ショッピングモールやデパートがない(下田や八戸まで行かないと買い物できない)
- カフェ、飲食店、ディスカウントストア、デパートなどの人気チェーン店がない
- 商店街がシャッター街化していて閉店が多い
- 魅力的な飲食店や今どきのお店が少ない

■ 交通・アクセスの不便さ

- 電車がない、バスの本数が少ない、運賃が高い
- 車以外の移動手段が乏しい
- 都市部へのアクセスに時間とお金がかかる

■ 景観・施設の問題

- 空き家や古い建物が多く、街並みが寂しい
- 歩道や道路がボコボコで危険、舗装が不十分
- 公共施設や体育館などが不足、設備が古い
- 官庁街通りは評価が高いが、脇道は景観が質素でバランスが悪い

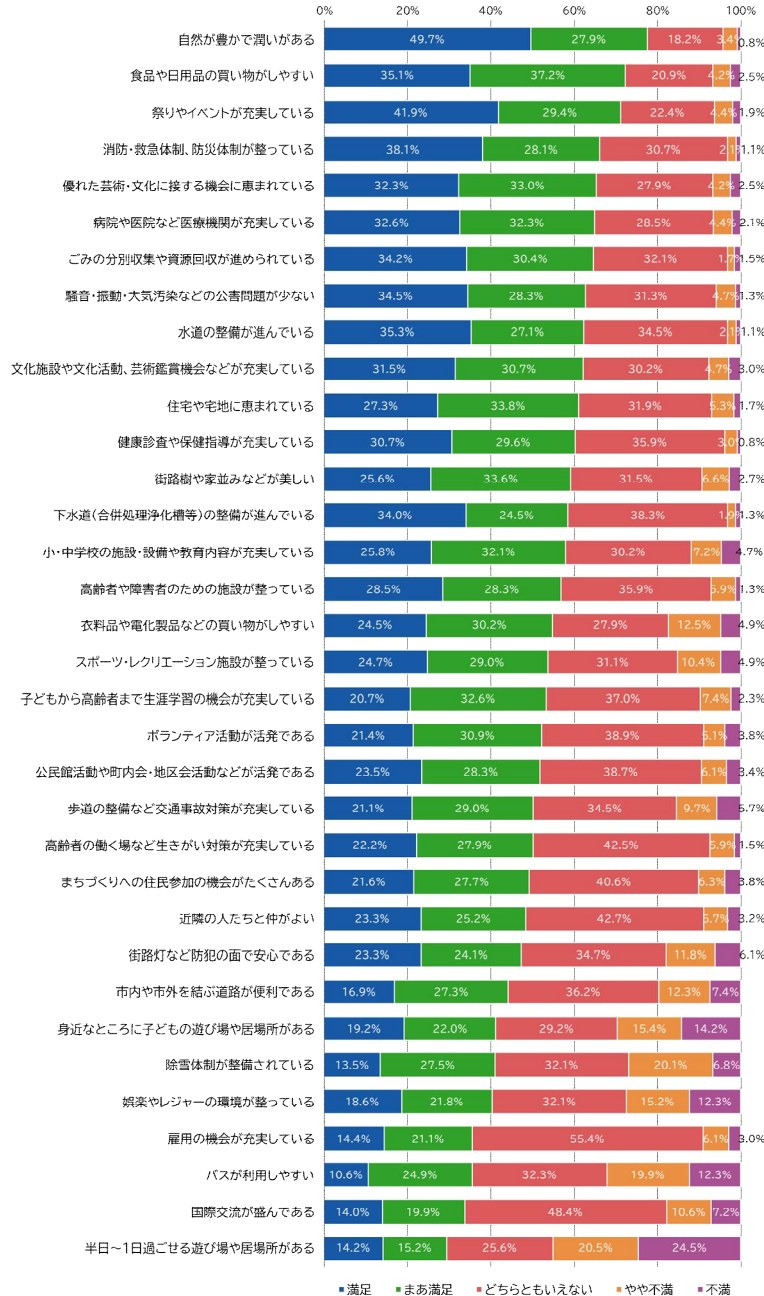
■ 行政・運営への不満

- トワーレやトワフルなど「市民に役立たない施設」に税金を使っていると感じる
- 美術品や観光向けの施設ばかりで、市民が喜ぶものが少ない
- ゴミやポイ捨てが目立ち、祭り後の清掃が不十分

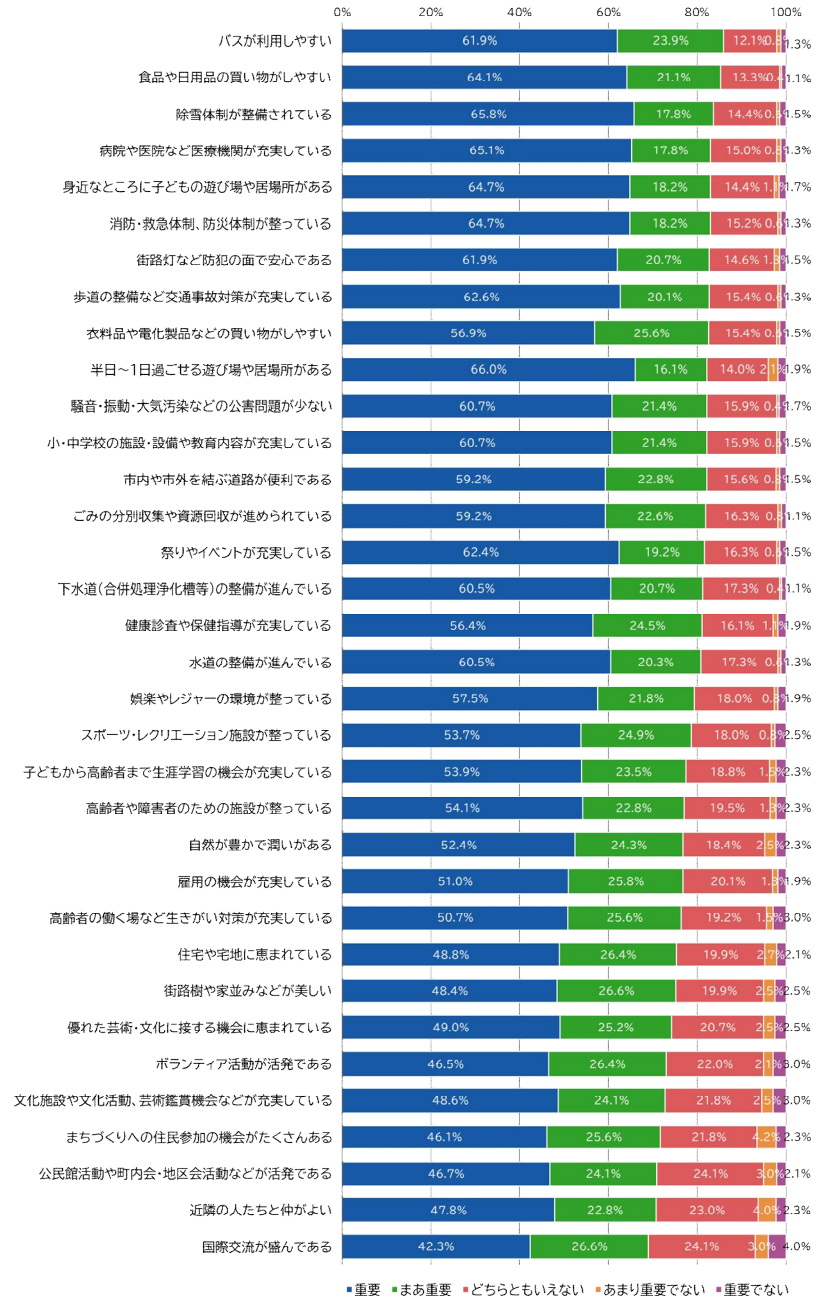
■ その他

- 馬糞の匂いなど生活環境面での不快感
- 熊の出没など安全面の不安
- 過疎化・少子高齢化が進んでいる / 等

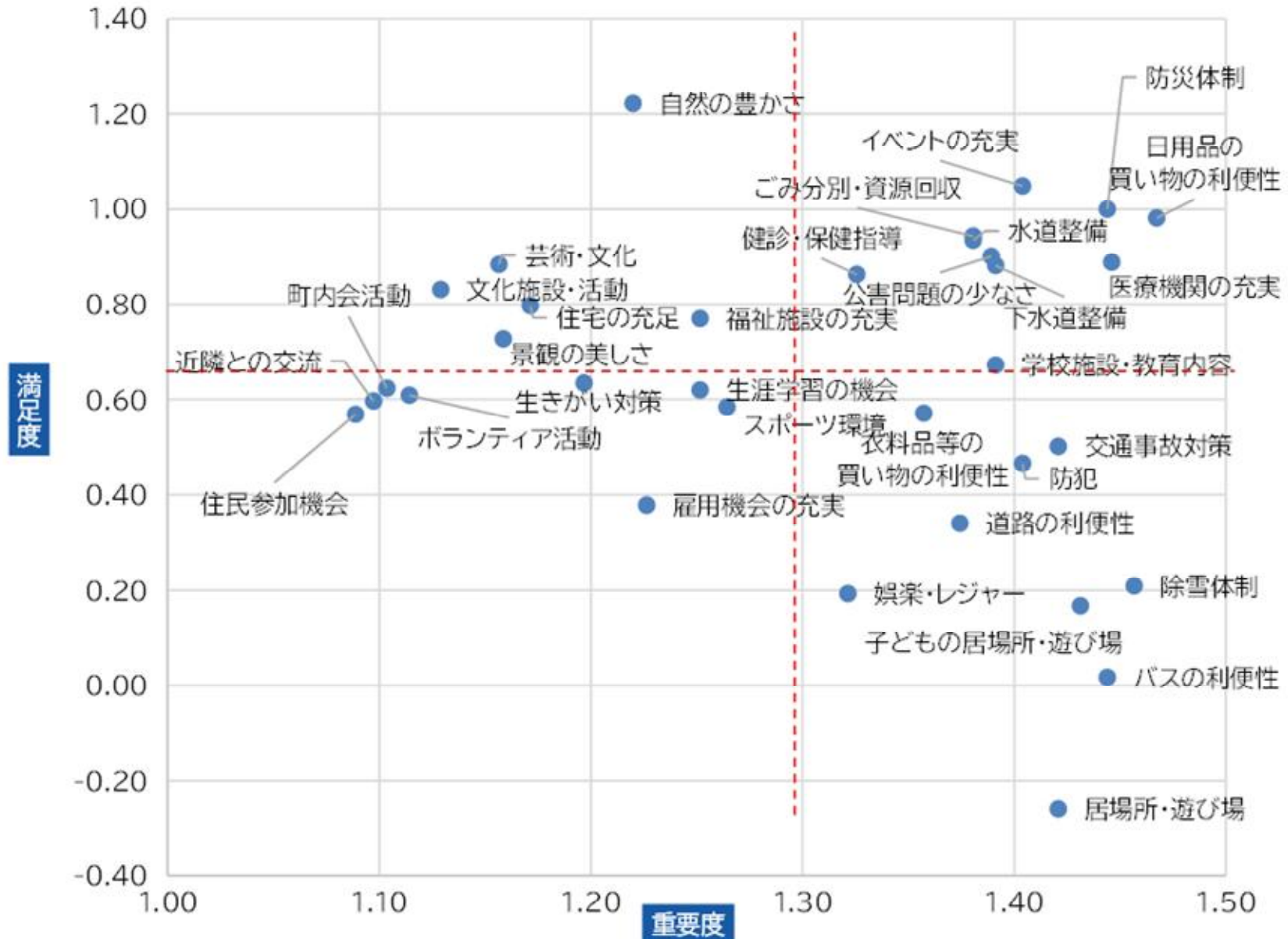
生活環境の満足度 (「満足」+「まあ満足」の多い順)



生活環境の重要度 (「重要」+「まあ重要」の多い順)

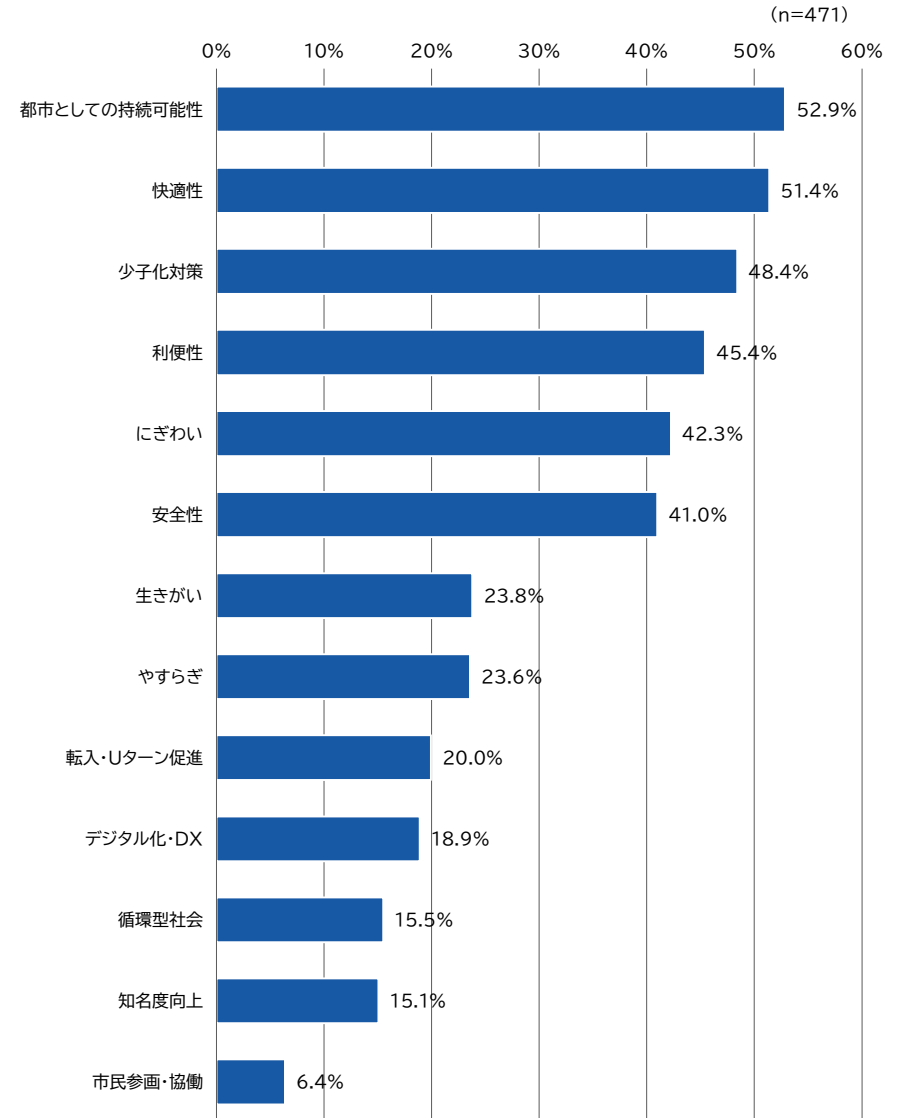
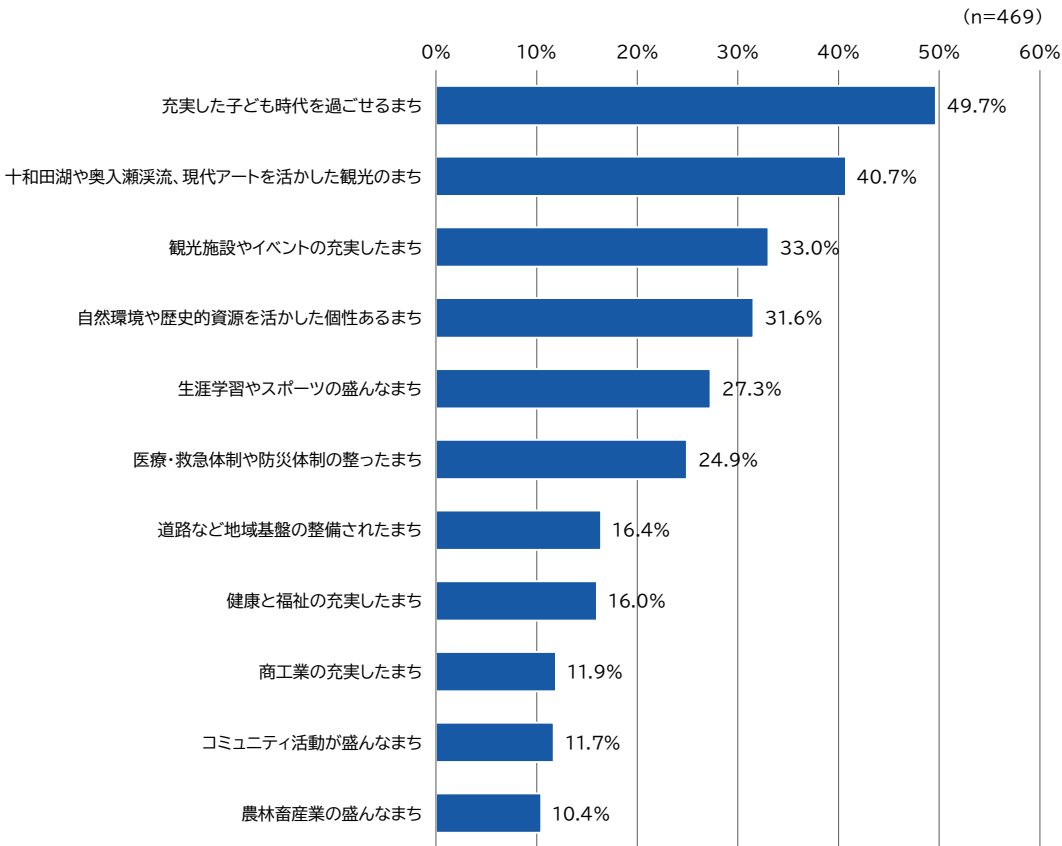


生活環境の満足度・重要度（関係図）

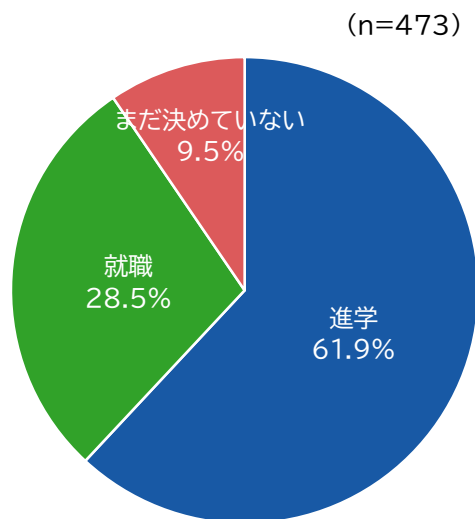


これからのまちづくりに必要な視点

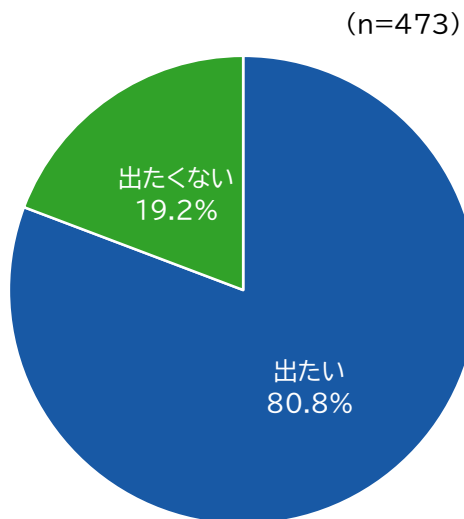
十和田市の10年後のまちの姿



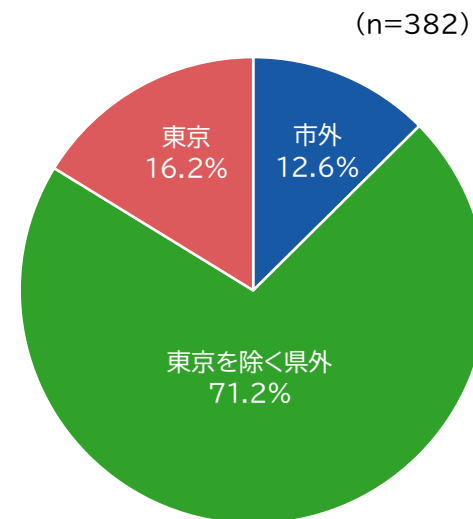
卒業後の進路



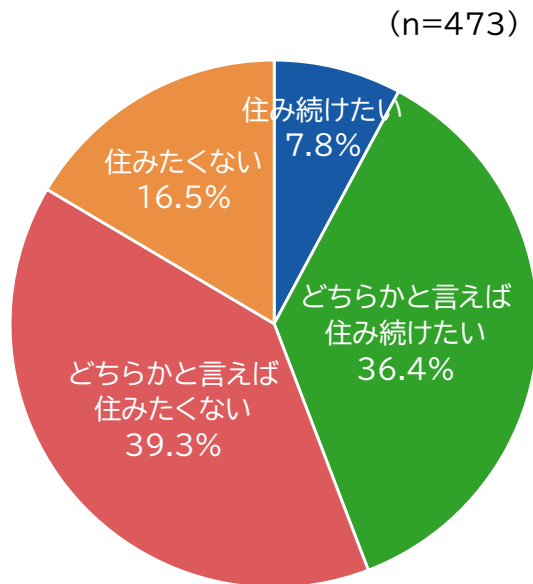
市外・県外 転出意向



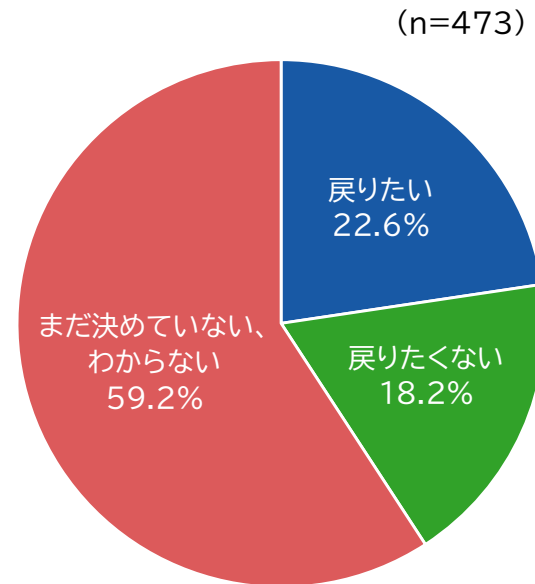
転出希望先



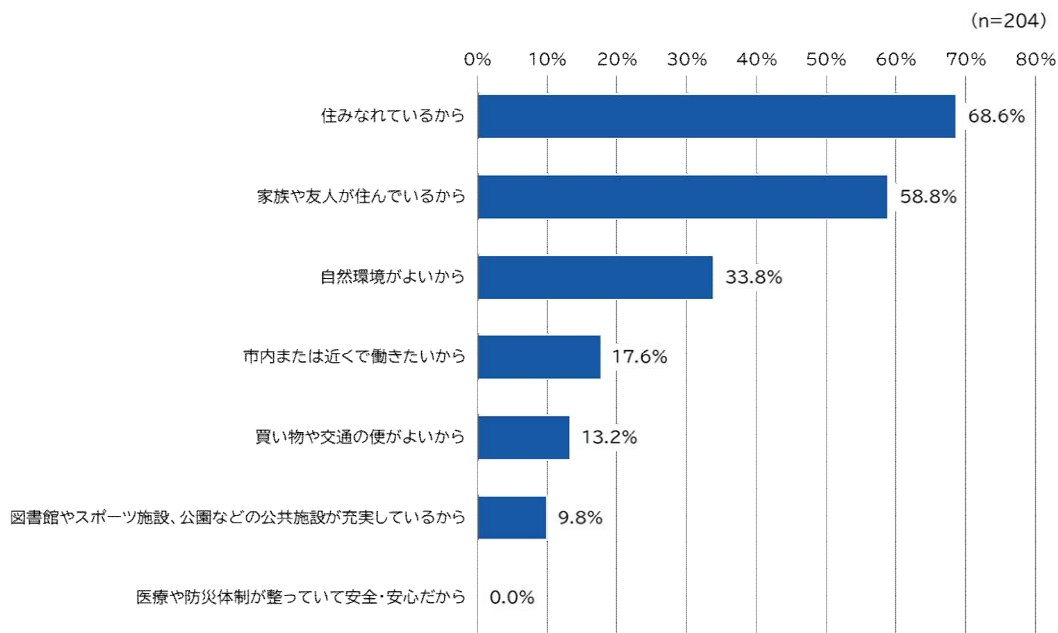
定住意向



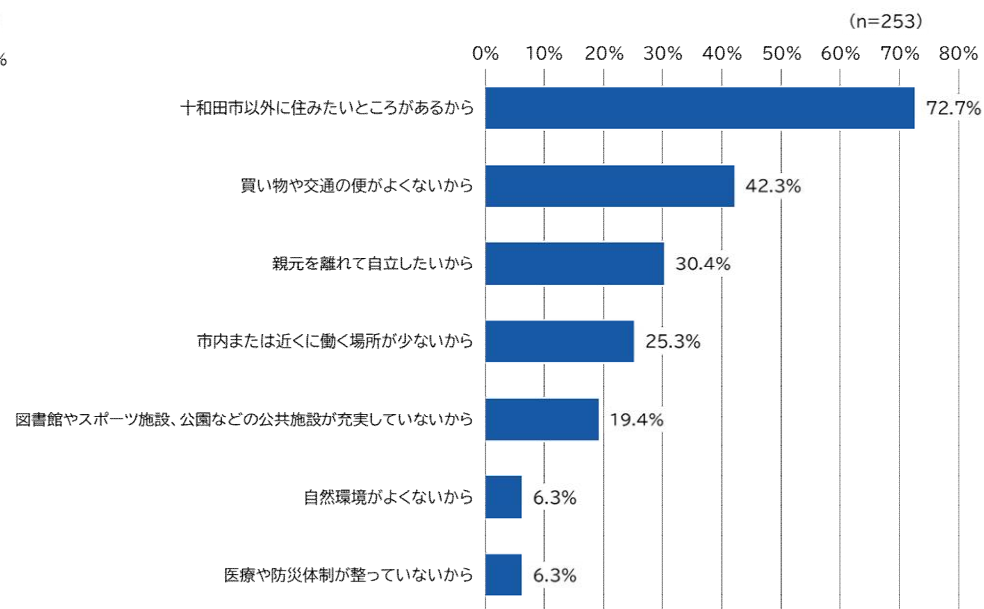
Uターン意向



住み続けたい理由



住み続けたくない理由



将来の十和田市において、何があれば戻ってきたいか（主な意見）

■ 交通・生活基盤について

- ・ 商業・買い物環境
- ・ 大型ショッピングモールやデパートの整備
- ・ ブランド店やカフェなど人気チェーン店の誘致
- ・ 安くて気軽に利用できる店や飲食店の充実
- ・ 一日中過ごせる複合商業施設の希望

■ 娯楽・遊び場について

- ・ カラオケ、ゲームセンター、テーマパークなど娯楽施設の増加
- ・ 大人も楽しめるアクティブな遊び場
- ・ 子どもが体を動かせる公園やプールなどの整備
- ・ 街中に気軽に立ち寄れる遊び・休憩スペース

■ 交通・利便性について

- ・ 電車の復活や整備、駅の新設
- ・ バスの本数増加、二次交通の利便性向上
- ・ 公共交通機関の充実による移動のしやすさ

■ 暮らし・支援について

- ・ 子育て支援や福祉の充実
- ・ 安定した生活基盤（仕事・収入・住環境）
- ・ 就職できる大企業や働き口の確保

■ その他の意見

- ・ 十和田市が「都会的」になれば戻りたいという声
- ・ 活気ある街づくり、文化センターの充実

／等

※「何があっても戻りたくない」「特にない」という否定的な意見も一部存在

十和田市をよりよいまちにするために、できること・思いつくこと（主な意見）

■ 交通・生活基盤

- バスの本数を増やす、運賃を安くする、無償化などの要望
- 電車の復活や駅の新設を望む声
- 通学路の除雪を徹底してほしい（高校生の遅刻防止）
- 歩道や道路の整備（舗装・除草・信号増設など）

■ 商業・娯楽施設

- 映画館、ゲームセンター、スポーツ、漫喫など若者が楽しめる施設の設置
- カフェや飲食店などチェーン店の誘致
- 大型商業施設やデパートの建設、空き店舗・空き家のリノベーション活用
- シャッター街の復活・活性化

■ 学生・子ども向け環境

- 自由に勉強できる場所やカフェの整備
- 中高生や子どもが遊べる場所を増やす（運動場、公園、プリ機など）
- 学生に優しい政策（給付金、優遇制度など）

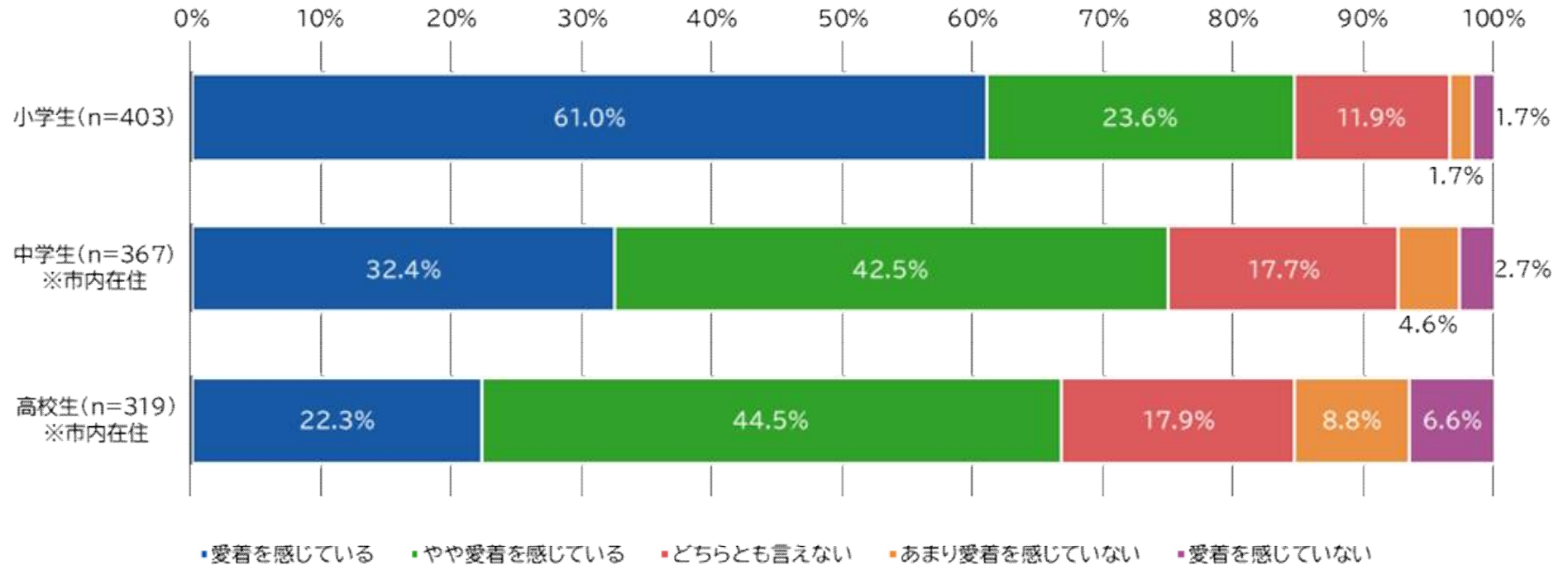
■ 地域活性化・魅力発信

- 十和田市の良さをPR（InstagramなどSNSで発信）
- 地元学校と市が協力して活動し、地域の変化を楽しめる仕組みづくり
- 伝統芸能やアートを街中に広げる取り組み
- 高齢者の力を活かした地域活性化

■ 人口・暮らし

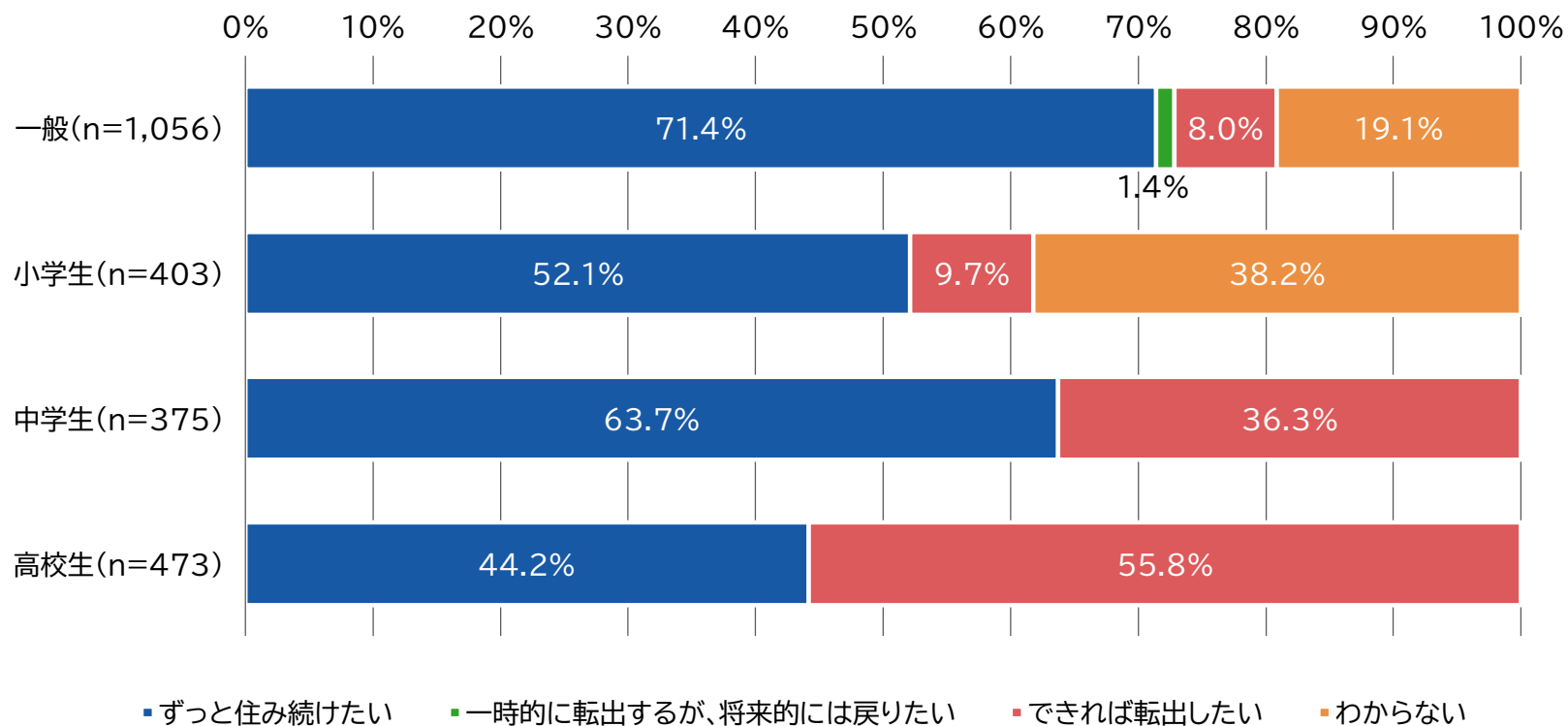
- 子どもを増やすための少子化対策、育児金の援助
- Uターン政策や移住者優遇で人口減少に対応
- 建物を増やす、空いた土地を有効活用
- 生活環境の基盤整備（トイレや施設の快適化、エアコン設置など） / 等

十和田市への愛着



※小学生は「好き」、「どちらかといえば好き」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば嫌い」、「嫌い」で回答

定住意向

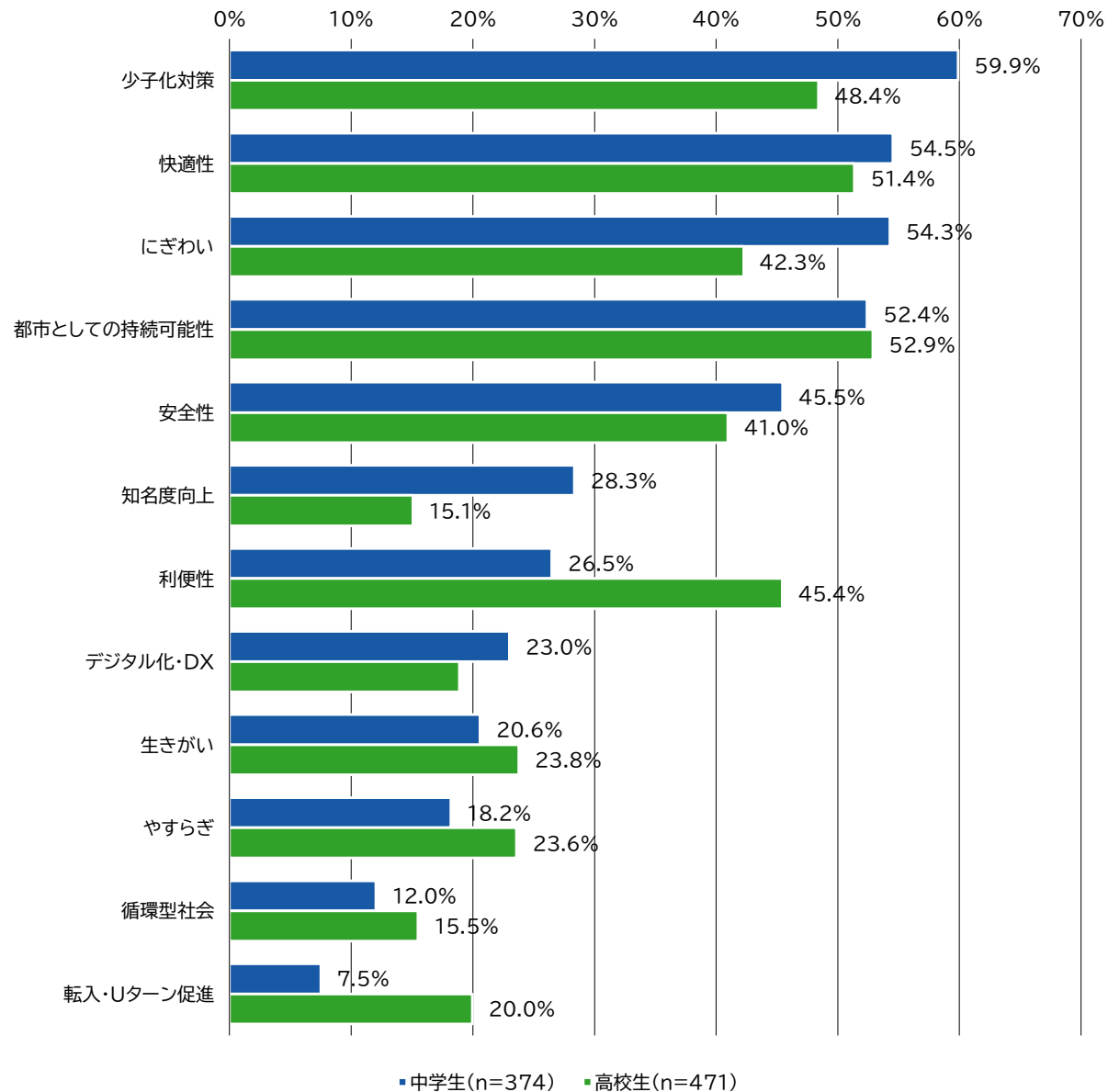


※小学生は、大人になっても十和田市に「住みたい」「住みたくない」「わからない」で回答し、「住みたい」を「ずっと住みたい」、「住みたくない」を「できれば転出したい」としてカウントした。

※中学生、高校生は、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」で回答し、前者2つの合計を「ずっと住みたい」、後者2つの合計を「できれば転出したい」としてカウントした。

小・中・高生横断的分析

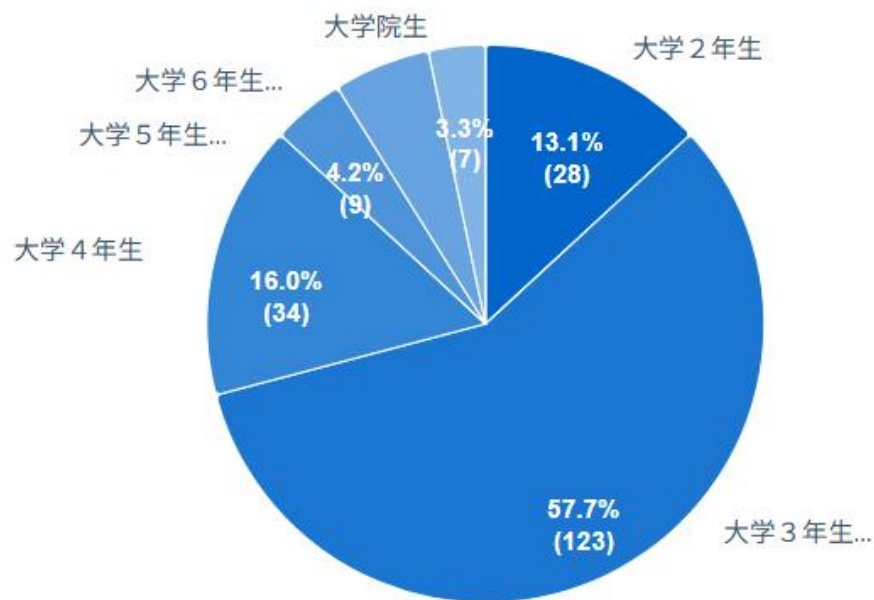
これからのまちづくりに必要な視点



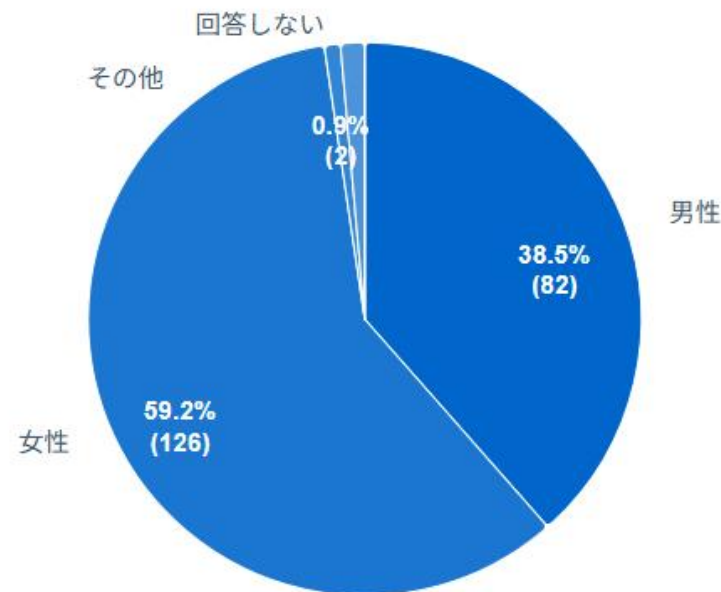
調査の概要

調査目的	「第3次十和田市総合計画」の策定の参考とするため、市内に立地する北里大学の大学生の意見を聴取する。		
調査対象・方法	北里大学の大学生全員を対象として、ウェブフォームから入力。		
調査期間	令和7(2025)年8月25日(月)～9月29日(月)		
回収数	対象者総数	有効回答数	有効回答率
	1,122件	213件	19.0%

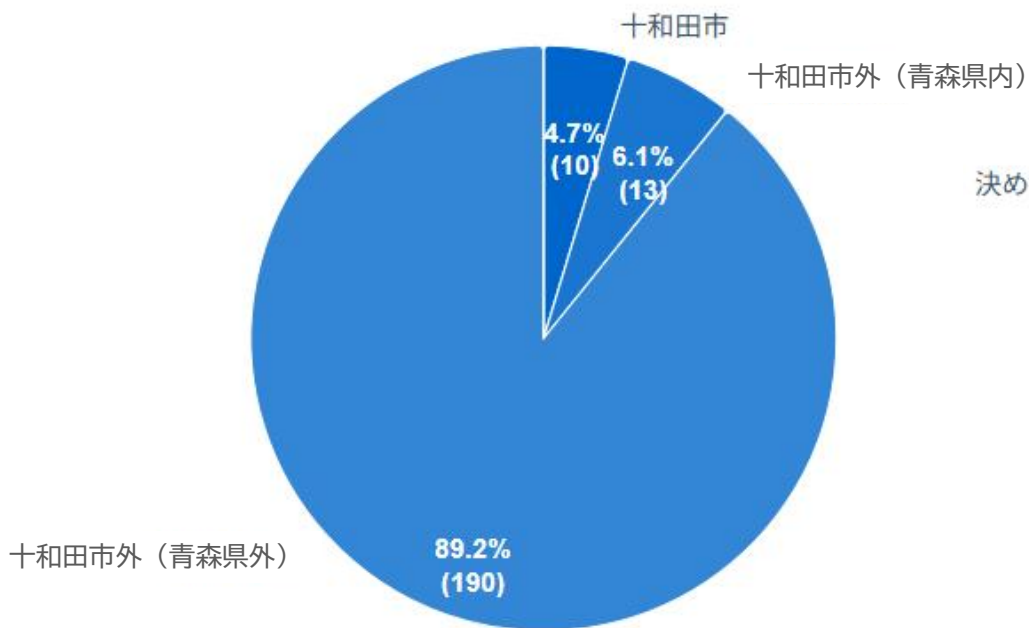
学年



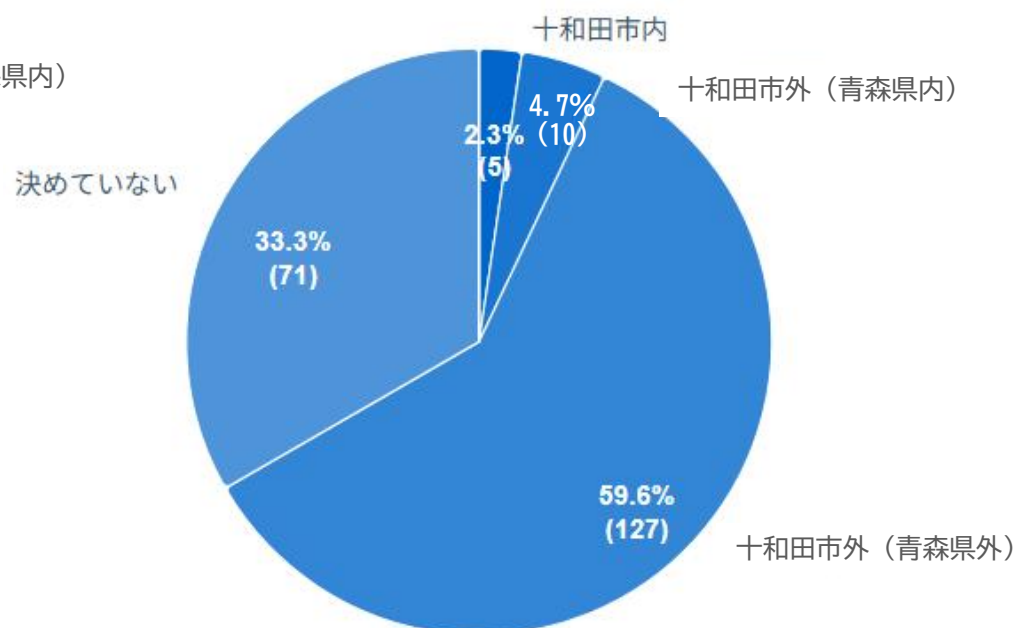
性別



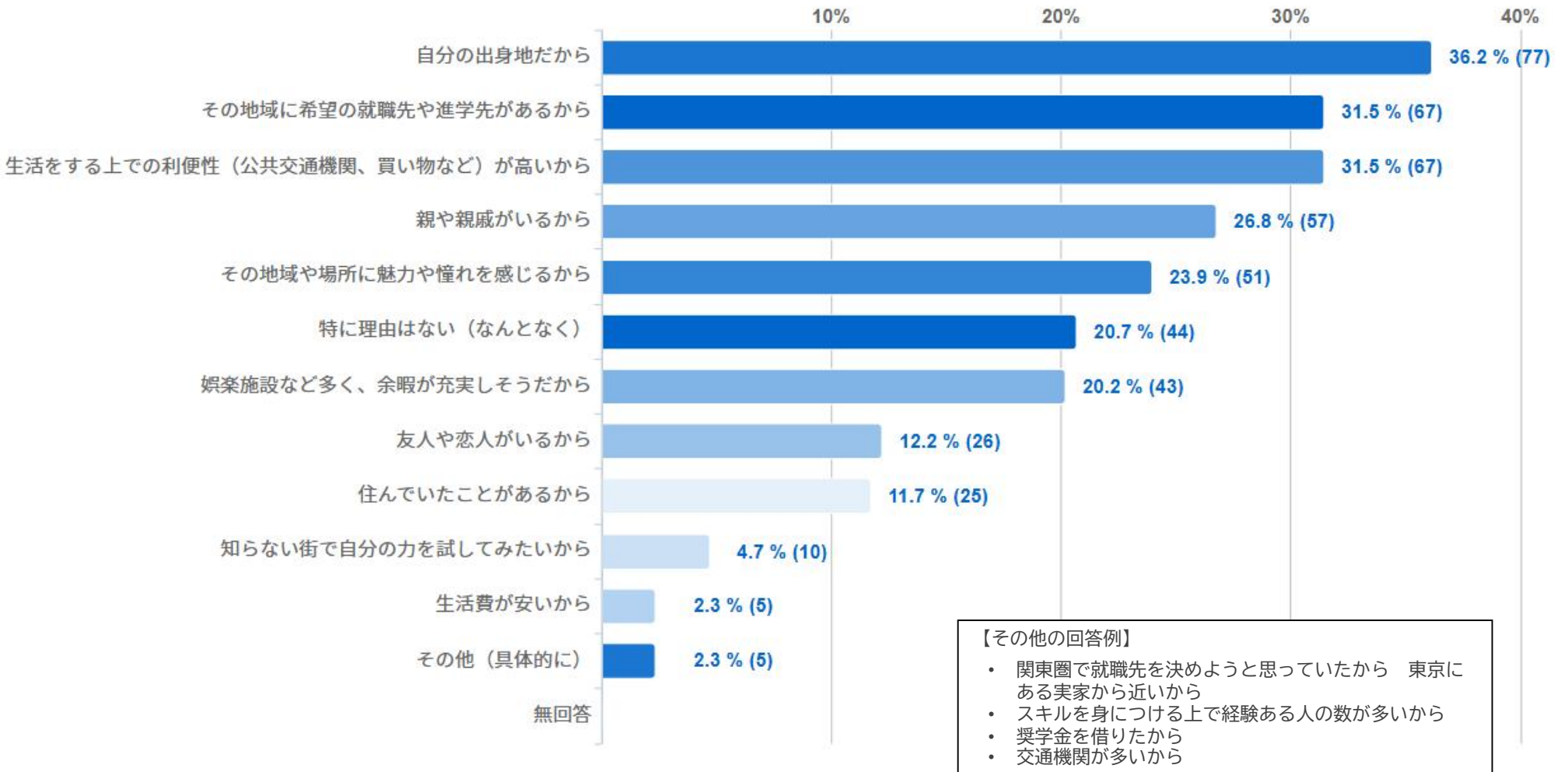
出身地



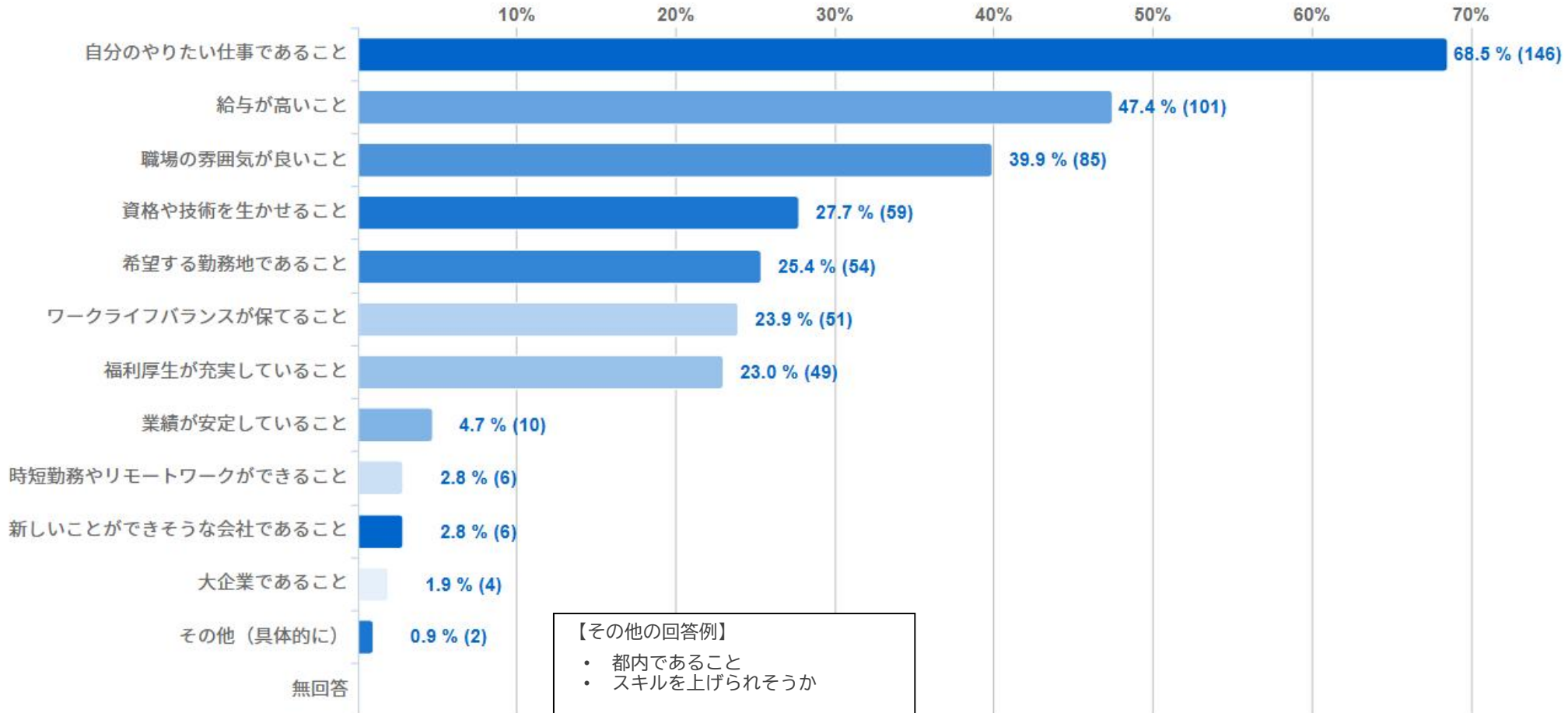
就職で希望する地域



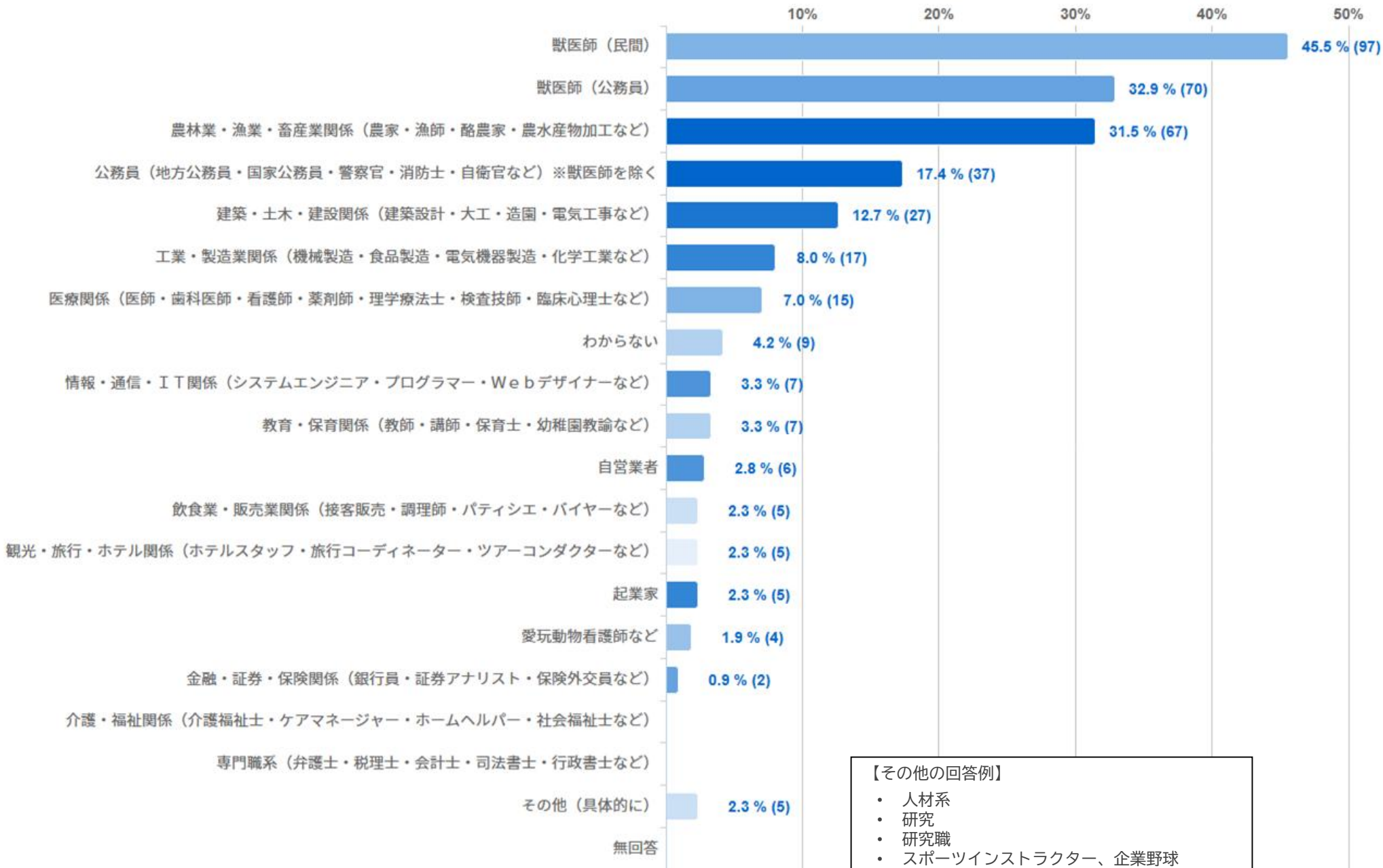
希望する就職地を選んだ理由



就職先を決めるときに重視すること（3つまで）



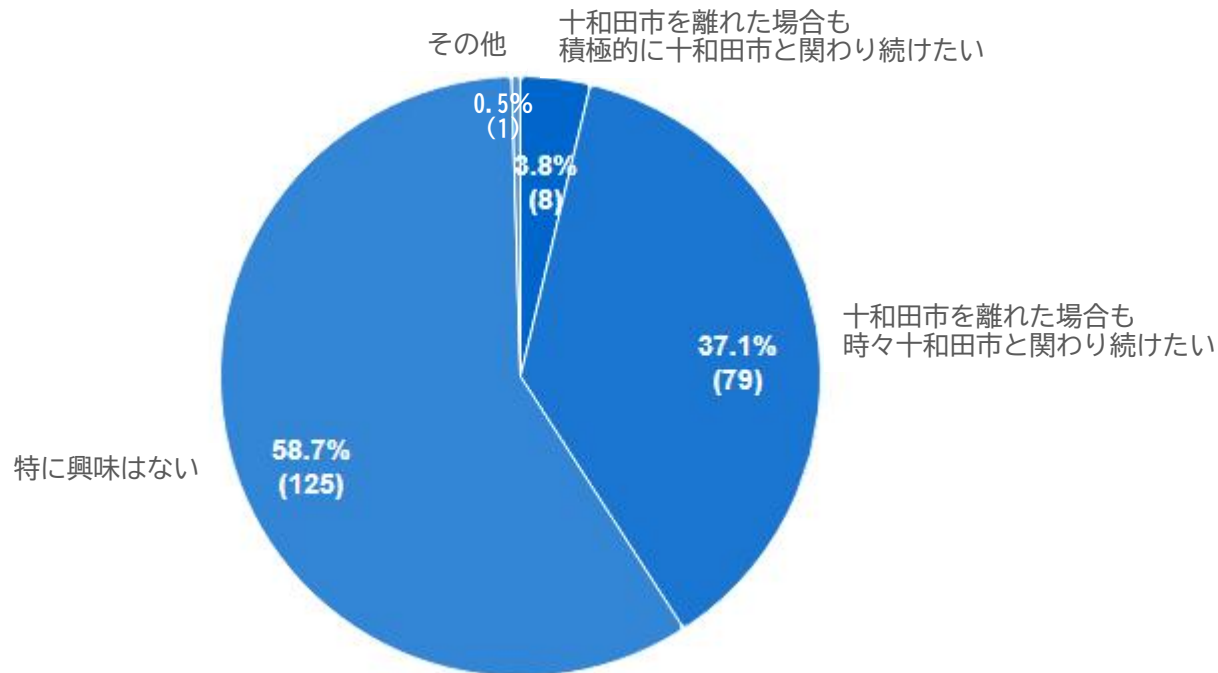
将来就きたいと思っている仕事（3つまで）



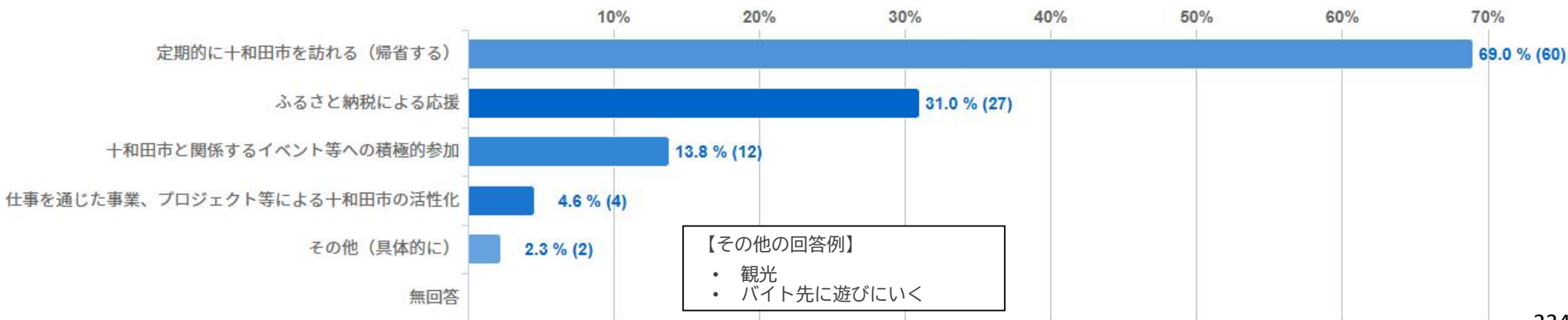
【その他の回答例】

- ・ 人材系
- ・ 研究
- ・ 研究職
- ・ スポーツインストラクター、企業野球
- ・ ペット関係

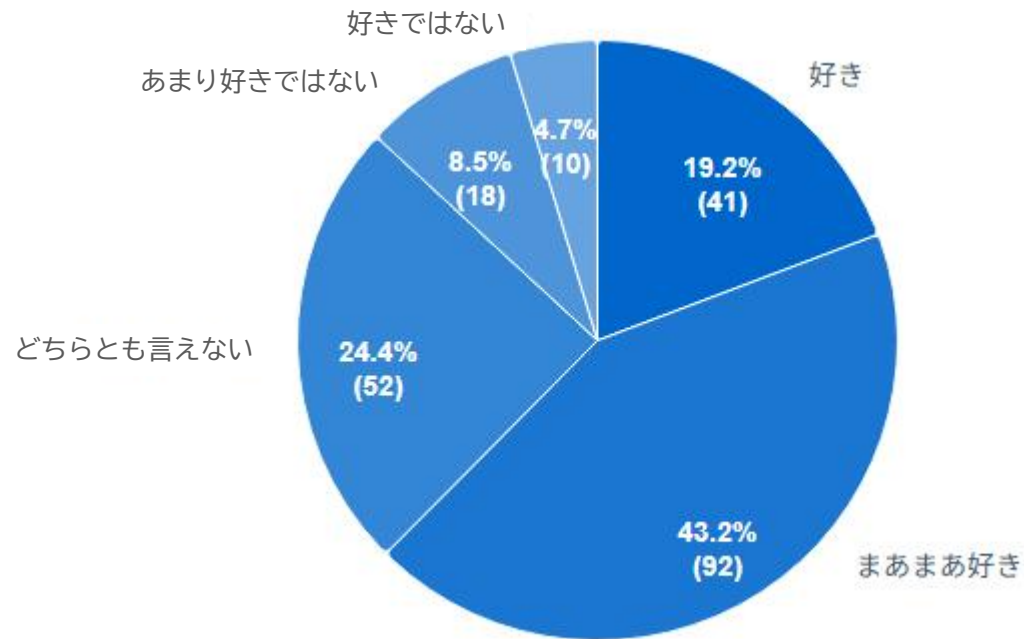
十和田市を離れた場合の十和田市との関わり方



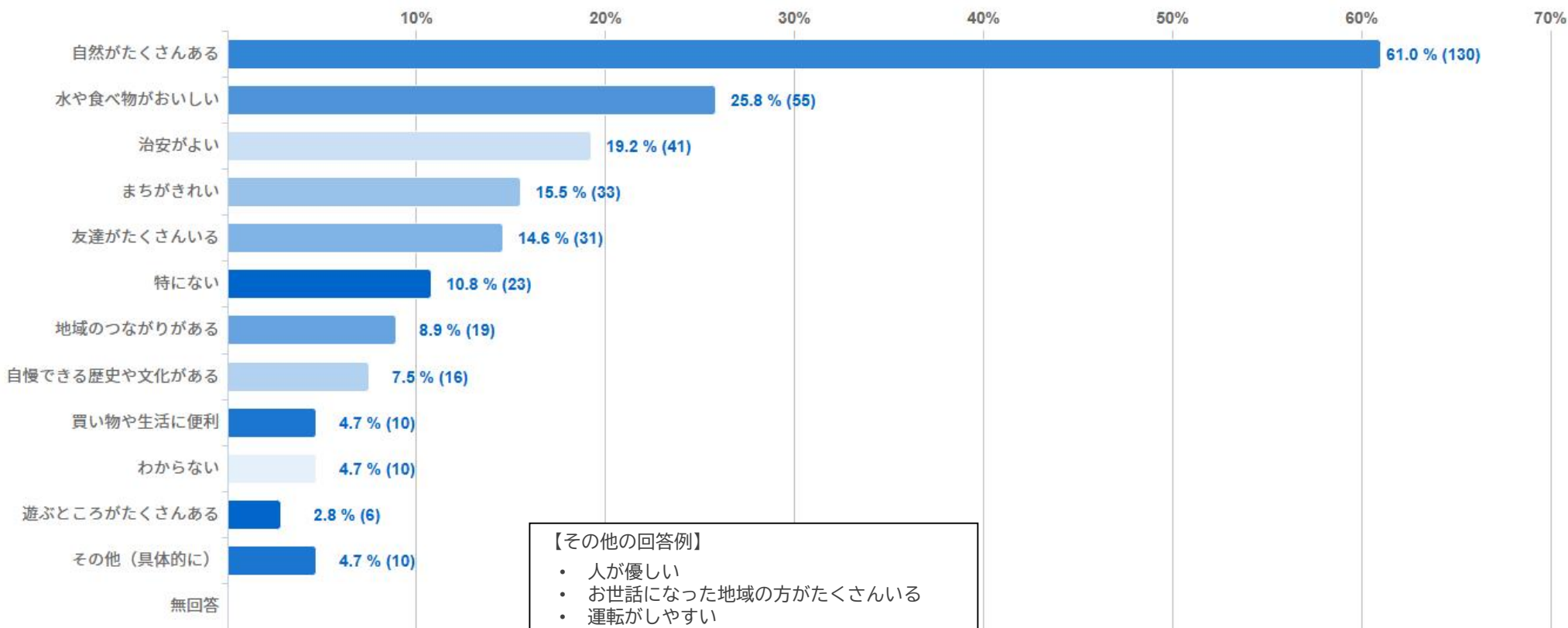
どのような形で十和田市との関わりを持ちたいか



十和田市を好きか



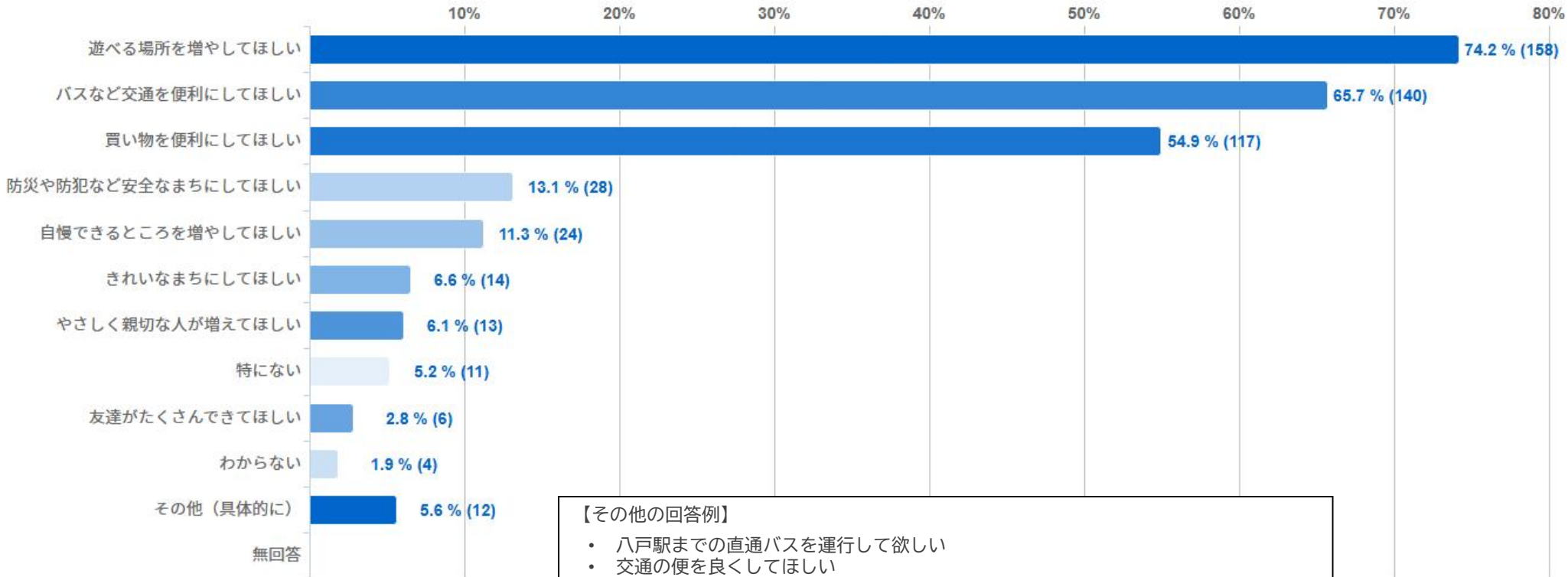
十和田市の好きどころ



【その他の回答例】

- 人が優しい
- お世話になった地域の方がたくさんいる
- 運転がしやすい
- 野菜などが美味しい
- 十和田湖がある
- 勉強に集中できる
- 物価高政策
- 趣味のグッズが残っていることが多い
- 八戸辺りに行けば釣りができる
- 海が近い

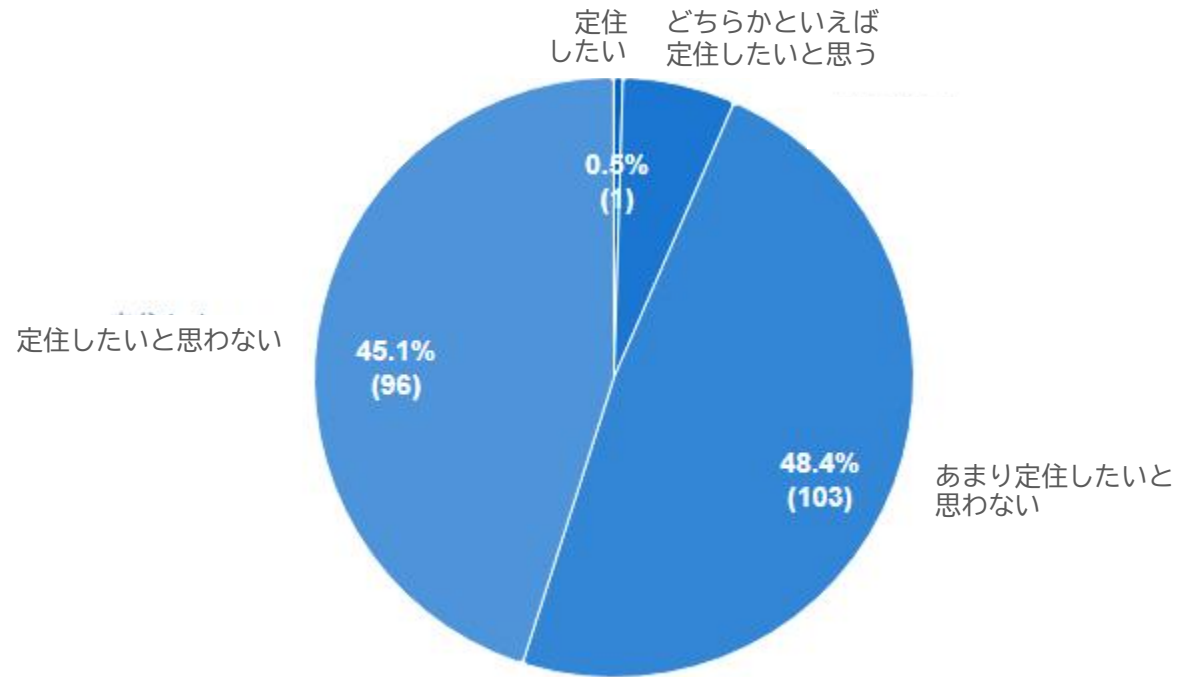
どうなると十和田市のことをもっと好きになれそうか



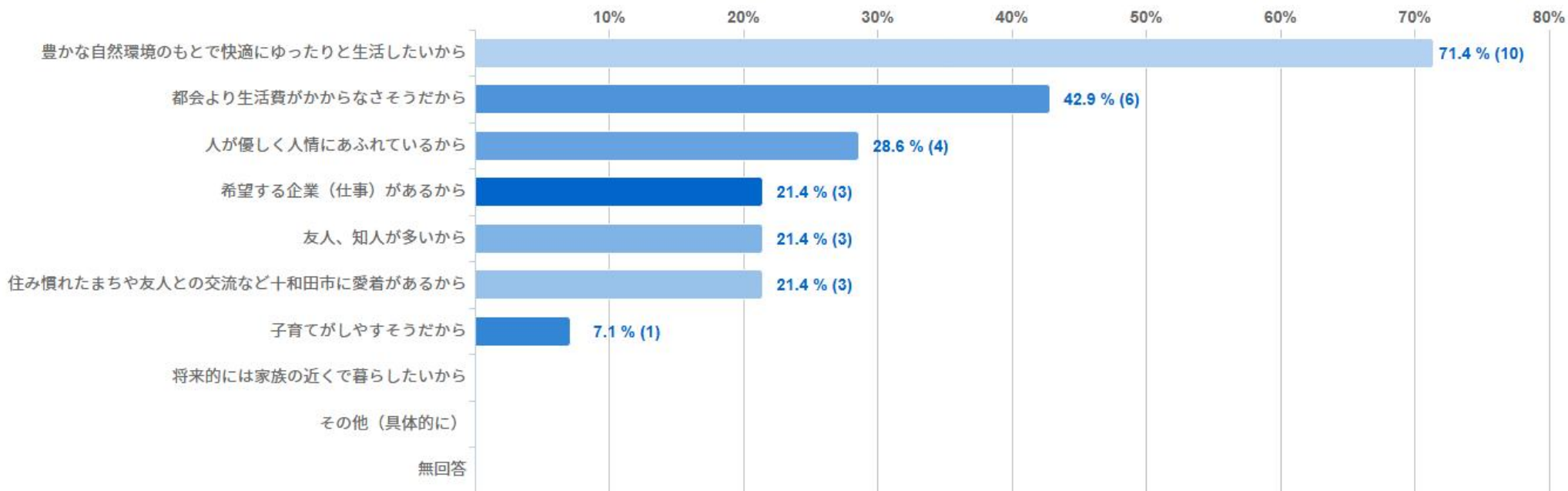
【その他の回答例】

- 八戸駅までの直通バスを運行して欲しい
- 交通の便を良くしてほしい
- 電車が欲しい
- 観光における交通の便や店の種類などを考えればもっと寄りたいたいと思います
- チェーン店で良いので、サイゼリヤや、コメダ珈琲などの飲食店を増やして欲しい
- チェーン店のカフェが増えると嬉しい
- カフェ (チェーン) ができてほしい
- ふるさと納税の食品を増やして欲しい
- 地域の方と交流できる場がほしい
- 街灯付けてほしい
- ジムを増やして欲しい
- 人口増えて欲しい

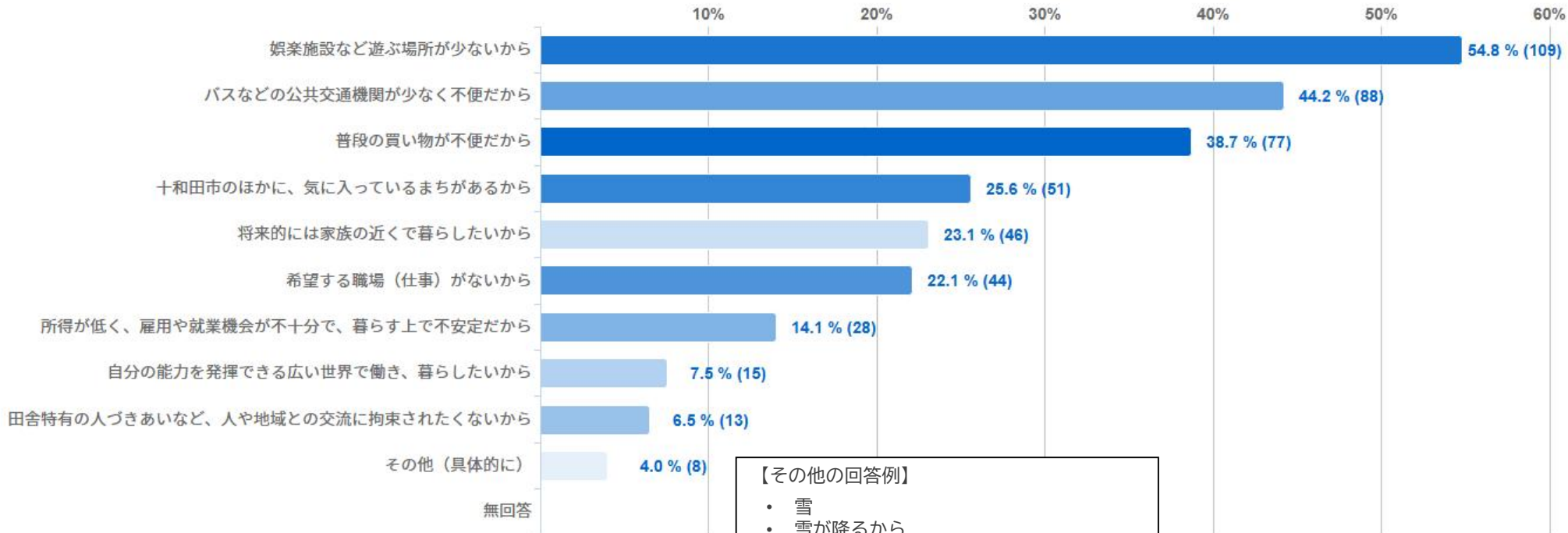
将来的に、十和田市に定住したいと思うか



定住したいと思う理由 (n=14)



定住したいと思わない理由 (n=199)



【その他の回答例】

- 雪
- 雪が降るから
- 雪が嫌
- 冬が寒いから
- 知り合いが少ないから
- 友達がいらない十和田市はつまらない
- 子供は選択肢の多い都会で育てたいから
- 秋になると毛虫が大量発生するから

十和田市を知らない友人等に十和田市を紹介するとき、 「どのようなまち（十和田市のイメージやシンボルについて）」と紹介したいか （主な意見）

自然

- ・ 十和田湖、奥入瀬溪流など豊かな自然が近くにある
- ・ 四季がはっきりしていて空気や空がきれい
- ・ 馬や動物との距離が近い、匂いを感じることもある
- ・ 田舎で静か、心が落ち着く環境

芸術・文化

- ・ 十和田市現代美術館が有名で「芸術のまち」として知られる
- ・ 流鏝馬や祭りなど伝統文化も盛ん
- ・ 芸術と自然が融合した街並み

食べ物

- ・ バラ焼きが名物で「飯が美味しい」と評判
- ・ おしゃれな飲食店やご飯屋さんも増えている
- ・ にんにくの産地としても知られる

人・暮らし

- ・ 人が優しくて民度が高い、治安が良い
- ・ 図書館や公共施設がきれいで勉強に集中できる環境
- ・ 徒歩圏内で生活に必要なものは揃うが、娯楽は少ない
- ・ 車がないと交通は不便、バスの本数も少ない

街の雰囲気

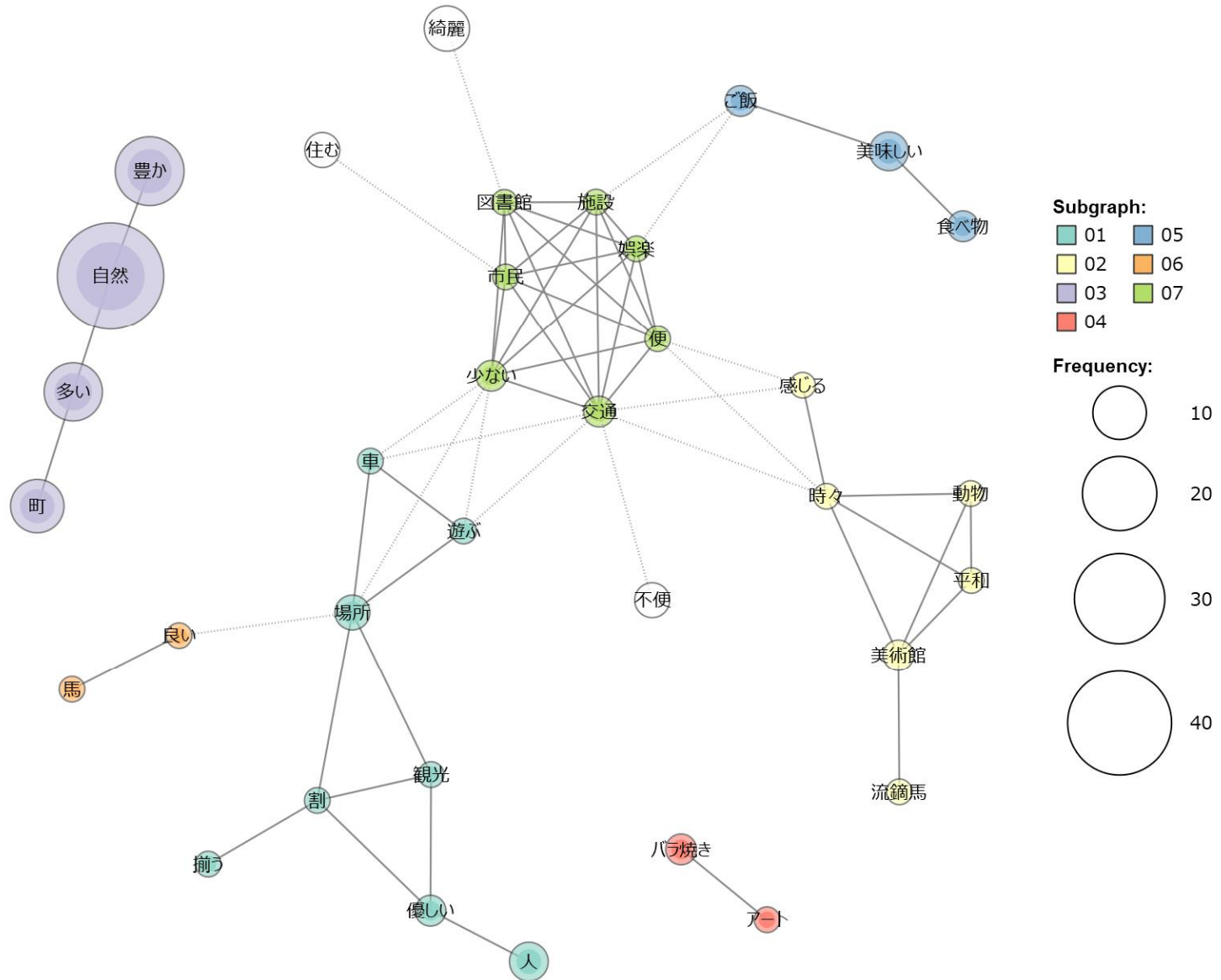
- ・ 静かで平和、せかせかした雰囲気がない
- ・ 自然と利便性が共存しているが、都会的な娯楽は少ない
- ・ 「なんもない」と言われることもあるが、住みやすい / 等

【まとめ】

十和田市は「自然と芸術に恵まれ、食べ物が美味しく、人が温かい静かな田舎町」のイメージ。

交通や娯楽面では不便さがあるものの、落ち着いて暮らすことができ、学業に専念するには最適な環境と捉えられている。

十和田市を知らない友人等に十和田市を紹介するとき、「どのようなまち（十和田市のイメージやシンボルについて）」と紹介したいか



あなたにとって住み続けたい、魅力ある十和田市になるためのアイデアなど (主な意見)

交通・アクセス

- ・ 八戸駅、新青森駅、七戸十和田駅、三沢方面へのアクセス改善
- ・ バスの本数を増やす（循環バスや直通便、15～30分に1本など）
- ・ 電車の導入を望む声も多い
- ・ 冬場や車を持たない人にとって交通の不便さが大きな課題
- ・ レンタルサイクリングや乗り合いタクシーの整備希望

商業施設・買い物

- ・ 大型ショッピングモールの誘致（スーパー、100均、TSUTAYA、フードコート、服屋、美容室など）
- ・ 下田イオン並みに充実した店舗を十和田にも欲しい
- ・ 本屋が少ないことへの不満
- ・ 徒歩圏内で買い物が完結できる環境を希望

カフェ・飲食店

- ・ スターバックスやタピオカ店、コメダ珈琲などチェーン店の誘致
- ・ 24時間営業や夜遅くまで開いているカフェ・飲食店が欲しい
- ・ ファミレス（サイゼリヤ、ステーキ宮、牛丼チェーンなど）の不足
- ・ 学生が集まれる勉強スペースや自習室の設置希望

娯楽・文化

- ・ カラオケ、ボウリング、映画館、ゲームセンターなど娯楽施設の不足
- ・ 自然を活かした大きな公園やサイクリングロードの整備
- ・ 馬のイベントや芸術活動を街全体に広げてほしい
- ・ 美術館の作品数を増やすなど文化的魅力の強化

暮らし・安全

- ・ 治安維持のため交番に警察官を常駐させてほしい
- ・ 夜道が暗いので街灯を増やしてほしい
- ・ プラごみ収集の頻度改善
- ・ 若者が働きたいと思える施設や雇用の創出
- ・ 人口増加への努力や定住促進策 / 等

【まとめ】

十和田市に求められているのは、

「交通の利便性向上」

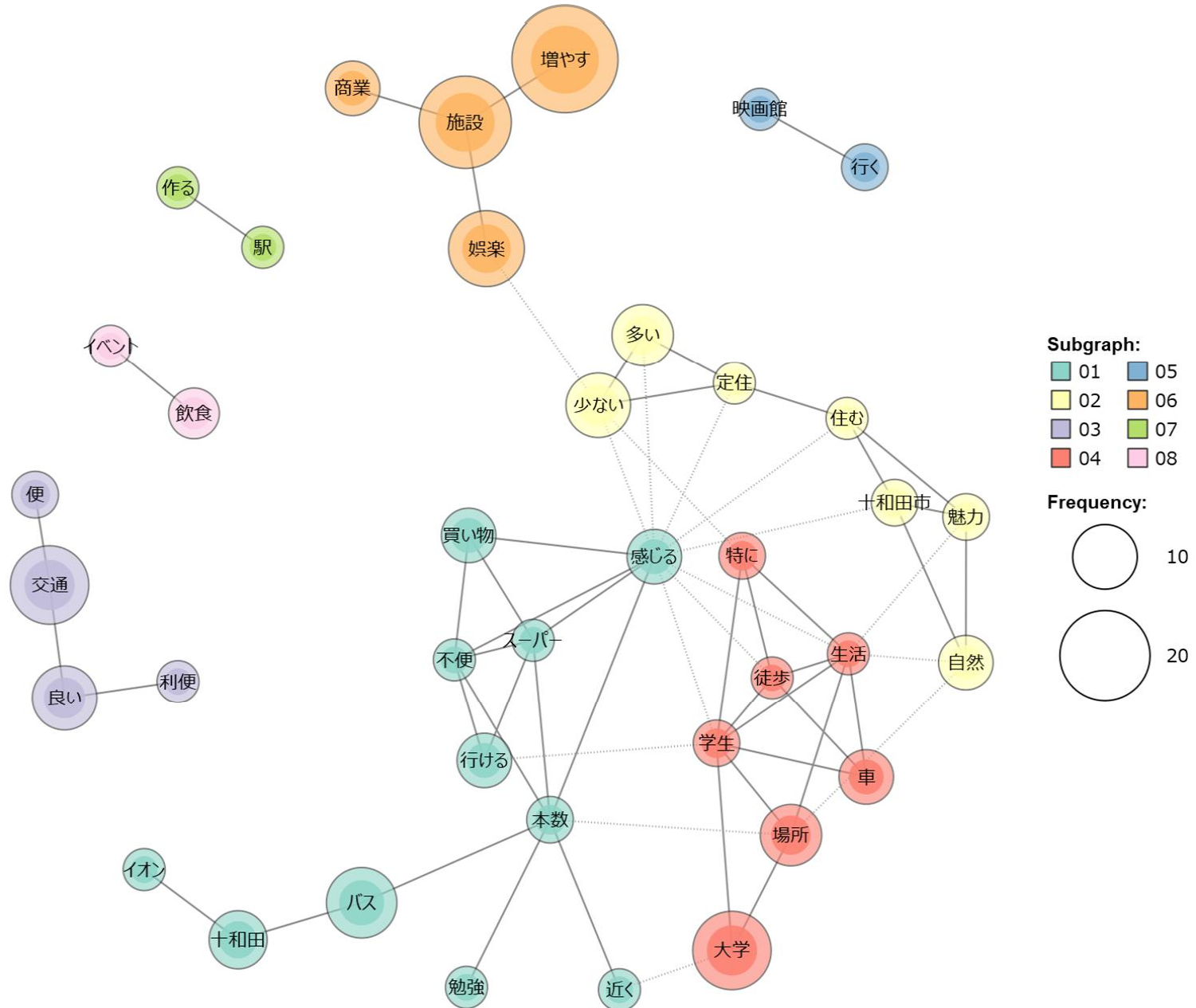
「商業・娯楽施設の充実」

「学生や若者が過ごしやすい環境づくり」

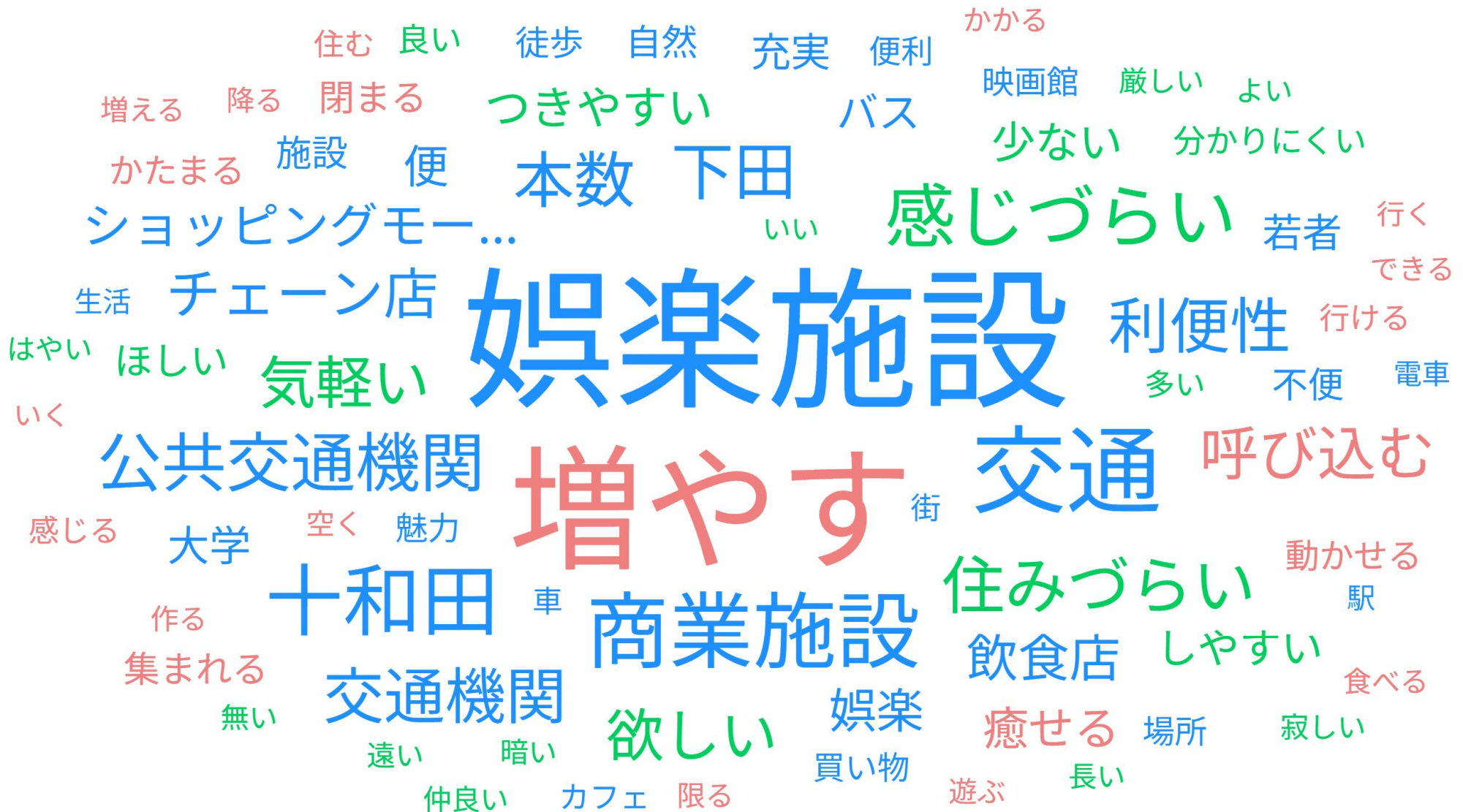
「治安・生活インフラの改善」

など

あなたにとって住み続けたい、魅力ある十和田市になるためのアイデアなど



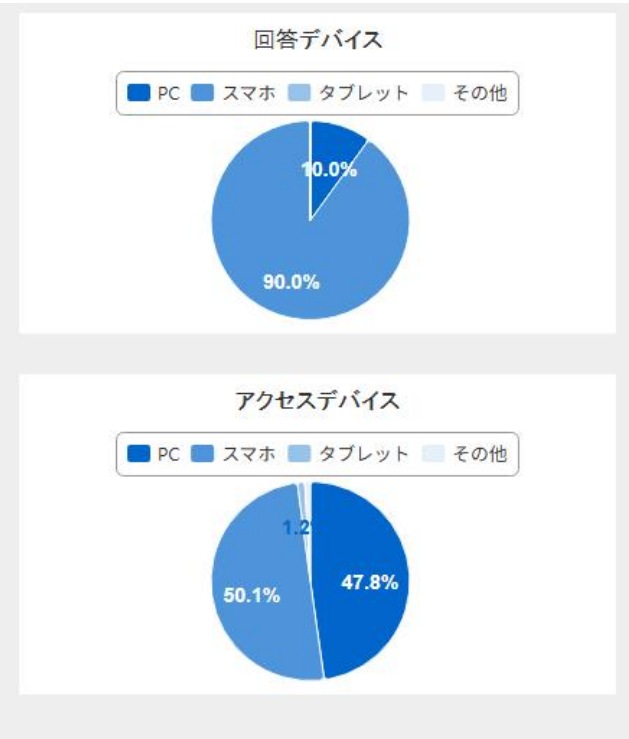
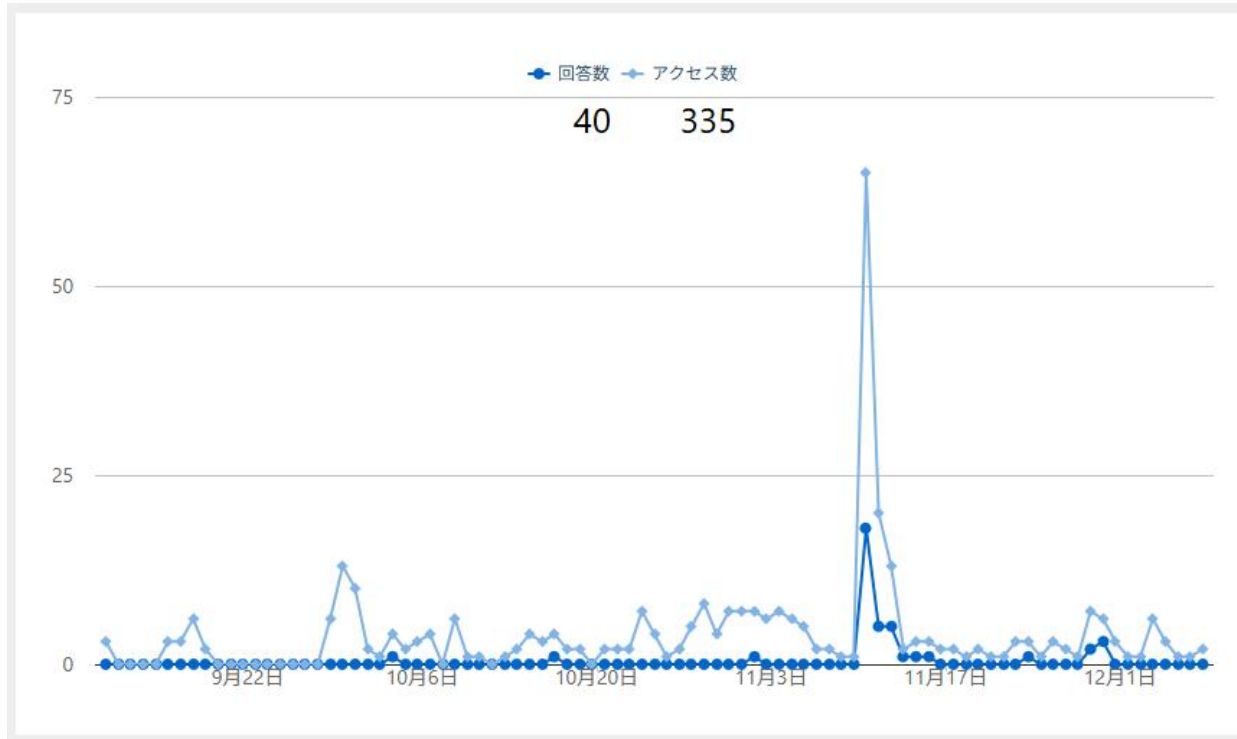
あなたにとって住み続けたい、魅力ある十和田市になるためのアイデアなど



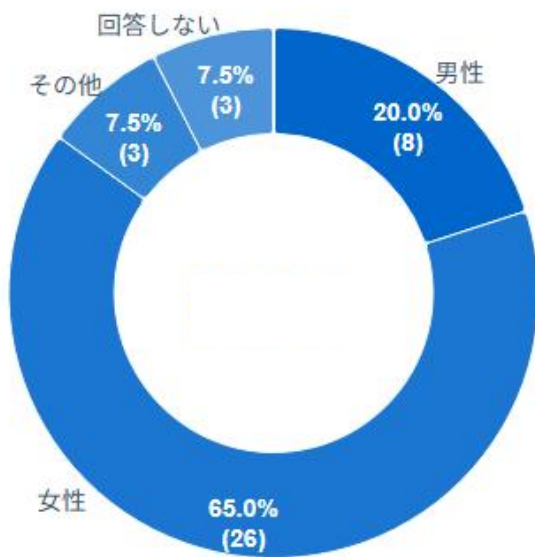
調査の概要

調査目的	「第3次十和田市総合計画」の策定の参考とするため、市のホームページを通じて市民から広く意見を募集する。	
調査対象・方法	市民全般を対象として、市のホームページに掲載したアンケートフォームから入力。(QRコードも記載)	
調査期間	令和7(2025)年10月1日(水)～11月30日(日)	
意見提出	提出件数	フォームへのアクセス件数
	40件	335件

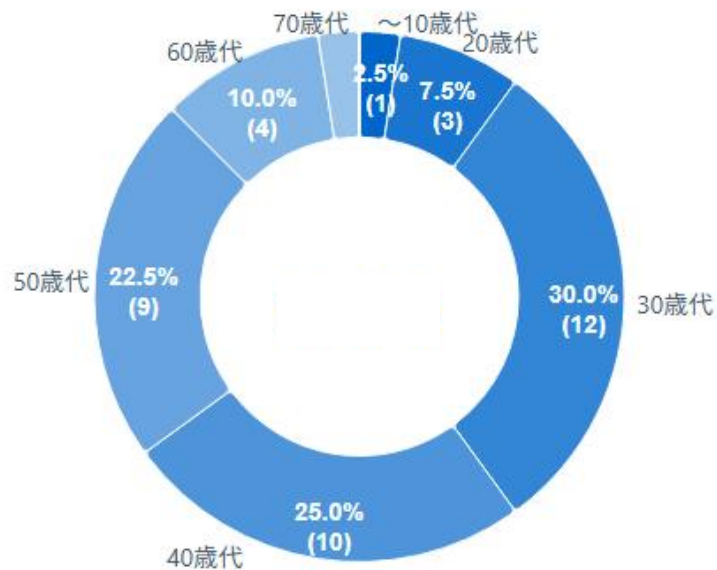
- アクセスはスマホ・PCがほぼ半々であるが、回答は9割がスマホとなっている。



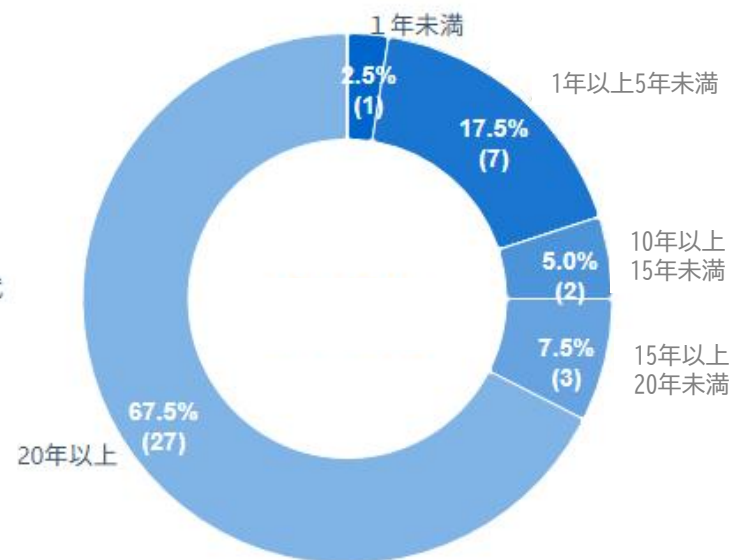
性別 (n=35)



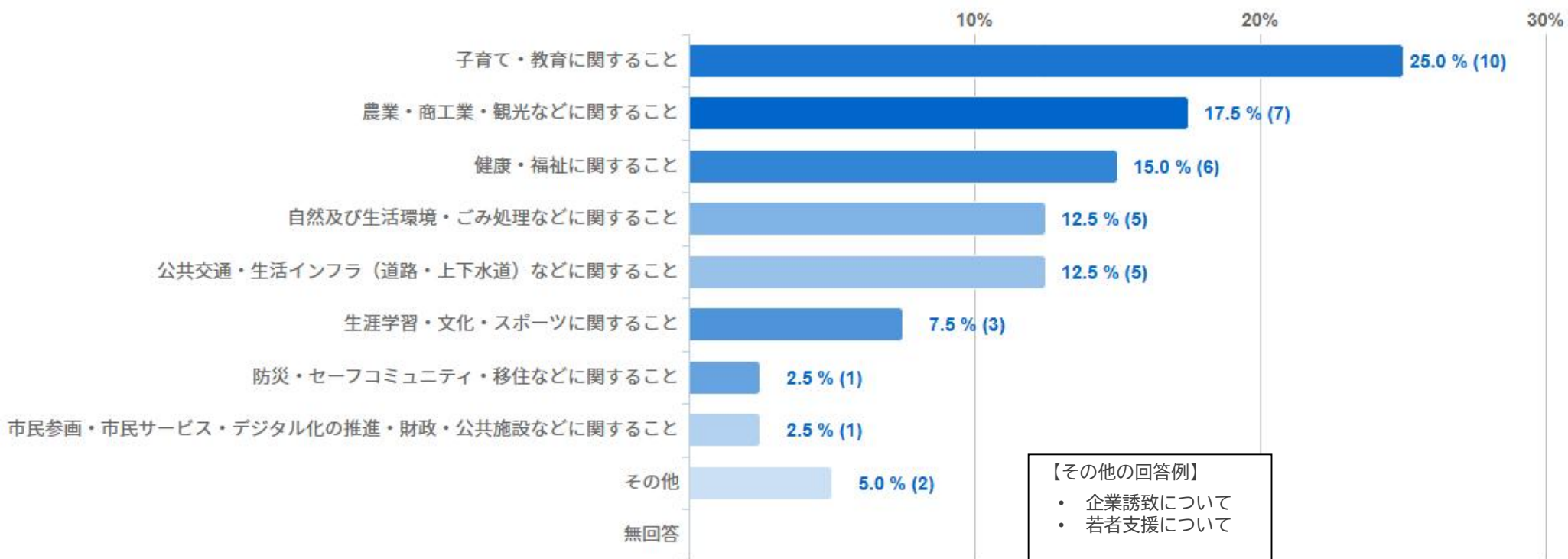
年代 (n=35)



居住年数 (n=35)



意見の分野 (n=40)



主な意見

出産・子育て支援

- ・ 出産・育児で働けない場合にも 奨学金返還支援制度を利用できるようにしてほしい。
- ・ 出産直後は支援があるが、その後は児童手当しかなく不安。
- ・ 市内で分娩できる施設がなく、妊婦健診や出産を市外で行う負担が大きい。セミオープンシステム導入を希望。
- ・ 屋内遊び場が不足。雨や雪の日でも遊べる施設（例：三沢市「そらいえ」、岩手「いわてこどもの森」）を望む。
- ・ 図書館隣接型の親子向け屋内施設を希望。子供用の小さいトイレの設置を要望。
- ・ 学校施設の老朽化・少子化を踏まえ、小中一貫校の導入を希望。
- ・ 子どもの権利条例の制定と救済機関の設置を求める。

自然・観光・文化

- ・ 奥入瀬溪流周辺の自然保護を強化し、世界遺産登録へ向け条例を制定してほしい。
- ・ 自然とアートを連携させ、観光客の滞在・消費を促す仕組みを構築。
- ・ 美術館の市民利用を拡充し、観光偏重から教育・交流の場へ見直しを希望。
- ・ 街全体をアート化（トリックアート、障害者アートなど）して観光資源に。
- ・ 商店街シャッターアートや「水玉コスプレの日」などイベント提案。
- ・ 市キャラクターを活用した土産品開発（もなかアイス、焼印菓子など）。
- ・ 人気キャラクターとのコラボで観光力を向上。

交通・都市基盤

- ・ バス本数が少なく不便。オンデマンド交通の導入を希望。
- ・ 循環バスの範囲拡大（観音寺など市端部も含めてほしい）。
- ・ 道路の穴や歩道の除草不足で危険。
- ・ 信号のない横断歩道に街灯設置を要望。
- ・ 下水道更新費を料金に反映し、市の持ち出しを削減すべき。人口密度の低い地域は浄化槽へ移行検討。
- ・ 倒壊の恐れある廃屋への強い指導・行政代執行を希望。
- ・ 空き家を移住促進や地域拠点に活用。

医療・福祉

- ・ 難病患者への支援金や交通費助成を希望。中央病院に難病対応医師を配置してほしい。車椅子利用者や免許を持たない高齢者が暮らしやすい環境を望む。認知症や障害への正しい知識を広め、助け合える地域性を実現。

主な意見

環境・生活

- ・ ゴミ問題：町内会費を払わない人もゴミ小屋を利用できる不公平感。市による分別不十分ゴミの回収を希望。
- ・ イベント時のゴミ捨て場設置を要望。八戸市のようにボランティア用ゴミ袋を無料配布してほしい。
- ・ カラス・ムクドリ被害が深刻。巢のある木を伐採してほしい。

経済・雇用

- ・ コストコや製造工場などの企業誘致で雇用創出を希望。
- ・ 北里大学生や高校生が定住できる政策を。独身や子供のいない夫婦も支援対象に。
- ・ 農業をスマート農業やアート連携で高付加価値化。

行政・制度

- ・ 災害対応が融通が利かないと感じる。改善を希望。
- ・ アンケートで性別を自由記述できる欄を設けてほしい（ノンバイナリー対応）。
- ・ 公共施設の申請を簡素化し、当日利用や中高生の学習スペースとして活用できる仕組みを。 /等

提出された意見一覧

分野	No.	意見	性別	年代	在住年数
子育て・教育に関すること	1	出産をする予定であるが、今の雇用状態では産休育休をとれず、退職せざるを得ない為、自身が借りている奨学金の返済が厳しくなる。例年、十和田市から補助を受けていた奨学金返還制度も職場を退職してしまえば使えなくなり困る。ますます、出産や育児を望むことが厳しいので、出産後や子育て中で働くことができない場合にも奨学金返還支援制度を利用できるようにしてほしい。	女性	20歳代	15年以上～20年未満
	2	出産妊娠の時産まれてすぐは、お金たくさん出るけれどその後児童手当しかない	女性	20歳代	1年以上～5年未満
	3	子どもを育てやすくても産みづらければ意味がない。個人的には市内で分娩ができないなんて不安しかないし、十和田市が好きだという気持ちだけではどうにもならない大きなデメリットだと考える。市として今後どうしていくつもりなのか。	女性	30歳代	20年以上
	4	子育て世帯からすると屋外で遊ぶところはあるけれど屋内で遊ぶ場所が少ないと思います。三沢市のそらいえのような屋内遊具がある施設を作ってほしいです。暑すぎたり豪雨の影響など天候が不安定な近年は屋外での遊びができなくなることが多いため、そんな時でも子どもたちが走り回って遊べる施設があればいいと思います。	女性	30歳代	20年以上
	5	子どもが、楽しめる施設を作って欲しいです。六ヶ所村のろっかぼっかや、神奈川県横浜市のみなとみらいにある万葉倶楽部のような温泉と、娯楽スペースなどが、あるところがほしいです。あと、雨の日でも、中で遊べる、からだをうごかさせるような、遊具がある施設もほしい。岩手県の、久慈市にある、インツブテ公園がある、道の駅のなかに、ある、滑り台や、小さい子どもでも遊べる遊具のへやをわけてつくってあったのが、いいとおもいました。岩手県にあるいわてこども森のような、屋内の遊び場がほしい。滑り台もあったり、いろんな遊び場があったのしい。十和田にあったら、たくさんのお客さんによるこんでもらえそう。七戸十和田駅から来た人、八戸駅から、来た人でも、寄りたいと思えると思う。七戸十和田駅だと、泊まるとこは少ないし、八戸駅は高いし、間にある十和田市で、そのような施設をつくって、バスを走らせて、たくさんのお客さんによるこんでもらえそう。十和田の特産品とかも、売店で売ったりして、農家さんたちの野菜とかも売ったりして、やってみてもいいと思う。	女性	30歳代	20年以上
	6	トワレを回収する際、子供用の小さいトイレも作って欲しい	女性	30歳代	20年以上
	7	教員の働き方改革や少子化に加えて、学校施設の老朽化・耐震化などの工事費を考えると六戸学園のように小中一貫校にしてほしい。	男性	40歳代	20年以上
	8	子どもを持つ親御さんが、雨や雪の日でも一日過ごせる施設を、図書館を核に、作れないでしょうか。図書館の横に、親子連れで遊べる無料の屋内施設があれば、遊んだあとに、本を借りに行こうとか、動線ができるのではないのでしょうか。外で遊ぼうと思えば、緑地公園や、プール、ちょっと歩けば現美もある。でも、ないのは、屋内で走って遊べたり、子どもが騒いでも気兼ねなく過ごせる屋内施設。大きな遊具がなくてもいいのです。そういう、子どもたちが走り回れるぐらいの広さのある屋内スペースが欲しいのです。先日NHKで紹介していましたが、岐阜の図書館のような図書館だったらよかったのと思っていますが、そこまででなくとも、隣接した施設があるだけで、人が集まるのです。保健センターも隣接してありますし、ちょっとした子育て相談も、気軽にできるように接続できれば、なおいいのではないのでしょうか。	女性	50歳代	20年以上
	9	十和田市に産婦人科を	女性	50歳代	20年以上
	10	子どもたちにも、自分たちに認められた権利があるのだと、知り、守られる権利があります。子どもの権利に対する条例を制定してほしいです。子どもの権利の保障のために、権利保障と、救済機関の設置を求めます。	女性	50歳代	20年以上

提出された意見一覧

分野	No.	意見	性別	年代	在住年数
	1	学生が多いため、大学近くにチェーン店（24時間営業などの）を導入するべきであると思う。	女性	～10歳代	1年未満
	2	奥入瀬溪流周辺などの国立公園周辺は、天然記念物や絶滅危惧種をはじめとして希少な動植物がたくさん生息しています。開発しないエリアとして、積極的に保護してほしいです。「十和田市は自然を守るのだ」というポジティブなイメージを打ち出せば、観光にも好影響があります。それは移住者を増やすことにも波及していくと思います。また世界遺産登録へ向けた動きもあり、周辺エリアを保護する条例の制定も、推薦や登録への重要なステップの一つです。例えば再生可能エネルギーであっても、メガ風力やメガソーラーといった大規模なものになれば、自然を破壊する側面はかならずあると考えます。とくに福島や北海道ではその軋轢が顕著です。自然を保護していくために、よりよい観光体験をつくるために、奥入瀬溪流はマイカーの交通規制を進めています。その流れに水をささないように動いてほしいです。	その他	30歳代	1年以上～5年未満
	3	東京の世田谷区のウルトラマンの街のような、子どもたちに人気のあるキャラクターとコラボして、街中を町興し&観光力をUP！	女性	30歳代	20年以上
農業・商工業・観光などに関する こと	4	十和田市が持続的に発展し、市民にとってより魅力的なまちとなるよう、特に重要と考える以下の3つの柱に基づき、意見を提出いたします。Ⅰ. 経済の活性化と広域集客のための「玄関口」戦略の構築 十和田市の経済を底上げし、交流人口を拡大するためには、市域全体を活動の舞台とする「広域集客戦略」を構築し、インフラと商業の両面から施策を推進すべきです。1. 広域交通インフラの抜本的整備と誘致の強化 高規格道路網へのアクセス強化の要望：広域からの観光客誘致や企業誘致の前提として、十和田市中心部へのアクセス性を高める地域高規格道路網の整備を、国や県に最優先で働きかけるべきです。「経済の玄関口」となる集客拠点の戦略的誘致：整備されるアクセス道路の結節点付近など、市への「玄関口（ゲートウェイ）」となり得る場所に、地域外からの顧客を呼び込む集客力のある大型商業施設（ショッピングセンター）を戦略的に誘致し、地域経済の底上げを図るべきです。2. アートと商業の連携による周遊性の向上 二大強みの連携強化：奥入瀬・十和田湖という「自然」の強みと、現代美術館を中心とした「アート・文化」の強みを連携させ、広域からの観光客が市内でより長く滞在し、消費する仕組みを構築すべきです。中心市街地への誘導：誘致した大型商業施設や自然観光地から、中心市街地（美術館、商店街）への周遊を促すための施策（シャトルバス運行、連携イベント、共通ポイント制度など）を市が主導し、「街全体が美術館であり、消費エリアである」という一体感を創出すべきです。Ⅱ. 若者に「魅力的な将来像」を示す農業の推進 地域の基幹産業である農業を持続可能にするため、後継者不足の最大の要因である「若者が魅力を感じる農業の形が描けない」という現状を打破する施策を推進すべきです。「新価値創造型農業」への転換支援：従来の生産のみに留まらない、高収益・高付加価値型の農業モデルを市が積極的に支援すべきです。具体的には、データやテクノロジーを活用したスマート農業技術の導入支援により、労働環境の改善と生産性の向上を図るべきです。アートと連携したブランディングの強化：地元の農産物や加工品開発において、十和田市の「アートのまち」のブランドイメージを積極的に活用し、他の地域にはない高い市場価値（ブランド力）を創出する6次産業化を推進すべきです。Ⅲ. 市民の安全・安心な生活を支える都市基盤の再構築 すべての市民が安全・便利に暮らせる「生活環境」を確保するため、喫緊の課題である公共交通と空き家対策に注力すべきです。1. 公共交通網の抜本的再編 生活交通の確保：鉄道がなく、バスの本数が少ない、運行時間が短いという現状は、高齢者や自家用車を持たない住民の生活を深刻に圧迫しています。新しい生活交通手段の確立：採算性だけでなく市民の利便性を最優先し、バス路線	男性	50歳代	20年以上

提出された意見一覧

分野	No.	意見	性別	年代	在住年数
	5	多額の予算がかかる事なので無理だとは思いますが、それは置いておいて、何かに特化した街づくりが出来たら！ アートならアートで街全体をアート化に！ トリックアート・立体トリックアートとか障害者アートだったり色々なアートを取り入れて、ファミリーや色々な世代が見たり体感出来て観光客や市民が楽しめるような感じになれば良いな。あとは、今の陸上競技場一帯を広い公園・広場にして、ランニング・散歩・ドッグランなど市民の憩いの場にして、町外れにでも色々なスポーツ、メジャーなからマイナーなスポーツなどが出来たり、初めての人も体験出来るようなまとまった広い総合運動場・公園が出来たら良いです。	男性	50歳代	20年以上
	6	せっかく ごんぼう ねぎん にんにん ねばっち のキャラクターがいるので、もなかアイス せんべい、人形焼や大判焼きの焼印などでお土産のパリエーションをひろげてください。十和田市はこれっていうお土産が、源たれ しかないから。	女性	60歳代	20年以上
	7	十和田市行政への要望(焼山在住 中野八一 61歳) 〈アート十和田〉 ・水玉コスプレの日 草間彌生の水玉アートにちなんでオブジェを絡めて開催。服やグッズなど何かしら水玉があしらってあれば誰でも参加可能。ヒキで何人か著名コスプレイヤーに出演してもらおう。全国の水玉goodsを集めたスペシャルEコマース サイトも開設。草間さんが限定品を作ってくれないか!?! ・シャッターアート アーケードのある商店街を活用。一部描いたほかに一般に絵柄を広く募集してコンペみたいなのができないか!?! 優秀作品は実際に描かれる。	男性	60歳代	20年以上

提出された意見一覧

分野	No.	意見	性別	年代	在住年数
健康・福祉に関すること	1	市内で分娩する施設が無くなってしまい、妊婦健診や分娩は三沢や八戸まで行かないといけなくなりました。医療に関しては集約化は仕方がないことだと思います。しかし、毎回の妊婦健診や緊急時の対応を車で30分以上かけて行くことは妊婦の心身共に負担がかかります。そのため、セミオープンシステム(妊婦健診は自宅や職場近くの通いやすいクリニックで行い、出産は設備の整った病院で行う連携システム)で対応することはできないのでしょうか？ 十和田市立中央病院では婦人科はありますが、分娩を取り扱っていないことから常勤にいる医師については対応できないのかもしれませんが、外部からの応援医師等で妊婦健診だけは十和田市内で対応はできないのでしょうか？	女性	30歳代	1年以上～5年未満
	2	難病患者が暮らしやすいようなまちにしてほしい。子供に支援金が多いが働けない難病患者にも出してほしい。働いても体調を悪くして辞めての繰り返しで収入を得られないから。車の免許もないため、市の循環バスもちょうどいい時間がなくて困っている。無料なのはとてもありがたいです。	女性	30歳代	20年以上
	3	障害があり、車椅子で生活していますが。色々住みにくいと思っています	女性	40歳代	20年以上
	4	今後、高齢化社会になっていくと思われる。自身の親が免許もなく普段は家にばかりいる生活を目の当たりにしているため、このような高齢者でも外に出て交流できる機会が増えていけば良いのでは？と思っています。	女性	40歳代	20年以上
	5	県南には色々な難病を診てもらえる病院がなく、車がないためバス・タクシー・新幹線などで病院に通院しますが、交通費が莫大にかかります 妊婦には市外の病院に行くのに助成がありますが、子育て支援だけでなく十和田市で診れるところがないので交通費の助成をしてほしい もしくは、中央病院に難病に対応できる医師がいれば市民はもちろん近隣市町村の人も助かると思います	女性	50歳代	20年以上
	6	認知症や障害について正しい知識を拡げて、誰もが生活しやすく助け合える地域性を実現してほしい。	女性	60歳代	20年以上
自然及び生活環境・ごみ処理などに関すること	1	祭りなどのイベント時にゴミ捨て場所を出来れば設置して欲しい。	回答しない	30歳代	20年以上
	2	町内会の加入者数が減っている 町内会加入者が町内会費を払ってやりたくない事をやっている状態 加入者が減ると町内会費は上がるのに人が抜ける為、負のスパイラルで破綻 ゴミ問題 町内会費を払って居ない人も、町内会が用意したゴミ小屋に捨てれる 町内会費を払っている方が不満 ネットにするとカラス問題 分別が不十分なゴミを残して行く問題 分別が不十分なで誰かが開けて分別 ゴミに名前を書く→プライバシーや漁られる原因 プライバシーだからとゴミに名前を書かない人が増えている →分別不十分な場合、町内会の誰かがゴミを開けて分別 結果、町内会費を払っている方が不満。 市が分別不十分なゴミを回収 ゴミ小屋を設置 ゴミネットだけの地域のカラス問題なども解決	女性	40歳代	1年以上～5年未満
	3	十和田市中心部において、倒壊の恐れがある廃屋、屋根や外壁が補修されていない建物、草木の手入れがされていない土地が多い。強風でトタンや破損した外壁が飛ぶ危険性、クマ等の野生動物の侵入の可能性、治安悪化の怖れがあるので、市から強い指導と是正勧告、さらには行政代執行を含めて検討してほしい。子供の通学路にもあるため、まちづくり支援課および都市計画課にも要望したが全く改善されない。	男性	40歳代	15年以上～20年未満
	4	毎年、十和田市から、春と秋に側溝掃除、歩道の雑草とり、枯れ葉を集めたりする活動がありますが、ごみ袋を町内会費で購入して、会員に配って清掃をしています。八戸市では、ボランティア活動用のごみ袋を無料で配布していますが、十和田市もやってみてはどうですか？	男性	40歳代	20年以上
	5	とにかくカラス、ムクドリを何とかして欲しい。夕方、怖くて歩けないし車にいつもフンをいつも落とされずごく不快。歩道にも大量に落ちていて気持ち悪い。こんなにカラスがいる市は見た事がない。ずっと問題になっているのになぜ市は何も対策をしてくれないのか！巢がある木を切って欲しい。	女性	50歳代	20年以上

提出された意見一覧

分野	No.	意見	性別	年代	在住年数
公共交通・生活インフラ（道路・上下水道）などに関すること	1	バスの本数が少なくて用を足せない。循環バスが東四番町までというのが不便でただでさえ十和田の端である観音寺、観音寺のバス停は市内に含まれない？	女性	30歳代	20年以上
	2	下水道の更新時期を迎えて、人口密度の低いところは、浄化槽への巻き戻し移行を検討してはどうか。また下水道料金に更新費をきちんと盛り込んで、市の持ち出しを削減すべき。なお我が家は浄化槽なので、多くの市税が下水道更新に充てられるのは許容しがたい。	男性	40歳代	1年以上～5年未満
	3	道路の穴が多すぎるし歩道や各所の除草作業が疎かで、交通や歩行の両面で危険だと思う、財政人件費等を節約工面して作業して欲しい	女性	50歳代	15年以上～20年未満
	4	信号のない横断歩道に街頭を設置していただきたいと思いました。歩行者がいる場合、車を停止して歩行者を横断させていますが、暗くなると歩行者がいるかどうかは本当に直前になるまで見えない場合が多いです。事故を防ぐために、ぜひお願いします。	女性	50歳代	20年以上
	5	十和田市行政への要望-1(焼山在住 中野八一 61歳) まずは世界に誇れる奥入瀬渓流の魅力を地元である十和田市民がもっと知るべき。これがベースとなって十和田市への誇り、上質な観光アピールが可能となる。あらためて渓流の概要を記すと奥入瀬渓流は長さ14km高低差200m、つまり1kmあたり約14m、10mあたり約14cmの高低差という緩流であり、渓谷としては珍しく底が広いため川に沿って遊歩道と国道が並走している。ゆえにクルマでもアプローチが容易な渓流である。その脚腰に優しいほどよく整備された遊歩道を目の高さに近い川面を眺めつつ千変万化する渓流の音も楽しみながら300種類あるという苔をめでもよし、フィトンチッドに満たされた森の空気を満喫するもよし、新緑や紅葉に彩られた木々を目を奪われるのもよし、1/f揺らぎを提供してくれる木漏れ日にさらされるのもよし、マイナスイオンを浴びるのもよし！ 渓流ウォーキングで身体を活性化させよう。〈1〉それで知識の充実。『おいけん』が実施している初級ガイド講座レベルの奥入瀬渓流検定を十和田市認定で作成。そして教師や生徒への受験の機会を与える。正答率に応じてS～Dなどのランクを与えると昇格する励みになるかも。〈2〉実際に渓流を歩くために。学校への無料バス手配、子供を対象にした土日の無料往復バス手配。〈3〉未来像。10年後のバイパス完成後は、車椅子で国道を通行できるようにする。『インクルーシブで人に優しい奥入瀬渓流』を世界にアピールする。個人的に奥入瀬渓流の魅力のキーワードは『癒し』『優しさ』だと考える。まあ自然博物館としてもいいんだけどね、知識が感性の邪魔をしないよう共有できる層と一緒に渓流を楽しめればモアベターかと。トランプ大統領が言った『ヘンな踊りばかりしている』TikTokが世界で人気なのは理屈っぽくないところが大きいでしょ。というわけで『奥入瀬渓流の遊歩道を歩いて気持ちいい』ことを十和田市民が理解した上でほかの方たちと渓流の魅力を共有すべく強く発信したい。	男性	60歳代	20年以上

提出された意見一覧

分野	No.	意見	性別	年代	在住年数
生涯学習・文化・スポーツに関すること	1	美術館の運用が観光施設としての側面が強すぎる。文化教員面での市民利用やアーティストとの交流が広がるように、美術館の活用方法を捉え直してほしい。またライトアップ事業はすでに集客成果は果たしたし、環境負荷という意味でも見直すタイミングと考える。その分の予算で人員を増やしたり、鑑賞プログラムなどを充実してほしい。	その他	30歳代	1年以上～5年未満
	2	活動を活発に行うためにも、公共施設の申請をもっとスムーズにして頂きたい。また、空いている時間などは、当日でも利用できるようにしたり、中高生の学習スペースや活動にも利用できる仕組みを作ると市民が施設を有効に使いやすくなる。	女性	40歳代	10年以上～15年未満
	3	十和田市行政への要望-1(焼山在住 中野八一 61歳) まずは世界に誇れる奥入瀬渓流の魅力を地元である十和田市民がもっと知るべき。これがベースとなって十和田市への誇り、上質な観光アピールが可能となる。あらためて渓流の概要を記すと奥入瀬渓流は長さ14km高低差200m、つまり1kmあたり約14m、10mあたり約14cmの高低差という緩流であり、渓谷としては珍しく底が広い川に沿って遊歩道と国道が並走している。ゆえにクルマでもアプローチが容易な渓流である。その脚腰に優しいほどよく整備された遊歩道を目の高さに近い川面を眺めつつ千変万化する渓流の音も楽しみながら300種類あるという苔をめぐるもよし、フィトンチッドに満たされた森の空気を満喫するもよし、新緑や紅葉に彩られた木々を目を奪われるのもよし、1/f揺らぎを提供してくれる木漏れ日にさらされるのもよし、マイナスイオンを浴びるのもよし！ 渓流ウォーキングで身体を活性化させよう。〈1〉それで知識の充実。『おいけん』が実施している初級ガイド講座レベルの奥入瀬渓流検定を十和田市認定で作成。そして教師や生徒への受験の機会を与える。正答率に応じてS～Dなどのランクを与えると昇格する励みになるかも。〈2〉実際に渓流を歩くために。学校への無料バス手配、子供を対象にした土日の無料往復バス手配。〈3〉未来像。10年後のバイパス完成後は、車椅子で国道を通行できるようにする。『インクルーシブで人に優しい奥入瀬渓流』を世界にアピールする。個人的に奥入瀬渓流の魅力のキーワードは『癒し』『優しさ』だと考える。まあ自然博物館としてもいいんだけどね、知識が感性の邪魔をしないよう共有できる層と一緒に渓流を楽しめればモアベターかと。トランプ大統領が言った『ヘンな踊りばかりしている』TikTokが世界で人気なのは屈っぽくないところが大きいでしょ。というわけで『奥入瀬渓流の遊歩道を歩いて気持ちいい』ことを十和田市民が理解した上でほかの方たちと渓流の魅力を共有すべく強く発信したい。	男性	60歳代	20年以上
防災・セーフコミュニティ・移住などに関すること	1	災害に遭った方への対応。融通が効かないと感じる	回答しない	70歳代	20年以上
市民参画・市民サービス・デジタル化の推進・財政・公共施設などに関すること	1	アンケートや書類提出時に、性別について知らせる必要がある場合は自由記述欄を設けていただきたいです。現在は消去法で「その他」を選んでいきます。もし記述できるならノンバイナリーと記述します。ただ「男性」「女性」しか選べない場合もある中で、「その他」や「無回答」が選択肢に用意されていることはとても嬉しく思っています。	その他	30歳代	1年以上～5年未満

提出された意見一覧

分野	No.	意見	性別	年代	在住年数
その他	1	<p>【企業誘致について】十和田市は美しい土地ではあるが観光以外での集客コンテンツ力が乏しいので、良品計画との連携協定でまちおこしをしている他自治体などを参考にしてほしい。コストコなどの県内初出店する企業や製造工場などを誘致できれば働き口が生まれるし周辺地域からの流入も増えて消費が活性化し税収も増えるのではないかと考えるが、イオンスーパーセンターから全国チェーン店のテナント撤退が相次いでおり、その既存データを元に十和田市への進出を抑える企業が今後は更に多くなり誘致困難になっていくと予想されるので早急に検討願う。現在は北里大学獣医学部のキャンパスがあるが、今後は少子化により大学の規模が縮小していくことも予測しておかなければならない。農業か介護か個人中小企業（大半が低賃金で雇用環境が悪い）以外の働き口が少なく、満足な収入が得られない自治体から人口が流出してしまうのは必然なので、新たな雇用先を増やし住民定着を促して利便性の高まるようなまちづくりを希望する。先立つ収入が無ければ婚姻率も出生率も下がる＝全体が衰退していく一方なので、最優先で市全体の経済力向上に力を入れてまちづくりしてほしい。</p>	回答しない	40歳代	20年以上
	2	<p>【支援について】若者を受け入れる支援が必要。北里学生がそのまま住めるような政策、支援などがあれば定住しやすい。高校生の就職先なども。子育て世帯、未就学児、高齢者にばかりフォーカスしてるから、独身、子供のいない若夫婦やカップルなども政策の視野に入れてもらいたい。十和田市は素敵な街なのに定住メリットは他市に比べてそんなにない。若者が楽しみに使えるお金がない・楽しむ場所がないが故に活気がない</p>	女性	20歳代	20年以上

計 40

8. 市長インタビュー

調査の概要

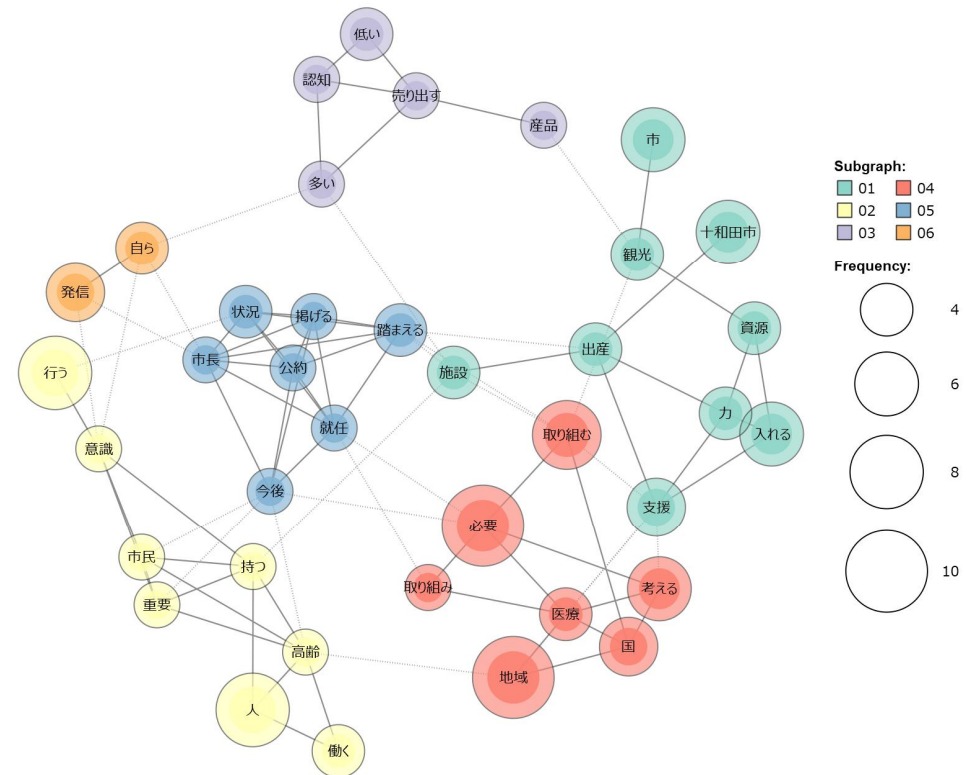
調査目的	第3次十和田市総合計画の策定にあたり、十和田市が目指す将来像や今後重点化していきたいこと等について、市長の考えやアイデアを聞き出す。
調査対象・方法	市長室においてインタビュー形式で実施
調査期間	令和7(2025)年10月14日(火)16:00~17:00

■ 将来像に対する考え方

- ・「ひとりひとりの笑顔」につながるまちにしたい。多様な人がいる中で、支え合いを通してみんなにとって住みやすいまちとなるよう、仕事や生活の在り方を考えたい。高齢者も障がい者も、働く意欲がある人が働ける環境を整え、社会とのつながりをつくり、地域に貢献している気持ちを持てる社会。そのための地域コミュニティの支援や伝統・文化の継承にも力を入れたい。
- ・人口移動を広域でとらえ、戦略的に子育て支援を充実することで、出産後の十和田市への転入を促進することも考えられる。

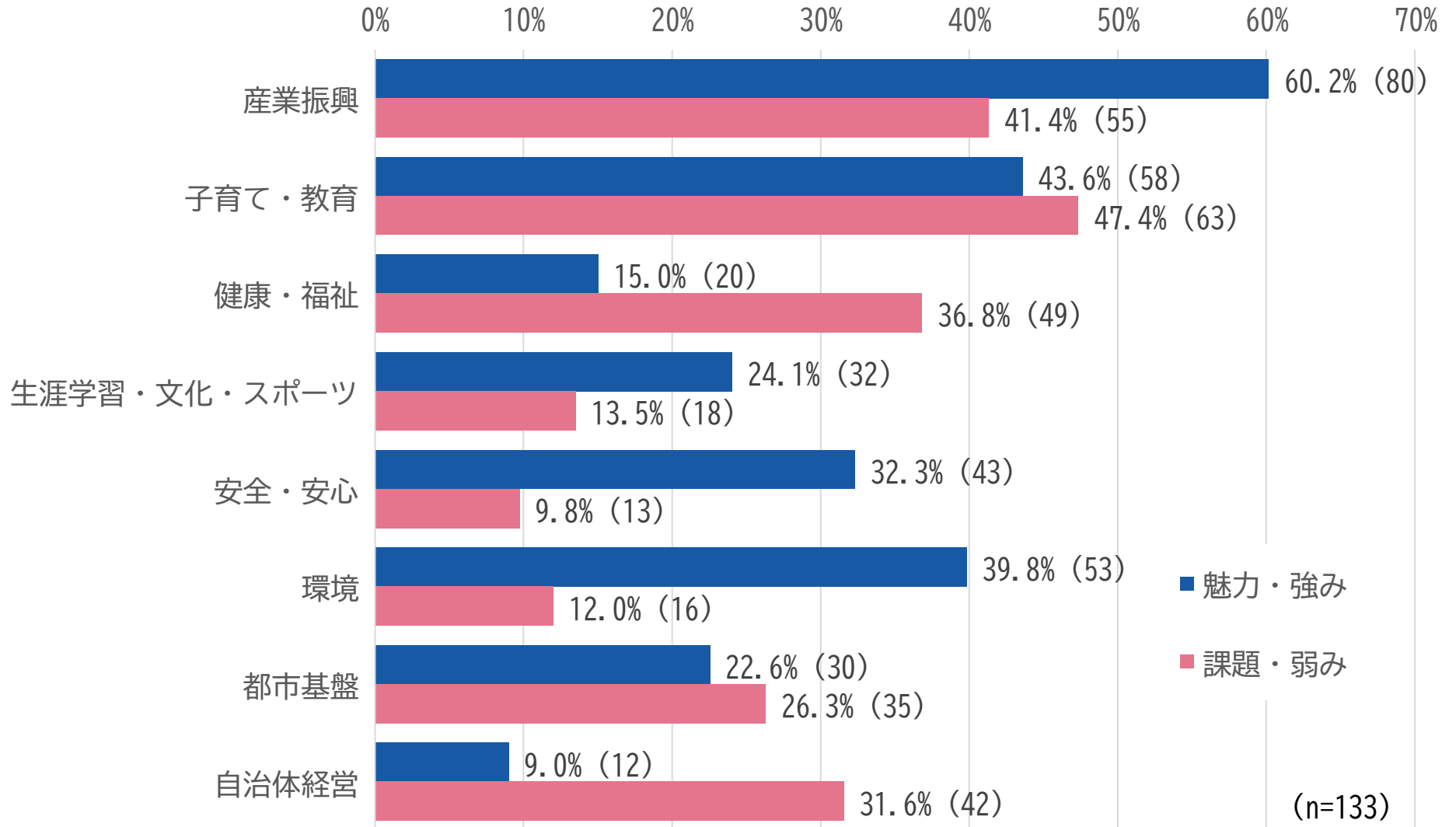
■ 今後重点化していきたいこと

- ・観光資源を活用したシティプロモーションに力を入れ、十和田産品を売り出していくことで、知名度を高め、市として稼いでいく。
- ・奥入瀬溪流の丸ごと博物館化など、豊富な自然観光資源を生かし、国のモデル事業も活用しながら、滞在型観光を促進する。
- ・水が豊かであること、新幹線駅や空港に近接していること、災害に強いことなどを強みとしてアピールし、企業誘致にもつなげる。
- ・市民自体に十和田のまちがよいと思ってもらうことが重要。職員も一人ひとりが市の魅力を発信できるようにする。

テキストマイニングによるまとめ
(共起ネットワーク図)

9. 職員アンケート調査

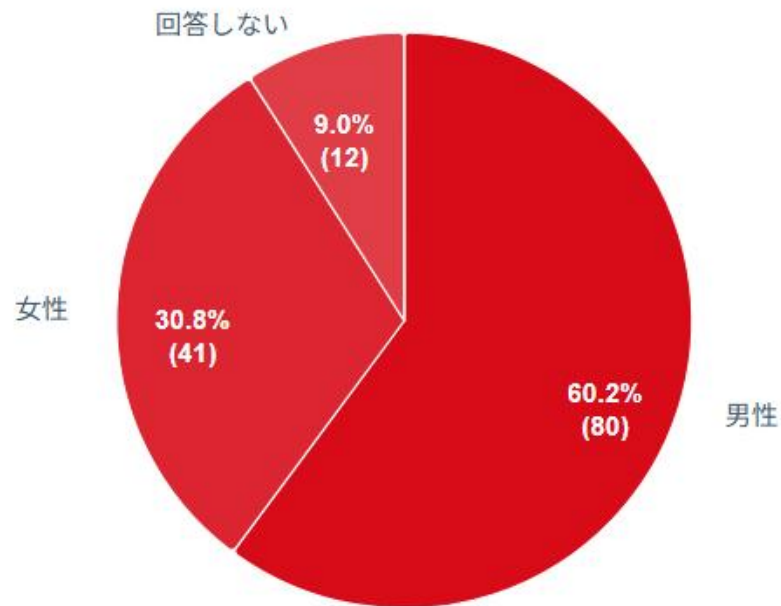
今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強みと 改善（克服）すべき課題・弱み



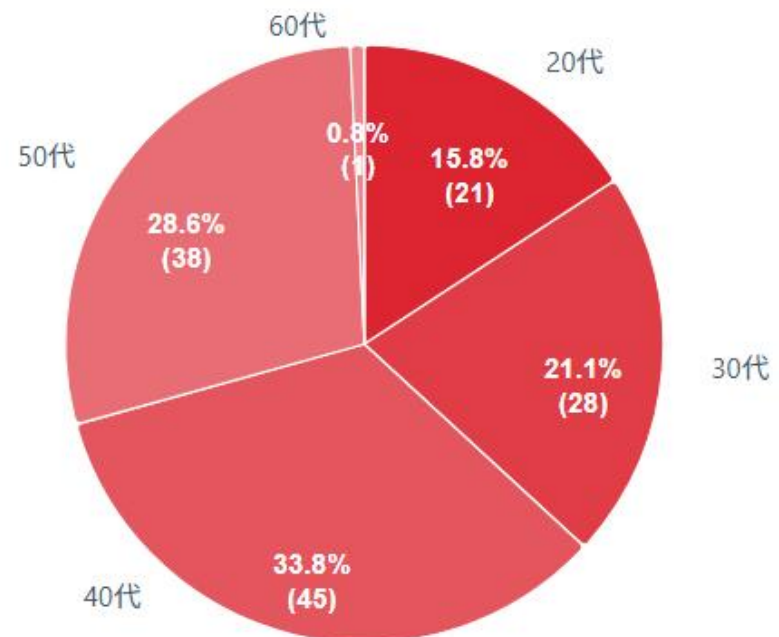
調査の概要

調査目的	第3次十和田市総合計画の策定にあたり、職員が考える十和田市の魅力・強みや課題・弱みとそれを踏まえて今後目指すべきまちの姿、総合計画の活用状況、長期的な視点で今後実施してみたいことなどについて調査する。		
調査対象・方法	十和田市役所で働く全職員を対象とし、Webのアンケートフォームにより入力。		
調査期間	令和7(2025)年10月10日(金)～10月24日(金)		
回答数	配布数	有効回答数	有効回答率
	421件	133件	31.6%

性別

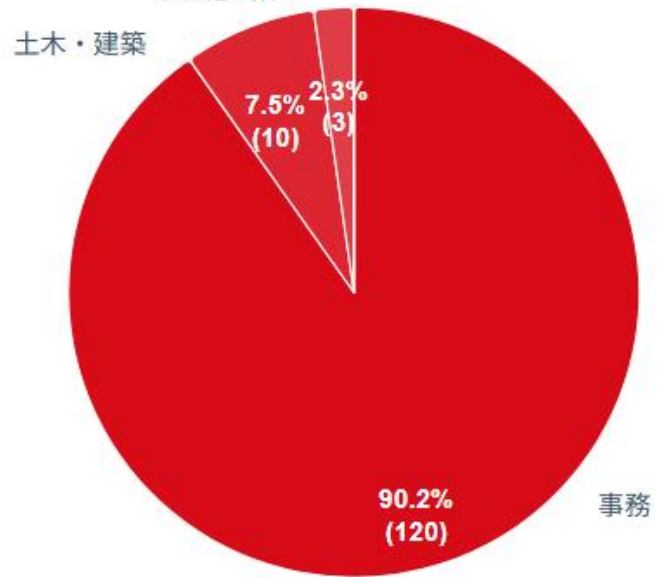


年代

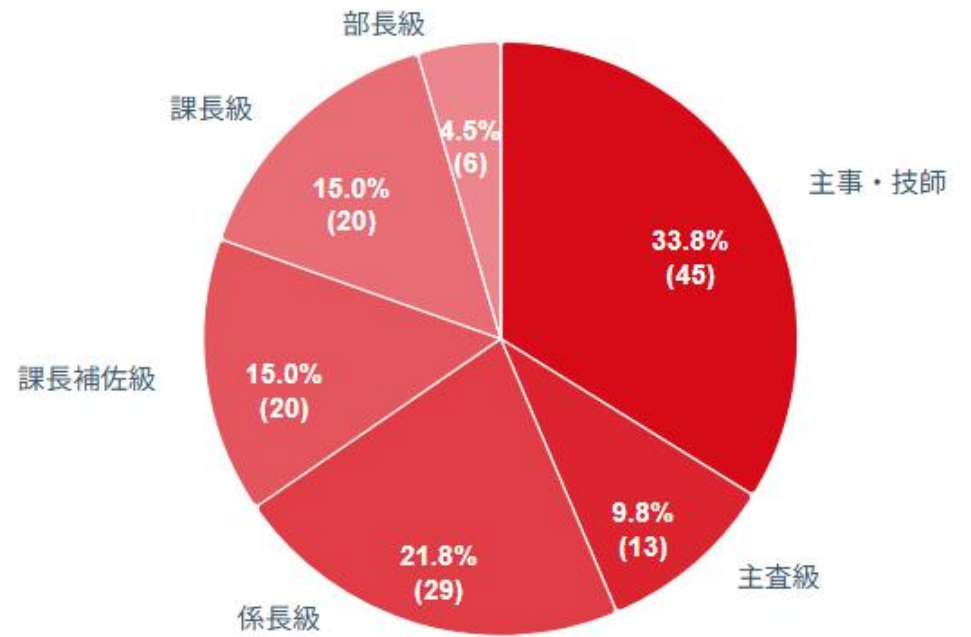


職種

その他（保健師・栄養士等）



職位



今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み【主な意見】

自然・観光資源の活用

- ・ 豊富な観光資源：十和田湖、奥入瀬溪流、現代美術館など全国的に知名度のある自然・文化資産が多数。
- ・ 観光産業の強化：観光客が訪れるだけでなく、周辺で消費を促す仕組み（飲食・買い物施設など）の整備が必要。
- ・ 自然環境の保全：景観保護やメガソーラーなどによる自然破壊への懸念もあり、持続可能な観光開発が求められている。
- ・ アートとの融合：自然と現代美術館などのアート資源を組み合わせた観光戦略の推進。

農業・一次産業の振興

- ・ 農産物の魅力発信：にんにく、長芋、米などの特産品のブランド化と市外への発信強化。
- ・ 農業経営支援：世代交代や所得安定のための施策、加工業との連携、就農支援の充実。
- ・ 農業と観光の連携：地元産品を観光資源として活用し、地域経済の循環を促進。

商業・雇用・経済活性化

- ・ 企業誘致と雇用創出：地元で働く場が少ないため、中小企業支援や市職員による経営指導などの提案。
- ・ 商店街・アーケードの再興：既存の市街地資源を活かした商業活性化。
- ・ 飲食店支援：市外からの関心も高いため、開業支援や多様な店舗誘致の必要性。
- ・ ふるさと納税の活用：地域資源の魅力を発信し、財政基盤の強化へ。

子育て・教育環境

- ・ 育て支援の充実：保育料無償化、待機児童ゼロ、保育園・教育機関の整備など。
- ・ 教育機会の豊富さ：小中高大が揃っており、地域を生かした教育が可能。
- ・ 若者定住促進：子育てしやすい環境づくりが人口減少対策に直結。
- ・ 民間サービスとの連携：買い物や食事など生活利便性も含めた支援が求められている。

安全・安心な暮らし

- ・ 災害の少なさ：自然災害が少なく、セーフコミュニティ認証も取得している。
- ・ 住みやすい都市構造：碁盤の目の街並み、コンパクトシティ、整備されたインフラ。
- ・ 治安の良さ：犯罪が少なく、安心して暮らせる環境。

医療・福祉・高齢者支援

- ・ 医療施設の充実：市立病院や介護施設が豊富で、安心して医療・福祉を受けられる。
- ・ 高齢者支援：健康的に働ける環境づくりや介護サービスの充実。
- ・ 病院経営の安定化：中央病院の財政健全化への関心。

文化・芸術・スポーツ

- ・ アート・文化の拠点化：現代美術館や著名建築家による施設を活かした都市景観づくり。
- ・ スポーツ振興：サッカーを中心に、相撲場や野球場などの施設整備と活用。生
- ・ 生涯学習・市民活動：文化・歴史・スポーツを通じた豊かな暮らしの実現。

都市整備・インフラ

- ・ 交通アクセスの改善：高規格道路の整備や都市計画道路の見直し。
- ・ インフラの充実：平地の土地活用、公共施設の整備、生活圏の集約化。／等

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
産業振興	1	一次産業、三次産業 観光事業	女性	20代	事務	主事・技師
	2	地元産品の発信 市外への発信が積極的であり、市外の人も触れる機会が多い。これを伸ばしていくべき。	女性	20代	事務	主事・技師
	3	アーケード通りがあるので、そちらを有効活用するべき	女性	20代	事務	主事・技師
	4	現代美術館、奥入瀬溪流・十和田湖等の観光資源	男性	20代	事務	主事・技師
	5	美術館、溪流などの観光名所は需要があり様々な人が訪れている十和田市の魅力だと思うが、その周辺でお金を落としてもらうためのしくみや商業施設などが少なく不十分だと感じている。現にイベント事の際、観光客の方から食事処や買い物はどこか尋ねられることがしばしばあった。少し足を伸ばせば無いことはないと思うが、重い荷物を持って歩いていける距離とは考えにくく、より強みを伸ばすためにもこの辺りの整備は改善できると思う。	男性	20代	事務	主事・技師
	6	就職先がないため、企業誘致を含め、中小企業に派遣できるような市職員を養成し、経営指導してはどうか？	回答しない	30代	事務	主査級
	7	農業	女性	30代	事務	主事・技師
	8	十和田湖	女性	30代	事務	主査級
	9	観光資源の整備と充実	女性	30代	事務	主事・技師
	10	にんにくなどの特産品が豊富	女性	30代	事務	主事・技師
	11	観光	女性	30代	事務	主事・技師
	12	自然環境、観光資源	男性	30代	事務	主査級
	13	観光資源	男性	30代	事務	主事・技師
	14	奥入瀬溪流を活かした観光 にんにく等の特産品	男性	30代	事務	主査級
	15	農業分野	男性	30代	事務	主査級
	16	地域資源（十和田湖や蔦沼）の活用	男性	30代	事務	主事・技師
	17	観光産業の活性化	男性	30代	事務	主事・技師
	18	商店街の再興	男性	30代	事務	主事・技師
	19	観光を軸とした周辺産業等への波及効果の最大化	男性	30代	事務	主事・技師
	20	ふるさと納税の活性化	男性	30代	事務	主事・技師
	21	農業・林業	回答しない	40代	事務	主査級
	22	十和田湖・奥入瀬溪流を活用した観光産業	回答しない	40代	事務	係長級
	23	観光資源の豊富	女性	40代	事務	係長級
	24	奥入瀬溪流など一定の知名度があるので、観光分野はどんどんアピールしていったほうが良いと思います。	女性	40代	事務	係長級
	25	食、観光	女性	40代	事務	主査級
	26	農業、畜産	女性	40代	事務	主事・技師
	27	観光	女性	40代	事務	主査級
	28	産業が回っていないと社会保障費（生活保護）ばかり増える。産業界の強みを、市全体の強みとして認識して行政も一緒に伸ばせると思う。	女性	40代	事務	課長補佐級
	29	市の財政基盤強化のため	男性	40代	事務	課長補佐級
	30	・農業、畜産等 ・観光資源	男性	40代	事務	主査級

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
	31	認知度・満足度の高い地域資源を市民が身近に満喫するための方策	男性	40代	事務	課長級
	32	奥入瀬溪流・十和田湖を活かした観光業、にんにくといった特徴的な農産物がある農業	男性	40代	事務	係長級
	33	観光資源	男性	40代	事務	課長補佐級
	34	農産物加工業	男性	40代	土木・建築	課長補佐級
	35	観光、農業	男性	40代	事務	課長補佐級
	36	観光分野（現代美術館、奥入瀬・十和田湖）	男性	40代	事務	課長補佐級
	37	魅力ある農産物。十和田産ブランドの知名度向上	男性	40代	事務	課長補佐級
	38	農産物の収穫量	男性	40代	事務	係長級
	39	農業が強い市であるため、農家が世代交代も含め、安心して経営できる、所得が得られるような施策を進めてほしい。	男性	40代	事務	課長補佐級
	40	農産物・農業経営の魅力発信	男性	40代	事務	課長補佐級
	41	十和田の農産物と加工。	男性	40代	土木・建築	係長級
	42	就農・既存農家への支援。企業誘致等による雇用の創出。災害に強いまち（旧十和田市地区）のPR。	男性	40代	事務	係長級
	43	米やにんにく等を中心とした農業経営の基盤強化	回答しない	50代	事務	課長級
	44	農産物	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	係長級
	45	おいしい特産物、にんにく、長芋生産量1位 安全な農産物	女性	50代	事務	課長級
	46	農畜産業	女性	50代	事務	課長級
	47	地元に働く場が無いと、人口減少を食い止められないから	女性	50代	事務	部長級
	48	農林業	男性	50代	事務	部長級
	49	十和田湖、奥入瀬の観光資源	男性	50代	事務	課長級
	50	農業、観光	男性	50代	土木・建築	課長級
	51	農業	男性	50代	事務	課長級
	52	同規模の都市に比べて立地していない業者、店舗、サービス業がまだある。	男性	50代	事務	係長級
	53	十和田湖、奥入瀬溪流をはじめ豊富な観光資源に恵まれていること	男性	50代	事務	課長級
	54	介護分野	男性	50代	事務	課長補佐級
	55	・働く場所の確保（商業施設の誘致） ・経済活動の活性化（商業施設の誘致）	男性	50代	事務	課長級
	56	十和田湖、奥入瀬溪流	男性	50代	事務	課長級
	57	十和田湖・奥入瀬・現代美術館を中心とした観光産業	男性	50代	事務	課長級
	58	観光	男性	50代	事務	課長級
	59	にんにくや長芋の生産など農業が盛んであること	男性	50代	事務	課長級
	60	農産物の生産量	男性	50代	事務	部長級
	61	飲食店を市内で開業したいという人に補助すべき。SNS等で市外の人が興味を持っているケースが多くなっているため、もっと多種多様な飲食店ができるよう協力すべき。チェーン店でも可。	男性	50代	事務	係長級
	62	ニンニク、長芋等、ブランディングの推進	男性	50代	事務	課長級
	63	農業	女性	60代	事務	部長級

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
環境	1	道路工事が活発なので、しなければならぬような道路を優先して工事して欲しい	女性	20代	事務	主事・技師
	2	山と市街地の調和	女性	20代	事務	主事・技師
	3	自然	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	4	自然	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	5	住みやすい環境づくり	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	6	十和田湖、奥入瀬溪流などの自然	女性	30代	事務	主事・技師
	7	街の美しい景観や自然環境	女性	30代	事務	主事・技師
	8	自然とアートが融合している	女性	30代	事務	主事・技師
	9	自然が豊かであること	女性	30代	事務	主事・技師
	10	豊かな大自然に恵まれているので、メガソーラーなど、自然破壊はしない方が良いと思う。	男性	30代	事務	主事・技師
	11	自然環境に恵まれているので、農産物なども安全で美味しいものが多い。観光、食品販売・飲食などを伸ばせると思う。また、森林が多いことや立地から、十和田は余り大きな自然災害にあっていない。安心な暮らしにも関連してPR出きるのでは。	回答しない	40代	事務	係長級
	12	十和田湖・奥入瀬溪流	回答しない	40代	事務	係長級
	13	奥入瀬、十和田湖	女性	40代	事務	主事・技師
	14	豊かな自然	男性	40代	事務	係長級
	15	自然環境、農地	男性	40代	事務	係長級
	16	国立公園、特別名勝、天然記念物を有する日本でも稀有な自治体のため、自然環境が十和田市の売り、強み、魅力なので、景観保護は重要だと思います。	男性	40代	事務	係長級
	17	住みやすい居住環境	男性	40代	事務	係長級
	18	十和田湖や奥入瀬溪流という観光資源を磨くと共に、豊かな自然や景観をアピールする。	男性	40代	事務	係長級
	19	十和田湖、奥入瀬溪流といった全国的に知名度のある資産	男性	40代	事務	係長級
	20	貴重な自然環境	男性	40代	事務	課長補佐級
	21	豊かな自然環境	男性	40代	事務	係長級
	22	・環境に配慮した交通・インフラ整備	男性	40代	事務	主査級
	23	十和田湖、奥入瀬溪流、現代美術館などの観光資源	男性	40代	事務	課長補佐級
	24	十和田湖周辺の観光資源を生かした魅力発信	回答しない	50代	事務	課長級
	25	自然が豊か	回答しない	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	26	十和田湖、奥入瀬溪流、八甲田	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	27	自然が豊か	女性	50代	事務	課長補佐級
	28	豊かな自然を市民も誇りに思っているから	女性	50代	事務	部長級
	29	奥入瀬・十和田湖の自然 有名建築士の意匠や現代美術館のアート作品などの観光資源	女性	50代	事務	課長級
	30	碁盤の目 道路の整備 十和田湖 自然が多い 水がおいしい	女性	50代	事務	課長級
	31	十和田湖、奥入瀬の自然環境	男性	50代	事務	課長補佐級

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
	32	他市町村に比べて豊かな観光資源がありますので	男性	50代	事務	係長級
	33	十和田湖、奥入瀬渓流の環境、景観の保全	男性	50代	事務	係長級
	34	十和田湖、奥入瀬川	男性	50代	事務	課長級
	35	十和田湖、奥入瀬渓流などの恵まれた自然環境	男性	50代	事務	部長級
	36	自然	男性	50代	事務	係長級
	37	十和田湖、奥入瀬渓流等、自然の恵み	男性	50代	事務	課長級
	38	奥入瀬渓流や十和田湖など美しい自然環境を有していること	男性	50代	事務	課長級
	39	豊かな自然がある	男性	50代	事務	課長補佐級
	40	自然環境の豊かさ	男性	50代	事務	係長級
	41	コンパクトシティの促進	男性	50代	事務	課長級
	42	自然景観	男性	50代	土木・建築	課長級
	子育て・教育	1	産院に通院する費用だけでなく、そもそも産院を受け入れる体制を整えるべき	女性	20代	事務
2		秀でた魅力、強みがあるとは思えないので伸ばすべき分野を選択	男性	20代	事務	主事・技師
3		出産や保育園利用の補助	男性	20代	事務	主事・技師
4		子育て世帯の支援	男性	20代	土木・建築	主事・技師
5		義務教育の無償化	男性	20代	事務	主事・技師
6		小規模学校。	女性	30代	事務	主査級
7		子どもや子育て世代が住みやすくなることで人口減少を防ぐ	女性	30代	事務	主事・技師
8		了供が遊べる場所	女性	30代	事務	主事・技師
9		待機児童がないこと	女性	30代	事務	主事・技師
10		教育の機会が豊富	女性	30代	事務	主事・技師
11		保育料の無料対象年齢の引き下げ	男性	30代	事務	主事・技師
12		子供を育てやすい街	男性	30代	事務	主事・技師
13		子育て支援の充実 保育料の無償化（0～2歳まで）	男性	30代	事務	主事・技師
14		子育て世帯や産みたい世帯への支援	男性	30代	事務	主事・技師
15		子育てしやすい環境作り	男性	30代	事務	主事・技師
16		子育てのしやすい環境づくり（保育、教育だけではなく、買い物、食事などのしやすさなどの民間的な部分も含めて）	男性	30代	事務	主査級
17		幼児教育・保育の無償化	男性	30代	事務	主事・技師
18		次代の十和田市を担える人材を育てるのは教育であるため。現時点でも幼児期から児童生徒期までの環境は充実していると思いますが、その環境を持続するのは強みになると思います。	女性	40代	事務	課長補佐級
19		待機児童があまりないイメージがあります。子育てしやすい環境だと若い方が定住してくれそう。	女性	40代	事務	係長級
20		地域を生かした教育	女性	40代	事務	主査級
21		子育て、教育に積極的に取り組んでいるまち	男性	40代	事務	係長級
22		小学校、中学校、高校、大学の教育機関が揃っているところ	男性	40代	事務	主査級

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
	23	子育て	男性	40代	土木・建築	主査級
	24	人口減少対策が市が直面している最大の課題であると考えているため	男性	40代	事務	係長級
	25	子育て環境	男性	40代	土木・建築	係長級
	26	子育て支援策の充実。	男性	40代	事務	係長級
	27	将来的な市の担い手の確保のため	男性	40代	事務	課長補佐級
	28	・移住希望者・若い世代向けの子育て施策	男性	40代	事務	主査級
	29	楽しい場所を一つでもあればいい	男性	40代	事務	係長級
	30	子育て環境、子育て支援	男性	40代	事務	課長補佐級
	31	子どもの教育や子育てに力をいれている	男性	40代	事務	課長補佐級
	32	子育てがしやすい環境	男性	40代	事務	課長補佐級
	33	手厚い子育て政策により、金銭的に苦勞せず子どもを育てられる環境の実現	男性	40代	事務	課長級
	34	十和田市の学校は、教育力が高い	回答しない	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	35	子どもたちは地域の財産であるから	女性	50代	事務	部長級
	36	教員の質	男性	50代	事務	課長級
	37	子どもをのびのび育てることのできる環境 すべての子どもが同じ水準で学習できる環境	男性	50代	事務	課長級
	38	子育て環境は十分に備えてあると思われる。もっと周知できれば良いと思う。	男性	50代	事務	課長補佐級
	39	おいらせ町や六戸町が行っているレベルの支援をすべき。	男性	50代	事務	係長級
	40	待機児童ゼロ	男性	50代	事務	課長補佐級
	41	先進的な子育て環境の整備	男性	50代	事務	課長級

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
安全・安心	1	安心	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	2	移民を入れないこと	男性	20代	事務	主事・技師
	3	安心して暮らせる都市	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	4	災害が少ない	回答しない	30代	事務	主事・技師
	5	安全・安心な暮らしの確保(セーフコミュニティの推進)	女性	30代	事務	主事・技師
	6	災害が少なく安心して暮らせる	女性	30代	事務	主事・技師
	7	おいしく安全な水	女性	30代	事務	主事・技師
	8	災害が少ないところ	女性	30代	事務	主事・技師
	9	整備された町（碁盤の目）	男性	30代	事務	主事・技師
	10	除雪や交通手段も含めた住みやすさ	男性	30代	事務	主査級
	11	十和田市セーフコミュニティ	男性	30代	事務	主事・技師
	12	自然災害が比較的少ない。	回答しない	40代	事務	係長級
	13	甚大な自然災害が起こりにくい	女性	40代	事務	主査級
	14	碁盤目上なので道がわかりやすいし、整備しやすそう。治安がよいのは長く住んでいくうえで大事なポイントだと思います。	女性	40代	事務	係長級
	15	暑すぎず雪もそこまで多くなく、生活環境における住みやすさ	男性	40代	事務	課長補佐級
	16	セーフコミュニティの認証を受けているところ	男性	40代	事務	主査級
	17	災害が少ない	男性	40代	土木・建築	課長補佐級
	18	中心街は水害や土砂崩れにも強いことを生かし、都市の安全性をアピールする。	男性	40代	事務	係長級
	19	災害が少ない	回答しない	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	20	犯罪もすくなく住みやすい。SNSで騒がれているような問題ある外国人もいなくて安心できる。	女性	50代	事務	課長級
	21	セーフコミュニティ国際認証取得 災害が少ない 雪が少なく、除雪作業が少ない	女性	50代	事務	課長級
	22	自然災害が比較的少ないこと、セーフコミュニティの取組を進めていること	男性	50代	事務	課長級
	23	災害が少ない	男性	50代	事務	課長補佐級
	24	災害に強い	男性	50代	事務	課長級
	25	災害が少ない	男性	50代	事務	課長補佐級
	26	防災	男性	50代	土木・建築	課長級
	27	災害の少ない、安全・安心の街	男性	50代	事務	課長級
	28	災害が少ない街	男性	50代	事務	課長級
	29	災害に強くすべての住民が安心して暮らせるまち	男性	50代	事務	課長級
	30	セーフコミュニティ	女性	60代	事務	部長級

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
都市基盤	1	災害の少なさ	女性	20代	事務	主事・技師
	2	災害の少なさ。	女性	30代	事務	主査級
	3	交通機関の体制強化	男性	30代	事務	主事・技師
	4	基盤の目上になっていて、とても過ごしやすいのが、強みの一つだと思いますので、今後も過ごしやすい街にして行くべきだと思います。	男性	30代	事務	主事・技師
	5	災害が少ない	女性	40代	事務	課長補佐級
	6	住みやすいまち	女性	40代	事務	係長級
	7	整然と区画された美しい街並みであるが、都市計画道路が中途なため、市の発展にブレーキがかかっているように思われるので、街づくりを進めてほしい。	男性	40代	事務	課長補佐級
	8	都市機能が集中し（点在しておらず）、市街地から官公署や商業施設へのアクセスが容易なところ	男性	40代	事務	主査級
	9	官庁街通り	男性	40代	事務	係長級
	10	平地かつ方格設計であることを生かし、街並みの景観の美しさをアピールする。	男性	40代	事務	係長級
	11	インフラ規模の見直し	男性	40代	事務	課長補佐級
	12	街並みがきれいなこと、災害が少ないこと、公共施設が充実していること	男性	40代	事務	課長補佐級
	13	高規格道路などの交通アクセスの整備	男性	40代	土木・建築	係長級
	14	アートなどの都市景観	男性	40代	事務	係長級
	15	生活圏がコンパクトにまとまっている	回答しない	50代	事務	係長級
	16	コンパクトシティ。中心部ですべてが完了するような十和田になるように伸ばしていくべき	女性	50代	事務	課長級
	17	官庁街通りや基盤の目の街並み 災害が少ない街	女性	50代	事務	課長級
	18	災害の少ない街(十和田湖地域を除いて)であることから、コンパクトシティで住みやすい街	男性	50代	事務	課長級
	19	インフラ整備	男性	50代	事務	課長級
	20	平地の土地活用	男性	50代	事務	部長級
	21	インフラが揃っている	男性	50代	事務	課長補佐級
	22	既にコンパクトシティである	男性	50代	事務	課長級
	23	有名建築家設計の公共施設	女性	60代	事務	部長級

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

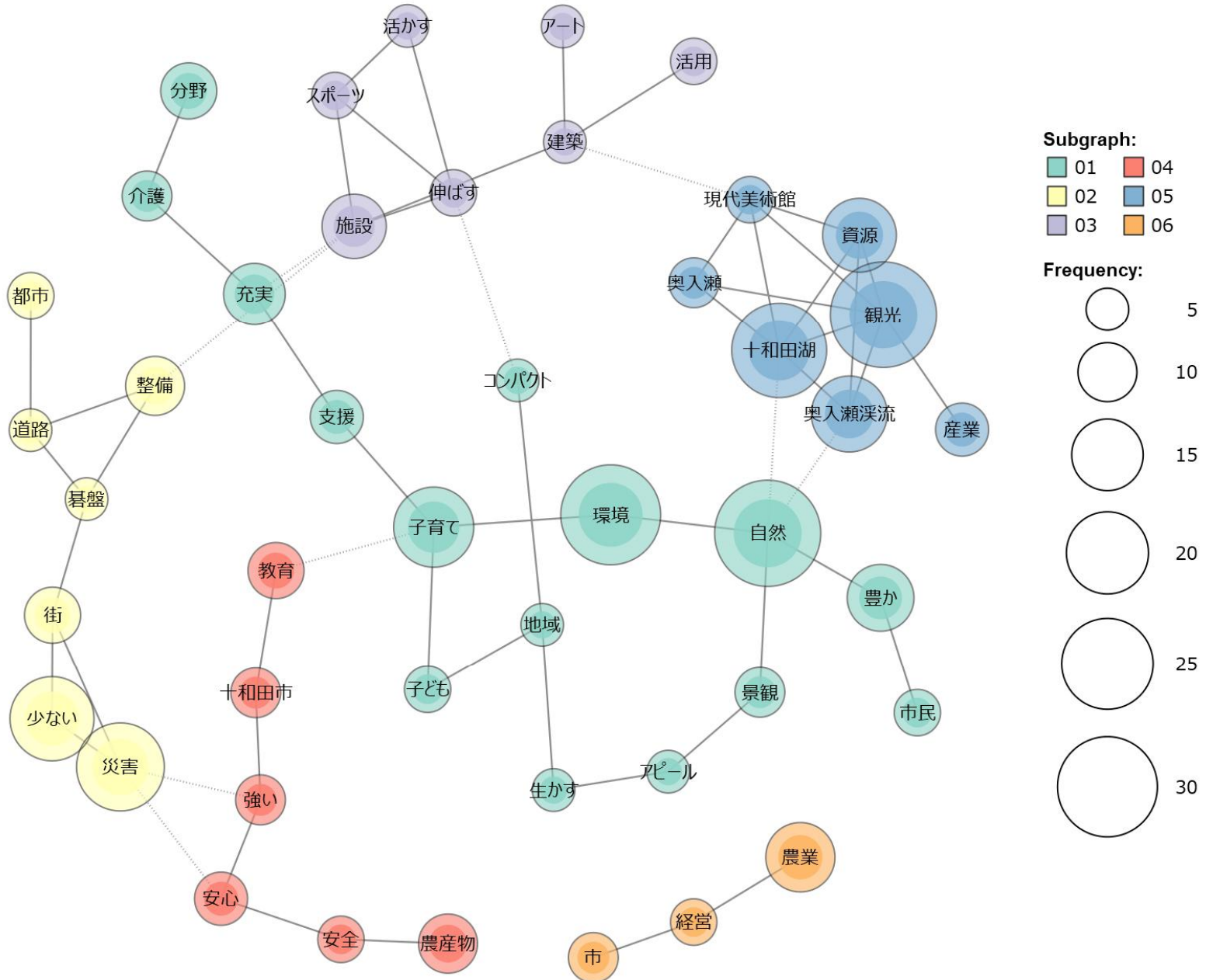
政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
生涯学習・文化・スポーツ	1	アートや芸術分野	女性	20代	事務	主事・技師
	2	国スポ・障スポにむけてアピール	女性	20代	事務	主事・技師
	3	現代美術館が立地している強みを生かした芸術・文化の拠点としての機能	男性	20代	事務	主事・技師
	4	伝統	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	5	スポーツイベントの開催	女性	30代	事務	主査級
	6	地方ならではの古くからの文化や伝統	男性	30代	事務	主事・技師
	7	マラソン大会などのイベント拡充	男性	30代	事務	主事・技師
	8	人口の割に生涯学習にかける人と資金が多いと感じる。自然や文化、歴史、スポーツなどで充実した暮らしが出来ると思う。	回答しない	40代	事務	係長級
	9	オーケストラが3つもある	女性	40代	事務	係長級
	10	1と2の充実の証は3に繋がる。一見、自治体経営に無関係に見える分野だが、自治体の主要な構成要素である「人材＝市民」の豊かさを計るのはこの分野であると思う。	女性	40代	事務	課長補佐級
	11	立派な相撲場があるので活かした取組	女性	40代	事務	主事・技師
	12	自然豊かな土地を利用した企画	男性	40代	事務	係長級
	13	青森県フットボールセンター	男性	40代	土木・建築	課長補佐級
	14	著名な建築家による公共施設が多く、また、旧笠石家住宅やカトリック教会などの文化財となっている建築もあるので、観光面、文化財面の双方でより活用を図れば良いと思う。	男性	40代	事務	係長級
	15	スポーツで、特にサッカーが盛んなため、施設整備がされているが、野球やその他のスポーツの施設にも目を向けてほしい。	男性	40代	事務	課長補佐級
	16	現代アート	男性	40代	事務	係長級
	17	スポーツ振興。十和田市地区体育振興会連合会等の組織の活用・活性化。健康づくりを推進し、将来の介護保険抑制に寄与。	男性	40代	事務	係長級
	18	市街地に運動施設が集中していることを活かし、市民のスポーツ（運動）をする時間を増やし、健康寿命を伸ばす	回答しない	50代	事務	課長級
	19	現代アート	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	係長級
	20	アート、美術館、建築家プロデュースの建物	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	21	相撲場、サッカーグラウンド	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
健康・福祉	1	病院存続	男性	20代	事務	主事・技師
	2	病院や介護施設が豊富で種別も充実	女性	30代	事務	主事・技師
	3	介護の使用量	女性	40代	事務	係長級
	4	高齢者に優しく（多少の病気があっても）健康的で働く（活躍する）ことができる	女性	50代	事務	課長級
	5	高齢者率が高いため、健康や福祉は常に重要と考える。	男性	50代	事務	課長補佐級
	6	医療施設の充実	男性	50代	事務	課長級
	7	不安なく医療・介護を受けることのできる環境	男性	50代	事務	課長級
	8	様々な支援体制が充実している	男性	50代	事務	課長級
	9	介護分野	男性	50代	事務	課長補佐級
	10	病院経営	男性	50代	事務	部長級
	11	介護サービスの充実	男性	50代	事務	課長級
	12	市立病院があること	男性	50代	事務	課長補佐級
自治体経営	1	男女共同参画	女性	30代	事務	主事・技師
	2	DX、AI技術による窓口・市民対応業務のさらなるデジタル化	男性	30代	事務	主事・技師
	3	稼げる力	女性	40代	事務	主査級
	4	豊富な基金を活かし、緊急・突然の出来事にも迅速に対応	男性	40代	事務	課長級
	5	中央病院の財政健全化	男性	40代	事務	課長補佐級
	6	観光業	男性	50代	事務	部長級
	7	市民活動が盛ん	男性	50代	事務	課長級

計 239

今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み



今後伸ばして（活かして）いくべき魅力・強み

いい きる コミュニティ 受ける いく 充実 感じる
アート 市民 にんにく 自然 考えにくい 考える
高い しやすい 起こりにくい 豊か 豊富 奥入瀬溪流 無い 進める
セーフ 活かす 安心 碁盤 住む 教育
おいしい 分野 強み 十和田湖 農産物 活用
伸ばせる 整備 子育て
重い 住みやすい 十和田市 自然環境 環境 介護
できる 伸ばす 暮らせる 現代 街 災害 奥入瀬 担える 育てる
比べる 魅力 観光資源 多い 観光 美術館 恵まれる すくない
若い 含める 少ない 農業 観光 美術館 恵まれる 手厚い
わかりやすい 美しい 育てやすい 生かす 過ごすしやすい 良い 強い 持つ
働く 揃う ほしい

今後改善（克服）すべき課題・弱み【主な意見】

出産・子育て支援

- ・ 産科・分娩施設の不足：市内に産科医・分娩施設がなく、妊婦が市外へ通院・出産せざるを得ない状況。妊婦健診だけでも市内で受けられる体制の整備が求められている。
- ・ 子育て支援の強化：保育料・給食費の無償化、短時間預かりの充実、屋内遊び場の整備など、経済的・環境的支援が不十分との声。
- ・ 少子化対策：若者の流入促進、子育て世帯への負担軽減、出産を促す政策の必要性。

教育・若者支援

- ・ 教育環境の整備：教育予算の拡充、家庭教育力の向上、進学校の実績強化、社会に出るまでを見据えた教育体制の構築。
- ・ 若者の流出防止：進学後のUターン促進、起業・就農教育の導入、若者が楽しめる施設や活動場所の整備。

雇用・産業・経済活性化

- ・ 働き口の不足：若者が望む就職先が少なく、求人倍率は高いがミスマッチが多い。企業誘致や雇用創出が急務。農業・観光の融合：農業体験や特産品のブランド化による観光との連携強化。
- ・ 地元産業の支援：中小企業への営業支援、ふるさと納税の活用、市独自ブランドの発信。

医療・健康・福祉

- ・ 医療体制の課題：診療科目の偏り、産婦人科の欠如、中央病院の経営悪化。医師確保と診療科バランスの見直しが必要。
- ・ 健康寿命の延伸：食育、運動促進、自殺対策、短命県返上への取り組み。
- ・ 高齢者支援：介護サービスの充実、健康管理による長期就労支援。

交通・インフラ整備

- ・ 交通網の脆弱さ：高速道路・空港・新幹線駅などのアクセスが弱く、公共交通の本数・連携も不十分。
- ・ インフラの老朽化と空洞化：道路整備、空き家対策、都市再開発の必要性。
- ・ コンパクトシティ構想：効率的な都市機能の集約と住みやすさの向上。

自然・環境・観光

- ・ 観光資源の活用不足：奥入瀬溪流・十和田湖などの魅力があるが、経済効果が地域に還元されていない。
- ・ 自然環境の保全：熊対策、災害対応力の強化、景観保護への意識向上。
- ・ 観光振興と課題：観光には予算がかかるが、地域経済の柱として強化すべきとの意見。

行政・財政・まちづくり

- ・ 病院経営の改善：市立病院の赤字、医師確保、診療科の再編などの課題。
- ・ 行政の効率化と職員の質向上：専門性・やる気の向上、デジタル化の推進。
- ・ 財政基盤の強化：物価高への対応、収支構造の見直し、ふるさと納税の活用。

文化・スポーツ・娯楽

- ・ 若者向け施設の不足：10～20代が過ごせる場所が少なく、娯楽施設やレクリエーションの充実が求められている。
- ・ スポーツ振興：相撲場やサッカーグラウンドの活用、イベント開催による地域活性化。
- ・ 文化の継承と発信：伝統文化の保存、アート・建築資産の活用。／等

今後改善（克服）すべき課題・弱み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
子育て・教育	1	産科医がない	女性	20代	事務	主事・技師
	2	産科医がなくなり、十和田で出産ができなくなった	女性	20代	事務	主事・技師
	3	急速な少子化や転出 転出を抑えるため、市への愛着を深める教育も必要ではないか。	男性	20代	事務	主事・技師
	4	子育て世帯への経済的支援（配るのではなく、最初から取らないなど）	男性	20代	事務	主事・技師
	5	子育て世帯への補助が足りていない	男性	20代	事務	主事・技師
	6	人口減少	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	7	市内で子を産み育てられる環境	回答しない	30代	事務	主事・技師
	8	0 - 2歳保育料無償	女性	30代	事務	主事・技師
	9	産科がない	女性	30代	事務	主査級
	10	子育てにおいて、屋内で遊べる施設が少ない 短時間・緊急時などに子供を預ける選択肢が少ない	女性	30代	事務	主事・技師
	11	妊娠期からの切れ目のない子育て支援	女性	30代	事務	主事・技師
	12	分娩施設がないこと	女性	30代	事務	主事・技師
	13	分娩施設の充実	女性	30代	事務	主事・技師
	14	分娩取扱機関がなくなったこと	女性	30代	事務	主事・技師
	15	産婦人科	男性	30代	事務	主事・技師
	16	子どもを生む場所がないこと。	男性	30代	事務	主事・技師
	17	子育てしやすい環境	男性	30代	事務	主事・技師
	18	人口減少を停めるための若い世代の流入促進	男性	30代	事務	主事・技師
	19	分娩できる病院がないところ。	男性	30代	事務	主事・技師
	20	保育料無償化	男性	30代	事務	主事・技師
	21	子どもの遊び場が少ない 公園に駐車場がない	女性	40代	事務	主査級
	22	市内で産める産科がない	女性	40代	事務	主事・技師
	23	遊び場	女性	40代	事務	係長級
	24	・少子化対策と子育て世代支援の強化	男性	40代	事務	主査級
	25	安心して子どもが産出できないこと	男性	40代	事務	課長補佐級
	26	高齢者の割合が多いことから、出産を促せる政策が必要	男性	40代	事務	係長級
	27	産科がないため、市内で出産ができない	男性	40代	事務	係長級
	28	産婦人科不足、保育料・給食費等も含めた金銭的支援	男性	40代	事務	課長補佐級
	29	子連れで遊べる施設が少なく、休日は市外にでかけることが多いので、そういう施設があると市内にお金落ちていくと思う。	男性	40代	事務	主査級
	30	児童・生徒の向上心が薄い	男性	40代	土木・建築	課長補佐級
	31	出産可能な環境の整備	男性	40代	事務	係長級
	32	分娩可能医療機関がない。	男性	40代	事務	係長級
	33	遊び場少ない。	男性	40代	土木・建築	係長級
	34	高等教育における進学校の実績が弱い	回答しない	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	35	子育てしやすい環境を整備し、人口減少を緩やかにする	回答しない	50代	事務	課長級
	36	子育て支援の充実	女性	50代	事務	課長級
	37	周辺に比べて施策が弱いのでは	女性	50代	事務	部長級

今後改善（克服）すべき課題・弱み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
	38	分娩医療機関が無くなったこと。中央病院で妊婦健診だけでも受診できれば、妊婦（働き盛りの女性）の負担は軽減される。八戸市内の医療機関に妊婦健診に行った場合、1日がかかりであることから、企業等の生産性にも影響を及ぼしている。	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	39	家庭教育力の低下	男性	50代	事務	課長級
	40	教育予算が少ないと思う。十和田市が先導的に行う施策がないように思われる。	男性	50代	事務	課長級
	41	子育て支援	男性	50代	事務	課長級
	42	子供が増えても、就職先がなければ結局定着しないかもしれませんが	男性	50代	事務	係長級
	43	社会に出るまでを見据えた教育体制の整備（親も子も）	男性	50代	事務	課長級
	44	遊ぶところがない。	男性	50代	事務	係長級
	45	少子化	女性	60代	事務	部長級
産業振興	1	働き口がない！	回答しない	30代	事務	主査級
	2	PR不足	女性	30代	事務	主査級
	3	意欲ある担い手の育成・確保	女性	30代	事務	主事・技師
	4	就業先	女性	30代	事務	主査級
	5	新しい店舗ができていますが、長続きしていない印象 働き手と仕事や企業のマッチングが上手くいっていない印象	女性	30代	事務	主事・技師
	6	市全体での消費促進や中小への県外に対する営業支援	男性	30代	事務	主事・技師
	7	十和田ならではのブランド品の発信・強化	男性	30代	事務	主事・技師
	8	子ども達は、進学を機に県外に出て、そのまま帰って来なくなる。既存の起業について学ぶことも大事だが、起業や就農などの魅力を低学年から触れたり、高校などでも学ぶ機会を増やしてはどうか。	回答しない	40代	事務	係長級
	9	農業、林業及び畜産業における企業誘致が少なく、雇用創出なこと	回答しない	40代	事務	主査級
	10	農業と観光の融合（観光における農業体験、観光に活かせる農産品の開発）	回答しない	40代	事務	主査級
	11	農産物のブランド化	女性	40代	事務	主査級
	12	老害	女性	40代	事務	主査級
	13	にんにく、長ネギなどの十和田産の農産物の宣伝と販売。	男性	40代	土木・建築	係長級
	14	企業誘致の推進	男性	40代	事務	係長級
	15	求人倍率が高いが若者が望む就職先がないこと	男性	40代	事務	課長補佐級
	16	雇用、人が集まる場所・店舗	男性	40代	事務	係長級
	17	高速道路や鉄道、空港などが無いため、大量輸送や交通の不便があること。	男性	40代	事務	係長級
	18	十和田市は意外に働く場所があることをPRしていく	男性	40代	事務	係長級
	19	多くの農家による農業資源が市の魅力であるが、高齢化などによる農家の減少対策を進める必要があると考える。	男性	40代	事務	課長補佐級
	20	農業後継者の確保	男性	40代	事務	係長級
	21	魅力的な観光資源が多数あるものの、その経済効果を飲食や宿泊に行き渡らせることができていない。	男性	40代	事務	課長級
	22	企業誘致が進まない 交通網が弱い	回答しない	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	23	既存の資源を活用したふるさと納税で税収を増やす。税収により市の各種分野の活性化につながる。	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	24	若者の働く場所	女性	50代	事務	課長級

今後改善（克服）すべき課題・弱み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
	25	若者の流出を防ぐ 働く場所の確保 最低賃金 生きがいづくり 世代間交流 高齢者層へのデジタル化の推進	女性	50代	事務	課長級
	26	消滅都市など騒がれている中、一日でも長く十和田市が存続できるように。経済的な維持ができるように産業・雇用を維持する。	女性	50代	事務	課長級
	27	働く場が無いと人口減少は食い止められないから	女性	50代	事務	部長級
	28	働く場所の確保、企業の誘致	女性	50代	事務	課長補佐級
	29	これといった取組みがない	男性	50代	事務	部長級
	30	医療機関の少なさ	男性	50代	事務	課長級
	31	観光振興はカネがかかる	男性	50代	事務	部長級
	32	観光地としての休屋	男性	50代	事務	課長級
	33	雇用の場を確保すること	男性	50代	事務	課長級
	34	産業の担い手が不足	男性	50代	事務	課長補佐級
	35	事業種のかたより	男性	50代	事務	課長級
	36	所得が低いため、後継者がいないこと。	男性	50代	事務	部長級
	37	製造業が弱い。	男性	50代	事務	課長級
	38	多様な働き場所（若者受け、ハイテク関連）	男性	50代	事務	課長級
	39	魅力ある若者雇用の就職先がない	男性	50代	事務	課長補佐級
	40	労働人口の減少	男性	50代	事務	課長級
	41	観光	女性	60代	事務	部長級

今後改善（克服）すべき課題・弱み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
健康・福祉	1	高齢化	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	2	病院の経営状態	男性	20代	事務	主事・技師
	3	健康への意識の低さ	女性	30代	事務	主事・技師
	4	財政負担	女性	30代	事務	主査級
	5	市民の健康意識	女性	30代	事務	主事・技師
	6	自殺率	女性	30代	事務	主査級
	7	特定健診受診率・特定保健指導実施率の低さ	女性	30代	事務	主事・技師
	8	（健康）寿命改善	男性	30代	事務	主事・技師
	9	地方はどうしても車社会で運動不足の人が多くと思うので、適度な運動を促進する取り組みをした方が良いと思います。	男性	30代	事務	主事・技師
	10	医者数は足りてるらしいが、診療科目は片寄っている。妊婦が安心して暮らせない。中央病院に沢山いる総合診療内科、そんなに必要か？かかりつけ医との違いは何か？診療科目のバランス見直して欲しい。	回答しない	40代	事務	係長級
	11	少子高齢化	回答しない	40代	事務	係長級
	12	障がい者にやさしい整備	女性	40代	事務	係長級
	13	短命	女性	40代	事務	主査級
	14	中央病院の経営安定。産科の開設。	女性	40代	事務	課長補佐級
	15	病院の数も多くはないので、病気になるよう予防対策に力を入れてほしいです。	女性	40代	事務	係長級
	16	・高齢化による医療・介護サービス負担増加	男性	40代	事務	主査級
	17	医療提供	男性	40代	事務	係長級
	18	健康寿命	男性	40代	事務	係長級
	19	健康寿命の延伸	男性	40代	事務	課長補佐級
	20	健康寿命の延伸	男性	40代	事務	係長級
	21	市民の健康寿命を延ばすための健康習慣の獲得支援（市民に対する健康食の提供支援など）	男性	40代	事務	課長級
	22	質の高い医療を提供できる医師や病院がない	男性	40代	事務	係長級
	23	食育、健康増進	男性	40代	事務	課長補佐級
	24	病院が中心街に集中しているので、郊外に住む人は不便となる。	男性	40代	事務	係長級
	25	健康課題が山積	回答しない	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	26	「短命県返上」イメージが悪い 生涯を通じての健康づくり 早世 特に男性 働き盛り世代の健康づくり 先進医療 かかりつけ医をもつ	女性	50代	事務	課長級
	27	高齢者でも長く働く（活躍）できるよう健康管理を行う。労働者層が長く元気で働けるよう意識付けをする。	女性	50代	事務	課長級
	28	自殺対策	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	係長級
	29	中央病院経営	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	係長級
	30	中央病院経営	女性	50代	事務	課長級
	31	健康維持のための取り組みの強化。医療や介護を受けやすい環境の構築。	男性	50代	事務	課長級
	32	広域で取り組む	男性	50代	事務	課長補佐級

今後改善（克服）すべき課題・弱み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
	33	産科がなくなってしまったこと。	男性	50代	事務	係長級
	34	産婦人科がない	男性	50代	事務	課長級
	35	市立病院の経営改善	男性	50代	事務	課長級
	36	先進的医療を受けれない。	男性	50代	事務	課長級
	37	中央病院の経営改善はもちろん必然ですが、市が議員に対して、医師の確保の協力を呼びかけたり、産婦人科の開設は、現実的に難しいことをきちんと説明し、三沢病院にさらに集約できるような協力し、他の診療科の医師確保を全市が一丸となって行う等の方針が必要ではないか。	男性	50代	事務	課長級
	38	短命の改善、健康寿命の延伸	女性	60代	事務	部長級
都市基盤	1	交通の便が悪い	女性	20代	事務	主事・技師
	2	公共料金が隣接する自治体より高い	男性	20代	事務	主事・技師
	3	田舎	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	4	公共交通の維持・確保	女性	30代	事務	主事・技師
	5	商店街の大通りで新しい店舗が増えてきたが、一部であり全体の一体感がない	女性	30代	事務	主事・技師
	6	交通の充実	男性	30代	事務	主事・技師
	7	公共交通機関 高速道路等の運輸経路	男性	30代	事務	主査級
	8	人口減少や行政区域の広さ等に起因する、行政サービスに係る人口当たりのコストの大きさ	男性	30代	事務	主査級
	9	インフラ整備	女性	40代	事務	主査級
	10	買い物できる所がない	女性	40代	事務	主査級
	11	インフラ規模の見直し	男性	40代	事務	課長補佐級
	12	空き家を含め、人口減少とともに街中の空洞化が今後続くと思われることから、再開発のような対策も検討したほうがよいと思われる。	男性	40代	事務	課長補佐級
	13	交通インフラ（市レベルではどうしようもないことだけど）	男性	40代	事務	課長補佐級
	14	公共交通	男性	40代	事務	係長級
	15	高規格道路などの交通アクセス	男性	40代	土木・建築	係長級
	16	高速道路、空港など交通体系の未整備	男性	40代	事務	係長級
	17	国内屈指の観光資源がありながら、2次交通が脆弱。	男性	40代	事務	係長級
	18	コンパクトシティへ。箱物は必要最低限で現状を大切にできるだけ経費をかけない。交通の便を良くして、高齢者が動きにでやすくする。	女性	50代	事務	課長級
	19	移動手段が限られていること	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	係長級
	20	公共交通機関が少ない、アクセスの悪さ	女性	50代	事務	部長級
	21	デマンド交通	男性	50代	土木・建築	課長級
	22	交通インフラの脆弱さ。（市民、観光客等問わず）バス、タクシー、レンタカー等の連携が無いように見える点。	男性	50代	事務	係長級
	23	公共交通網が少ない。新幹線の駅、高速道路のインターチェンジなど。	男性	50代	事務	課長補佐級
	24	高速交通体系の整備が進んでいないこと。	男性	50代	事務	部長級
	25	若者の流出	男性	50代	事務	課長級
	26	中心街の空き店舗が歯抜きになっていることによる開発の阻害。	男性	50代	事務	係長級
	27	道路等インフラの老朽化	男性	50代	事務	課長級

今後改善（克服）すべき課題・弱み

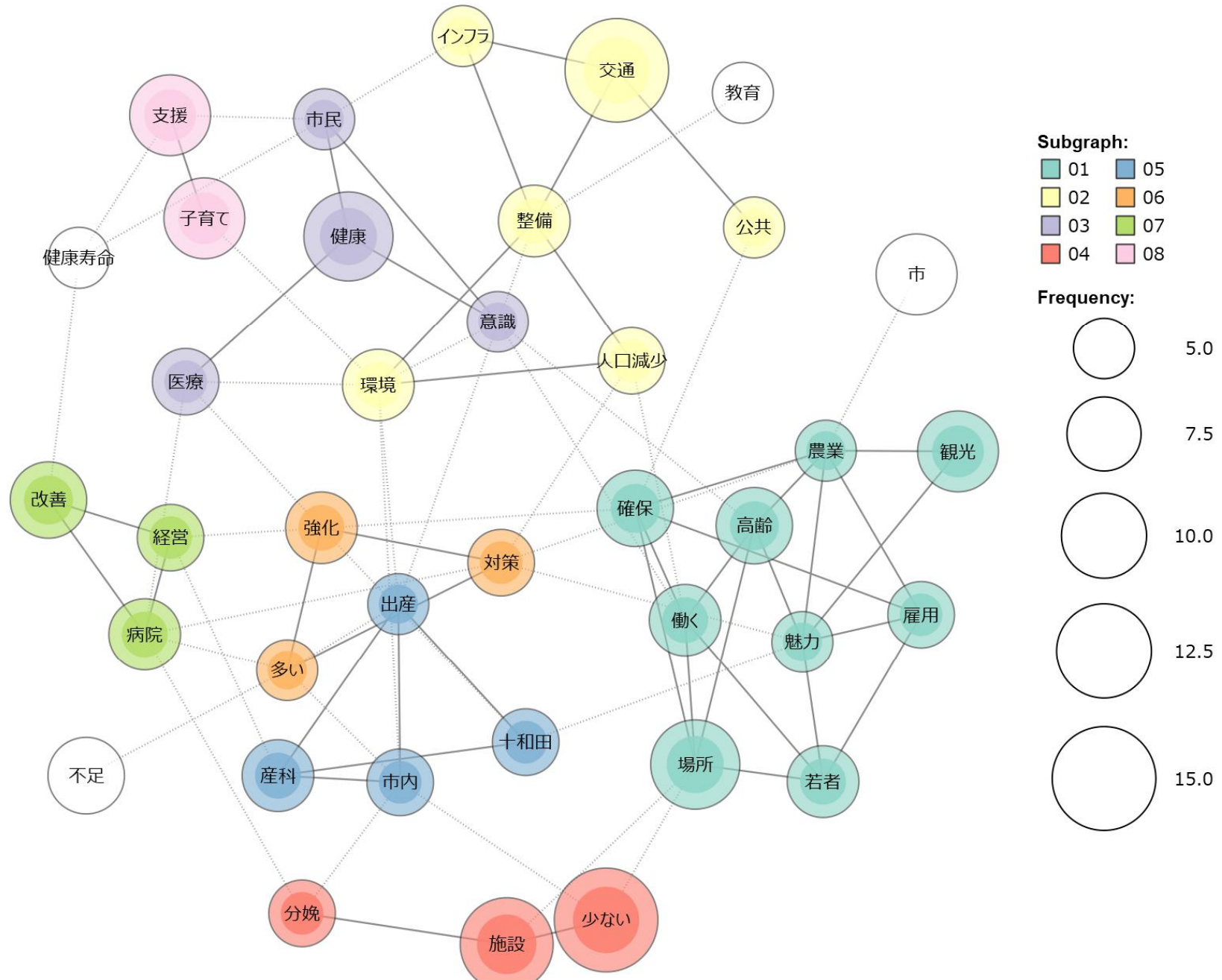
政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
自治体経営	1	施設駐車場、交通手段及び機会	女性	20代	事務	主事・技師
	2	公務員の給料の質上げ	男性	20代	土木・建築	主事・技師
	3	仕事量の減少	男性	20代	事務	主事・技師
	4	財政基金	女性	30代	事務	主査級
	5	支給漏れや誤支給などの問題が起こる体制	女性	30代	事務	主事・技師
	6	まちづくりに関する職員の意識	男性	30代	事務	主査級
	7	県内に比べてふるさと納税額が少ない。市内の強みを活かした返礼品を要検討	男性	30代	事務	主事・技師
	8	市民の利便性につながるデジタル化	男性	30代	事務	主査級
	9	病院経営改善	男性	30代	事務	主事・技師
	10	医師の数などどうにもならない問題かもしれませんが、中央病院の経営を少しでも改善できたらと思います。	女性	40代	事務	係長級
	11	病院経営	女性	40代	事務	係長級
	12	・行政サービスの効率性向上	男性	40代	事務	主査級
	13	経験不足からか職員の専門的な知識の不足が見受けられるため、一定程度経験者との重なる期間を配慮してもらいたい。	男性	40代	事務	課長補佐級
	14	公立病院の経営改善	男性	40代	土木・建築	課長補佐級
	15	財政基盤強化、ふるさと納税	男性	40代	事務	課長補佐級
	16	市に大きな雇用を生む産業が乏しい。	男性	40代	事務	係長級
	17	職員の質の向上、やる気の向上は必要と考える。	男性	40代	事務	係長級
	18	物価高に継続して対応するための収支構造の改善	男性	40代	事務	課長級
	19	保守的	男性	40代	事務	係長級
	20	県営施設を誘致して市の施設を減らす	回答しない	50代	事務	課長級
	21	病院経営	回答しない	50代	事務	課長級
	22	具体的な取り組みがわからない	男性	50代	事務	部長級
	23	市立病院の赤字	男性	50代	事務	課長補佐級
	24	思い切った施策、事業の見直しが出来ていないように思います。セーフコミュニティの現時点における市が関与する必要性や駒街道マラソンの必要性など	男性	50代	事務	課長級
	25	新しいことにチャレンジする気風が失われている	男性	50代	事務	課長級
	26	病院経営	男性	50代	土木・建築	課長級

今後改善（克服）すべき課題・弱み

政策分野	No.	意見	性別	年代	職種	職位
生涯学習・文化・スポーツ	1	国スポ・障スポへの準備がまだ足りない	女性	20代	事務	主事・技師
	2	文化の継承	女性	30代	事務	主事・技師
	3	パトロンの少なさ	回答しない	40代	事務	係長級
	4	いきがい	女性	40代	事務	主査級
	5	高齢者向けコミュニティ施設ばかり増え、10～20代の過ごす場所が少ない	男性	40代	事務	課長補佐級
	6	サッカーグラウンド、相撲場を大会だけでなく、関連イベント等にも活用し、県内外でも相撲といえば「十和田」と言われるようにアピールする。	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
	7	もっとスポーツに関心をもたせ、参加できる環境を整えることが大事と思われる。	男性	50代	事務	課長補佐級
	8	レクリエーション施設など楽しめる場所が少ない	男性	50代	土木・建築	課長級
	9	学びに対する意欲に乏しい	男性	50代	事務	課長級
	10	活動場所の不足	男性	50代	事務	課長級
	11	担い手が不足してきているのでは	男性	50代	事務	課長補佐級
	12	遊戯（娯楽）施設が少ないこと	男性	50代	事務	課長級
環境	1	観光地へ出没する熊問題。	男性	20代	事務	主事・技師
	2	七戸十和田駅や東北自動車道等、直接十和田市にアクセス出来る手段が乏しい	男性	20代	事務	主事・技師
	3	十和田奥入瀬溪流の魅力発信	男性	30代	事務	主事・技師
	4	交通の悪さ	女性	40代	事務	主事・技師
	5	高校生や若者が楽しむ場所がないこと	男性	40代	事務	課長補佐級
	6	街の明かりや公共施設周辺が全体に暗い	男性	50代	事務	部長級
	7	思っているほど良くない、良いと過信しているのでは	男性	50代	事務	課長補佐級
	8	自然環境の保全に対する意識が低いこと。	男性	50代	事務	部長級
安全・安心	1	特に十和田湖周辺地域に災害が発生しやすい	女性	20代	事務	主事・技師
	2	最近熊が多く出ているので、熊対策の強化は必要だと思います。	男性	30代	事務	主事・技師
	3	自動車のルール徹底を強化する必要がある	女性	40代	事務	主事・技師
	4	災害発生時の対応力の強化	男性	50代	事務	課長級

計 201

改善（克服）すべき課題・弱み



十和田市が今後目指すまちの姿【主な意見】

出産・子育て

- ・ 支援産科医・分娩施設の不在：市内で出産できない現状は少子化に直結する深刻な課題。産科医の確保と分娩施設の整備が急務。
- ・ 子育て環境の充実：保育料無償化、遊び場の整備、短時間預かりの選択肢など、子育て世帯への支援強化が求められている。
- ・ 若年層への支援拡充：高齢者中心の施策から転換し、若者の定住促進と子育てしやすいまちづくりを重視。

教育・人材育成

- ・ 教育の質と機会の向上：子どもの教育・安全・成長にしっかり投資することで、若い世帯の支持を得る。
- ・ 市民主体のまちづくり：若者が中心となった市民活動の活性化、行政主導からの脱却、まちづくり人材の育成。

雇用・産業振興

- ・ 働く場の確保：企業誘致、農林畜産業の支援、収入向上による定住促進。
- ・ 地元産業の強化：農産物のブランド化、国内外への販売促進、地産地消による地域経済の循環。
- ・ 観光と産業の融合：自然・アート・食を活かした観光資源の活用と経済波及効果の最大化。

医療・福祉・健康医

- ・ 療体制の整備：病院経営の改善、診療科のバランス見直し、健康寿命の延伸。
- ・ 高齢者支援：健康管理による長期就労支援、介護・福祉サービスの充実。

交通・インフラ

- ・ 交通網の強化：鉄道廃止後のアクセス改善、高規格道路の整備、循環バスの活用。
- ・ コンパクトシティの推進：生活施設の集約、効率的な都市構造の構築。

自然・観光・地域資源

- ・ 自然環境の活用と保全：十和田湖・奥入瀬溪流などの魅力発信、災害に強いまちづくり。
- ・ 観光客の滞在促進：交通手段の整備、飲食・宿泊施設の充実、シティプロモーションの強化。
- ・ 十和田らしさの発信：「十和田といえばこれ」と言える独自の魅力づくりとPR。

多様性・市民参加

- ・ 多様性の尊重：外国籍住民や多様な世代が安心して暮らせる環境づくり。
- ・ 市民協働の推進：高齢者・若者がともにまちづくりに参加し、活気ある地域社会を形成。

財政・行政運営

- ・ 財政の健全化：ふるさと納税やクラウドファンディングの活用による外部資本の獲得。
- ・ 行政の効率化と質向上：職員の専門性・意識向上、行政サービスの見直し。 / 等

十和田市が今後目指すまちの姿

No.	意見	性別	年代	職種	職位
1	産科医が0という現状は十和田市の少子化に大きな打撃を与えていると思う。産科医を募り、子どもを産み、育てやすい町を作る必要があると考える。	女性	20代	事務	主事・技師
2	多様性を尊重した、誰もが安心安全に暮らせる十和田市であれば嬉しいです。観光客も住民も過ごしやすいようなまちでありたいです。	女性	20代	事務	主事・技師
3	中高年者の意見反映が主なので、若年層の意見も聞き入れてほしい	女性	20代	事務	主事・技師
4	高齢者ももちろんですが、特に若い世代の支援を手厚くすることによって若い世代に十和田市に定住してもらい活気のあるまち	男性	20代	土木・建築	主事・技師
5	子育てしやすいまち	男性	20代	事務	主事・技師
6	市によらないが、今後少子高齢化はますます進行すると思われる中で、広大な市の行政サービスや産業を高めるためには、外からお金を落としてもらう仕組みづくりにより一層注力する必要があると思われる。同時に、共助が成立しなくなるほど人口が減少する町内会も多くなると推測されるため、この対策には市が積極的に働きかける事が重要だと考える。	男性	20代	事務	主事・技師
7	人口が減少し、行政サービスの縮小も考えられる中、市民一人ひとりが市への愛着を持ち、主体的にまちづくりに携わる環境を作っていくべきと考える。	男性	20代	事務	主事・技師
8	都市の発展 少子高齢化の改善	男性	20代	土木・建築	主事・技師
9	働き手が多く、教育・福祉が揃った町	男性	20代	事務	主事・技師
10	災害に強いまち	回答しない	30代	事務	主事・技師
11	今後人口も人財も減っていく一方なため、工夫したコンパクトシティだったり、魅力あふれるまちづくりがより大切	女性	30代	事務	主事・技師
12	全世代が将来に向けて希望を持って暮らせるまち	女性	30代	事務	主事・技師
13	分娩施設ゼロは大きな問題だと思っています。十和田に大きな産院をすることで、十和田で子供を産みたいと思える人が増えれば良いなと思っています。	女性	30代	事務	主事・技師
14	産業の強化を図ることで働く場を創ること、子育て環境を含めた住みやすいまちづくりを進めることで、人口減少を抑制し、市勢の維持を目指す。	男性	30代	事務	主査級
15	子どもを安心して産み育てられ、市民一人ひとりが支え合いながらそれぞれ活躍できるまち。	男性	30代	事務	主事・技師
16	自然豊かで、子どもと高齢者が住みやすいまちにしていくべきだと思います。	男性	30代	事務	主事・技師
17	若い世代への取り組み拡充	男性	30代	事務	主事・技師
18	十和田市独自の魅力を発信し、子育てしやすいまち	男性	30代	事務	主事・技師
19	全国の自治体と比較されやすい時代ではあるが、他自治体の真似をしながら要望される全てに応えるのではなく、市の強みを活かすような意志を持ったまちづくりを目指してほしい。	男性	30代	事務	主査級

十和田市が今後目指すまちの姿

No.	意見	性別	年代	職種	職位
20	中心エリアを活性化することで経済や産業新興を促進するとともに、郊外エリアを活かした観光や周囲を気にせず子供が遊べる場所などの施設整備、それらにリンクした交通環境の整備が理想だと思います。それらを実現するには財政の健全化が必須であるため、施設整備などはふるさと納税などを活用したクラウドファンディングなど外の資本獲得も見据えるべきだと思います。	男性	30代	事務	主事・技師
21	高齢者を支える現役世代の人口を増やす。現役世代が、仕事、介護、育児等だけではなく、市内の多様な活動に参加し、消費するように促す。十和田湖・奥入瀬渓流への来訪目的、来訪者数、来訪回数、消費単価を増大させる。	回答しない	40代	事務	係長級
22	住んでみると生活しやすい街だと思うが、生活するための収入を得る方法が少ないのかも知れない。また、健康なうちは住めるけど、病院なんとかして欲しい。	回答しない	40代	事務	係長級
23	農業・林業・畜産業の各分野の企業誘致を徹底することで雇用創出及び人口減（主に転出減）対策を推進し、産業面で活力のある街づくりが必要	回答しない	40代	事務	主査級
24	行政への依存体質から脱却し、「主体的に行動し、より良い暮らしを自ら創り出す」市民が多い状態が理想的なまちの姿だと思います。	女性	40代	事務	課長補佐級
25	十和田は外からの観光客に八戸市や三沢や七戸十和田駅からのバスのみの移動となっており、移動手段が少ないことがバスツアーで十和田湖や奥入瀬渓流をみて、留まってもらえず青森市へ行ってしまいう観光客が多いと感じる。どう十和田に留まってもらえるのかを考える必要があると思う	女性	40代	事務	主事・技師
26	上十三地域の中核都市だが、入浴施設や商店の閉店で、市内中心部でも生活がままならないこと、就職先がないことで市外へ出なければならないことが課題。イオン十和田等の既存施設を活用し生活施設の集約整備し、そこに循環バスを走らせるなど、そこに行くと生活動作ができる環境を作る。生活のしやすさをアピールしてはどうか。	女性	40代	事務	主査級
27	①子どもたちが集まって遊べる場や他市町村から見ても魅力ある遊具施設がなければ、つまらない街になりそう。②現代アートを売りにしているわりには、その周辺に喫茶店や食事場所が少ない。十和田産のにんにく、長ネギ、ごぼう、長芋を活用した食事場所が必要。③交流人口を増やすためにも高規格道路などの交通アクセスの整備が必要だと思う。	男性	40代	土木・建築	係長級
28	しっかりとしたシティプロモーションにお金をかけ、貴重な自然を活かした観光を強め、観光客や近隣からの移住者を増加させる。	男性	40代	事務	課長補佐級
29	ふるさと納税寄付額増による安定的な財政運営、コンパクトシティの推進	男性	40代	事務	係長級
30	移住先の選択肢に上がるような魅力のあるまち	男性	40代	事務	課長補佐級
31	観光環境と自然環境から織りなす農業基盤の盤石化、子育て環境の充実	男性	40代	事務	課長補佐級
32	産業振興、子育て・教育に関する取り組みを強化し、定住人工（生産年齢人工）や関係人工を増加させ、次世代に魅力あるまちを目指す	男性	40代	事務	主査級

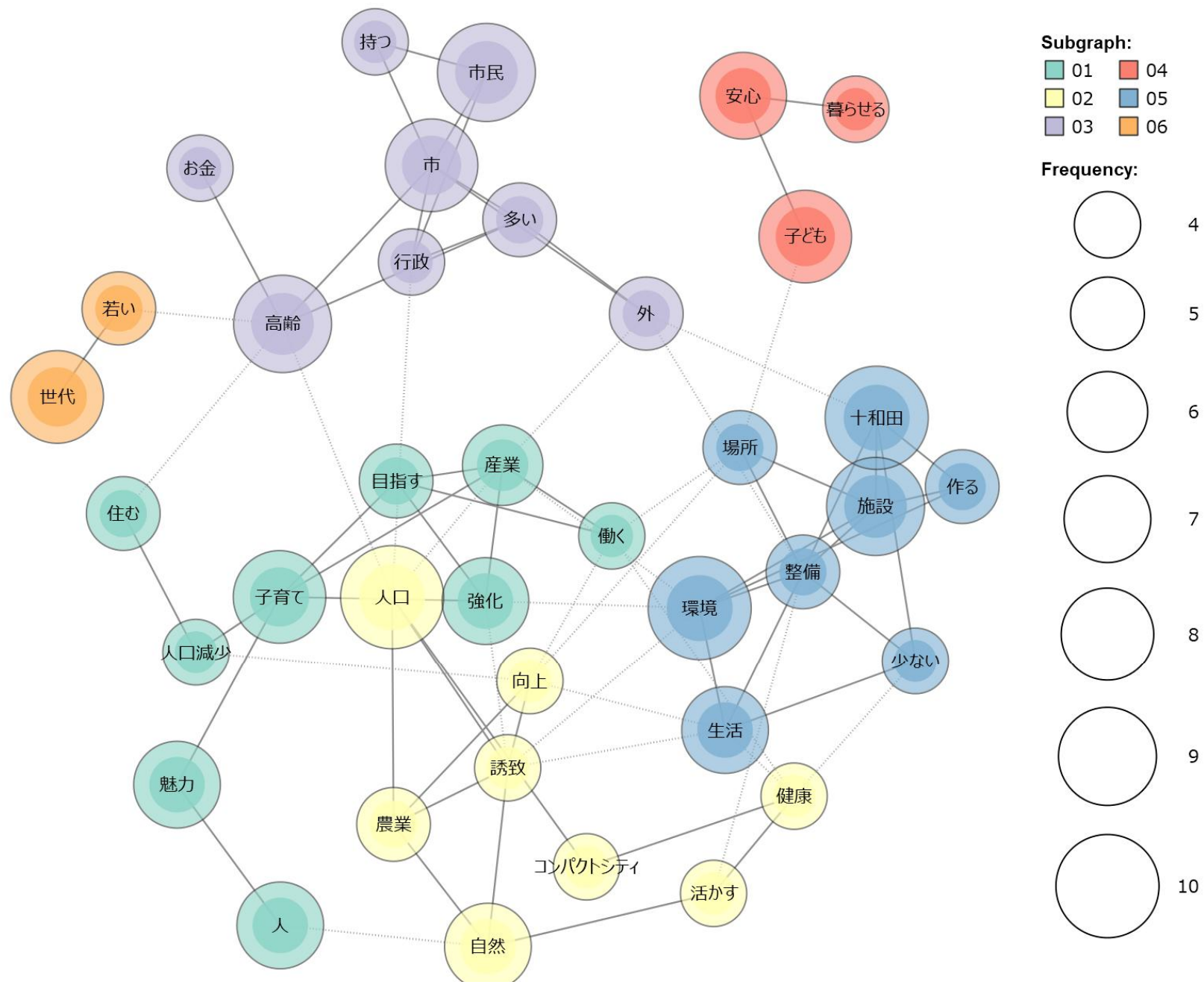
十和田市が今後目指すまちの姿

No.	意見	性別	年代	職種	職位
33	子どもを大切にすまち 子どもの成長、教育、安全安心にしっかりとお金をかけるまちであることが、若い世帯に支持されることにつながるのではと思う。高齢の方の要望ばかり叶えるまちでなく、子ども自身が幸せだと思うまちであってほしい。	男性	40代	事務	課長補佐級
34	市民レベルでの地産地消率、地域経済の循環率を高めながら、全ての市民が健やかに暮らせるまち	男性	40代	事務	課長級
35	十和田市で仕事をして一定水準の所得を得ることができ、安心して子育てができるようなまちづくり	男性	40代	事務	係長級
36	十和田市の独自性を強く打ち出す。	男性	40代	事務	係長級
37	上十三圏域単位での医療・教育施設等を再統合し、その中核施設を十和田市に設置	男性	40代	事務	係長級
38	人口減少が目に見えているので、今ある資産と投資をどうするのかを再考し、コンパクトシティにむけて推進する必要があると考えます。	男性	40代	事務	課長補佐級
39	全体的に満足度の高いまちづくり	男性	40代	事務	係長級
40	働く場所があって、駐車場付きの公園には遊具が充実して、お父さんお母さんが子どもと安全安心に暮らせるまちになってほしいです。	男性	40代	事務	係長級
41	道路の不便は無く、暮らしやすい街なので、自然や景観をアピールしつつ、例えばネット環境の強化等で、ネットがあれば働ける人を誘致できれば良いと思う。	男性	40代	事務	係長級
42	多様性の尊重（外国籍の労働人口の増加）	回答しない	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
43	大学進学とともに人は大学のある都市へと移動するのはどんな政策を行っても変わらないので、子育てにどれほど金をかけようと人口減少は止まらない。他の街へ行く人のために多くの金をかけるより今いる人のためにもっと金を使って満足度を上げるべき。そんな自治体にはないのか、特色ある政策にもなるしUIIターンの選択肢として魅力あるものになりえるのではないのか。	回答しない	50代	事務	課長級
44	誰もが喜びを感じて、生涯安心して暮らすことができる魅力ある街	回答しない	50代	事務	課長級
45	企業誘致、起業はもちろん、農業分野もまだ支援出来る事があるのではないのか。アートや自然の豊かさを入口に関係人口を増やす取組ができないのか。	女性	50代	事務	部長級
46	私達には当たり前のように、外から見れば、アートやスポーツ、自然など自慢できるものがたくさんあるので、十和田といえ「これ」というものを市が率先して推していく。なんでもまんべんなく、平均的なのも平和でいいが、市民にとっても、十和田の売りはコレを1つは持って、PRしていければ、自身にもつながるし、外からの見られ方も違ってくのではないのか。	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	課長補佐級
47	自然を活かした健康づくり、とわだの特産品を食べて健康に 人との触れ合いを大事に、いろんな世代が交流できる豊かなまち	女性	50代	事務	課長級
48	人口減は避けられないのであれば、一日でも長く存続できるように。税金につながる産業振興、高齢者に働いてもらうために健康の維持管理、合理的に作られたコンパクトシティを目指す。	女性	50代	事務	課長級

十和田市が今後目指すまちの姿

No.	意見	性別	年代	職種	職位
49	①企業誘致等、雇用の創出と経済基盤の強化し若者の人口流出を減少させる。②生活環境・利便性の向上と移住支援の強化	男性	50代	事務	課長級
50	ブランディングで、首都圏から高いお金お掛けても来たいと思える環境とその職場があるまち	男性	50代	事務	係長級
51	まちづくりをになう人材の育成が大事なのはと、このごろ考えらようになった	男性	50代	事務	課長補佐級
52	安心して暮らせるすみよいまち。住み続けたいまち。訪れたいまち。そしてこれらの積極的なプロモーション。	男性	50代	事務	課長級
53	広域で取り組む	男性	50代	事務	課長補佐級
54	国内外への農産物の販売を強化し、所得を上げること。	男性	50代	事務	部長級
55	市と市民が協働して取り組む機会が少ないので高齢者や若者などが活発にまちづくりに参加して誰でも楽しめて、街が明るくなってほしい。	男性	50代	事務	部長級
56	若い世代が中心となり、行政主導ではない市民活動が盛んである。自ら課題解決のために行動しており、このような気風を大事にすることで、活力ある街となる。	男性	50代	事務	課長級
57	十和田は面白いことやっているなど思われるまち	男性	50代	事務	係長級
58	人口減少を見据えた、超少子高齢化に対応した、コンパクトな住み良い街づくり。農業の盛んな市であることから、農産物のブランド力を向上させる取り組みによる農業所得の向上や後継者の育成。(ニンニクやごぼう、長いも等は生産量は多いかもしれないが、ブランド力がイマイチのように思います。品種改良が必要かもしれませんが、それぞれにネーミングを考え、このネーミングなら十和田市産と認められ、高付加価値をつけたい)	男性	50代	事務	課長級
59	青森県で一番子育てしやすい街を目指す	男性	50代	事務	課長補佐級
60	前はそうではなかったが、内向きの傾向が強くなった。開拓で出来た街としてのアイデンティティを取り戻す必要を感じる。	男性	50代	事務	課長級
61	鉄道がなくなって13年。交通網の連携を強化し、市民観光客の区別を問わず広く一般に利用しやすい形であることを、各種媒体で訴える体制を作れば。	男性	50代	事務	係長級
62	働く場所、収入向上	男性	50代	事務	課長級

十和田市が今後目指すまちの姿



長期的な視点で今後実施してみたい市の取組等【主な意見】

出産・子育て支援

- ・ 出産費用の補助、産婦人科・分娩施設の復活。保育・教育の無償化、子育て世帯への経済的支援強化。
- ・ 小中一貫校の創設や教科担任制導入による教育の質向上。子どもの遊び場や屋内プールなど、子育て環境の整備。

教育・人材育成

- ・ 義務教育の無償化。医学部・薬学部学生への奨学金制度（勤務条件付き返済免除）。
- ・ 大学（農業系・工学系）の誘致。デジタル人材など専門人材の計画的育成。小中学校統廃合のロードマップ策定。

産業・雇用・経済活性化

- ・ 企業誘致、大手企業との共同開発。農業担い手確保、農地集約、農産物ブランド化。
- ・ 豚・野菜などを活用したふるさと納税返礼品の拡充。
- ・ 商業施設やショッピングモール、屋内娯楽施設の誘致。
- ・ 温泉・スキー場の民営化、観光団体の育成。

医療・福祉・高齢者支援

- ・ 市立病院の産婦人科復活、医師・薬剤師確保。
- ・ 高齢者の介護予防事業強化、介護助手育成。
- ・ 健康寿命延伸に向けた屋内温水プール整備。

交通・インフラ整備

- ・ 市外主要駅からの交通アクセス改善。
- ・ 高規格道路整備、循環バス導入。
- ・ コンパクトシティ推進、生活圏の集約。空き家対策、開発行為の規制強化。

観光・地域資源活用

- ・ 奥入瀬溪流に通行税導入。
- ・ 十和田産食材を活かした飲食店整備。
- ・ クラフトビールフェスタなどイベント開催。
- ・ 著名人による観光資源の発信。
- ・ 自然・農業・観光を融合した地域振興。

デジタル化・情報発信

- ・ 市のデジタル通貨導入、観光客も利用可能な仕組み。
- ・ 効率的な情報発信の強化。
- ・ 行政サービスのデジタル化推進。

市民参加・まちづくり

- ・ 市民参加型イベントによる愛着醸成。
- ・ シビックプライドの涵養とシティプロモーション。
- ・ 町内会の適正化（合併・集会所集約）。
- ・ 総花的施策ではなく、一点集中型で特徴あるまちづくり。

財政・行政運営

- ・ ふるさと納税PR強化、返礼品の魅力アップ。
- ・ 効果の薄い事業の廃止、職員負担軽減。
- ・ 外部資本獲得（クラウドファンディングなど）による財政健全化。

全体の方向性

- ・ 「出産・子育て環境の整備」と「雇用・産業振興」が人口減少対策の柱。
- ・ 「交通・インフラ改善」と「観光資源活用」で交流人口を増やす。
- ・ 「市民参加・デジタル化」で持続可能なまちづくりを目指す。／等

長期的な視点で今後実施してみたい市の取組等

No.	意見	性別	年代	職種	職位
1	市外主要駅からの交通の便を良くする。	女性	20代	事務	主事・技師
2	義務教育の教育無償化	男性	20代	事務	主事・技師
3	今回のPayPayキャッシュバックキャンペーンのような、市民を活性化させる取り組み	男性	20代	土木・建築	主事・技師
4	市への愛着を高めるため、市民が参加することができるまちづくりイベント等の継続的な開催	男性	20代	事務	主事・技師
5	出産費用全額か一部補助	男性	20代	事務	主事・技師
6	市民の生活圏のコンパクト化	回答しない	30代	事務	主事・技師
7	人口が減少していくことに伴いデジタル化をより一層推進していきたい市のデジタル通貨を作り、観光客も含めた市にお金を使ってもらう仕組みを構築したい事業を実施しても周知がいつも課題なため、効率的な情報発信に取り組みたい	女性	30代	事務	主事・技師
8	いまのところ、なし	男性	30代	事務	主事・技師
9	ふるさと納税のPR等の拡充	男性	30代	事務	主事・技師
10	収入に関わらない子育て世帯への補助、市の観光名所を文章や絵で著名人や作家などに表現してもらうことで実体験を促す観光の促進、市内に本店がある店だけを集めた商業施設（子供の遊び場併設）、官庁街通りの再整備（ARで馬を出すなど、自然を感じながら歩く楽しさを創出することで歩きたい街並みに近づけたい）	男性	30代	事務	主事・技師
11	町内会（数や集会所の数）の適正化を図るためのモデル事業及び補助事業。※人口に対して町内会の数と集会所の数が多すぎるため、合併と集会所機能の集約を後押しする取り組みが必要になると考える。	男性	30代	事務	主事・技師
12	農業産出額で十和田市は「豚」が上位にある。ふるさと納税の分野で「豚」に限らず、「野菜」も豊富に使用した返礼品を考案していく取り組み。	男性	30代	事務	主事・技師
13	市の中心部に大学（特に農業系、工学系）を誘致する	回答しない	40代	事務	主査級
14	移動投票所	女性	40代	事務	課長補佐級
15	高齢者の介護予防事業の強化。介護予防事業に取り組むことで元気な高齢者が増え、介護保険料の低下に繋がること、サービス不足に歯止めが掛かったり、担い手が増える。	女性	40代	事務	主査級
16	すべてを総花的にやるのではなく、一点集中型で特徴のあるまちにしたい。そのことで、体外的にもわかりやすいシティプロモーションにつながる。	男性	40代	事務	課長補佐級
17	医学部・薬学部の大学生を対象にした奨学金制度（三沢市で実施しています）医師・薬剤師を志望しながらも経済的な事情で他の学部を選択する学生さんが一定数おられると思いますので、奨学金を貸与し、資格取得後一定期間中央病院で勤務すれば返済不要、とすれば不足している医師及び薬剤師の確保の一助となるのではないのでしょうか。	男性	40代	事務	係長級
18	稼ぐ観光団体の育成	男性	40代	事務	課長補佐級
19	開発行為の規制の強化	男性	40代	事務	課長補佐級
20	子育てに対しての保証を手厚くする	男性	40代	土木・建築	主査級

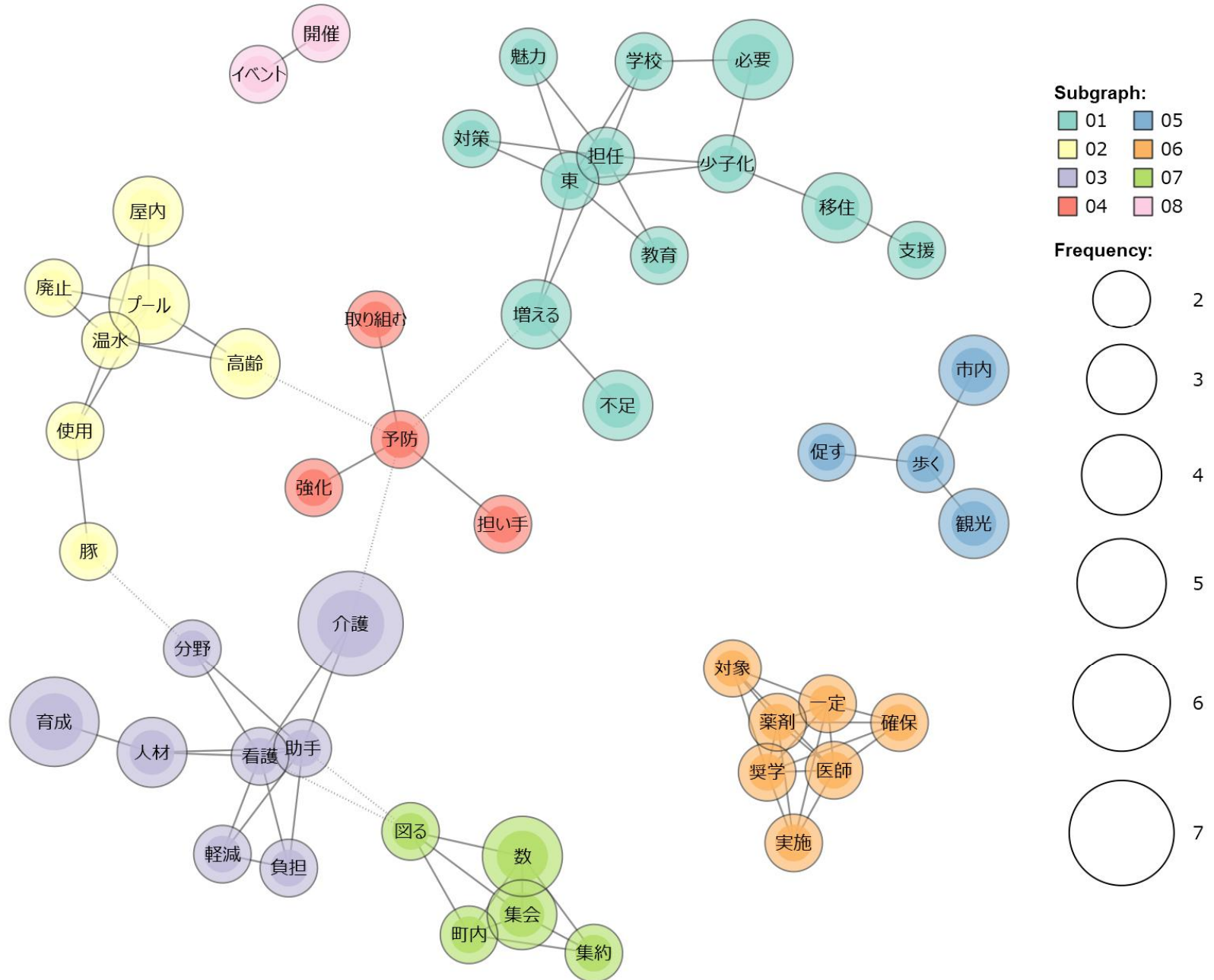
長期的な視点で今後実施してみたい市の取組等

No.	意見	性別	年代	職種	職位
21	市民プール、B&Gの両プールが経年劣化で今後使用が難しくなることから、両施設を廃止し、新たに屋内プールの設置を要望します。屋内施設であるため、温水プールであればなお、健康寿命の延伸にも寄与でき、また、乳幼児～高齢者まで利用できる施設となります。更には、ゴミ焼却場の更新もあることから、その熱を温水に使えばいいと思います。	男性	40代	事務	係長級
22	十和田市民向けのシビックプライドの涵養と市外へ向けたシティプロモーション	男性	40代	事務	係長級
23	少子化や教員不足、学校施設の耐震化や老朽化対策を考えれば、六戸学園のような小・中一貫校の創設が必要だと思う。(例：北小と三中、西小と甲東中、東小と東中、藤小と十和中) また、小学校の「学級担任制」から「教科担任制」にし、教育の質を上げることで、十和田市の子育て環境に魅力が出て、移住者も増えるのでは？	男性	40代	土木・建築	係長級
24	窓口業務時間の短縮	男性	40代	事務	係長級
25	多様な資本を受け入れできるように、企業立地奨励の対象事業に宿泊施設やレジャー施設など広げてはどうか。奥入瀬渓流に通行税を導入(100万人×100円=1億円)	男性	40代	事務	課長補佐級
26	ショッピングモール等の屋内娯楽施設の誘致	回答しない	50代	事務	課長級
27	人口減を悪としない、需要に供給を合わせない	回答しない	50代	事務	課長級
28	これからの未来を支える子どもたちを地域みんなで育てる	女性	50代	事務	課長級
29	シニア世代の就労 介護分野での介護助手の育成をし、介護人材や看護助手と共に、介護、看護専門職の負担軽減を図る	女性	50代	その他(保健師・栄養士等)	係長級
30	人口減少少子化が加速する中、移住者に対する支援は必要だが、若者の流出をとどめる取組に注力すべきと考えます。	女性	50代	事務	課長級
31	全国の地ビールを生かしたイベント。クラフトビールフェスタを開催し、市内とシャトルバスで繋ぎ、宿泊等により市内を潤す。	女性	50代	事務	部長級
32	・再生可能エネルギーの導入や循環型社会の実現に向けた施策を推進し、エコシティとしてのイメージ戦略・農産物の消費を促し、健康長寿のまちづくりを推進	男性	50代	事務	部長級
33	ふるさと納税品の魅力アップ	男性	50代	事務	課長級
34	温泉&スキー場の民営化	男性	50代	事務	部長級
35	企業誘致 大手企業との共同開発・販売	男性	50代	事務	課長級
36	空き家の総合対策	男性	50代	事務	課長級
37	計画的な人材育成(デジタル関連などスペシャリスト人材の育成など)	男性	50代	事務	課長級
38	効果が見えにくいかもしれないが、十和田市の未来をにう次世代の育成関係？	男性	50代	事務	課長補佐級
39	効果の薄い事業を廃止し、職員の負担を軽減し、より重要な施策に注力する。	男性	50代	事務	課長級
40	産業振興	男性	50代	事務	課長級
41	市立病院での産婦人科の復活	男性	50代	事務	課長補佐級

長期的な視点で今後実施してみたい市の取組等

No.	意見	性別	年代	職種	職位
42	若者が今以上にUターンしたくなるような街づくり。	男性	50代	事務	課長級
43	小中学校の統廃合。学校は地域の活力の基にもなっており、廃校は多くの課題があるものの、学習面で小規模校のメリットは小さい。将来的なロードマップが必要	男性	50代	事務	課長級
44	農業担い手確保のための、農地の集約の仕組みづくり、地域における移住者支援	男性	50代	事務	部長級

長期的な視点で今後実施してみたい市の取組等



その他、十和田市について考えていることや意見【主な意見】

出産・子育て支援

- ・市内に分娩施設や産科医がなく「子どもを産める環境が整っていない」ことが深刻な課題。
- ・出産費用補助や住宅購入費補助など、若年夫婦の定住支援を求める声。
- ・子どもが学べる・遊べる施設の充実を希望。

教育・人材育成

- ・義務教育の無償化や教育環境の改善。
- ・高校特待生制度や奨学金制度を通じた医師確保。
- ・DX推進による人員不足対応、職員の業務改善・人材育成への投資。

産業・雇用・経済

- ・企業誘致や農業・産業振興による働く場の確保。
- ・農家減少への対策、農産物や観光資源を活かした産業強化。
- ・市民が成果を実感できる政策の必要性。

医療・福祉

- ・中央病院の医師確保、病院経営の見直し。
- ・高齢者支援や介護予防事業の強化。
- ・交通弱者対策も含めた医療・福祉体制の充実。

交通・インフラ

- ・市外主要駅からの交通アクセス改善。
- ・公共施設や住宅・商業地区の都市計画見直し。
- ・ゴミ処理場改築時に温水プール併設など、インフラ整備を観光・健康増進に結びつける提案。

観光・地域資源

- ・十和田湖・奥入瀬溪流など豊富な観光資源を国内外へPR。
- ・温泉活用やアートの街としてのブランド強化。
- ・中心市街地の活性化、官庁街通りの名称変更など観光客向け施策。

市民参加・まちづくり

- ・市民が参加できるイベントやシティプロモーション専属課の設置。
- ・町内会の適正化、地域での役割分担。
- ・多様性尊重、外国人労働者との交流促進。

財政・行政運営

- ・限られた予算の使い方を「ハードよりソフト」へシフト。
- ・効果の薄い事業の廃止、BPRによる業務改善。
- ・ふるさと納税や外部資本活用による財源確保。

全体の方向性

- ・出産・子育て環境の整備と雇用・産業振興が人口減少対策の柱。
- ・交通・インフラ改善と観光資源活用で交流人口を増やす。
- ・市民参加・DX推進で持続可能なまちづくりを目指す。
／等

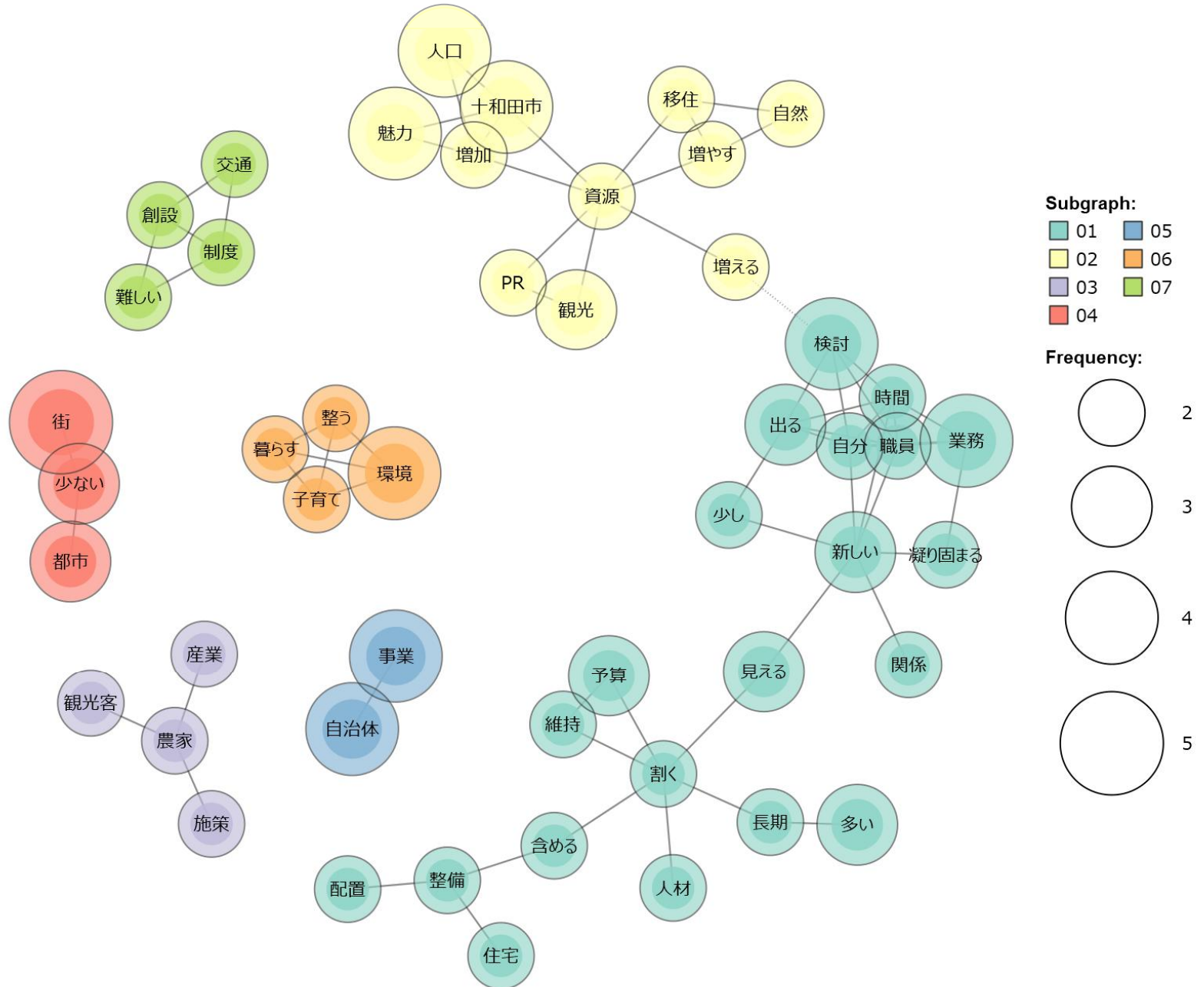
その他、十和田市について考えていることや意見

No.	意見	性別	年代	職種	職位
1	交通の便が悪いことは前から課題に出ていると思うので、少しずつ改善できれば嬉しいです。	女性	20代	事務	主事・技師
2	子どもを産める環境が整っていないのが絶望的だと思う。多くの人に、市の魅力として「子育てしやすい」「暮らしやすい」などと伝えても、市内で子どもを産むことすらできないのでは、若者が希望を持って婚姻・定住することは難しいと思う。	女性	30代	事務	主事・技師
3	市が実施している政策が市民への成果として感じにくい、または市民が実感しにくいように感じる	女性	30代	事務	主事・技師
4	市外から転入する若年夫婦の定住支援として、ある程度の収入のある世帯にも住宅購入費の補助等があると良いのではないかと考えます。	女性	30代	事務	主事・技師
5	今後人員不足などがさらに見込まれるので様々な面でのDXの促進。	男性	30代	事務	主事・技師
6	十和田市は観光資源が豊富にあるため、外に向けて観光資源の魅力をPRし、集客を増やす。そこから十和田市の魅力を知って移住を検討する人が増えれば十和田市の人口増加にもつながっていくと考える。	男性	30代	事務	主事・技師
7	職員に新しいことを考える余裕や試すための余白がないので、凝り固まった自治体に見えると思います。部署に関係のない集まりで事業を検討する機会を作ったり、時間外でそういった検討をしても残業代が出るなど生活と両立できたり、現代的な考え方に合わせた環境作りがあれば少しは新しい事業が創出されると思います。自分の担当業務に対して新しいことを生み出すのは苦労が目に見えて誰もやりたくないのが本音だと思います。	男性	30代	事務	主事・技師
8	市の限られた予算が、施設の維持管理などのハード面に多く割かれているように見え、予算は小さくても長期的に人材を育てるようなソフト面に労力も含めたコストが割かれるといいなと思います。	女性	40代	事務	課長補佐級
9	十和田でなければいけないことがないのが人口流出の原因だと思う。十和田に住めば他の市とは違うと思えることがあると良いと思う	女性	40代	事務	主事・技師
10	業務量が多く、自分自身の育児に十分な時間を割けず、いつも綱渡り状態です。一度トラブルが発生すればダブルチェック、と指示が出ますが、正直できるような状況でないのが現状です。中堅職員の中途離職が近年増えていると感じています。長期的な観点から、適切な人員数の確保及び配置について検討いただきたいです。	男性	40代	事務	係長級
11	ゴミ処理場の改築をする場合、三沢市や盛岡市のように温水プール施設が隣接していれば、子供の遊び場や市民の健康増進、交流人口の増加が期待できるのではないのでしょうか？建設費及び維持費に膨大な予算が必要となりますが、自然以外、これといった魅力がない十和田市にとっては大きな目玉スポットになると思います。	男性	40代	土木・建築	係長級
12	シティプロモーションを行う専属の課が必要と考えます。	男性	40代	事務	係長級
13	温泉をうまく活かせる方法があれば	男性	40代	土木・建築	課長補佐級
14	何事にも慎重なのはいいが、他自治体の動向を気にしすぎて先陣を切れないのはどうかと思う。自治体ごとに特色を出していかなければならない時代なので一点突出するくらいでいいと思う。	男性	40代	土木・建築	係長級
15	公共施設の配置や住宅、商業地区、公園など街のデザインをしっかりと見極めて進める必要があったと思う。小さな自治体の方が効率的であったり、付加価値をつけたり少ない事業費で工夫して施設を整備している感がある。今後の整備にあたっては、用途地域の見直しも含めて、都市計画の考えも入れるべきではと思う。	男性	40代	事務	課長補佐級

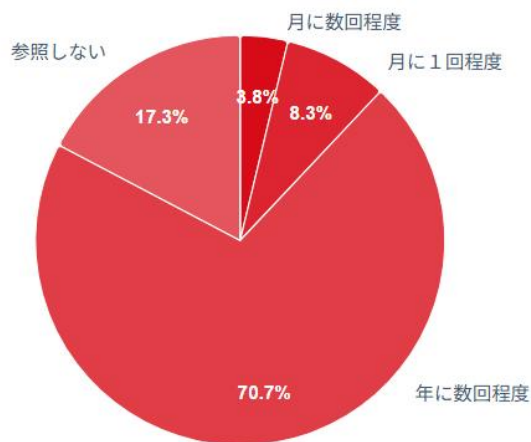
その他、十和田市について考えていることや意見

No.	意見	性別	年代	職種	職位
16	国内外への観光と産業のPR。	男性	40代	事務	課長補佐級
17	子どもたちが学べる施設、遊べる施設の充実	男性	40代	土木・建築	主査級
18	上十三圏域内の市町村の中核都市として、施設や業務について各市町村で役割分担を行うなど、よりリーダーシップを取るような立場になってもよいと思う。	男性	40代	事務	係長級
19	昔のように中心市街地に活気が戻って欲しい。	男性	40代	事務	課長補佐級
20	アートの街のとして認知度が上がっているので、官庁街通りという名称を〇〇ロードなど観光客向けに変更してはどうか	回答しない	50代	事務	課長級
21	とわふるの存在意義が不明	回答しない	50代	事務	係長級
22	豊かな自然や美味しい食べ物があり、平坦で自然災害が極めて少ない恵まれた環境をもっと内外へアピールすることで、移住者を増やし、将来消滅都市とならないような街づくりを行って欲しい。	回答しない	50代	事務	課長級
23	こども施策も必要だが、高齢者に対する支援をしてほしいと外部の方からお話いただきました。	女性	50代	事務	課長級
24	外国人労働者といい関係を築いていくこと 異文化交流や他地域との交流	女性	50代	その他（保健師・栄養士等）	係長級
25	個人が尊重され、周りとの接点を拒む傾向が強く、人とのつながりが希薄化する中、ますます子どもたちの抱える課題が複雑・多様化している。2040年はどんな世の中になっているのだろうか。	女性	50代	事務	課長級
26	人口が減少していくのはしょうがないことのように思います。それを緩やかにするために、特定の世代や条件を満たした人たちだけに交付金や補助を出し過ぎるのは不公平感を感じます。	女性	50代	事務	課長補佐級
27	イメージをとにかく明るくしたい。北海道の一部の地域のように。	男性	50代	事務	課長補佐級
28	経費削減を第一に行うと、市民サービスの低下も招くことから、財源が確保できるような事業には積極的に人材とお金をかけるべきと考える	男性	50代	事務	課長級
29	現時点におけるセーフコミュニティの必要性。はじめのほうに比べて熱量があまり感じられません。中央病院の医師確保のために、高校での特待生制度創設や、奨学金制度の創設が必要かなと思っています。交通弱者対策もより重要になってきてくると思います。企業誘致は難しいものはありますが、やはり働く場所の確保のために何が重要かなと考えています。	男性	50代	事務	課長級
30	広域で取り組む	男性	50代	事務	課長補佐級
31	今後どんどん農家が減っていくので、最低でも、農家施策や街中の産業振興は欠かせないと考えるし、観光客が来てもおもてなしに華がないと感じる。	男性	50代	事務	部長級
32	人口減少を受け入れて、いかに衰退していくか（良い意味で）の戦略を考えるべき	男性	50代	事務	課長級
33	土地価格が安い、子育て施設・環境が整っている、医療機関も多い、スポーツや文化活動が盛ん、娯楽は少ないが、暮らしやすい街である。	男性	50代	事務	課長級
34	抜本的業務改善。積極的なBPR。長年凝り固まった固定観念の払拭が必要。	男性	50代	事務	課長級

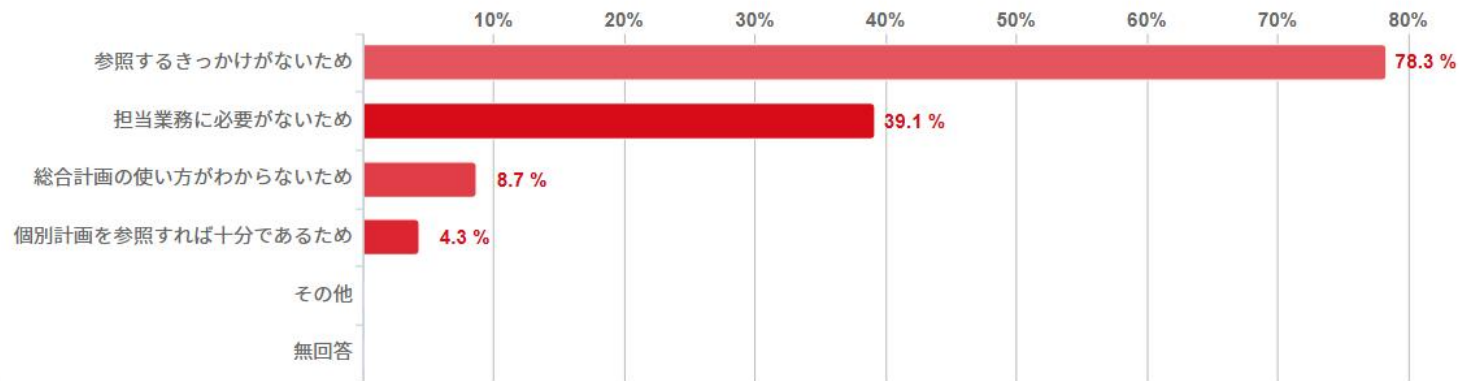
その他、十和田市について考えていることや意見



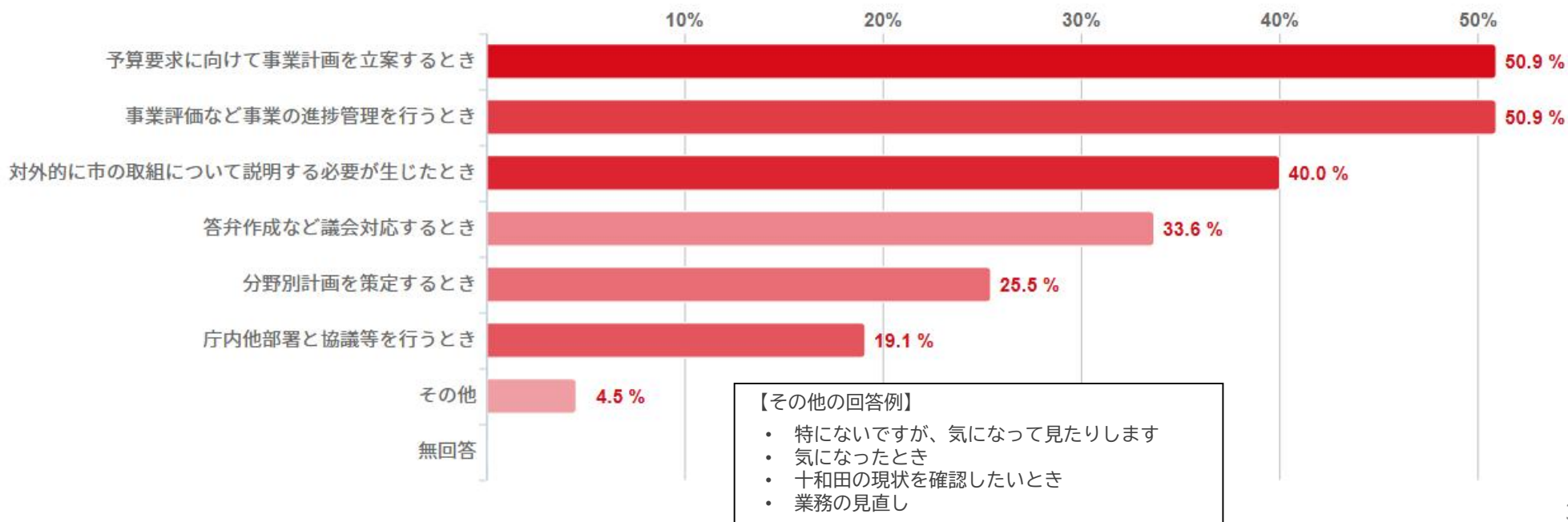
総合計画の参照頻度



総合計画を参照しない理由



総合計画を参照するタイミング



10. 市民ワークショップ

十和田市総合計画策定に向けた 市民ワークショップ 「十和田市の未来を創る！」

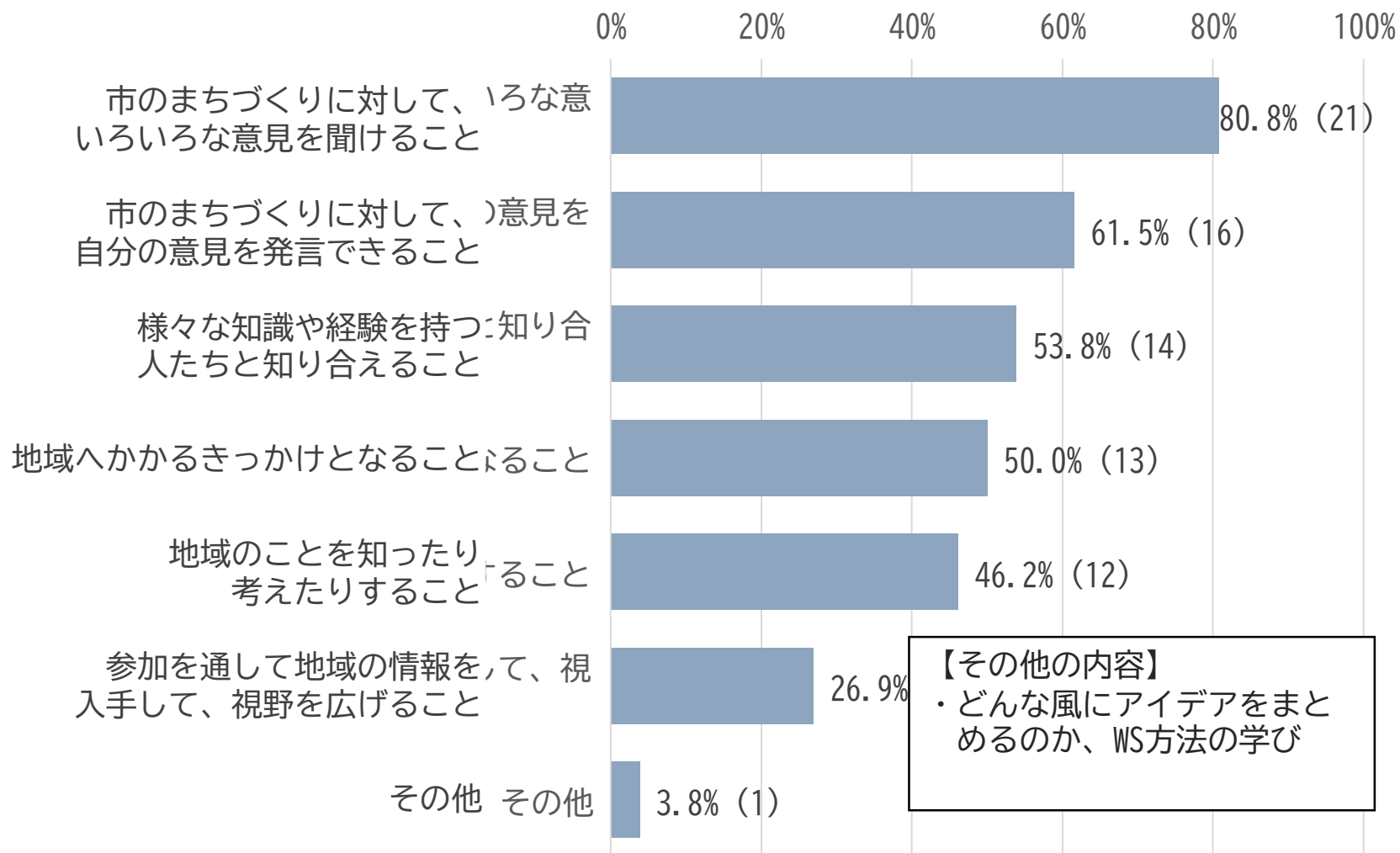
参加者アンケート結果 ・ワークショップ成果

日時：令和7年10月14日（火）18:30～20:30

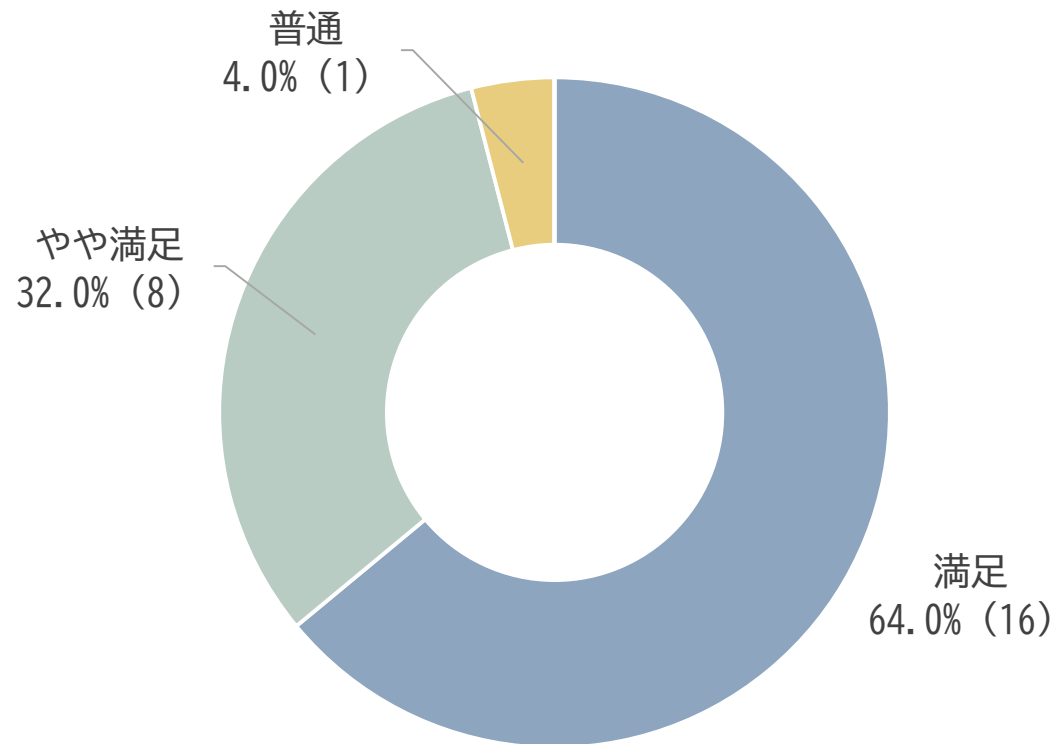
場所：市民文化センター 第1研修室

参加者：総合計画策定市民委員会委員等市民 27名
（うち回答：26名、回答率：96.3%）

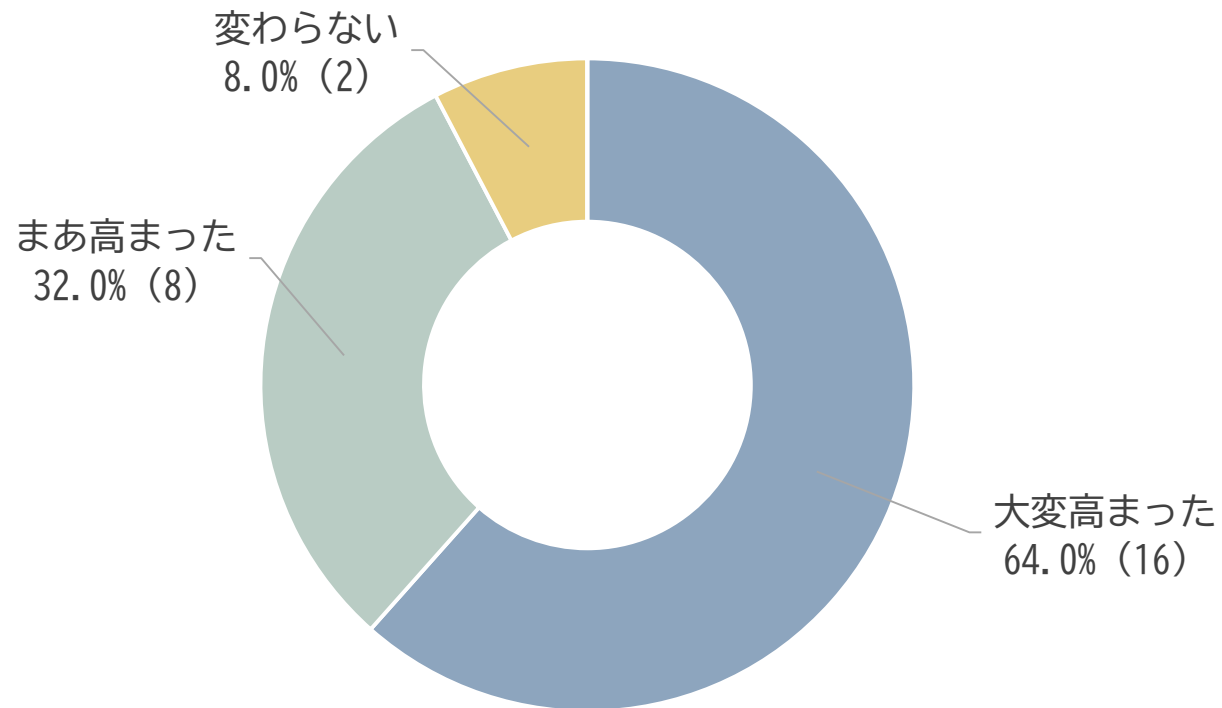
ワークショップに期待していたこと (n=26)



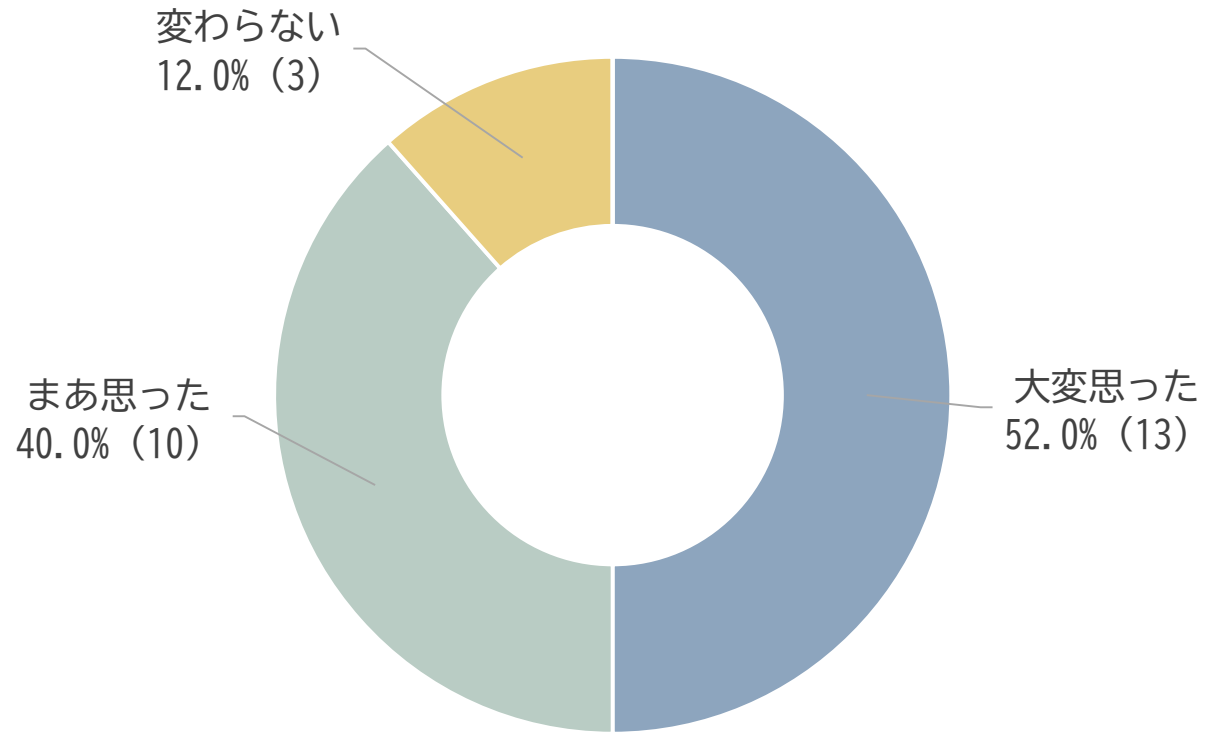
ワークショップの満足度 (n=25)



市のまちづくりへの関心の高まり (n=26)



市のまちづくりへの参加意向 (n=26)



言い足りなかったこと、追加意見

- 最後に発表紙を皆さんでながめる時間があってもよかったのかなと思いました！
- 市の方も大いに参考にしてください。
- 全体的に同じような思い、考え方を持っている方々がいることを再認識した。
- 町内会について。
- お金が生まれる話しが足りなかった。
- 移住者に優しい十和田市だと知って、良かったです。
- こどもからお年寄りまで気持ちよく暮らせる街であって欲しいです。
- ワークショップの時間が各5分位多いと、もう少し他の方の意見が聞けて良いと思う
- 言いたいことは言えました！
- 全て出したので、特にありません。
- 特になし (3)

ワークショップへの意見や要望等

- グラフィックレコーディングがすばらしかったので、画像を共有してもらえたらうれしいです。（「参加者のみなさまに」がむりなら、大丈夫です！）
- 同じテーマでも多様な思いが出てきて楽しかったです。
- 楽しくおはなしができました。イラストでまとめてもらえておもしろく、全員でシェアするのもとてもいいと思いました。
- これをきっかけに更に楽しく元気な街が出来ること願っています。
- 多くの市民の参加を案内。
- それぞれのチームのまとめをグラレコで見ることができて、面白かったです。若い人にも分かりやすいと思います。
- 共通意見も少数意見も市民の意見をふまえて課題解決してすみよい十和田市になってほしいです。
- ワークショップの進め方の勉強になった。
- 最初は不安でしたが、とても楽しい時間でした。学生にも経験してほしいと思いました。
- とても充実したワークショップでした♡
- グラフィックレコーディングがとても良かった。
- 今日のワークショップで参加者から出た様々な意見等が今後どのように展開されていくのが楽しみです。
- もっと色々な方とお話ししたかったです。
- このような機会は結構あったかと思います。東京からたくさんおいでだったので、予算がすごい心配でした！
- 若者ワークショップも開催されるようなのが良いなと思いました。また、意見募集のフォームも作って頂き、より多くの意見が集まるきっかけができて嬉しいです。ただ、こういうワークショップも、もっと一般参加したり、商工関連のまちづくりについて議論されている会議の方々とも一緒にまちづくりを話せる機会があるといいなと思います。
- 楽しかったです！！
- 十和田市の未来を自分ごととして捉えている人達が多く、熱量もあって楽しかったです。
- 開始時間が日中だと良かったです。



「十和田市の未来を創る！」

2025
10/14

十和田市総合計画策定に向けた市民ワークショップ

十和田市の好きなところ

スキー カヌー ゴルフ 津軽海峡 公園 奥入瀬 八甲田

坂が少ない 平地

自然

道路まっすぐ

官庁街 まちなか

まったり

アートにふれあえる

競技場

人

移住者にやさしい

食べ物おいしい

食材ゆたか

ビール パウダー ほしもち ばっや焼

グータン 馬とば

公園

星キレイ!

渡り鳥

空広い!!

展示長く やるる

文化

公園

有名なお品

住みやすさ

大地の恵み

桜と松の コントラスト

温泉

十和田湖

八甲田

観光地見どころ

奥入瀬 溪流

十和田市のキャッチフレーズを考えよう

酒と笑いと 祭り与自然!

いつでもおいでよ! 十和田は永遠だ!

多様

たたりま!!

Group A

医療が充実 してるまち

働きやすい まち

子どもが 戻ってくるまち

楽しみ

ほっと息 しやすい

自然!

ほこれる

自給自足

Group D

満ちていく とゆた!

自然体で暮らせるまち

酒と笑いと 祭り与自然!

いつでもおいでよ! 十和田は永遠だ!

多様

たたりま!!

Group A

医療が充実 してるまち

働きやすい まち

子どもが 戻ってくるまち

楽しみ

ほっと息 しやすい

自然!

ほこれる

自給自足

Group D

満ちていく とゆた!

自然体で暮らせるまち

酒と笑いと 祭り与自然!

いつでもおいでよ! 十和田は永遠だ!

多様

たたりま!!

Group A

医療が充実 してるまち

働きやすい まち

子どもが 戻ってくるまち

楽しみ

ほっと息 しやすい

自然!

ほこれる

自給自足

Group D

満ちていく とゆた!

自然体で暮らせるまち

「十和田市の未来を創る！」

十和田市総合計画策定に向けた市民ワークショップ

十和田市の好きなところ

四季がある 十和田湖 奥瀬渓流
まかど岩 美術館 文化 土器
坂道が少ない 災害が少ない アート 神社 開
食材が安い 水がおいしい みんなが知り合い 飲食店が多い 三番街 酒好き
車が少ない

四季がきれい きれいな自然
スモウ場 文化 イベント サッカー場 奥瀬渓流
美術館 桜がきれい 野菜がおいしい 静か 治安いい
馬 教育 お水がおいしい お店が多い 災害が少ない

十和田市のキャッチフレーズを考えよう

若者がチャレンジできるまち アート
移住したくなるまち 学びの選択肢 安心した子育て 子とともか たのしみ 人とのつながり
働くことができるまち 働きやすい 自然と共存 マネタイズ 交通の便
犯罪が少ない町

みんなが住みたいまち 若者があつまるところ 子とともか産める町 子育て 子とともか笑顔
帰りたいなまち 宿が多い 医療充実 気軽な自然 ハイレベル

B シビックプライド
~幸福度No.1のまちをめざそう!

若者・教育・文化・豊か
ハイレベルな田舎町 **C**



「十和田市の未来を創る！」

十和田市総合計画策定に向けた市民ワークショップ

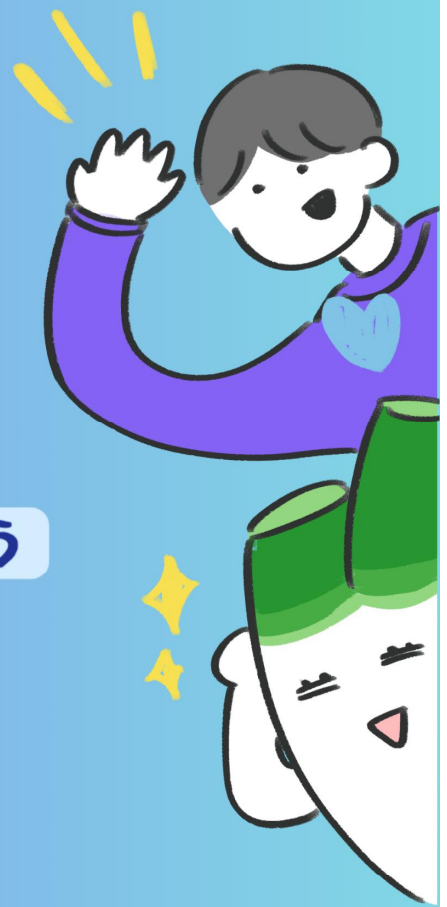
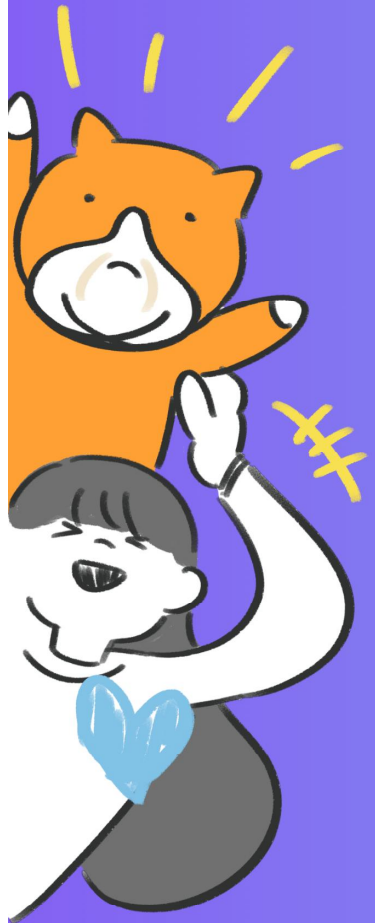
十和田市の好きなところ

自然 十和田湖 国立 奥入瀬
 たくさん野菜を 田んぼ つくれる 桜やツツメ
 温泉
 図書館
 水道水 美しい
 美術館
 花火大会
 スキー場
 ヤマコ
 熊の沢川 水道水 美しい
 釣り場
 図書館
 花火大会

十和田市のキャッチフレーズを考えよう

若者多い 車の使わないうち 文化を感じる
 幼児が多い 道路のほら 自然と共存
 5R バスの本数 住みやすい町 住民税が高い 入っやす
 一人でも安心して死ねる街

一人でも安心して死ねる街 E



テーマ1

2025.10.14 Tue

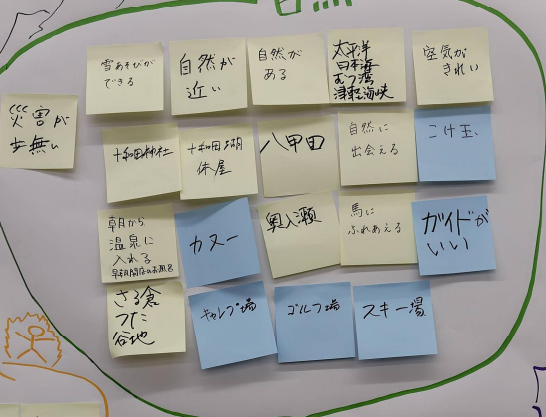
十和田市の好きなおとこ



Group



自然



初住者にやさしい
人らしい
イベントが たくさんある
活動的な 人が多い
チャレンジを しよう
チャレンジ チャンス満ち
移住者が 元気!

秋祭り 協同ばやし 秋まつり

まつり

宮庁街 まちなか

坂が少ない
官庁街 通り
官庁街の 桜
五球目
アトに ふれあえる
モダンな 文化にも かなる

塩浜場 杉の湯 緑地公園 宝城湯

14-54
ピザ
カフェ
オルタ
マリョール
アツクイ
奥入瀬
ビル
ホテル
食のものが おいしい
地産の食材
土産の産物が 増えた
食材 農産物が 豊か
酒

食

テーマ2

2025.10.14 Tue

十和田市の キャッチフレーズを考えよう

Group



酒と笑いと自然
祭りと自然
いつでもおいでよ!
十和田は永遠だ

酒と笑いと自然
祭りと自然
夢の乗る 育てよう!
多様な人が 住みやすい 街 交流
若者が 多い 街
子どもが 居ると 思える
みんなが いいこと 元気で 元気なまち
中央病院の 歴史
医療
歯科
未来へ繋ぐ 人の輪(の) がある
おれい 助け合い
だれでも 働ける
子育て 安心な 街
空山の 景色で 伊予 元気なまち
子どもが 自分と つながる 街
子育て 安心な 街
子育て 安心な 街
子育て 安心な 街

B テーマ 1

「十和田市の好きなところ」

自然が豊か
自然 (美人湖 十和田 八甲田...)
十和田湖
無潮洋流 (晴に潮風)
自然の豊か
十和田湖キレイ
四季がばりばりしている
空気がきれい
自然

名物
朝・夕
十和田 現代美術館
現代美術館
駅前通り
特色(スト)がある
建築デザイン

丁度良い街の規模
坂道が少ない
食材が安い (お肉 海鮮)
高い建物がない
車が少ない
災害が少
水がおいしい(?)
ペット可物件多い
おんな和合
人のつわりが楽 (20%)

住みやす+

三番街
昭和の路
1/3 焼肉
飲食店おいしい所多い
酒場が少

イベント
年中何やら祭りやてる

チャレンジ
デザインショップ
起業しやすい

歴史・文化
土器出土
十和田神社
三本杉公園

B テーマ 2

「十和田市のキャッチフレーズを考えよう」

交通の便
買い物しやすい
犯罪が少ない
安全な場所
人間関係が深い

評判にやさしい
老人が元氣な町

子育てしやすい町
子供が安心して遊べる
子育てしやすい町
子育てしやすい町
子育てしやすい町

若者がチャレンジしたいまち
若者が個性溢れるまち
若者が離れたい町

学生に優しい
チャレンジできるまち
学校の選択肢

動物にやさしい

ポイント
シニアポイント
あるまち

最上級のアートまち
似やがはパワ
おと自然が豊かなまち
アートと無縁にしたいまち
10年後の楽入瀬(20%)が成功し世界に誇れるまち
理想の地方都市モデル (10%+エコニ)
自然と共生するまち

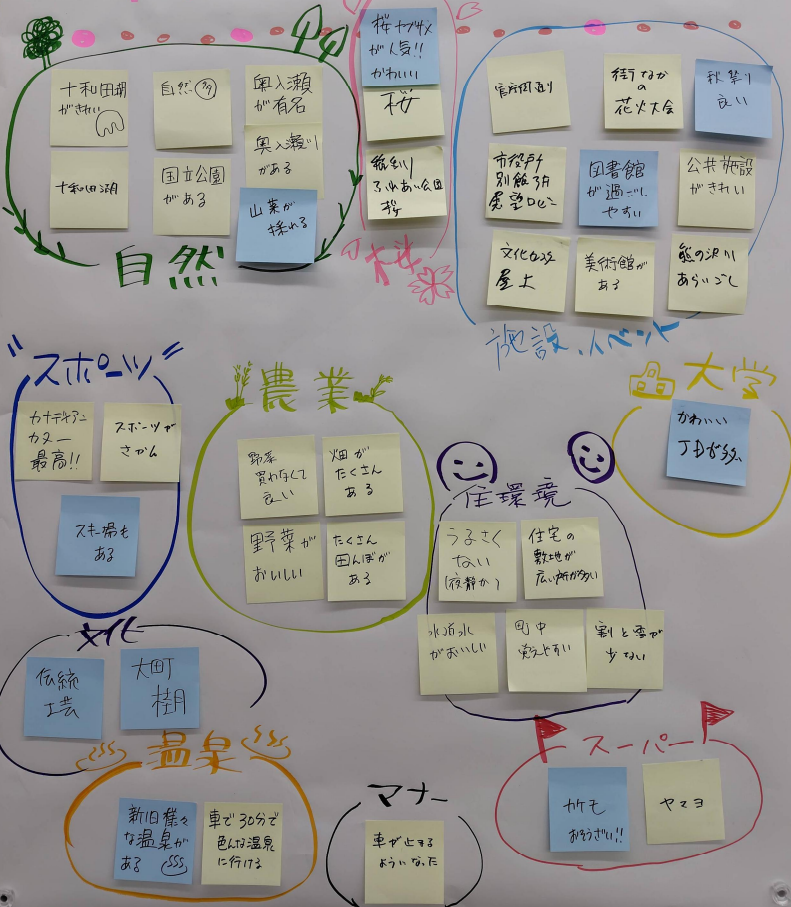
働くことが出来るまち
働けるまち
働けるまち
ワークライフ
シンプルで住みやすい

シニアポイント

~幸福度 No.1 のまちをめざそう!!~

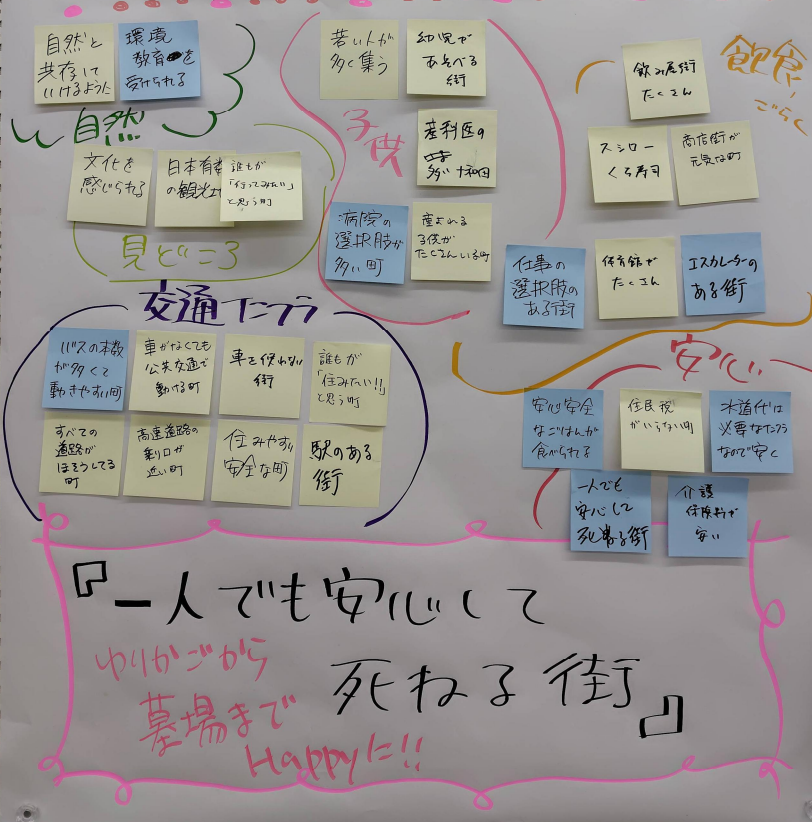
E テーマ1

「十和田市の好きなところ」



E テーマ2

「十和田市のまちづくりを考えよう」



「一人でも安心してゆがづから墓場まで死ねる街」
Happy!!



11. 若者ワークショップ

十和田市総合計画策定に向けた 若者ワークショップ 「十和田市の未来を創る！」

参加者アンケート結果 ・ワークショップ成果

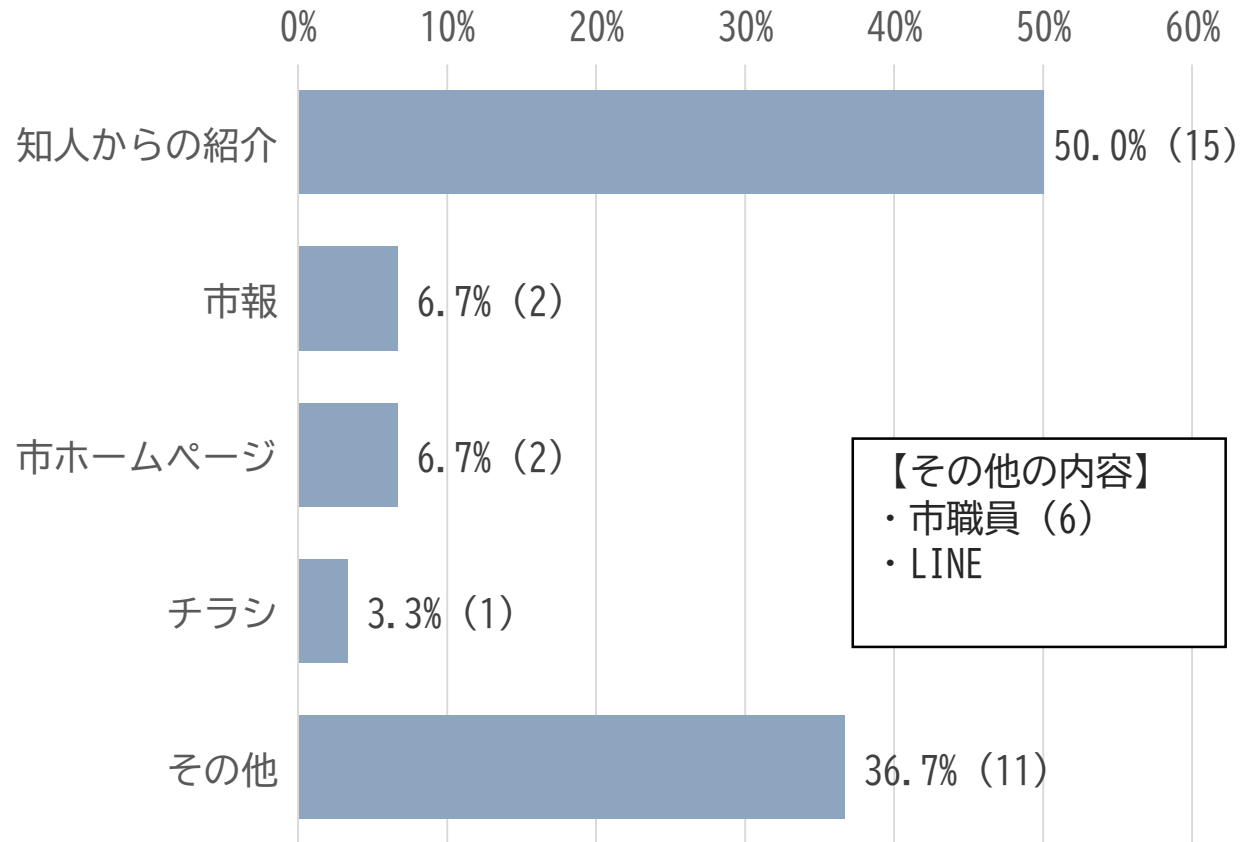
日 時：令和7年10月15日（水）18:30～20:30

場 所：地域交流センター「とわふる」 中ギャラリー

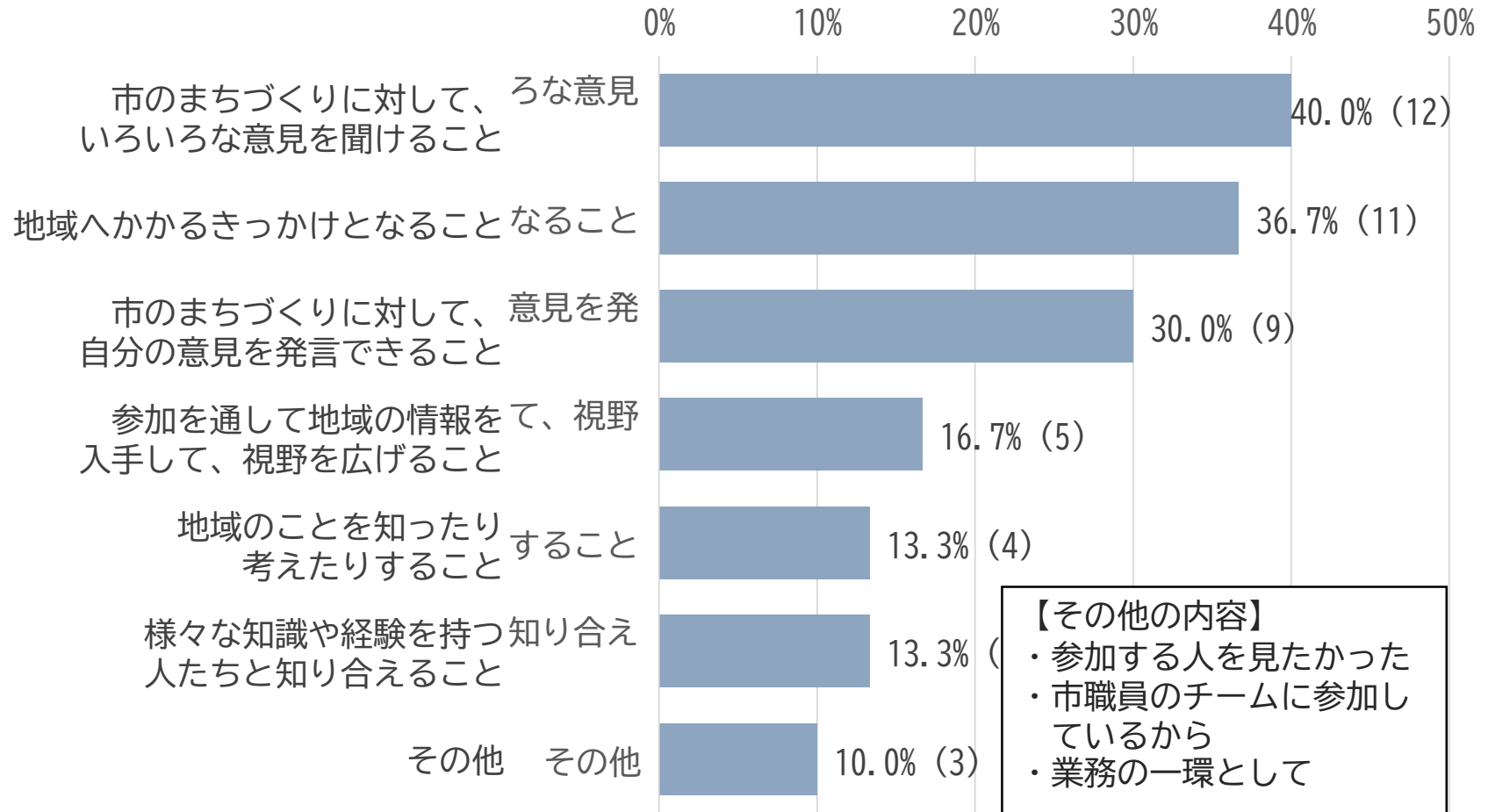
参加者：18歳以上30歳未満の市民及び若手職員市民協働
チームメンバー 30名

（うち回答：30名、回答率：100%）

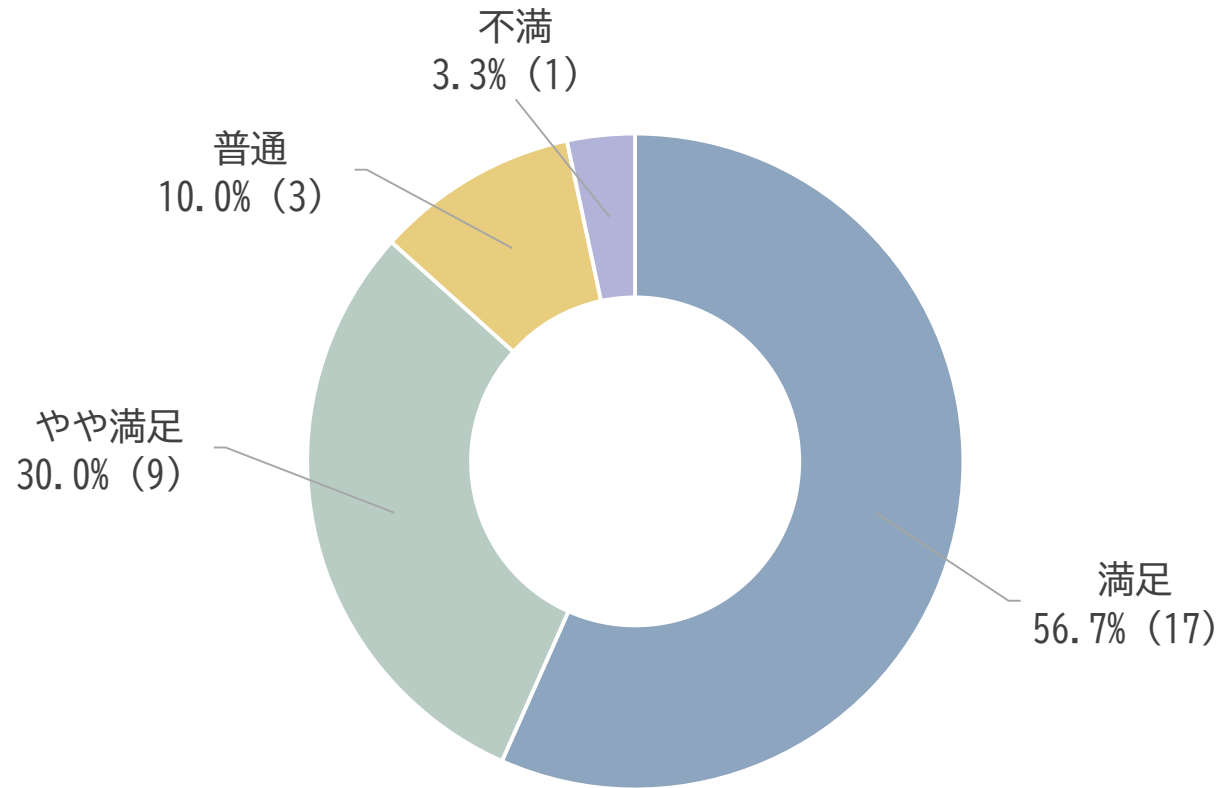
ワークショップを何で知ったか (n=30)



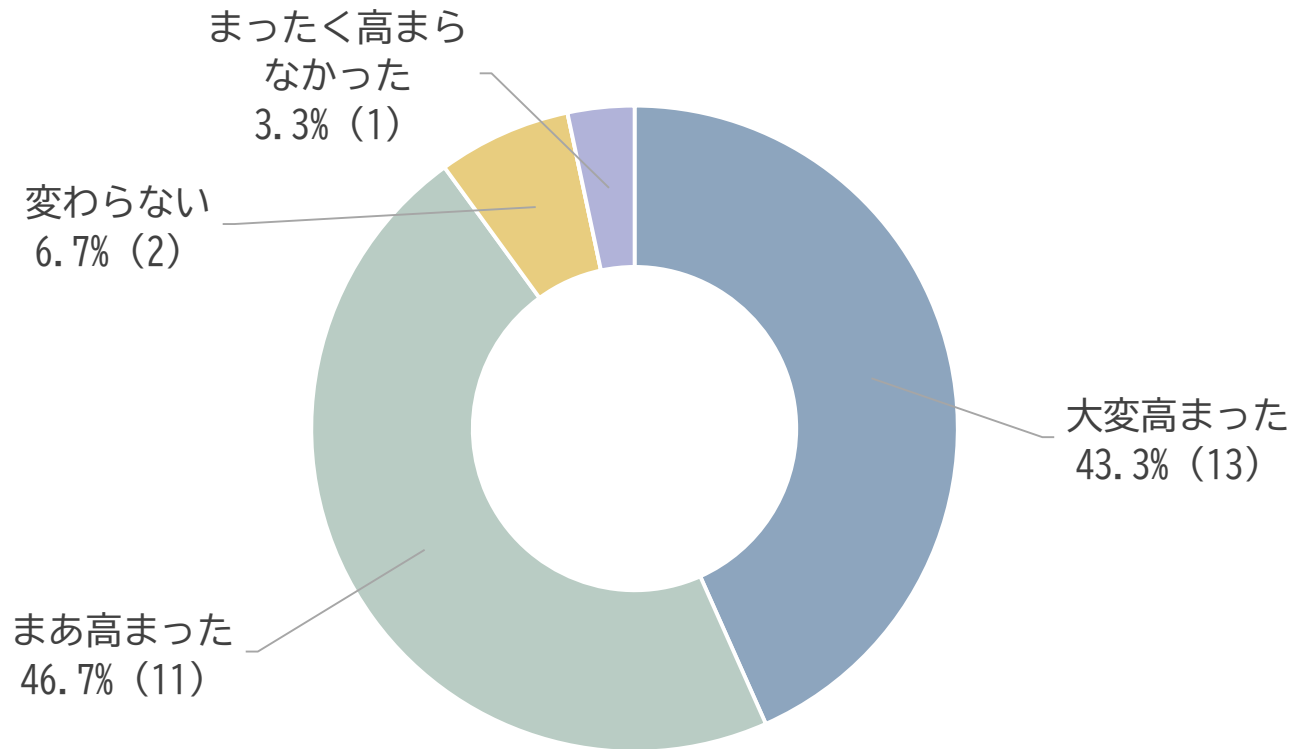
ワークショップに期待していたこと (n=30)



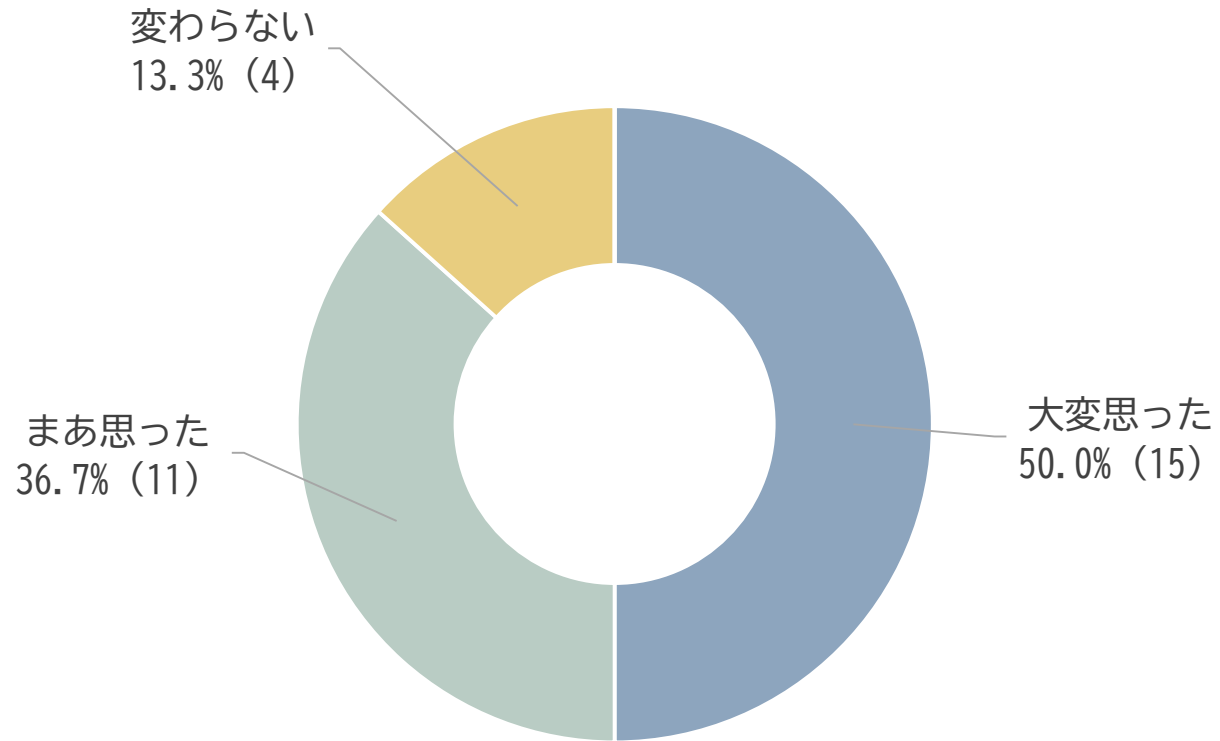
ワークショップの満足度 (n=30)



市のまちづくりへの関心の高まり (n=30)



市のまちづくりへの参加意向 (n=30)



言い足りなかったこと、追加意見

- 市政への反映を期待しております。
- キャッチフレーズについて追加「美術（アート）が自然を駆ける街 十和田」
- 市民と市お互いの意見を投げる場所、見れる場所を設ける。今回のワークショップやアンケートなどで実際に取り入れた意見を公開してほしい。
- 街中の電波を強くして欲しいという意見を多く聞く 特に観光で来た人達は苦勞している様子をよく見る
- なし

ワークショップへの意見や要望等

- すてきな場をありがとうございました☺
- こういった機会を増やして頂けると嬉しいです。
- 考える時間をもう少し取ってほしい。
- 実績と継続を熱望いたします
- 総合計画にどのように反映されるかいまいち想像がわからない。
- 十和田市をより良くしたいのであれば 良いところを話し合うより悪いところを話し合った方がいいと思います。
- 単発の会だとあまり意味をなさないと思う。この議題・テーマは過去に何度もされているので情報共有の薄さ、進展のなさに悲しくなりました。また、やるだけ、伝えるだけでは意味が無いので行動を起こさせる仕組みが必要。これは行政だけではなく、官民学連携が必要だと思う。委託だけではない民間との密なやり取りをもう少し増やした方が良いと感じた。
- 参考になりました。
- 定期的に開催して欲しい 正直謝礼なしでも十分価値を感じる

「十和田市の未来を創る！」 若者ワークショップ

2025
10/15

十和田市の好きなところ

奥入瀬 湊流 十和田湖 自然が豊か
 桜 平地 希節 治安が良い
 官庁街通り 道路が走りやすい 弘前大学
 まっさらな道 人が少ない 夜が静か
 野菜 馬肉 水道水がおいしい
 リンゴ お酒

〈キャッチフレーズ〉
自然と食があふれる十和田

十和田市の好きなところ

バラ焼き 馬肉 十和田湖 奥入瀬 湊流
 食べ物 野菜 自然が豊か 桜
 花火大会 治安が良い 駐車場が広い P 少ない
 官庁街通り イベント 秋祭り アパートが増える
 人混みが多い 街カミ 雪が少ない

〈キャッチフレーズ〉
楽しい・美しい・住みやすい 十和田
いっぺん住んでみるべ

若者がもっとまちづくりに関わるには？

若者の興味のあるなにか
 電子化 オンライン化 SNS
 A

情報の周知 情報送信 若者が集まる場所をつくる 企業
 若者の予備 祭り イベントを増やす 子育て支援 若者意見の反映 イベントを増やす 起業支援

若者が集まるイベント 「若者」を増やす 子ども
 B

若者文化 とリンクした広告 情報交換 起業の支援 意見交流の会に参加する
 D

「十和田市の未来を創る！」 若者ワークショップ

2025
10/15



街並み 治安 good

十和田市の好きなところ、十和田市のキャッチフレーズ

キレイ 静か
自然 いっぱい 桜きれい
B級グルメ 子供も楽しめる
おまつり 季節のイベント
きれい 花火大会
おまつり 季節のイベント
きれい 花火大会
おまつり 季節のイベント

自然 観光 グルメ 人柄 イベント

〈キャッチフレーズ〉

～ニこりと自然がつながる街～
ふるさと十和田

桜並木 食べ物おいしい 人がやさしい まじめ 人あたりいい
キレイ 自然 公園 馬肉 パラ焼き
ゴミ 空気 自然 花たんさん
イベント 公共施設 電波

ネイチャー グルメ 性格 公共施設

〈キャッチフレーズ〉

自然と人が創る食と祭典の十和田

若者がもっとまちづくりに関わるには？

いいとこ 課題を 知る
企画発信 情報発信
オンライン設備 ネット環境 整備
意見 どのくらい 要望
夜間 夜中でも 集める
興味関心 若者むけ イベント フリースペース 飲食店

Group B

つながりよ やすい大事！
若者人口 少す
居場所 ↑
Increase Group
Plan
お金の 流れみせる
大学生 高校生 にもきこう！
情報発信の イベント&サービス
意見きける 場をふやす
Place C

「十和田市の未来を創る！」 若者ワークショップ

2025
10/15

十和田市の好きなところ、 十和田市のキャッチフレーズ



〈キャッチフレーズ〉

安くても広くてもあたたかい

若者がもっとまちづくりに関わるには？



2025. 10. 15 (Wed) Group B

テーマ1 十和田市の好きなところ

グループ B

自然

- 自然が美しい (2つ)
- 自然が美しい
- 桜がきれい
- 十和田湖が自然豊かな
- 水がおいしい

グルメ

- にんにくがおいしい
- ガリガリボクがおいしい
- 食べ物(おかわり)がおいしい
- ゆきやらの味がおいしい
- 飲食店が1つのエリアに集中している
- バラ焼き屋
- ラーメン店が多い
- カフェが多い
- おかし屋が多い

観光

- 現代美術館
- 官有相画の母
- 気源清流
- 海外とつながる
- 官行街通り

街並

- 静か
- いい意味で公共交通機関が少ない
- 町がキレイ
- 治安良い

人柄

- 人が優しい
- 子供が元気
- おしゃべりができる

イベント

- 花火大会が街中で行われる
- お祭りに行きたい (地元民が)
- 祭りが多い
- 季節のイベントが多い

十和田市のキャッチフレーズ

～こころと自然が
つながる街～
ふるさと十和田

2025. 10. 15 (Wed) Group B

テーマ2 若者がもともとまちづくりに関わるには?

グループ B

興味関心

- いいところを知りたい
- 課題を知りたい
- 将来のことを考えたい
- 十和田の良いところを知りたい
- 興味関心を持ってみたい
- 十和田市の歴史を知りたい
- 若者の意見を聞きたい
- 若者の意見を知りたい
- 若者の意見を知りたい
- 若者の意見を知りたい

ホコ設備

- ネット環境が整っている
- ネットを利用して情報収集
- 17-7の拠点作り
- 情報発信
- SNSでの発信
- 関心を持ってもらう

企画/実行

- 若い人向けのイベント
- 若者向けのイベント

夜間

- 夜中の集まり場所
- 遊歩場
- 夜間のイベント
- 夜間のイベント

要望

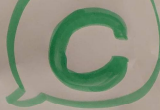
- 大人の意見を知りたい
- 意見を知りたい



テーマ1

2025.10.15 (wed)

Group



十和田市の好きなところ

ネイチャー

自然が美しい

- 花がキレイ
- 自然が豊か
- 自然がキレイ
- 公園が綺麗
- 自然がキレイ

グルメ

食べ物がおいしい

- 水がおいしい
- 美味しい
- 馬肉
- バラ焼き

電波

電波が強い

公共施設

美術館

- 美術館
- 図書館
- ジム
- 公園

イベント

秋まつり

- イベント

性格

人柄が優しい

- 人柄が優しい

十和田市のキャッチフレーズ

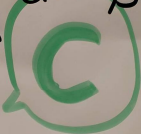
自然と人が創る

食と祭典の十和田



テーマ2

Group



若者がもっとまちづくりに関わるには？

Place

まちづくりイベント

- まちづくりイベント
- まちづくりイベント
- まちづくりイベント

Increase

若者の参加

- 若者の参加
- 若者の参加

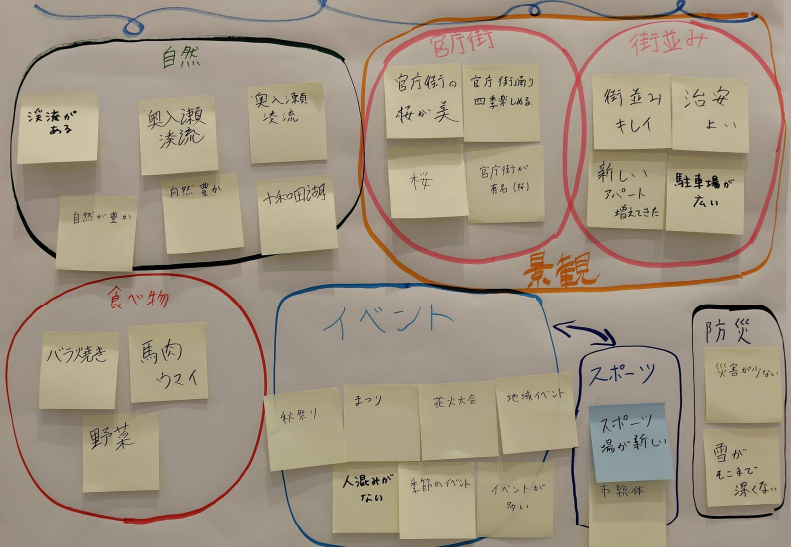
Plan

まちづくり計画

- まちづくり計画
- まちづくり計画
- まちづくり計画

D テーマ1

「十和田市の好きなところ」

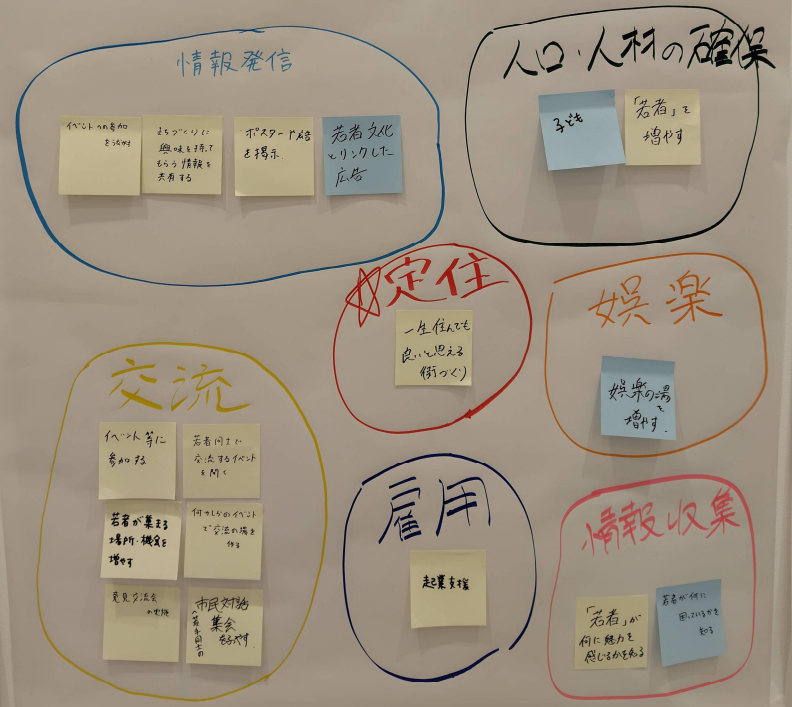


「十和田市のキャッチフレーズ」

楽しい・美しい・住みやすい
いっぺん住んでみるべ十和田

D テーマ2

「若者がもともとまちづくりに関わるには？」





テーマ1

2025.10.15 (Wed)

Group

E

十和田市の好きなとこ

スポーツ
施設の
クマ

建築物

アートの
素敵

建築物

アート

酒

水が
おいしい

上北畜産
加工

食材の
質がいい

火の
き

B級グルメ
バラ焼

個人
店が

自然

立地

治安が
良い方

家賃
安い

はとよ
い川の

駅)の距離

距離間

コミュニティ

学校の
先生と

自然が
豊か

叫んでも
迷惑をかける

エビの
広さ

要らない

飲食店
中の人が

イベント
毎月一回

自然が
豊か

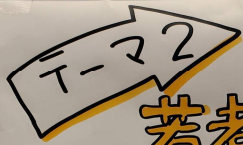
自然が
豊か

生物

BBQ

十和田市のキャッチフレーズ

安くて広くてあたたかい



Group

E

若者がもともとづくりに 関わるには？

機会

資金繰り

助成金

相談する
場所づくり

フロンティア
を拓く

金融 起業
の資金と
なる

優遇

PR

SMS

イベントの
物を使う

新しい物に
触れる

夢

子どもの端
を削る

挑戦の
文化

若い人が
トップ

若者が
同工の
コミュニティ

Challenge

民間
連携

文化

11件
禁止を
なくす

意見が反映
されない
苦情
の処理

反映させる

この病
を治す

今日の病
を治す
方法を
考える

友の心

住民意識を
持たせる

関わり
場所を
提供する

自覚

